

平成 30 年度
受動喫煙に関する県民意識調査
受動喫煙に関する飲食店実態調査
受動喫煙に関する屋外施設等実態調査
報告書

平成 30 年 12 月

静岡県健康福祉部 健康増進課

平成 30 年度受動喫煙に関する県民意識調査、受動喫煙に関する飲食店実態調査、
受動喫煙に関する屋外施設等実態調査
報告書

目 次

調査概要	1
調査結果	
I 受動喫煙に関する県民意識調査	
1 回答者の属性	3
2 喫煙・受動喫煙の状況	
2-1 喫煙状況と禁煙意向	5
2-2 「受動喫煙」という言葉の認知度	11
2-3 受動喫煙が健康に与える影響	13
2-4 受動喫煙の状況	15
3 受動喫煙防止対策について	
3-1 健康増進法の改正内容の認知度	65
3-2 健康増進法の改正内容の受動喫煙防止対策として感じる事	67
3-3 受動喫煙防止対策を進めるために行政が取り組むことが望ましい対策	71
3-4 喫煙が規制される施設以外で禁煙にして欲しい施設	73
3-5 小規模飲食店に対する喫煙の規制について	75
4 受動喫煙に対する行動	
4-1 飲食店を選ぶ際の喫煙の可否	77
4-2 飲食店等入口の喫煙可否の表示の参考	81
II 受動喫煙に関する飲食店実態調査	
1 回答施設の属性	83
2 受動喫煙に関する知識	
2-1 「受動喫煙」という言葉の認知度	87
2-2 受動喫煙が健康に与える影響	89
3 現在の受動喫煙防止対策の状況	
3-1 受動喫煙防止対策の実施状況	91
3-2 喫煙の可否の表示状況	105
4 健康増進法に関する考え方	
4-1 健康増進法の改正内容の認知度	117
4-2 健康増進法の改正内容について感じる事	119
5 今後の受動喫煙防止対策について	
5-1 法施行（2020年4月）後の受動喫煙防止対策の予定	121
5-2 受動喫煙防止対策を進めるために行政が取り組むことが望ましい対策	123

Ⅲ 受動喫煙に関する屋外施設等実態調査

1	回答施設の属性	127
2	健康増進法に関する認知度	
2-1	健康増進法の改正内容の認知度	128
3	現在の受動喫煙防止対策の状況	
3-1	受動喫煙防止対策の実施状況	130
3-2	喫煙環境の標識の掲示の有無	137
4	今後の受動喫煙防止対策について	
4-1	受動喫煙防止対策の予定	138
4-2	受動喫煙防止対策に取り組む上での想定される課題	140
4-3	受動喫煙防止対策について行政への期待	141
	受動喫煙に関する県民意識調査 受動喫煙防止対策についての自由意見	142
	受動喫煙に関する飲食店実態調査 受動喫煙防止対策についての自由意見	175
	受動喫煙に関する県民意識調査 集計表	192
	受動喫煙に関する飲食店実態調査 集計表	238
	受動喫煙に関する屋外施設等実態調査 集計表	264
	受動喫煙に関する県民意識調査 調査票	284
	受動喫煙に関する飲食店実態調査 調査票	292
	受動喫煙に関する屋外施設等実態調査 調査票	300

調査概要

1 調査目的

県民の受動喫煙の状況や受動喫煙防止対策への意見、飲食店、屋外施設等における受動喫煙防止対策の現状等を把握し分析を行う。

2 調査内容

- (1) 受動喫煙に関する県民意識調査
 - 回答者の属性
 - 喫煙・受動喫煙の状況
 - 受動喫煙防止対策について
 - 受動喫煙に対する行動
- (2) 受動喫煙に関する飲食店実態調査
 - 回答施設の属性
 - 受動喫煙に関する知識
 - 現在の受動喫煙防止対策の状況
 - 健康増進法に関する考え方
 - 今後の受動喫煙防止対策について
- (3) 受動喫煙に関する屋外施設等実態調査
 - 回答施設の属性
 - 健康増進法に関する認知度
 - 現在の受動喫煙防止対策の状況
 - 今後の受動喫煙防止対策について

3 調査方法

- (1) 調査対象
 - 1) 受動喫煙に関する県民意識調査 県内に居住する 20 歳以上の男女
 - 2) 受動喫煙に関する飲食店実態調査 県内に店舗がある飲食店
 - 3) 受動喫煙に関する屋外施設等実態調査 県内に店舗がある屋外施設等
- (2) 調査方法 往復郵送調査法
- (3) 抽出方法
 - 1) 受動喫煙に関する県民意識調査 選挙人名簿より 3,000 人を層化無作為抽出
 - 2) 受動喫煙に関する飲食店実態調査 NTT タウンページデータベースより 3,000 施設を層化無作為抽出
 - 3) 受動喫煙に関する屋外施設等実態調査 NTT タウンページデータベース等より 520 施設

(4) 調査期間

受動喫煙に関する県民意識調査、受動喫煙に関する飲食店実態調査

平成30年8月27日～9月10日

受動喫煙に関する屋外施設等実態調査 平成30年8月13日～8月31日

4 回収結果

受動喫煙に関する県民意識調査 発送数 3,000人 有効回収数 1,559人 (52.0%)

受動喫煙に関する飲食店実態調査 発送数 3,000施設 有効回収数 1,058施設 (35.3%)

受動喫煙に関する屋外施設等実態調査 発送数 520施設 有効回収数 263施設 (50.6%)

白票を除いた回答数を有効回収数とした。

5 報告書の見方

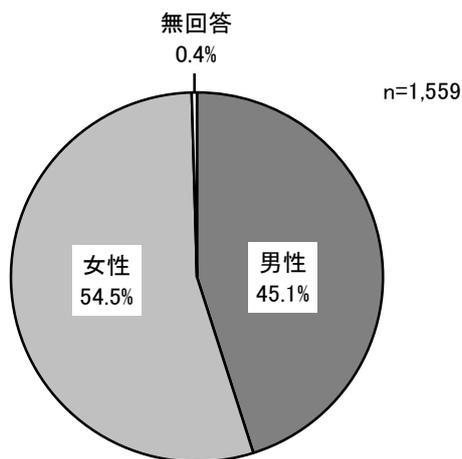
割合はすべて百分率で表し、小数第二位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。

複数回答の設問は、全ての回答割合を合計すると100%を超える場合がある。

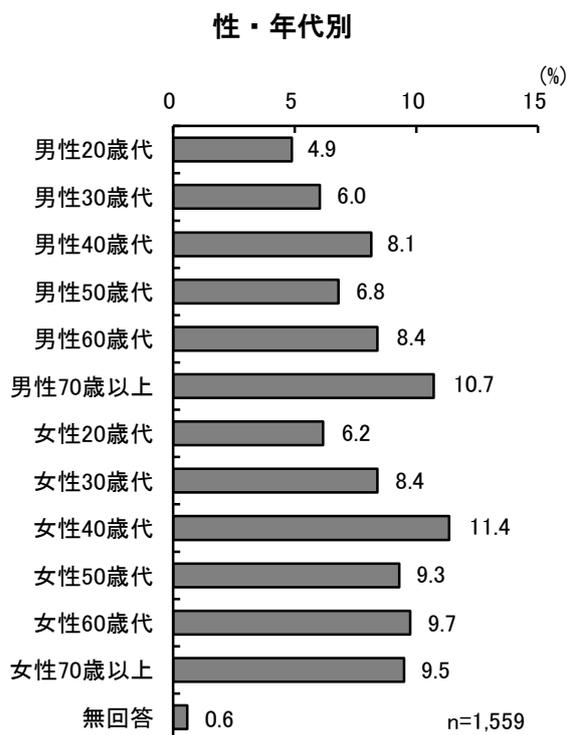
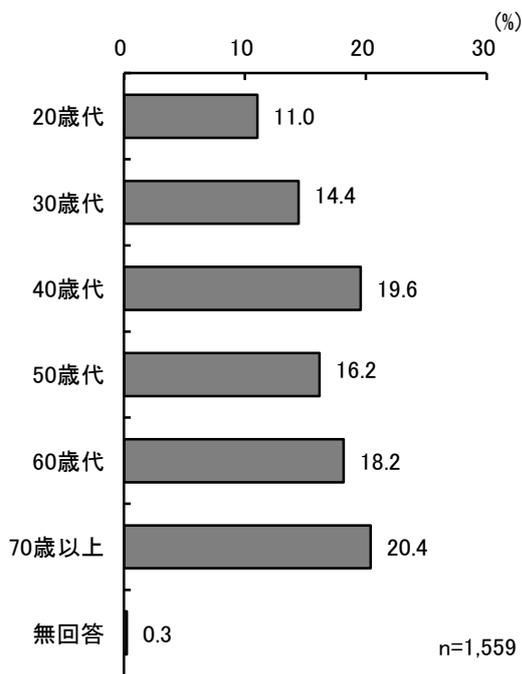
I 受動喫煙に関する県民意識調査

1 回答者の属性

【問1】 あなたの性別を○で囲んでください。



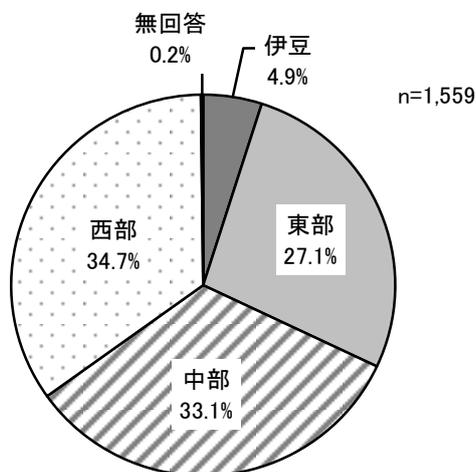
【問2】 あなたの年齢を○で囲んでください。



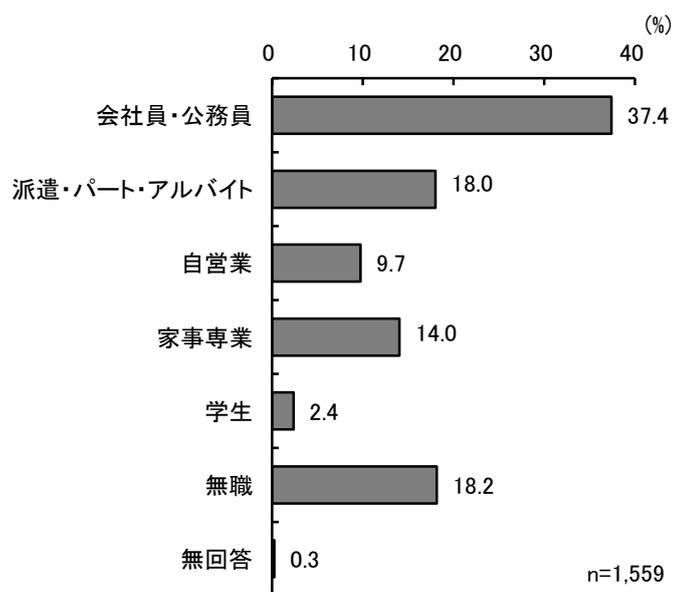
【問3】 お住まいの市町はどこですか。

伊豆地域全体	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	熱海市	伊東市					
4.9	0.4	0.1	0.2	0.5	0.0	0.3	1.0	2.3					
東部地域全体	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国市	函南町	清水町	長泉町	小山町	富士宮市	富士市	
27.1	4.6	3.0	2.4	1.4	1.0	1.3	1.2	1.0	1.1	0.4	3.6	6.2	
中部地域全体	静岡市	島田市	焼津市	藤枝市	牧之原市	吉田町	川根本町						
33.1	19.4	2.5	4.2	4.2	1.3	0.9	0.5						
西部地域全体	磐田市	掛川市	袋井市	御前崎市	菊川市	森町	浜松市	湖西市					
34.7	4.4	3.0	2.0	1.2	1.0	0.3	21.3	1.6					
無回答													
0.2													

地域別



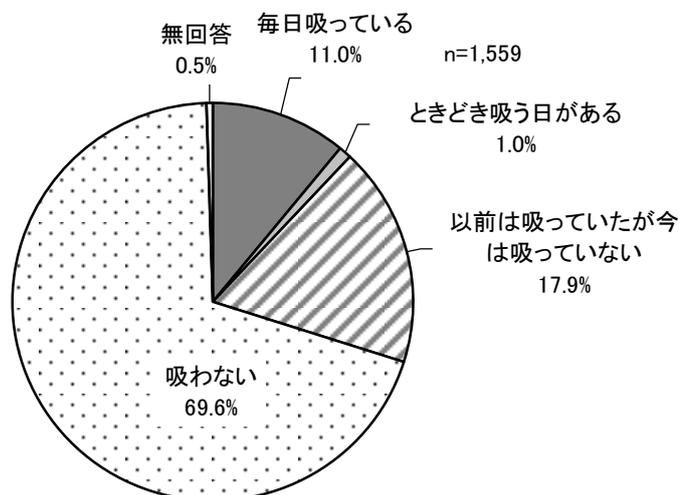
【問4】 あなたの主たる仕事（就業）は、どれにあたりますか。



2 喫煙・受動喫煙の状況

2-1 喫煙状況と禁煙意向

【問5】あなたは、たばこ（加熱式たばこも含む）を吸いますか。



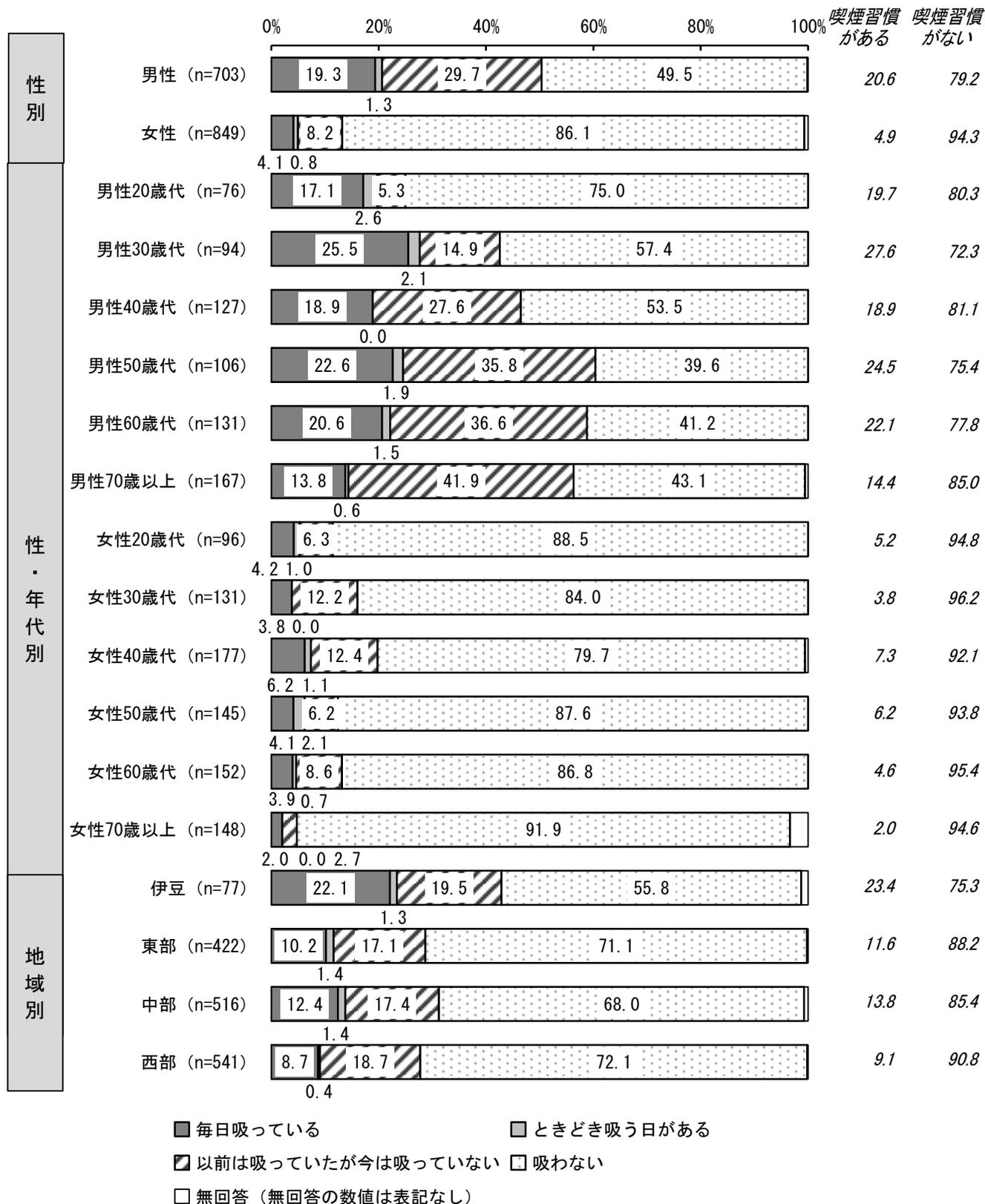
喫煙状況について、全体では「毎日吸っている」11.0%と「ときどき吸う日がある」1.0%を合わせた喫煙習慣があるとの回答は 12.0%となっている。「以前は吸っていたが今は吸っていない」17.9%と「吸わない」69.6%を合わせた喫煙習慣がないとの回答は 87.5%となっている。

性別では、喫煙習慣があるとの回答は男性が 20.6%、女性が 4.9%と男性の方が 15.7ポイント高くなっている。

性・年代別では、喫煙習慣があるとの回答が最も高いのは男性では、30歳代 27.6%、最も低いのは70歳以上 14.4%となっている。喫煙習慣があるとの回答が最も高いのは女性では、40歳代 7.3%、最も低いのは70歳以上 2.0%となっている。

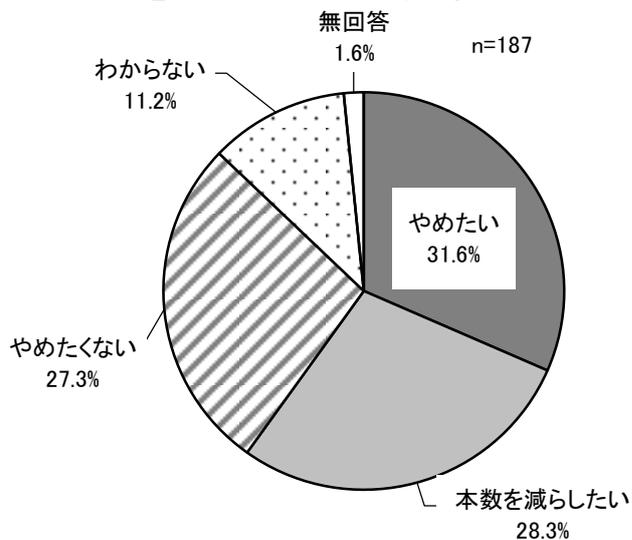
地域別では、喫煙習慣があるとの回答が最も高いのは伊豆 23.4%、最も低いのは西部 9.1%となっている。

受動喫煙に関する県民意識調査



(問5で1又は2と答えた方のみ回答)

【問5-2】あなたは、たばこをやめたいと思いますか。



喫煙習慣がある方に、たばこをやめたいと思いますかとたずねたところ、全体では「やめたい」31.6%、「本数を減らしたい」28.3%、「やめたくない」27.3%、「わからない」11.2%の順となっている。

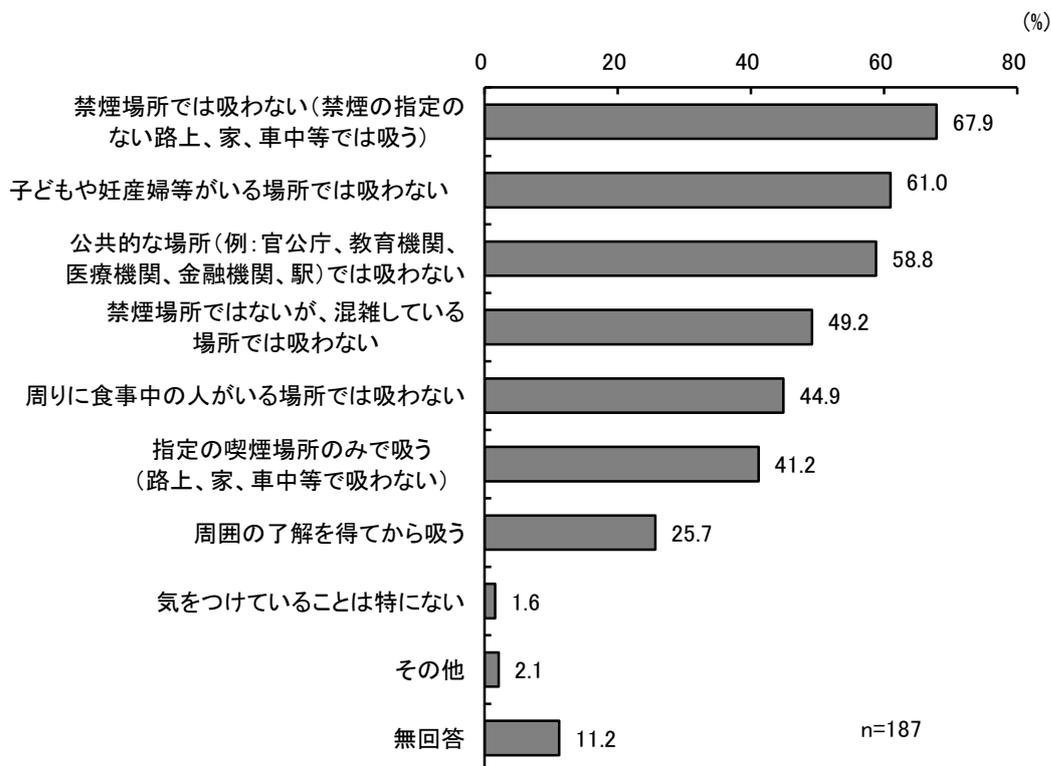
性別では、「やめたい」は男性が29.0%、女性が40.5%となっている。

性・年代別では、「やめたい」との回答が最も高いのは男性では、70歳以上50.0%、最も低いのは50歳代15.4%となっている。「やめたい」との回答が最も高いのは女性では、30歳代80.0%、最も低いのは70歳以上0.0%となっている。

地域別では、「やめたい」との回答が最も高いのは東部42.9%、最も低いのは西部20.4%となっている。

(問5で1又は2と答えた方のみ回答)

【問5-3】あなたは、たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)



喫煙習慣がある方に、たばこを吸うときに気をつけていることは、全体では「禁煙場所では吸わない(禁煙の指定のない路上、家、車中等では吸う)」67.9%、「子どもや妊産婦等がいる場所では吸わない」61.0%、「公共的な場所(例:官公庁、教育機関、医療機関、金融機関、駅)では吸わない」58.8%、「禁煙場所ではないが、混雑している場所では吸わない」49.2%、「周りに食事の人がいる場所では吸わない」44.9%の順となっている。

性別では、男女共に「禁煙場所では吸わない(禁煙の指定のない路上、家、車中等では吸う)」が第1位であり、男性が67.6%、女性が69.0%となっている。

地域別では、「禁煙場所では吸わない(禁煙の指定のない路上、家、車中等では吸う)」との回答が最も高いのは西部81.6%、最も低いのは東部59.2%となっている。

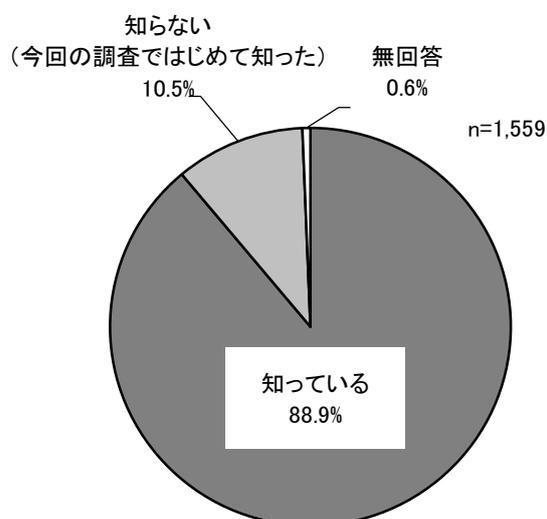
受動喫煙に関する県民意識調査

(%)

	回答者数	は指定のない路上、家、車中等で吸わない	禁煙場所では吸わない(禁煙の指定のない路上、家、車中等で吸わない)	子どもや妊産婦等がいる場所では吸わない	公共的な場所(例：官公庁、駅)では吸わない	公共的な場所(例：官公庁、駅)では吸わないが、混雑している場所では吸わない	禁煙場所ではないが、周囲に喫煙中の人がいる場所では吸わない	指定の喫煙場所のみで吸わない(路上、家、車中等で吸わない)	周囲の了解を得てから吸う	気をつけていることは特にない	その他	無回答
全体	187	67.9	61.0	58.8	49.2	44.9	41.2	25.7	1.6	2.1	11.2	
性別	男性	67.6	62.1	58.6	49.0	45.5	41.4	20.0	2.1	0.7	9.0	
	女性	69.0	57.1	59.5	50.0	42.9	40.5	45.2	0.0	7.1	19.0	
性・年代別	男性20歳代	53.3	53.3	46.7	26.7	33.3	33.3	33.3	6.7	0.0	20.0	
	男性30歳代	65.4	65.4	53.8	42.3	50.0	34.6	15.4	3.8	0.0	11.5	
	男性40歳代	75.0	66.7	50.0	45.8	41.7	41.7	20.8	4.2	0.0	12.5	
	男性50歳代	80.8	69.2	69.2	57.7	53.8	46.2	26.9	0.0	0.0	7.7	
	男性60歳代	69.0	65.5	62.1	55.2	44.8	34.5	17.2	0.0	0.0	6.9	
	男性70歳以上	54.2	45.8	62.5	54.2	41.7	54.2	12.5	0.0	4.2	0.0	
	女性20歳代	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	
	女性30歳代	100.0	80.0	80.0	60.0	60.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	
	女性40歳代	92.3	76.9	84.6	61.5	53.8	53.8	53.8	0.0	0.0	0.0	
	女性50歳代	55.6	44.4	55.6	55.6	44.4	33.3	33.3	0.0	11.1	33.3	
	女性60歳代	57.1	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	28.6	0.0	0.0	42.9	
女性70歳以上	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3		
地域別	伊豆	72.2	77.8	72.2	61.1	61.1	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1	
	東部	59.2	59.2	51.0	46.9	44.9	42.9	18.4	2.0	4.1	12.2	
	中部	63.4	52.1	57.7	43.7	36.6	42.3	29.6	2.8	0.0	14.1	
	西部	81.6	69.4	63.3	55.1	51.0	36.7	24.5	0.0	4.1	6.1	

2-2 「受動喫煙」という言葉の認知度

【問6】あなたは「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。



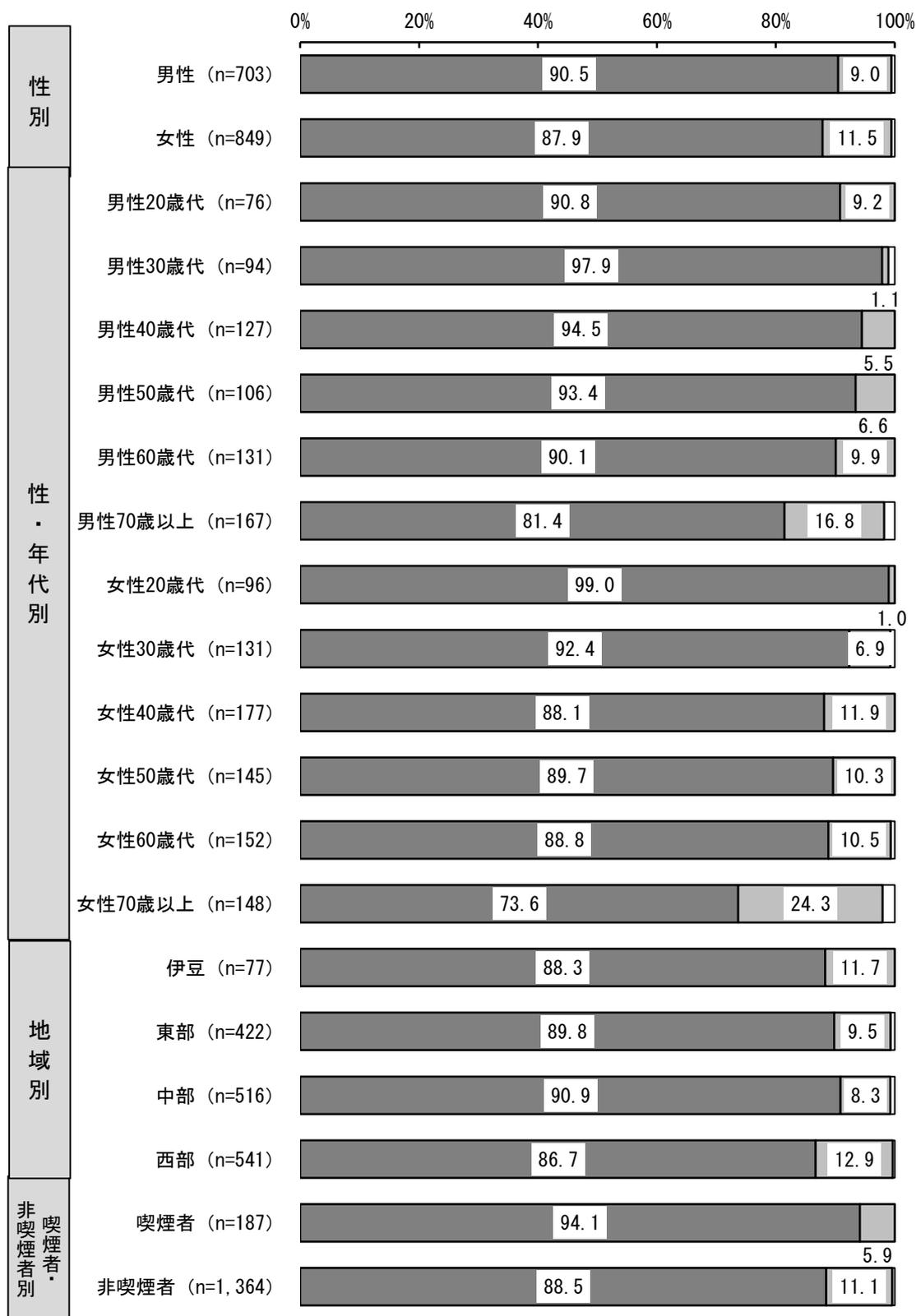
「受動喫煙」という言葉の認知度について、全体では「知っている」88.9%、「知らない(今回の調査ではじめて知った)」10.5%となっている。

性別では、「知っている」は男性が90.5%、女性が87.9%となっている。

性・年代別では、「知らない(今回の調査ではじめて知った)」との回答が男性70歳以上16.8%、女性70歳以上24.3%と他の性・年代より高くなっている。

地域別では、「知っている」との回答が最も高いのは中部90.9%、最も低いのは西部86.7%となっている。

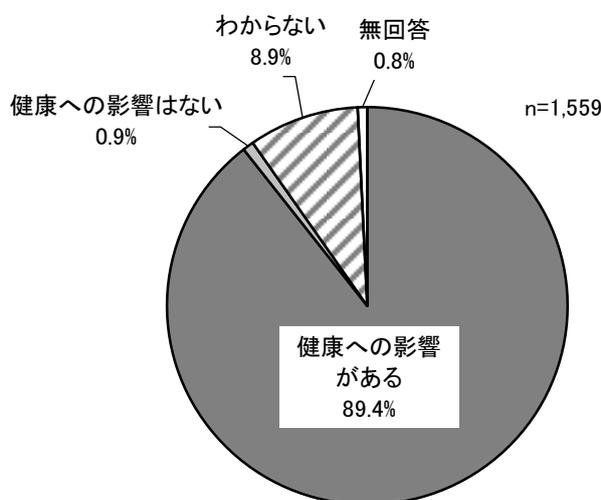
喫煙者・非喫煙者別では、「知っている」との回答は、喫煙者が94.1%、非喫煙者が88.5%となっている。



知っている
 知らない (今回の調査ではじめて知った)
 無回答 (無回答の数値は表記なし)

2-3 受動喫煙が健康に与える影響

【問7】あなたは、受動喫煙が健康へあたえる影響について、どのように思いますか。



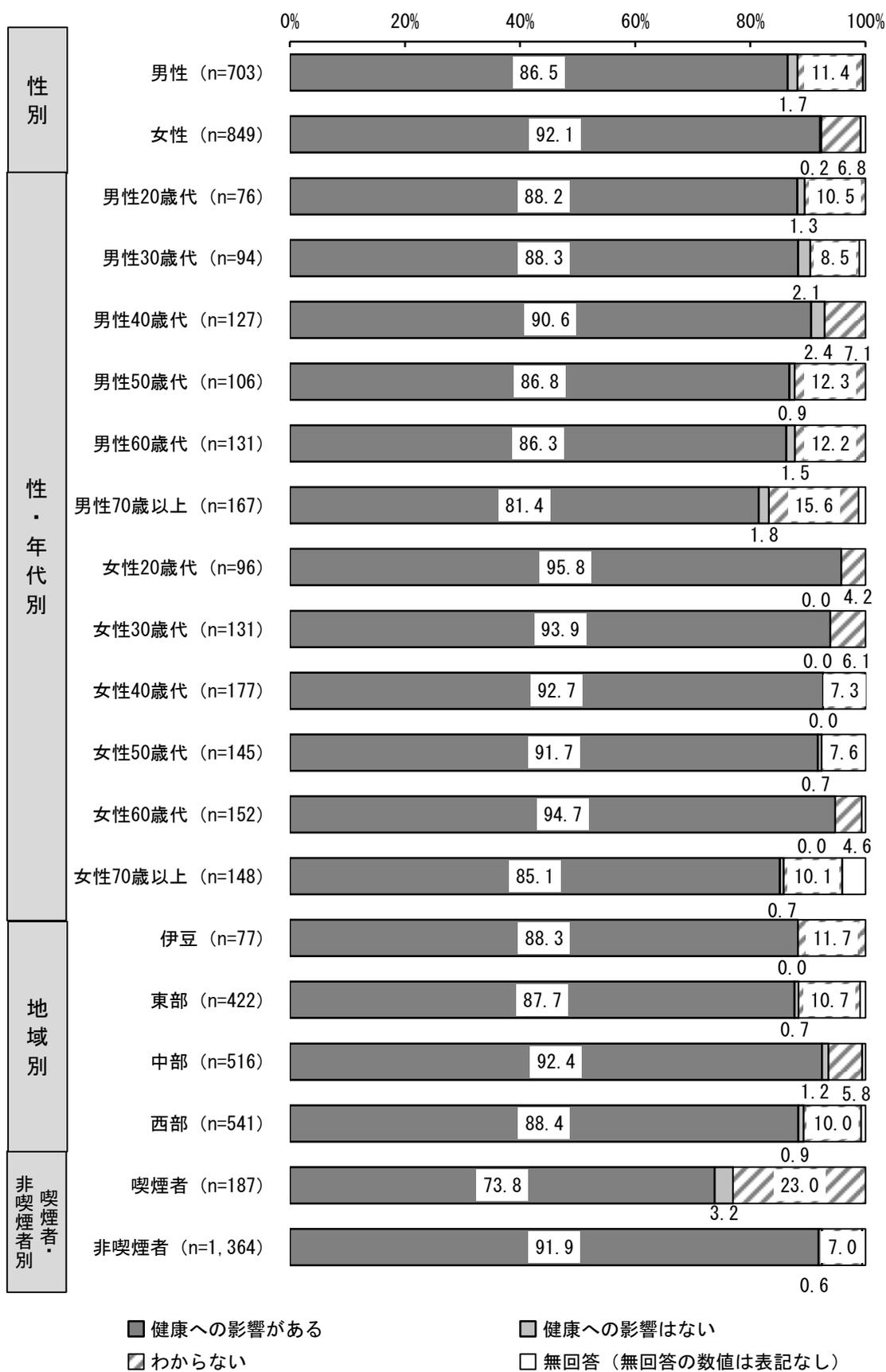
受動喫煙が健康に与える影響について、全体では「健康への影響がある」89.4%、「健康への影響はない」0.9%、「わからない」8.9%となっている。

性別では、「健康への影響がある」は男性が86.5%、女性が92.1%と女性の方が5.6ポイント高くなっている。

性・年代別では、「健康への影響がある」との回答が最も高いのは男性では、40歳代90.6%、最も低いのは70歳以上81.4%となっている。「健康への影響がある」との回答が最も高いのは女性では、20歳代95.8%、最も低いのは70歳以上85.1%となっている。

地域別では、「健康への影響がある」との回答が最も高いのは中部92.4%、最も低いのは東部87.7%となっている。

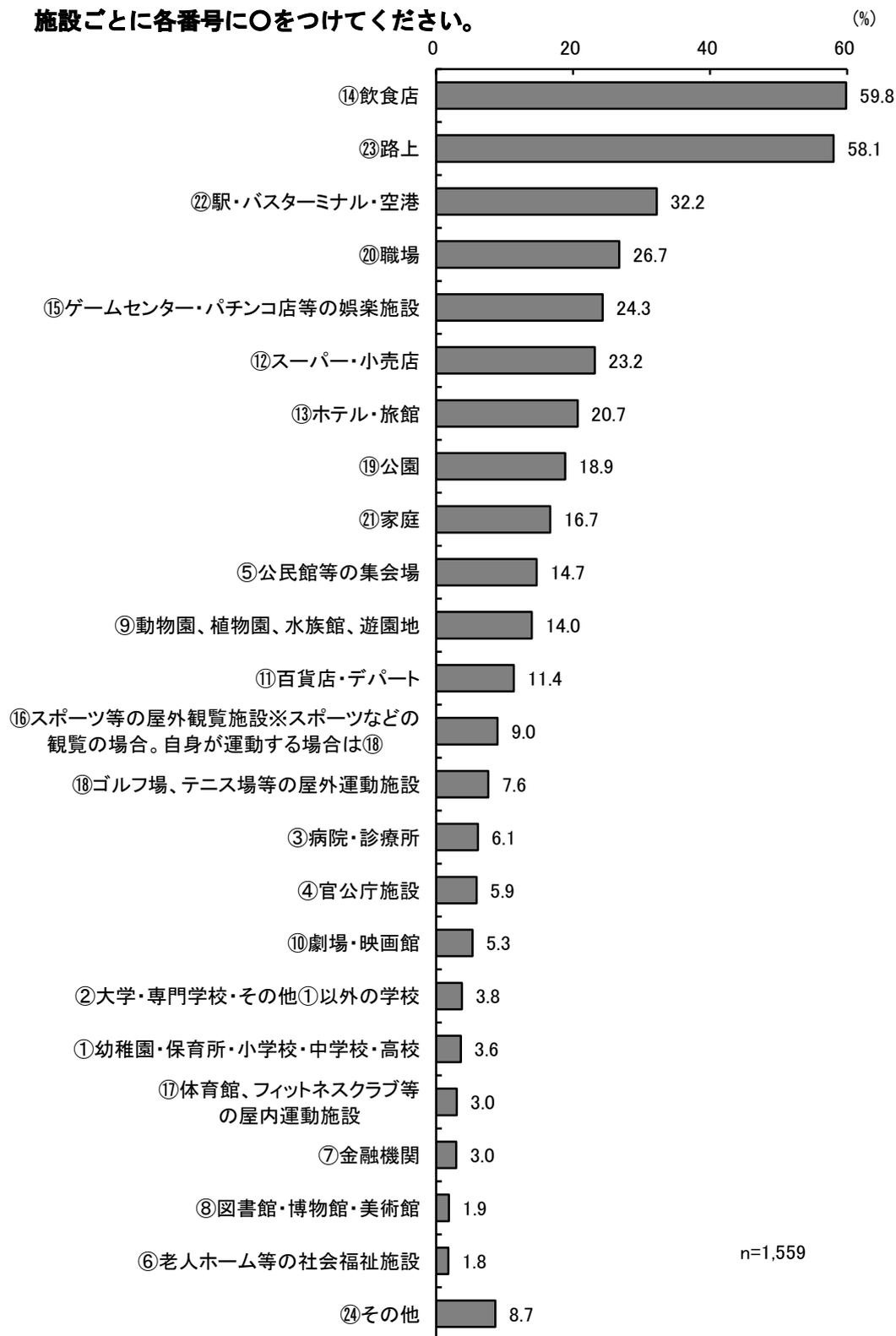
喫煙者・非喫煙者別では、「健康への影響がある」との回答は、喫煙者が73.8%、非喫煙者が91.9%となっている。「わからない」との回答は、喫煙者が23.0%、非喫煙者が7.0%となっている。



2-4 受動喫煙の状況

【問8】あなたは、過去1年の間に、どのようなところで受動喫煙にあいましたか。

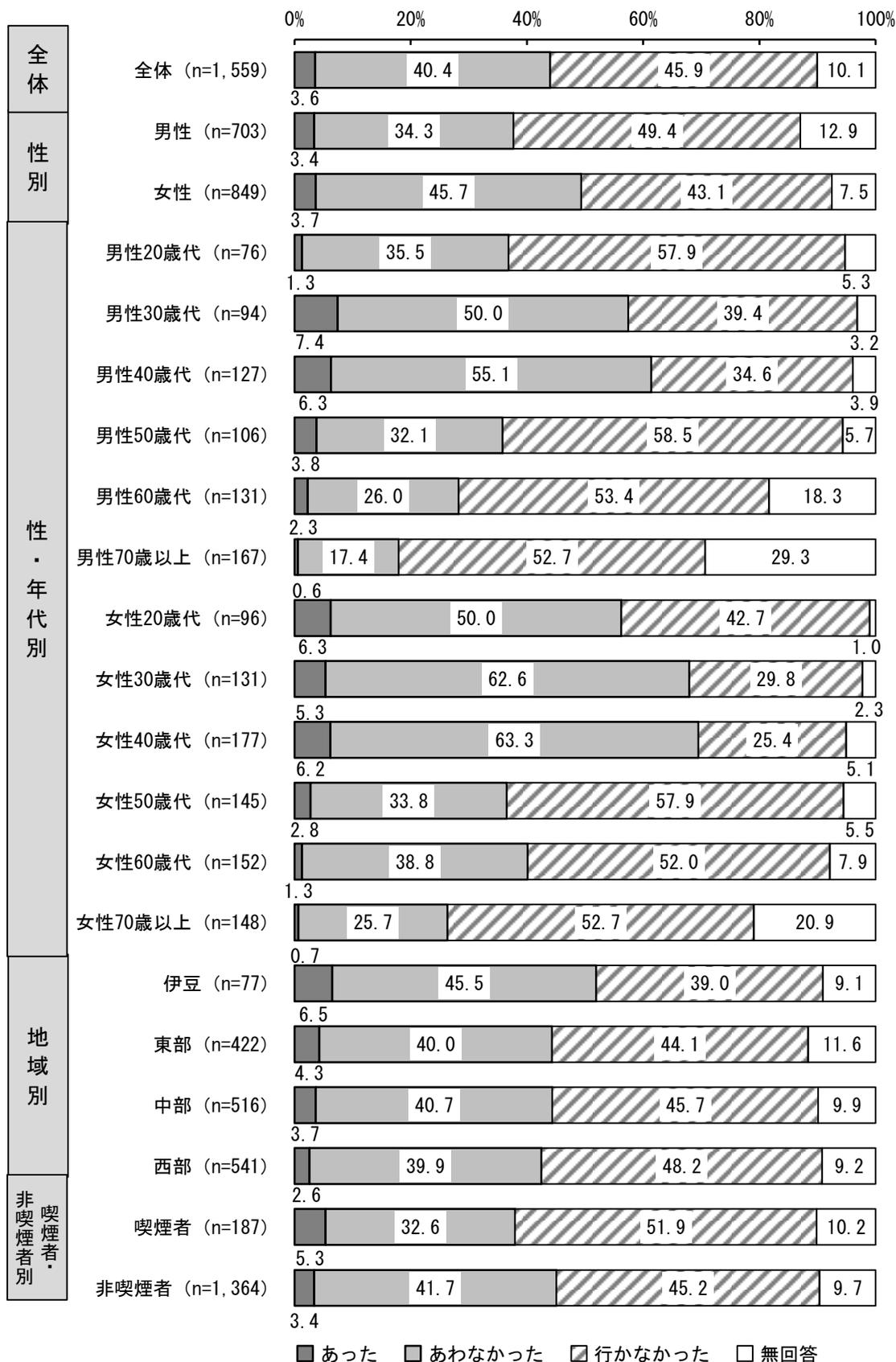
施設ごとに各番号に○をつけてください。



※グラフ左の①～⑳は選択肢の番号を示している。

過去1年間の受動喫煙の状況について、全体では「あった」の上位10項目は、「飲食店」59.8%、「路上」58.1%、「駅・バスターミナル・空港」32.2%、「職場」26.7%、「ゲームセンター・パチンコ店等の娯楽施設」24.3%、「スーパー・小売店」23.2%、「ホテル・旅館」20.7%、「公園」18.9%、「家庭」16.7%、「公民館等の集会場」14.7%の順となっている。

①幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校での受動喫煙の状況



幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校での受動喫煙の状況について、全体では「あった」3.6%、「あわなかった」40.4%、「行かなかった」45.9%となっている。

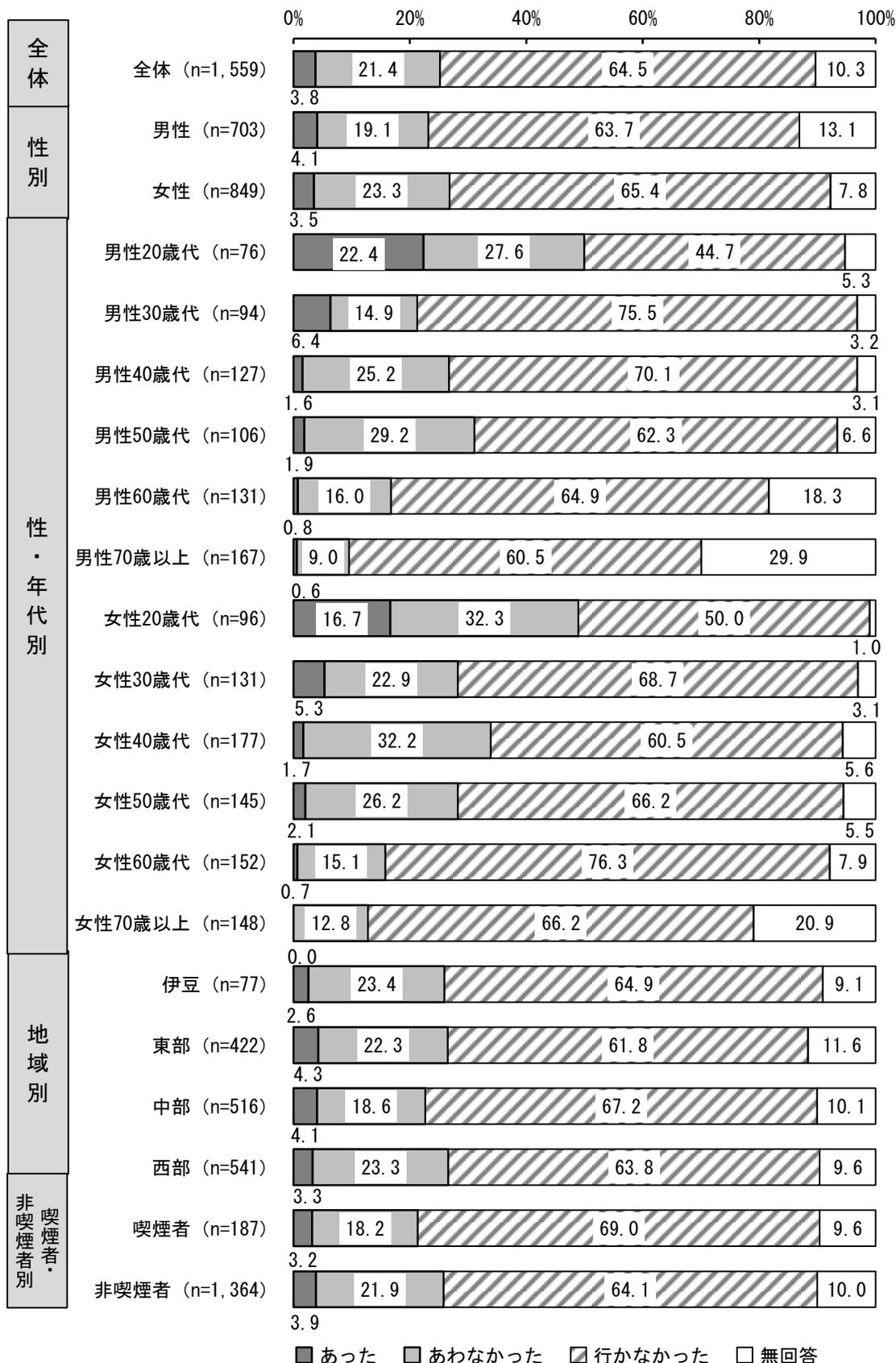
性別では、「あった」は男性が3.4%、女性が3.7%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、30歳代7.4%、最も低いのは70歳以上0.6%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代6.3%、最も低いのは70歳以上0.7%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆6.5%、最も低いのは西部2.6%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が5.3%、非喫煙者が3.4%となっている。

②大学・専門学校・その他①以外の学校



大学・専門学校・その他（幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校以外の学校）以外の学校での受動喫煙の状況について、全体では「あった」3.8%、「あわなかった」21.4%、「行かなかった」64.5%となっている。

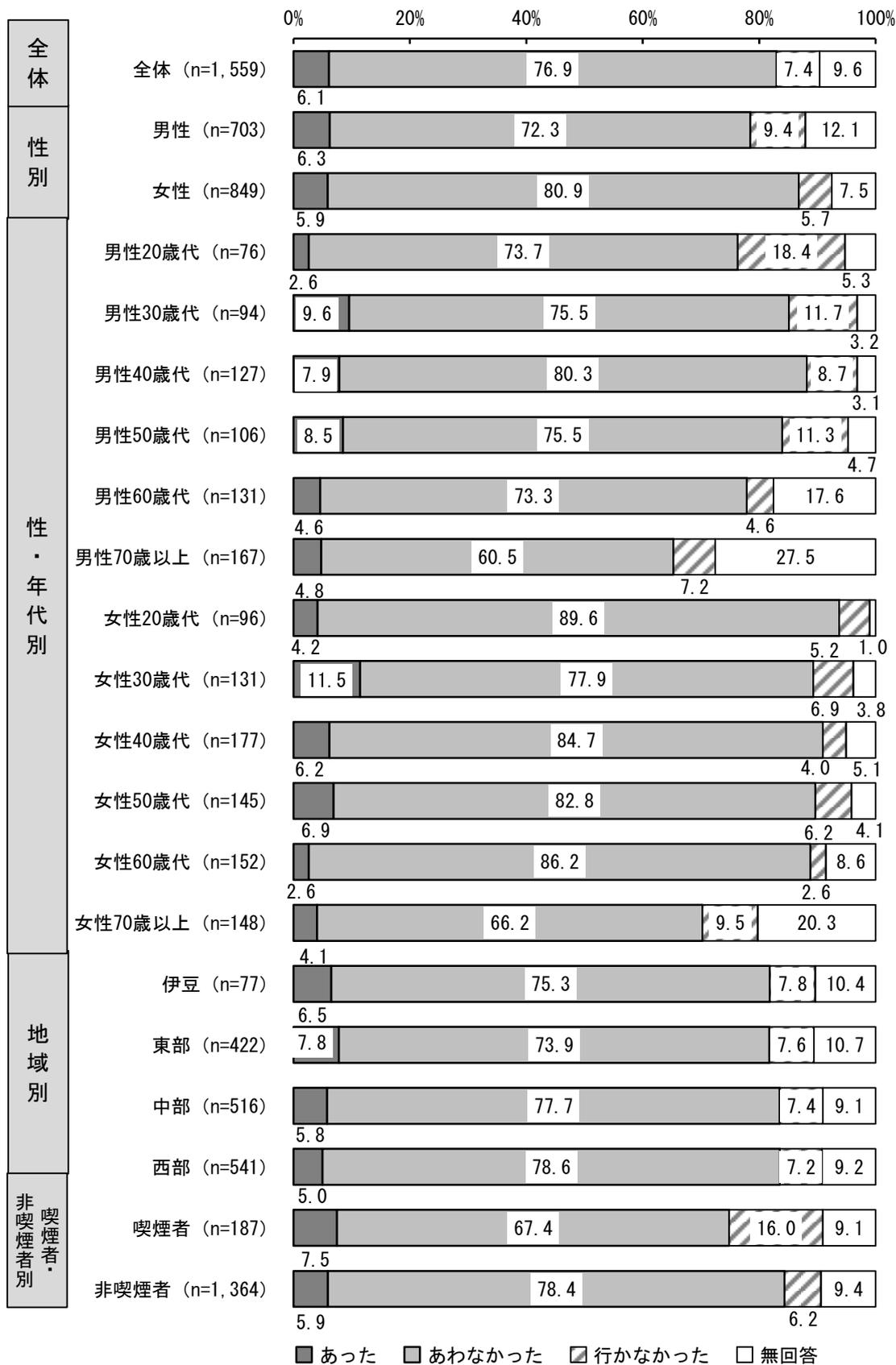
性別では、「あった」は男性が4.1%、女性が3.5%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、20歳代22.4%、最も低いのは70歳以上0.6%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代16.7%、最も低いのは70歳以上0.0%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは東部4.3%、最も低いのは伊豆2.6%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が3.2%、非喫煙者が3.9%となっている。

③病院・診療所



病院・診療所での受動喫煙の状況について、全体では「あった」6.1%、「あわなかった」76.9%、「行かなかった」7.4%となっている。

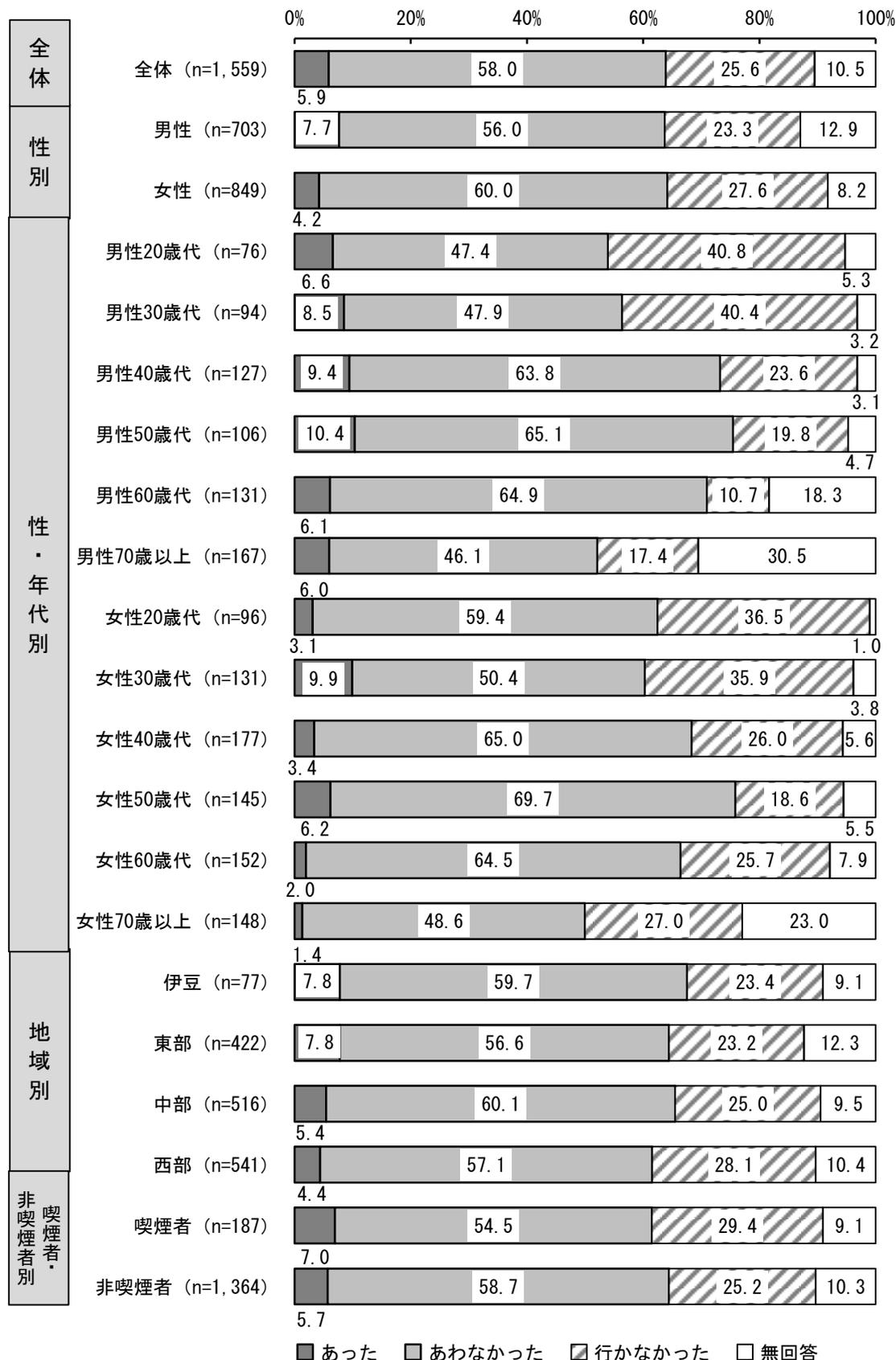
性別では、「あった」は男性が6.3%、女性が5.9%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、30歳代9.6%、最も低いのは20歳代2.6%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代11.5%、最も低いのは60歳代2.6%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは東部7.8%、最も低いのは西部5.0%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が7.5%、非喫煙者が5.9%となっている。

④官公庁施設



官公庁施設での受動喫煙の状況について、全体では「あった」5.9%、「あわなかった」58.0%、「行かなかった」25.6%となっている。

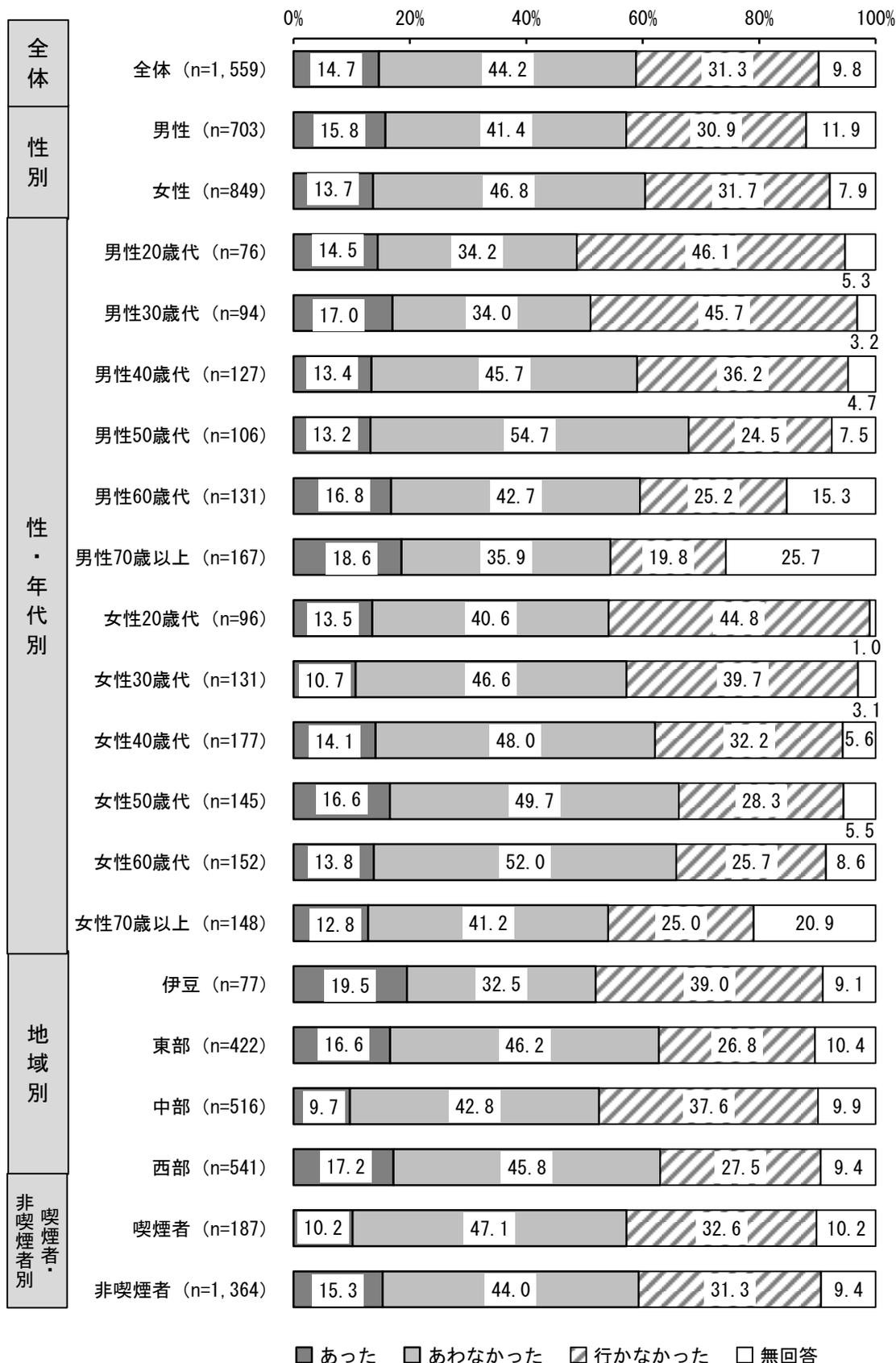
性別では、「あった」は男性が7.7%、女性が4.2%と男性の方が3.5ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、50歳代10.4%、最も低いのは70歳以上6.0%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代9.9%、最も低いのは70歳以上1.4%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆、東部7.8%、最も低いのは西部4.4%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が7.0%、非喫煙者が5.7%となっている。

⑤公民館等の集会場



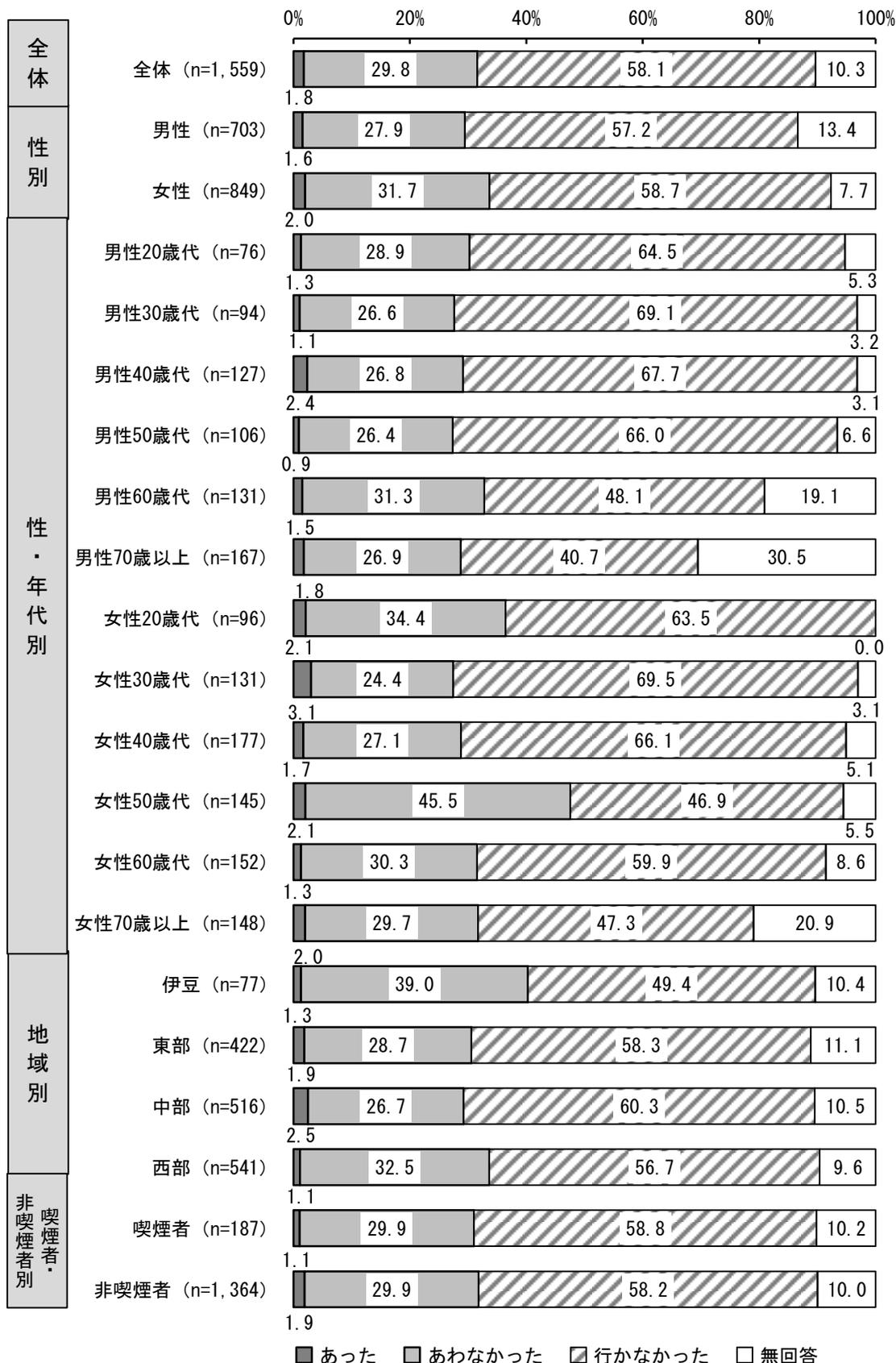
公民館等の集会場での受動喫煙の状況について、全体では「あった」14.7%、「あわなかった」44.2%、「行かなかった」31.3%となっている。

性別では、「あった」は男性が15.8%、女性が13.7%と男性の方が2.1ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、70歳以上18.6%、最も低いのは50歳代13.2%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、50歳代16.6%、最も低いのは30歳代10.7%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆19.5%、最も低いのは中部9.7%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が10.2%、非喫煙者が15.3%となっている。

⑥老人ホーム等の社会福祉施設



老人ホーム等の社会福祉施設での受動喫煙の状況について、全体では「あった」1.8%、「あわなかった」29.8%、「行かなかった」58.1%となっている。

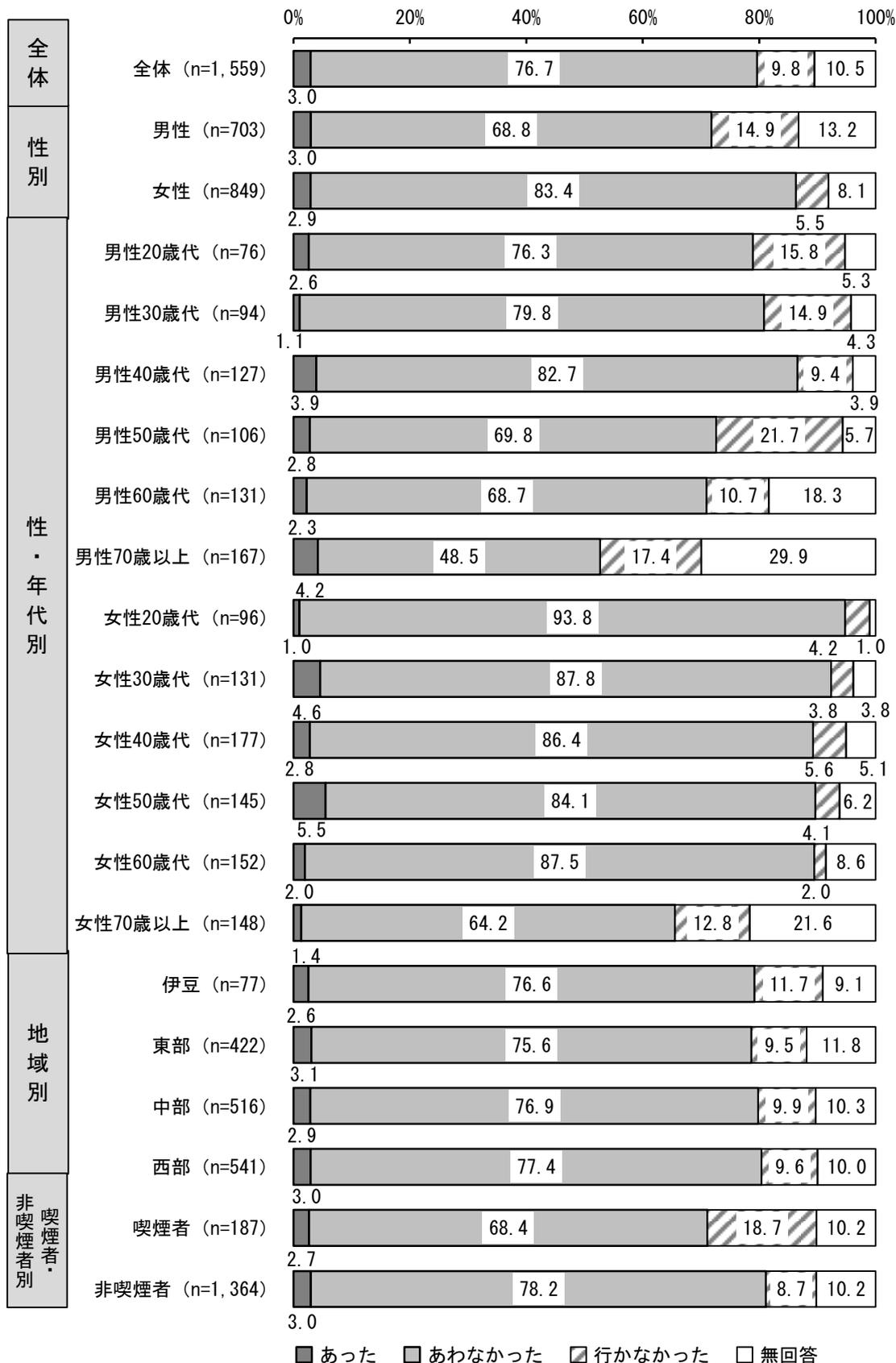
性別では、「あった」は男性が1.6%、女性が2.0%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代2.4%、最も低いのは50歳代0.9%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代3.1%、最も低いのは60歳代1.3%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは中部2.5%、最も低いのは西部1.1%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が1.1%、非喫煙者が1.9%となっている。

⑦金融機関



金融機関での受動喫煙の状況について、全体では「あった」3.0%、「あわなかった」76.7%、「行かなかった」9.8%となっている。

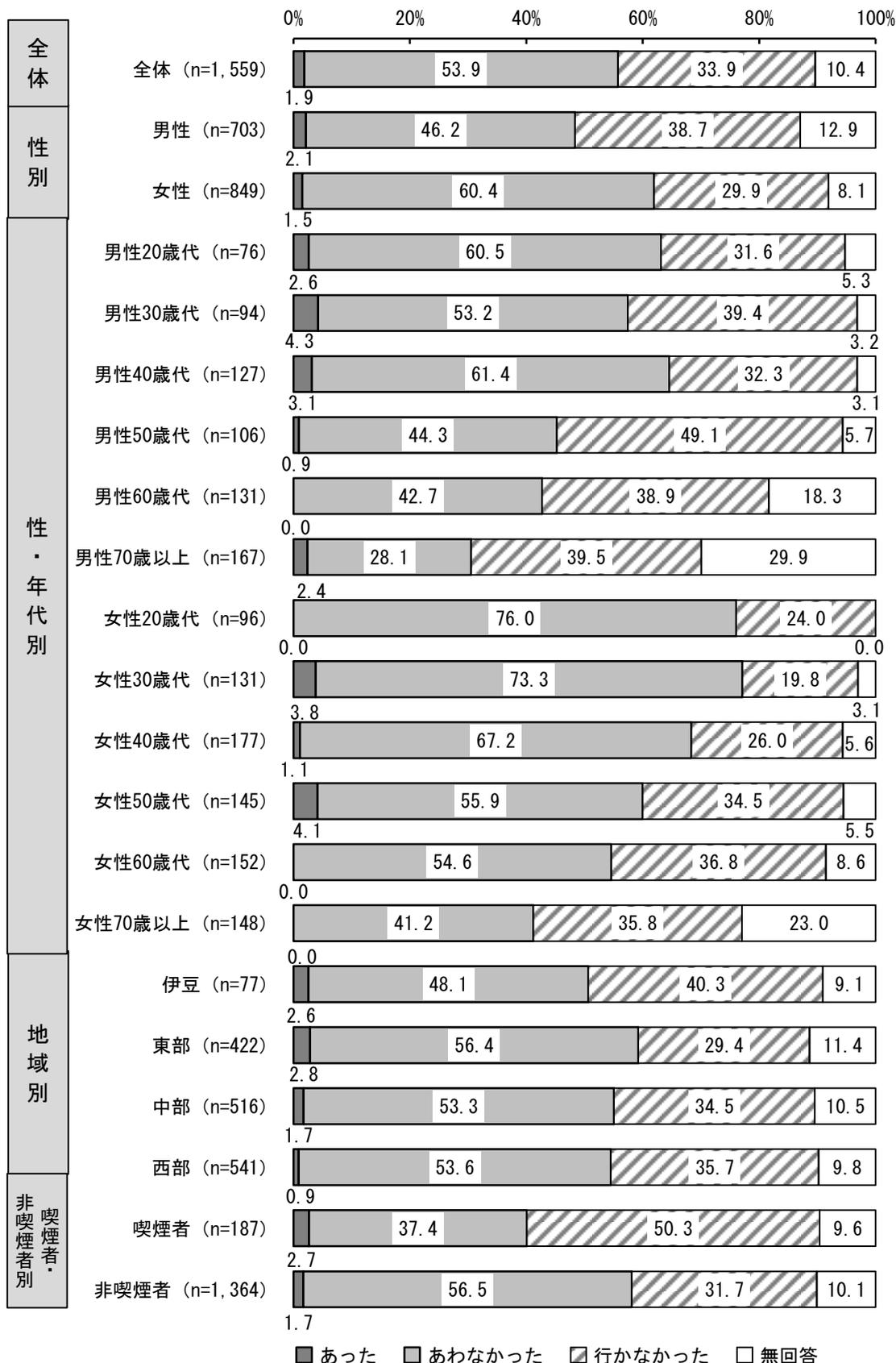
性別では、「あった」は男性が3.0%、女性が2.9%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、70歳以上4.2%、最も低いのは30歳代1.1%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、50歳代5.5%、最も低いのは20歳代1.0%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは東部3.1%、最も低いのは伊豆2.6%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が2.7%、非喫煙者が3.0%となっている。

⑧図書館・博物館・美術館



図書館・博物館・美術館での受動喫煙の状況について、全体では「あった」1.9%、「あわなかった」53.9%、「行かなかった」33.9%となっている。

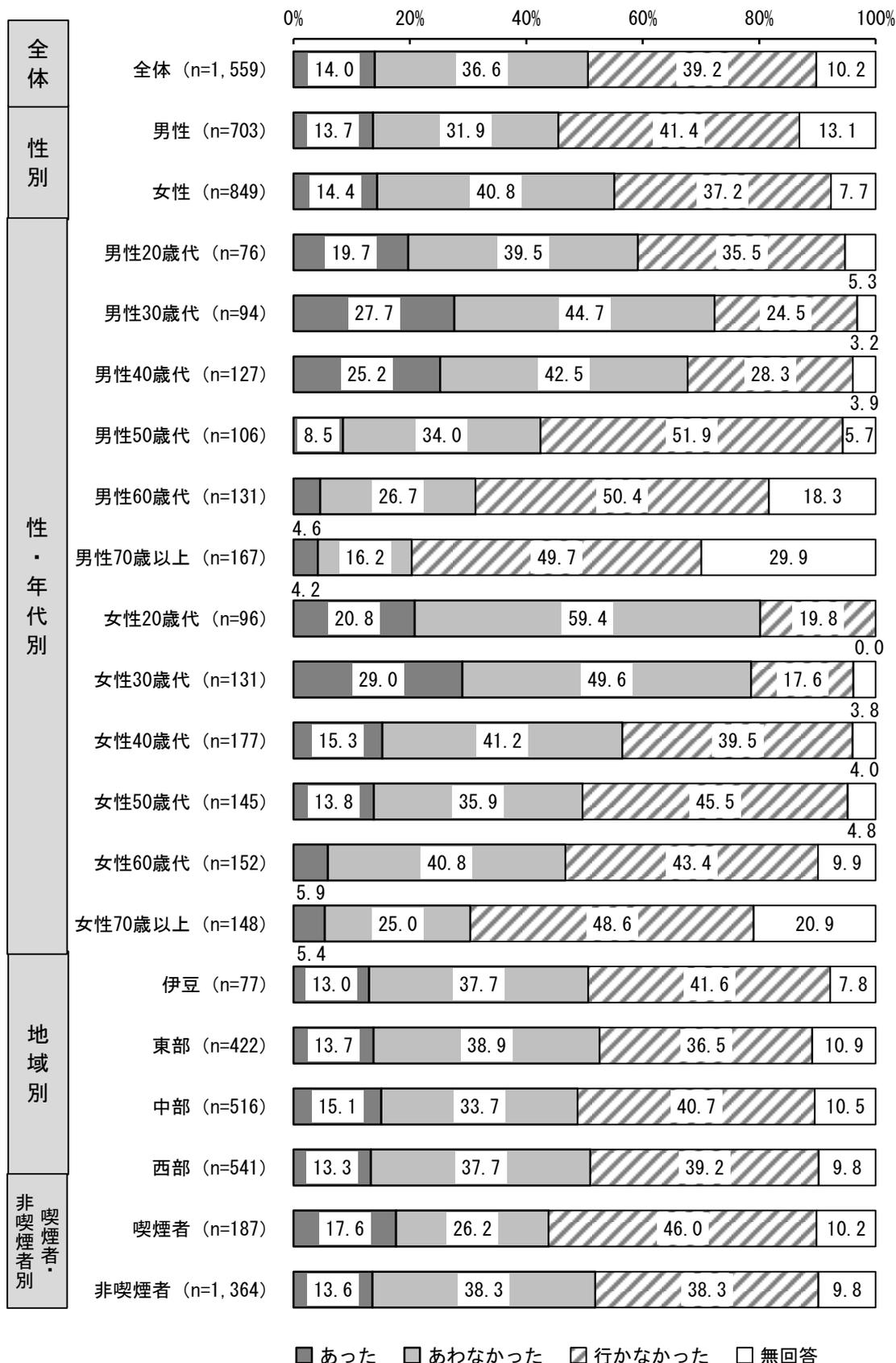
性別では、「あった」は男性が2.1%、女性が1.5%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、30歳代4.3%、最も低いのは60歳代0.0%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、50歳代4.1%、最も低いのは20歳代、60歳代、70歳以上0.0%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは東部2.8%、最も低いのは西部0.9%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が2.7%、非喫煙者が1.7%となっている。

⑨動物園、植物園、水族館、遊園地



動物園、植物園、水族館、遊園地での受動喫煙の状況について、全体では「あった」14.0%、「あわなかった」36.6%、「行かなかった」39.2%となっている。

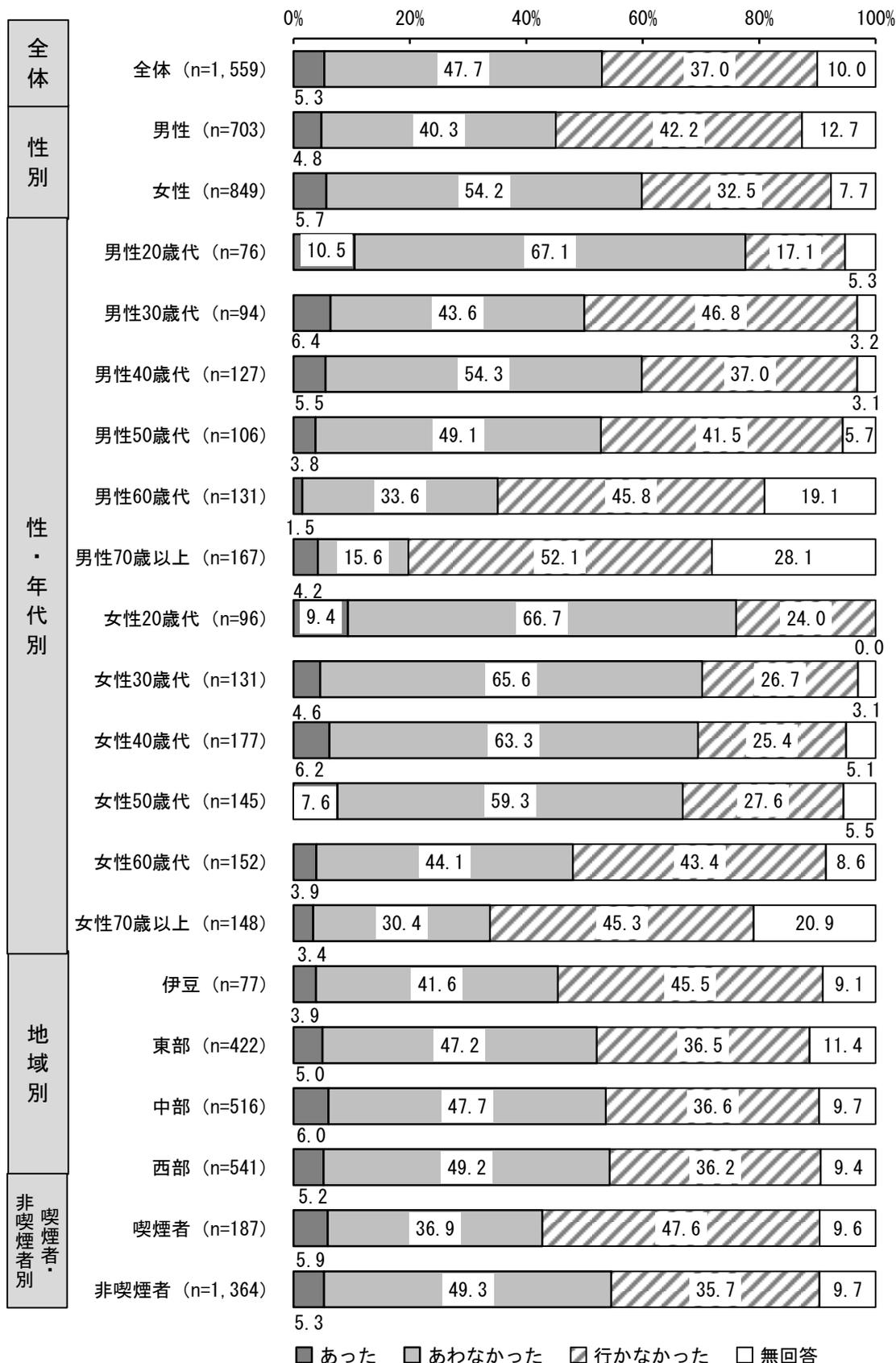
性別では、「あった」は男性が13.7%、女性が14.4%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、30歳代27.7%、最も低いのは70歳以上4.2%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代29.0%、最も低いのは70歳以上5.4%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは中部15.1%、最も低いのは伊豆13.0%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が17.6%、非喫煙者が13.6%となっている。

⑩劇場・映画館



劇場・映画館での受動喫煙の状況について、全体では「あった」5.3%、「あわなかった」47.7%、「行かなかった」37.0%となっている。

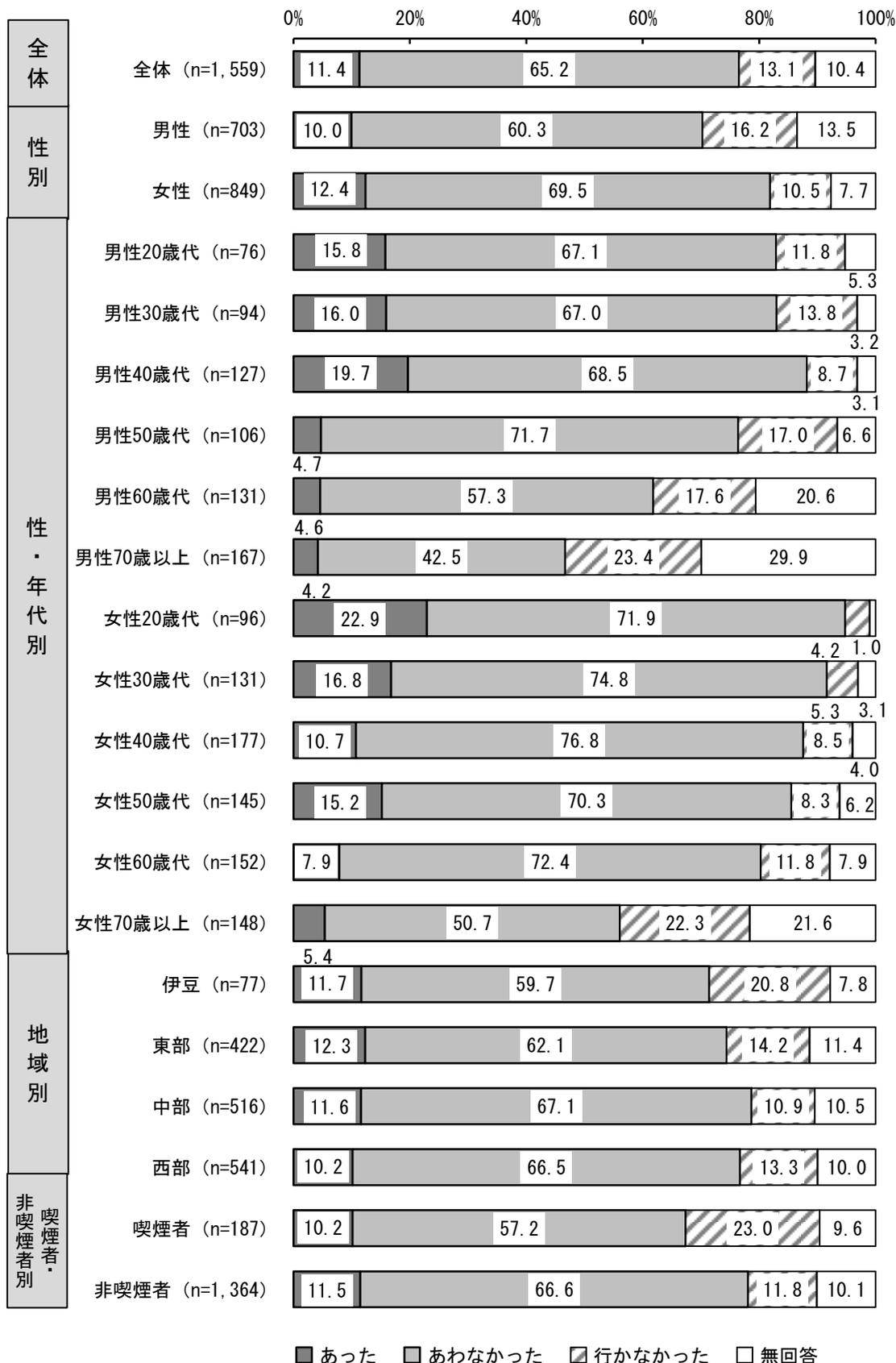
性別では、「あった」は男性が4.8%、女性が5.7%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、20歳代10.5%、最も低いのは60歳代1.5%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代9.4%、最も低いのは70歳以上3.4%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは中部6.0%、最も低いのは伊豆3.9%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が5.9%、非喫煙者が5.3%となっている。

⑪百貨店・デパート



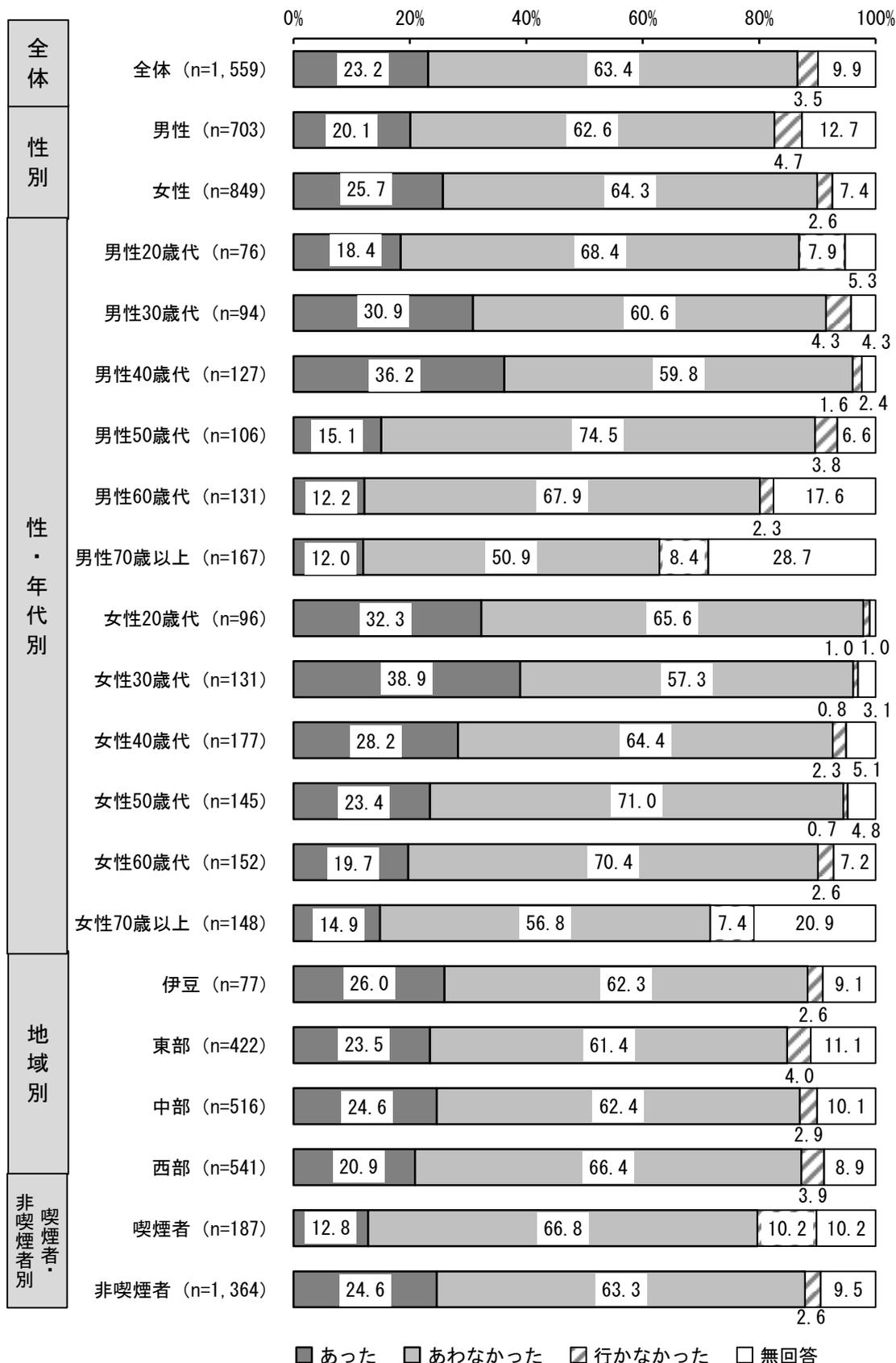
百貨店・デパートでの受動喫煙の状況について、全体では「あった」11.4%、「あわなかった」65.2%、「行かなかった」13.1%となっている。

性別では、「あった」は男性が10.0%、女性が12.4%と女性の方が2.4ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代19.7%、最も低いのは70歳以上4.2%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代22.9%、最も低いのは70歳以上5.4%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは東部12.3%、最も低いのは西部10.2%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が10.2%、非喫煙者が11.5%となっている。

⑫スーパー・小売店



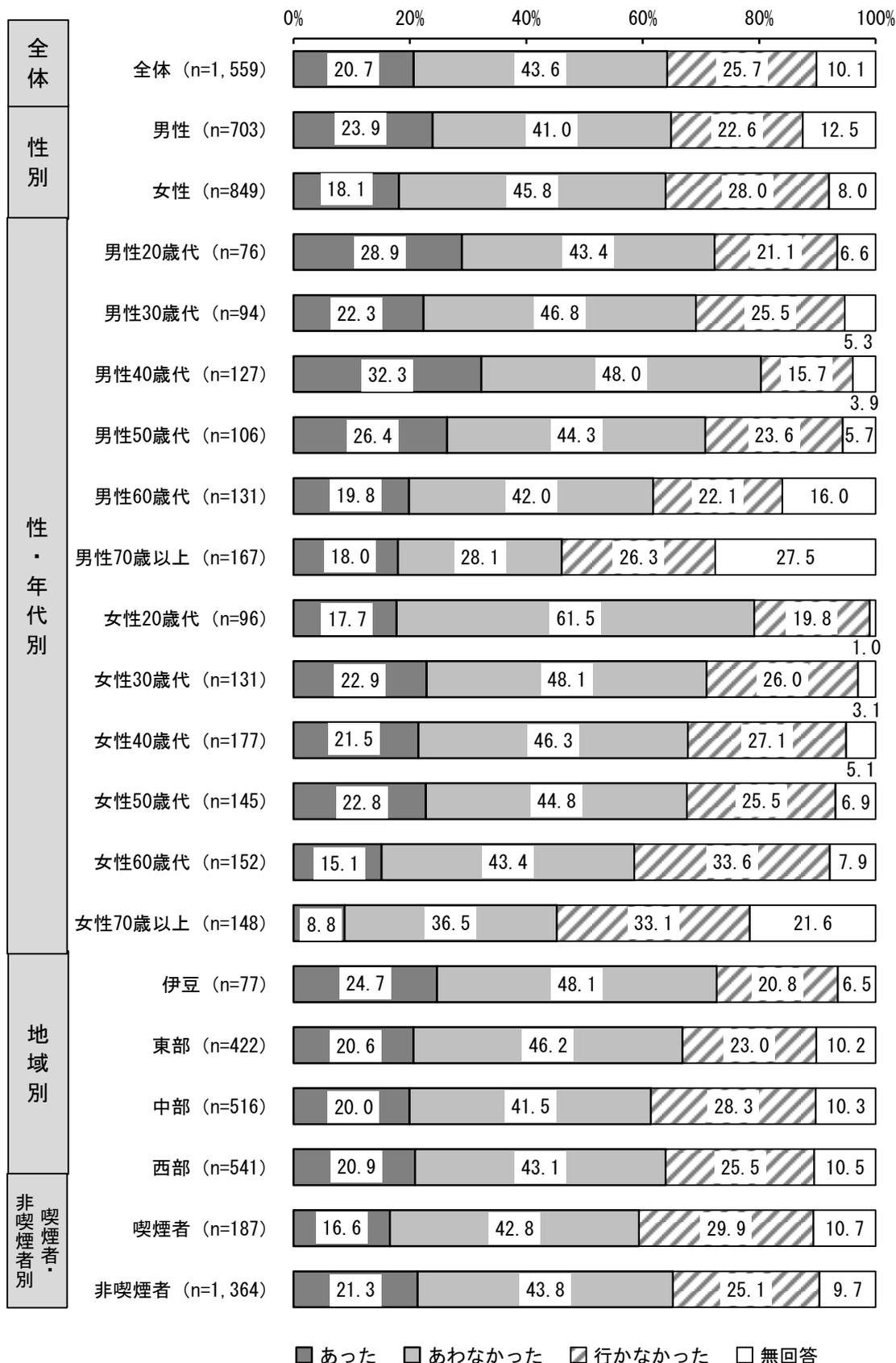
スーパー・小売店での受動喫煙の状況について、全体では「あった」23.2%、「あわなかった」63.4%、「行かなかった」3.5%となっている。

性別では、「あった」は男性が20.1%、女性が25.7%と女性の方が5.6ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代36.2%、最も低いのは70歳以上12.0%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代38.9%、最も低いのは70歳以上14.9%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆26.0%、最も低いのは西部20.9%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が12.8%、非喫煙者が24.6%となっている。

⑬ホテル・旅館



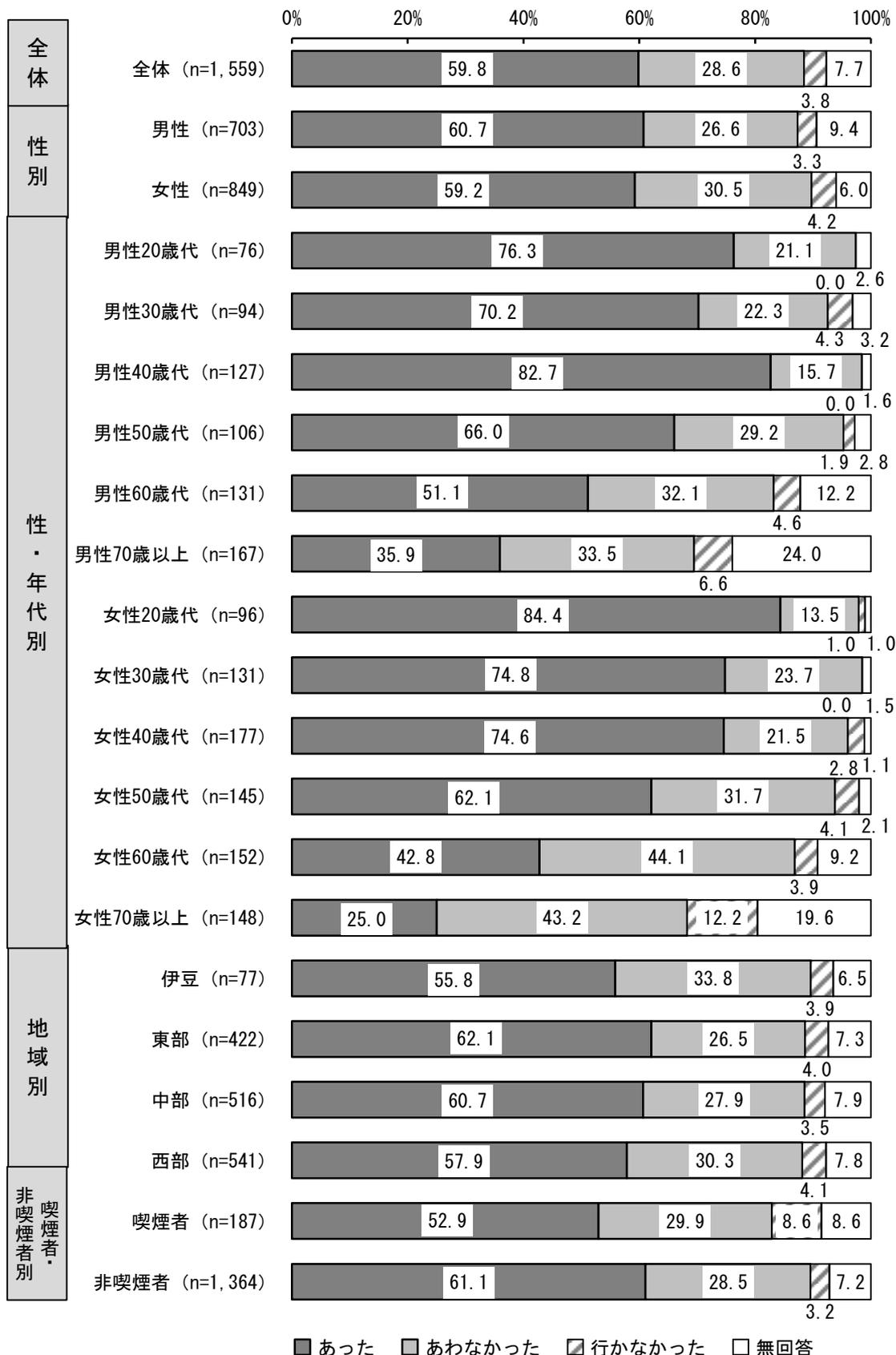
ホテル・旅館での受動喫煙の状況について、全体では「あった」20.7%、「あわなかった」43.6%、「行かなかった」25.7%となっている。

性別では、「あった」は男性が23.9%、女性が18.1%と男性の方が5.8ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代32.3%、最も低いのは70歳以上18.0%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代22.9%、最も低いのは70歳以上8.8%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆24.7%、最も低いのは中部20.0%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が16.6%、非喫煙者が21.3%となっている。

⑭ 飲食店



飲食店での受動喫煙の状況について、全体では「あった」59.8%、「あわなかった」28.6%、「行かなかった」3.8%となっている。

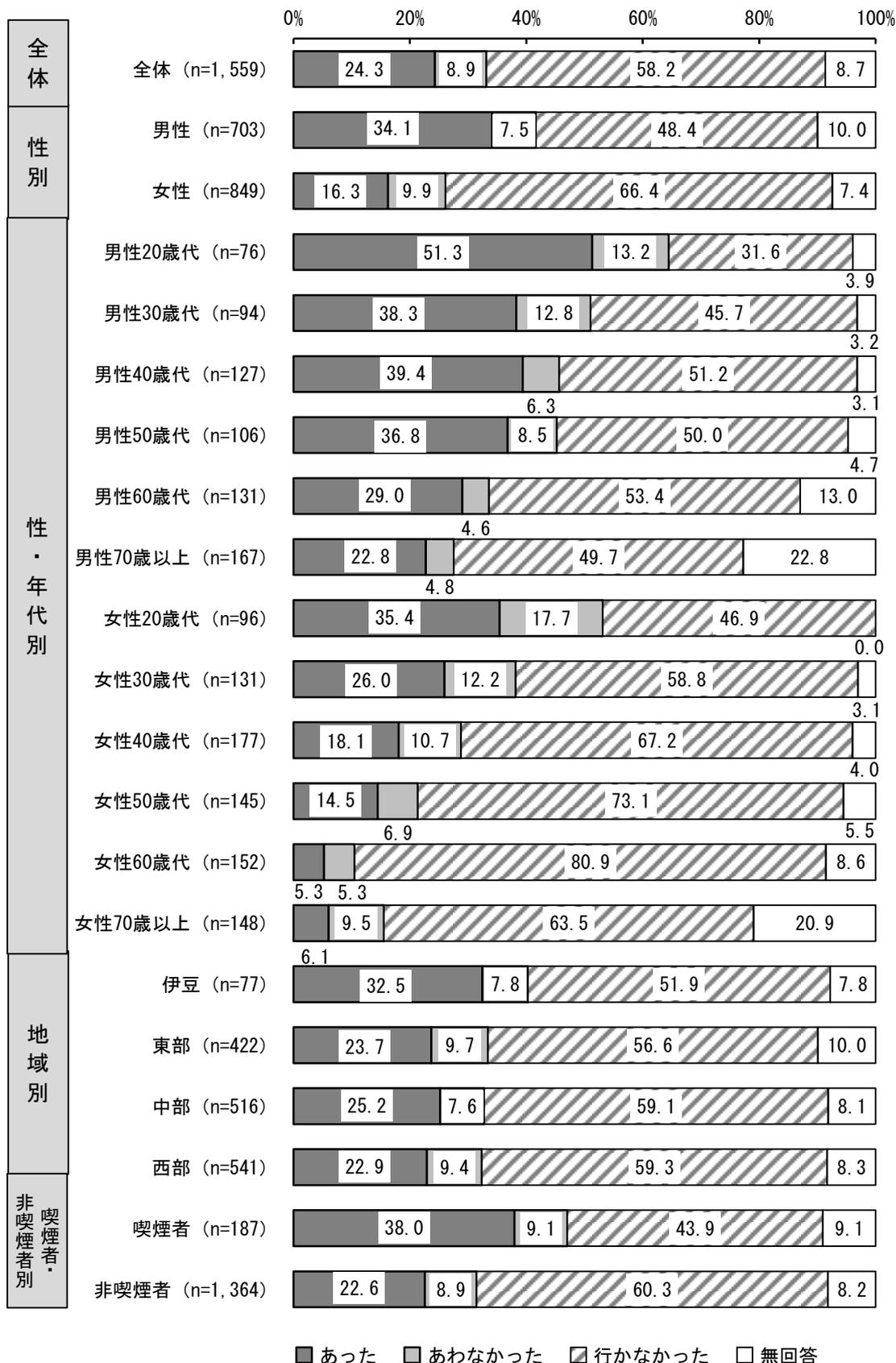
性別では、「あった」は男性が60.7%、女性が59.2%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代82.7%、最も低いのは70歳以上35.9%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代84.4%、最も低いのは70歳以上25.0%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは東部62.1%、最も低いのは伊豆55.8%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が52.9%、非喫煙者が61.1%となっている。

⑮ゲームセンター・パチンコ店等の娯楽施設



ゲームセンター・パチンコ店等の娯楽施設での受動喫煙の状況について、全体では「あった」24.3%、「あわなかった」8.9%、「行かなかった」58.2%となっている。

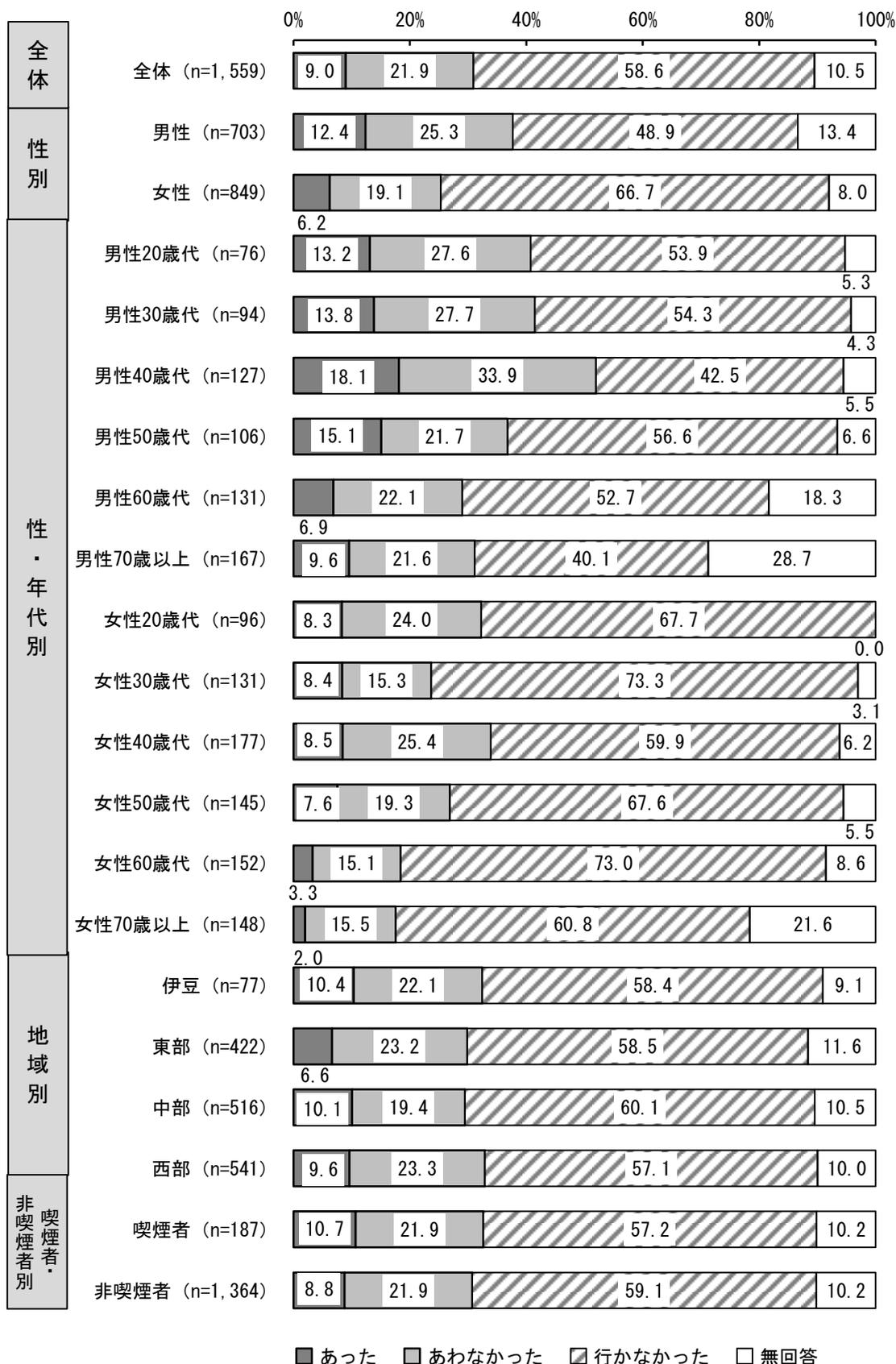
性別では、「あった」は男性が34.1%、女性が16.3%と男性の方が17.8ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、20歳代51.3%、最も低いのは70歳以上22.8%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代35.4%、最も低いのは60歳代5.3%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆32.5%、最も低いのは西部22.9%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が38.0%、非喫煙者が22.6%となっている。

⑩スポーツ等の屋外観覧施設

※スポーツなどの観覧の場合。自身が運動する場合は⑩

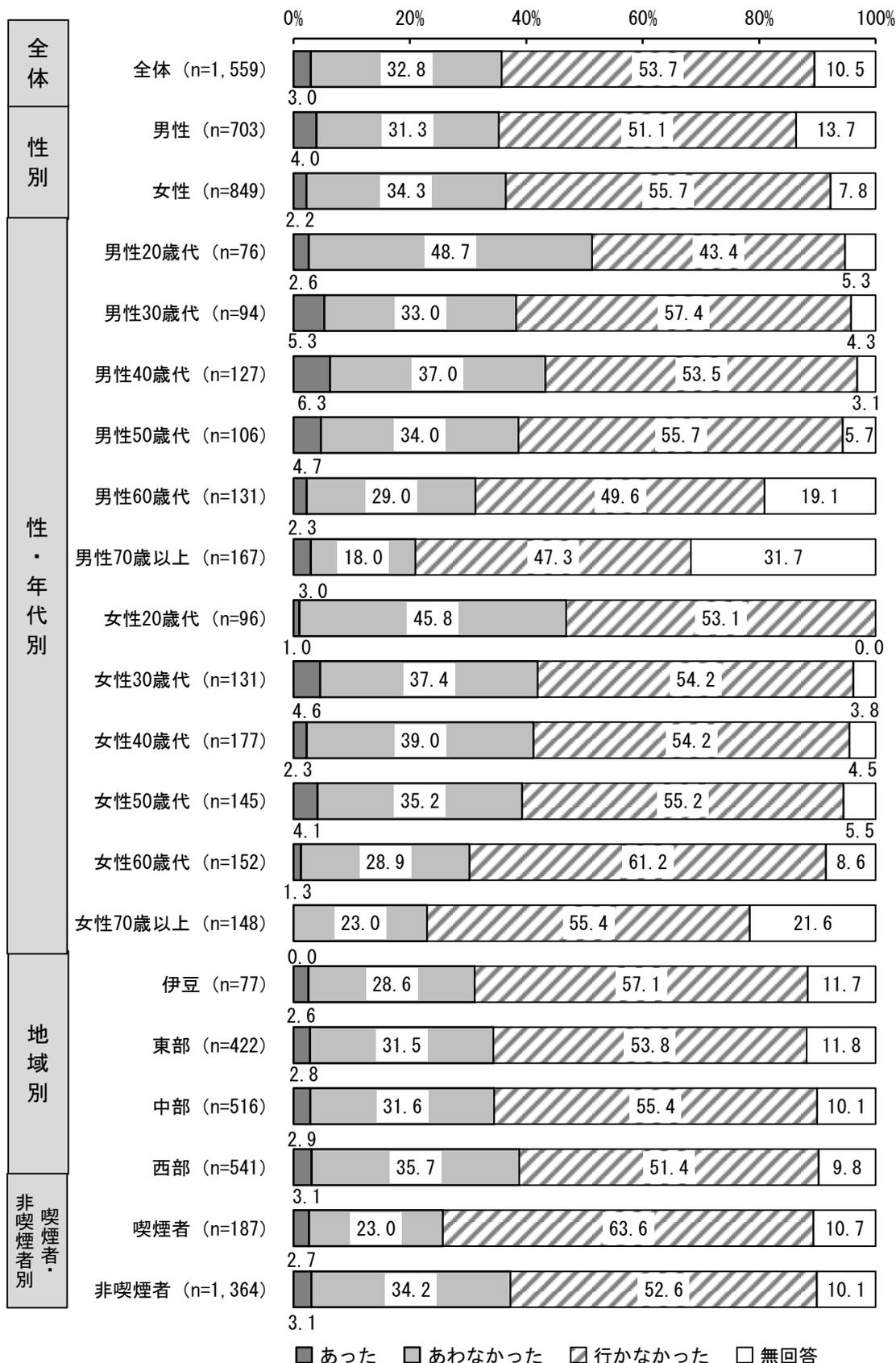


スポーツ等の屋外観覧施設での受動喫煙の状況について、全体では「あった」9.0%、「あわなかった」21.9%、「行かなかった」58.6%となっている。

性別では、「あった」は男性が12.4%、女性が6.2%と男性の方が6.2ポイント高くなっている。
性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代18.1%、最も低いのは60歳代6.9%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、40歳代8.5%、最も低いのは70歳以上2.0%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆10.4%、最も低いのは東部6.6%となっている。
喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が10.7%、非喫煙者が8.8%となっている。

⑰ 体育館、フィットネスクラブ等の屋内運動施設

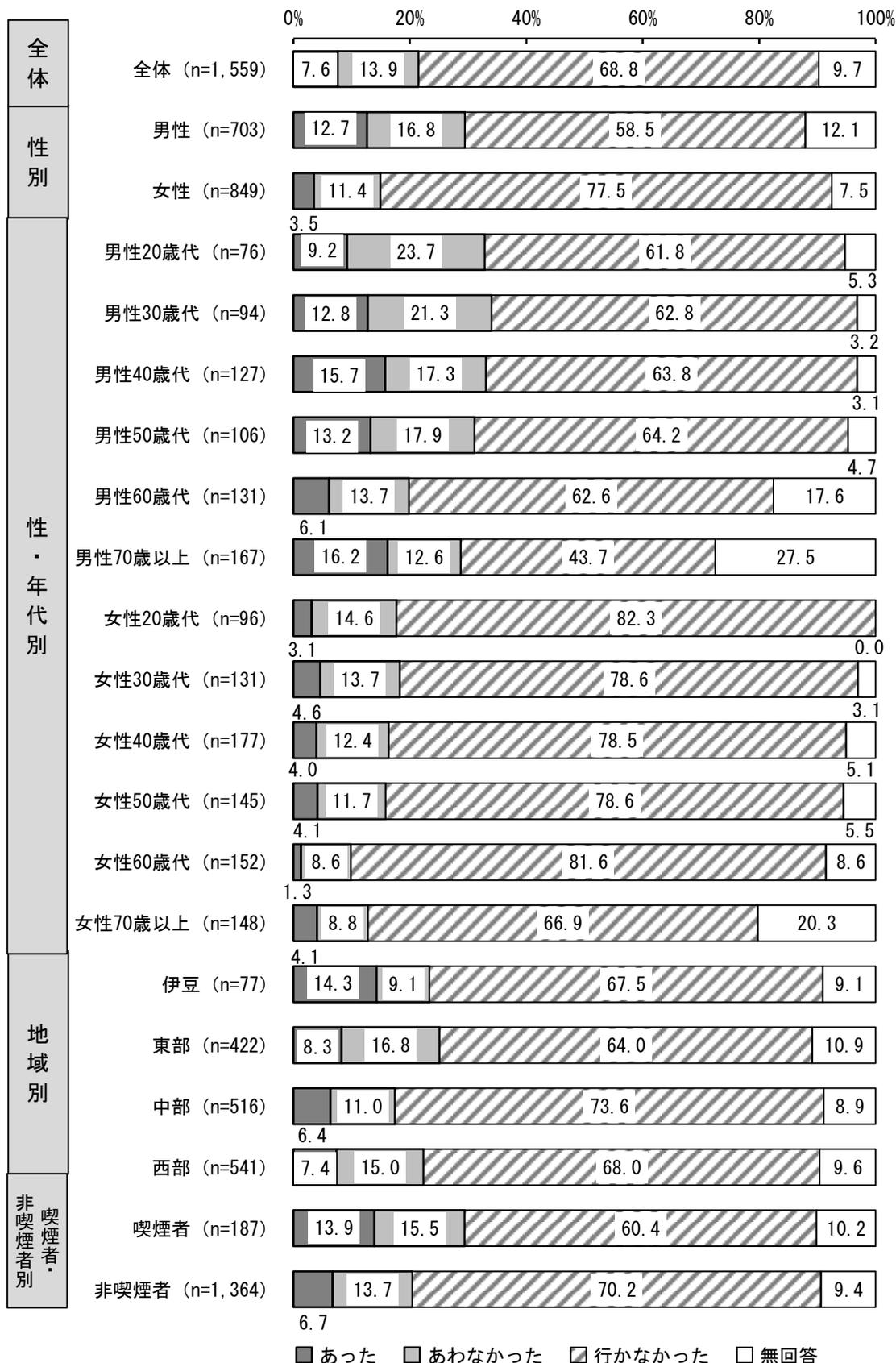


体育館、フィットネスクラブ等の屋内運動施設での受動喫煙の状況について、全体では「あった」3.0%、「あわなかった」32.8%、「行かなかった」53.7%となっている。

性別では、「あった」は男性が4.0%、女性が2.2%と男性の方が1.8ポイント高くなっている。
性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代6.3%、最も低いのは60歳代2.3%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代4.6%、最も低いのは70歳以上0.0%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは西部3.1%、最も低いのは伊豆2.6%となっている。
喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が2.7%、非喫煙者が3.1%となっている。

⑱ゴルフ場、テニス場等の屋外運動施設

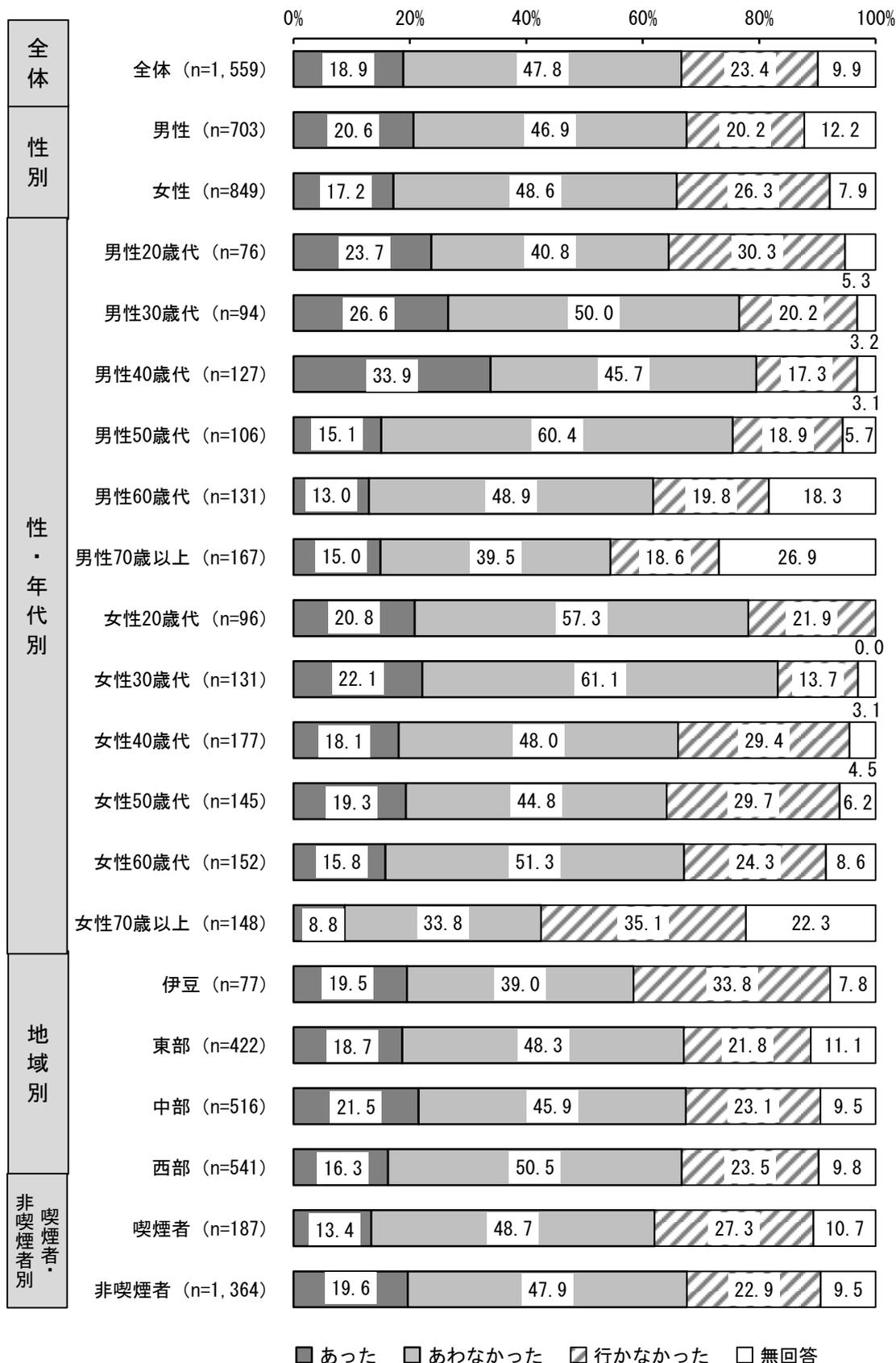


ゴルフ場、テニス場等の屋外運動施設での受動喫煙の状況について、全体では「あった」7.6%、「あわなかった」13.9%、「行かなかった」68.8%となっている。

性別では、「あった」は男性が12.7%、女性が3.5%と男性の方が9.2ポイント高くなっている。
性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、70歳以上16.2%、最も低いのは60歳代6.1%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代4.6%、最も低いのは60歳代1.3%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆14.3%、最も低いのは中部6.4%となっている。
喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が13.9%、非喫煙者が6.7%となっている。

⑱公園



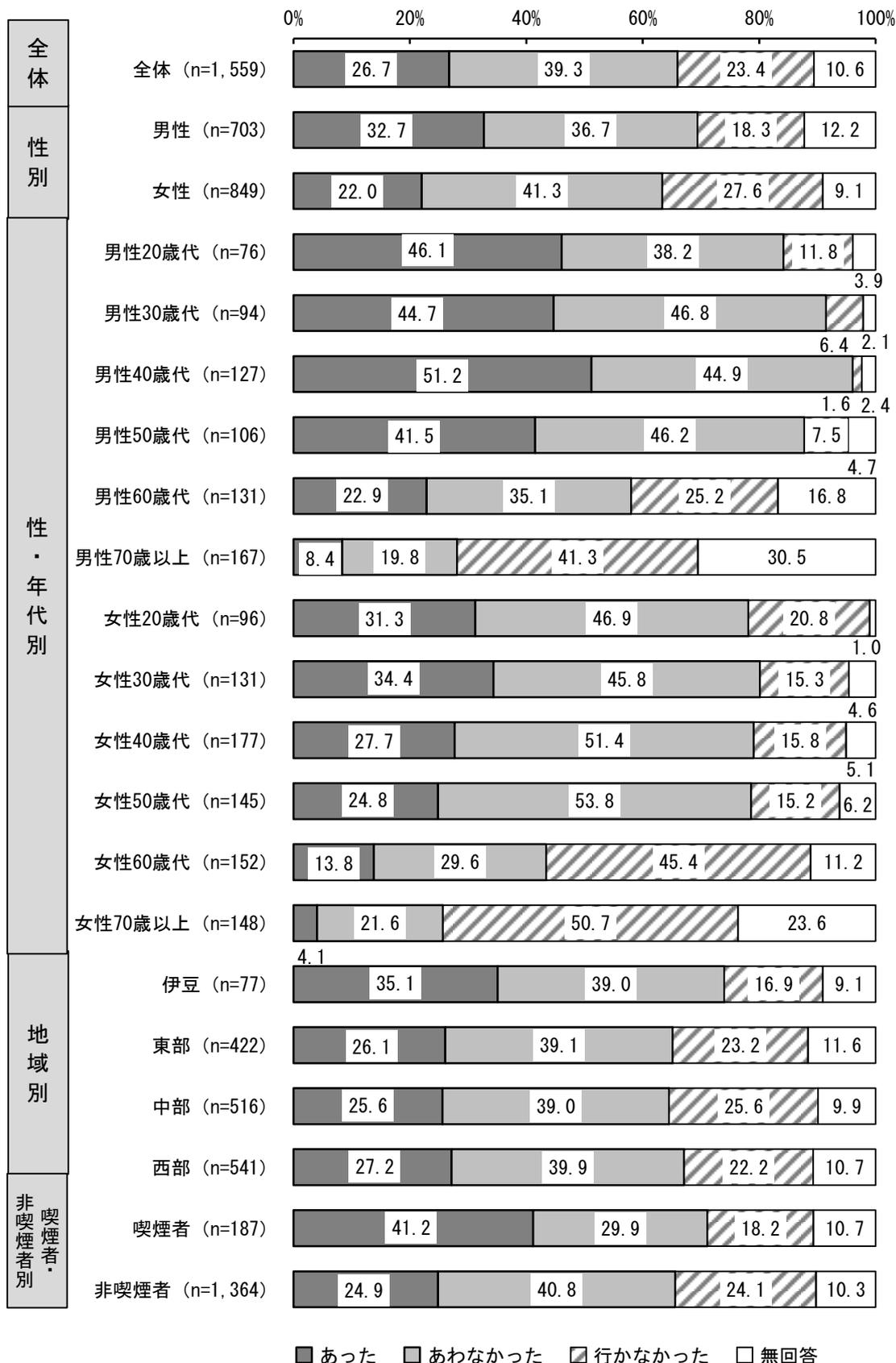
公園での受動喫煙の状況について、全体では「あった」18.9%、「あわなかった」47.8%、「行かなかった」23.4%となっている。

性別では、「あった」は男性が20.6%、女性が17.2%と男性の方が3.4ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代33.9%、最も低いのは60歳代13.0%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代22.1%、最も低いのは70歳以上8.8%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは中部21.5%、最も低いのは西部16.3%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が13.4%、非喫煙者が19.6%となっている。

⑩ 職場



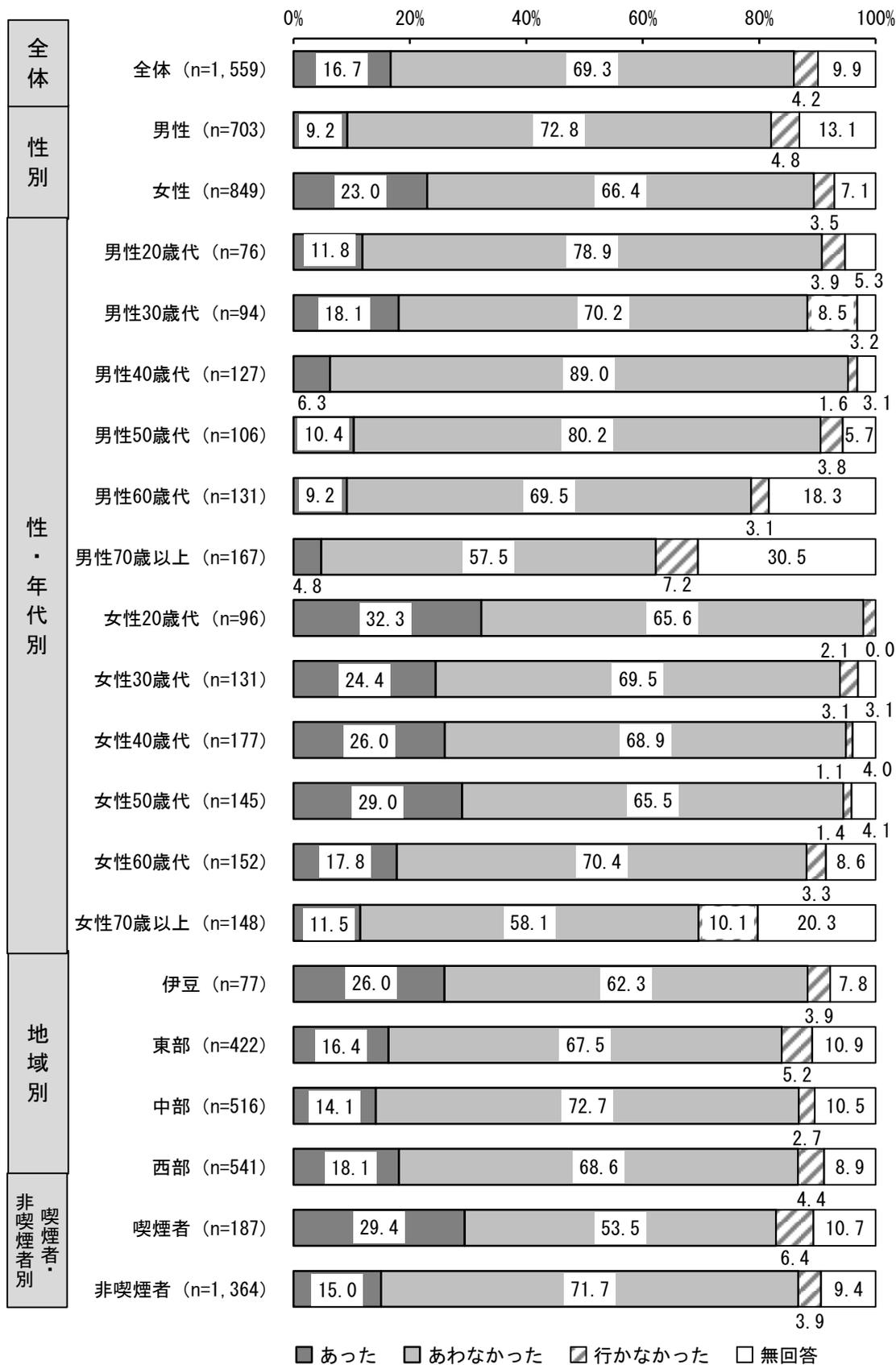
職場での受動喫煙の状況について、全体では「あった」26.7%、「あわなかった」39.3%、「行かなかった」23.4%となっている。

性別では、「あった」は男性が32.7%、女性が22.0%と男性の方が10.7ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代51.2%、最も低いのは70歳以上8.4%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、30歳代34.4%、最も低いのは70歳以上4.1%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆35.1%、最も低いのは中部25.6%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が41.2%、非喫煙者が24.9%となっている。

㉑ 家庭



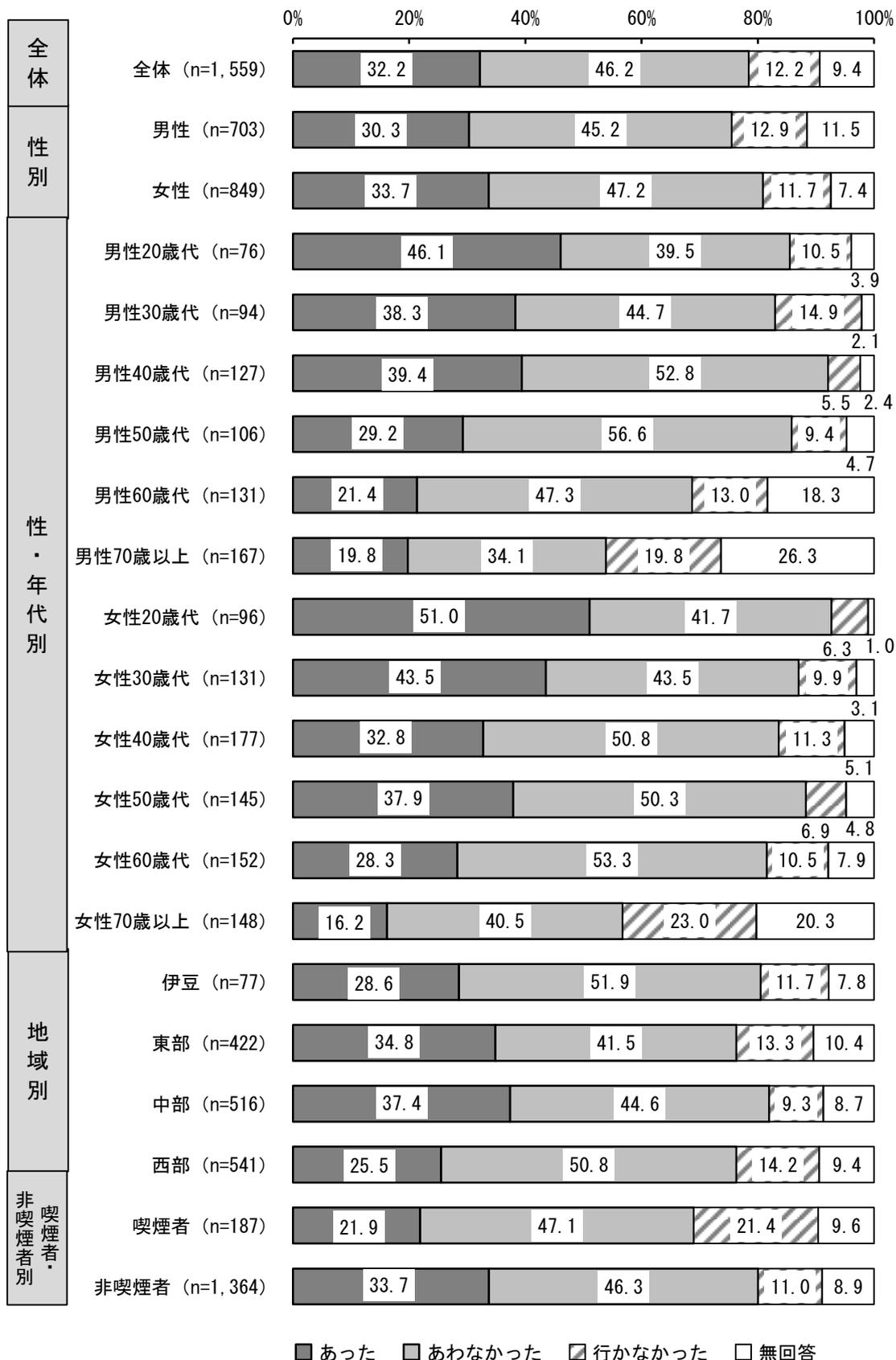
家庭での受動喫煙の状況について、全体では「あった」16.7%、「あわなかった」69.3%、「行かなかった」4.2%となっている。

性別では、「あった」は男性が9.2%、女性が23.0%と女性の方が13.8ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、30歳代18.1%、最も低いのは70歳以上4.8%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代32.3%、最も低いのは70歳以上11.5%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは伊豆26.0%、最も低いのは中部14.1%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が29.4%、非喫煙者が15.0%となっている。

②② 駅・バスターミナル・空港



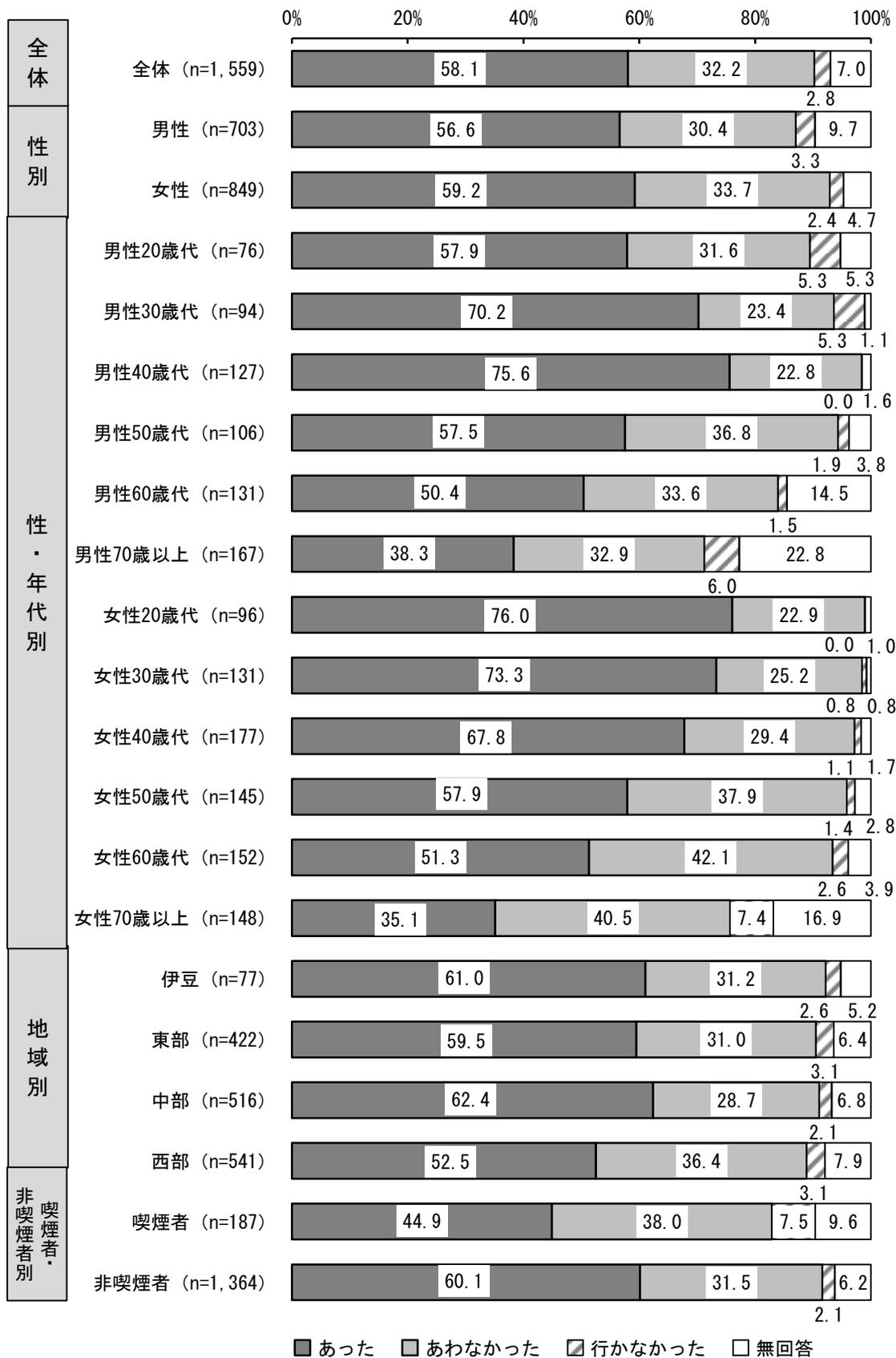
駅・バスターミナル・空港での受動喫煙の状況について、全体では「あった」32.2%、「あわなかった」46.2%、「行かなかった」12.2%となっている。

性別では、「あった」は男性が30.3%、女性が33.7%と女性の方が3.4ポイント高くなっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、20歳代46.1%、最も低いのは70歳以上19.8%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代51.0%、最も低いのは70歳以上16.2%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは中部37.4%、最も低いのは西部25.5%となっている。喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が21.9%、非喫煙者が33.7%となっている。

⑬路上



路上での受動喫煙の状況について、全体では「あった」58.1%、「あわなかった」32.2%、「行かなかった」2.8%となっている。

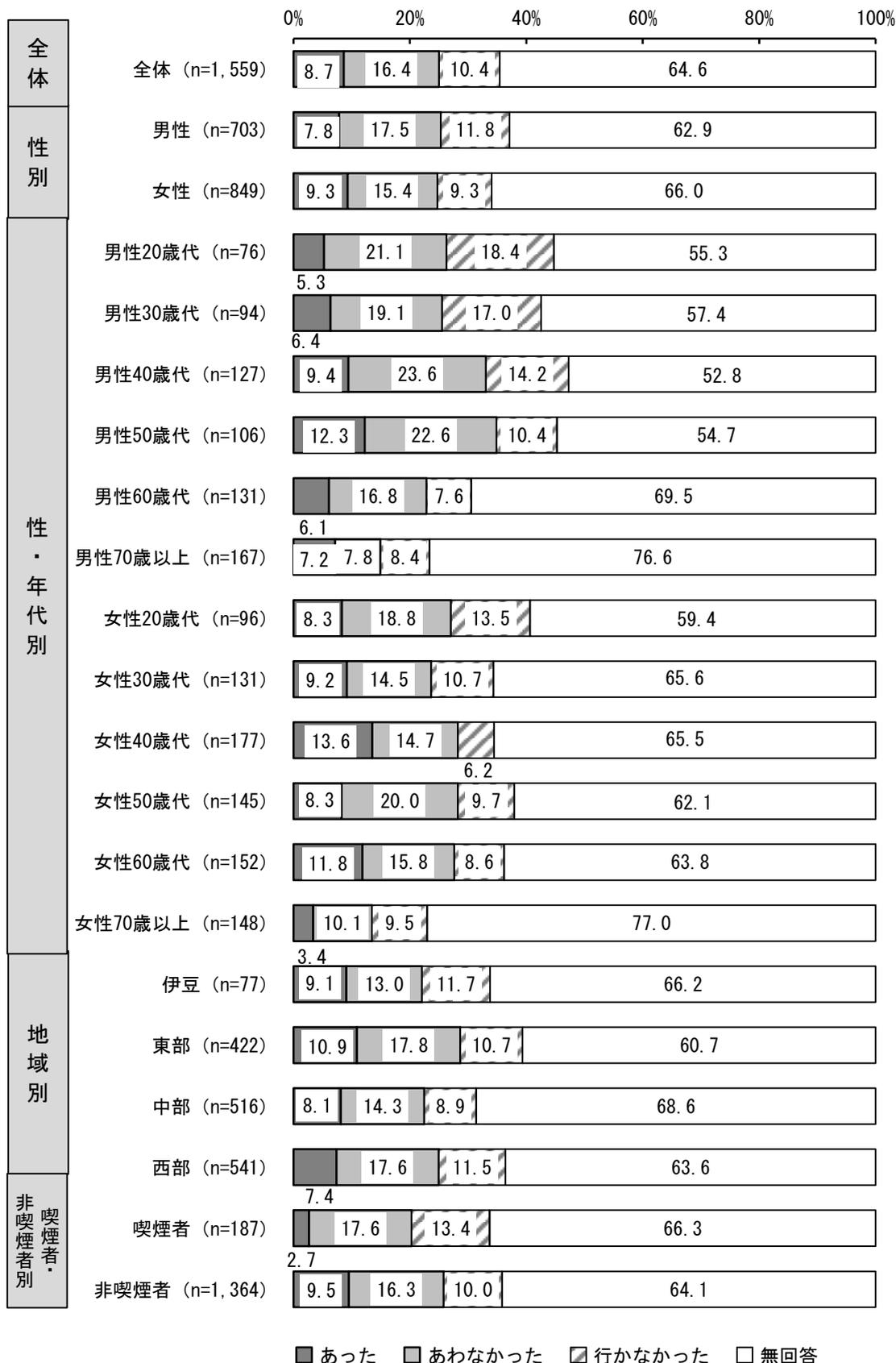
性別では、「あった」は男性が56.6%、女性が59.2%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、40歳代75.6%、最も低いのは70歳以上38.3%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、20歳代76.0%、最も低いのは70歳以上35.1%となっている。

地域別では、「あった」が最も高いのは中部62.4%、最も低いのは西部52.5%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が44.9%、非喫煙者が60.1%となっている。

㊤ その他



その他の具体的に回答のあった受動喫煙にあった場所は、コンビニ、マンションの隣のベランダ、キャンプ場、高速道路のサービスエリア、海辺、建設現場、バス停、花火大会の観覧席、祭りやイベントなどがあった。

その他での受動喫煙の状況について、全体では「あった」は8.7%となっている。

性別では、「あった」は男性が7.8%、女性が9.3%となっている。

性・年代別では、「あった」が最も高いのは男性では、50歳代12.3%、最も低いのは20歳代5.3%となっている。「あった」が最も高いのは女性では、40歳代13.6%、最も低いのは70歳以上3.4%となっている。

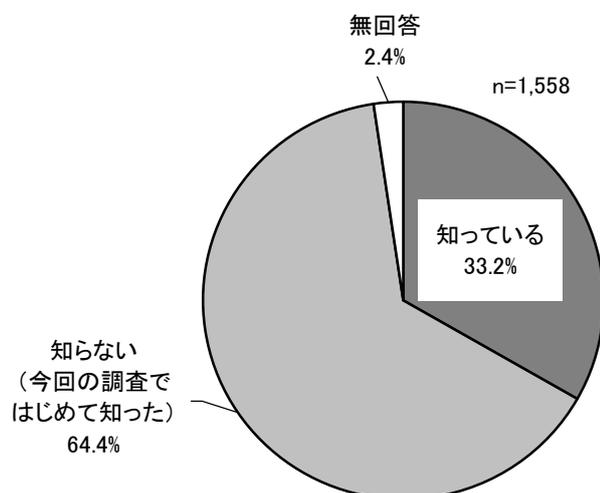
地域別では、「あった」が最も高いのは東部10.9%、最も低いのは西部7.4%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「あった」は喫煙者が2.7%、非喫煙者が9.5%となっている。

3 受動喫煙防止対策について

3-1 健康増進法の改正内容の認知度

【問9】受動喫煙防止対策を強化するため、平成30年7月に健康増進法の改正が可決されましたが、あなたは、その内容等についてご存知ですか。



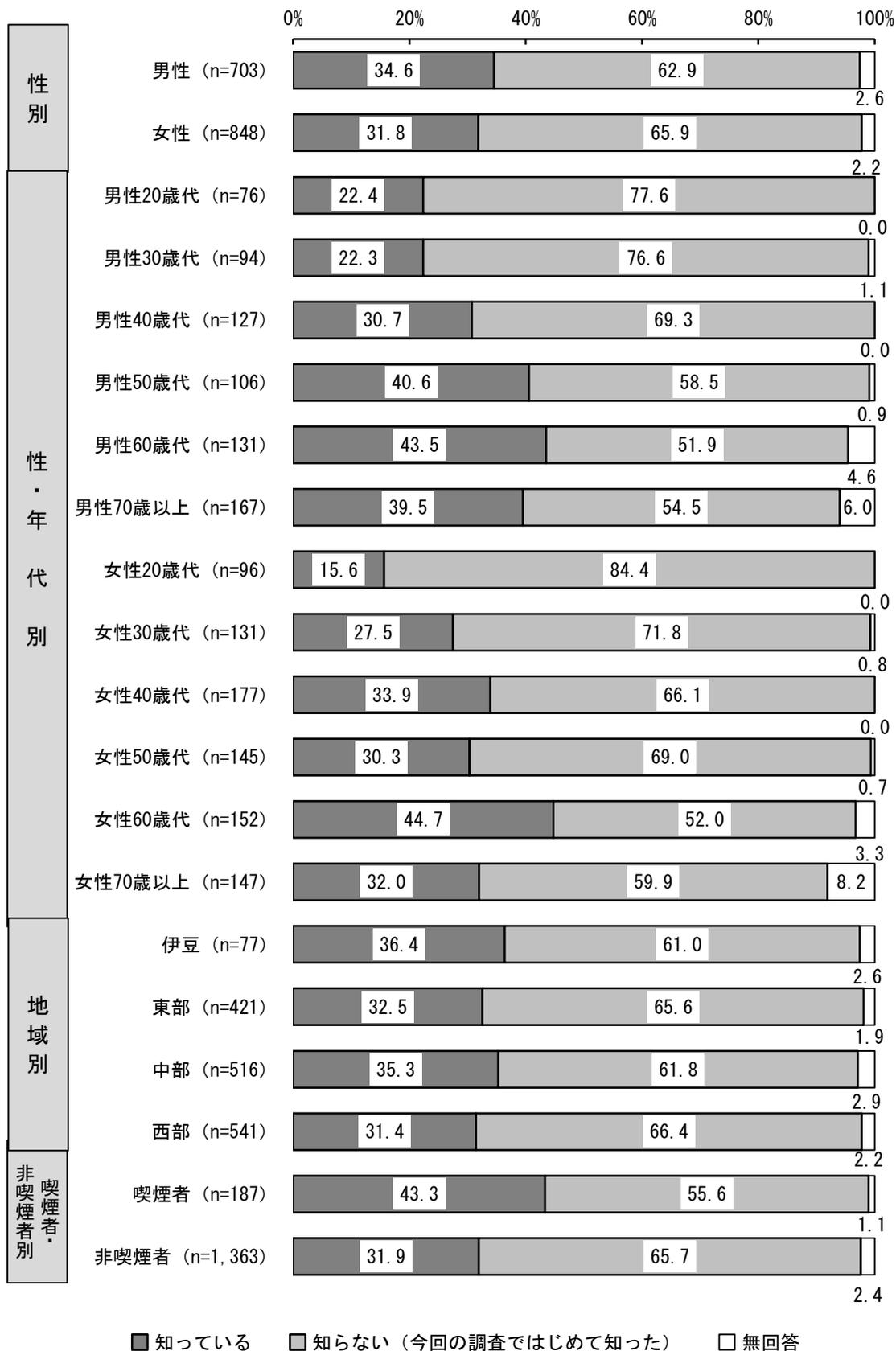
健康増進法の改正内容の認知度について、全体では「知っている」33.2%、「知らない(今回の調査ではじめて知った)」64.4%となっている。

性別では、「知っている」は男性が34.6%、女性が31.8%となっている。

性・年代別では、「知っている」との回答が最も高いのは男性では、60歳代43.5%、最も低いのは30歳代22.3%となっている。「知っている」との回答が最も高いのは女性では、60歳代44.7%、最も低いのは20歳代15.6%となっている。

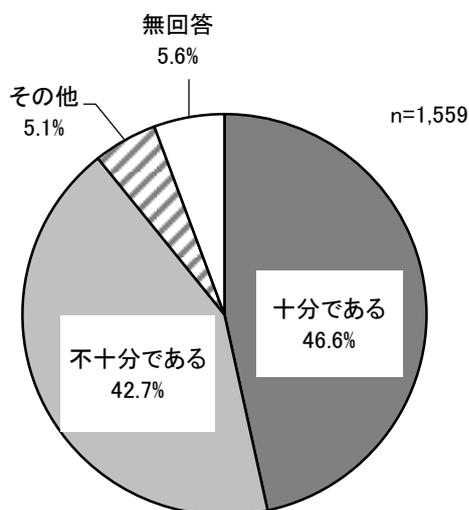
地域別では、「知っている」との回答が最も高いのは伊豆36.4%、最も低いのは西部31.4%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「知っている」との回答は、喫煙者が43.3%、非喫煙者が31.9%となっている。



3-2 健康増進法の改正内容の受動喫煙防止対策として感じる事

【問 10】健康増進法の改正内容について、受動喫煙対策としてどのように感じていますか。



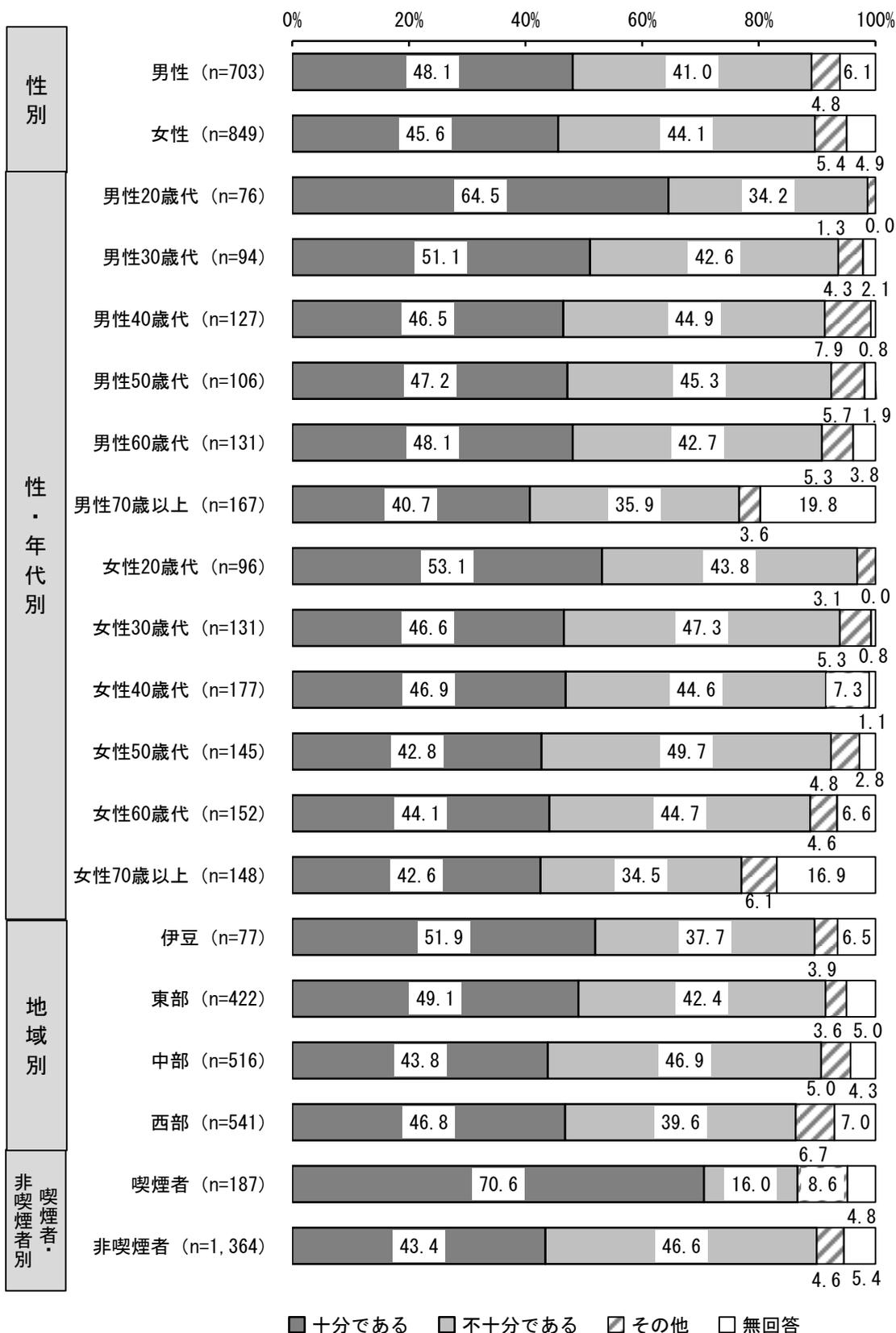
健康増進法の改正内容の受動喫煙防止対策として感じる事について、全体では「十分である」46.6%、「不十分である」42.7%、「その他」5.1%となっている。その他の具体的な回答として、過剰、わからない、どちらとも言えないという意見が多かった。

性別では、「十分である」は男性が48.1%、女性が45.6%となっている。一方、「不十分である」は男性が41.0%、女性が44.1%となっている。

性・年代別では、「十分である」との回答が最も高いのは男性では、20歳代64.5%、最も低いのは70歳以上40.7%となっている。「十分である」との回答が最も高いのは女性では、20歳代53.1%、最も低いのは70歳以上42.6%となっている。「不十分である」との回答が最も高いのは男性では、50歳代45.3%、最も低いのは20歳代34.2%となっている。「不十分である」との回答が最も高いのは女性では、50歳代49.7%、最も低いのは70歳以上34.5%となっている。

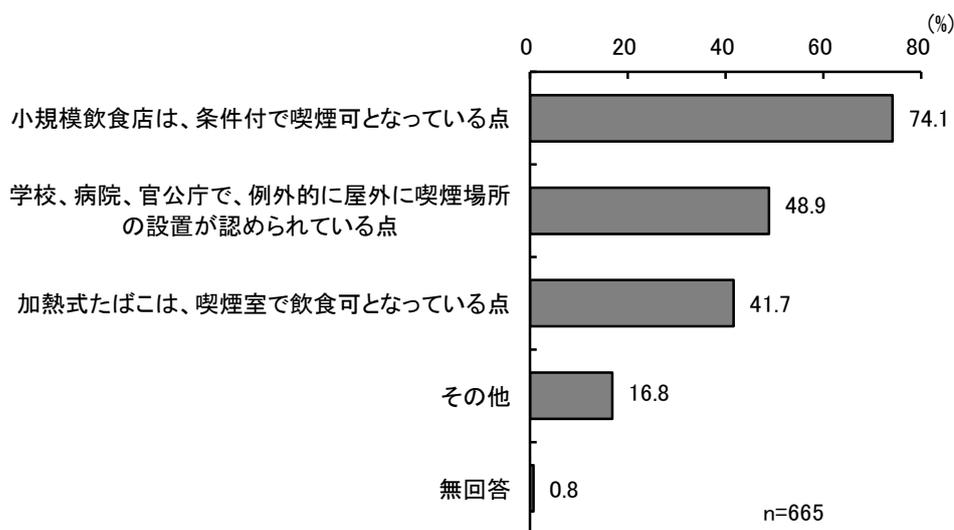
地域別では、「十分である」との回答が最も高いのは伊豆51.9%、最も低いのは中部43.8%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「十分である」との回答は、喫煙者が70.6%、非喫煙者が43.4%となっている。



(問 10 で 2 と答えた方のみ回答)

【問 10-2】不十分と感じているところは、どんな点ですか。(〇はいくつでも)



健康増進法の改正内容の受動喫煙防止対策について、「不十分である」と回答した方は、全体では、「小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点」74.1%、「学校、病院、官公庁で、例外的に屋外に喫煙場所の設置が認められている点」48.9%、「加熱式たばこは、喫煙室で飲食可となっている点」41.7%の順に不十分と感じている。その他の具体的な回答として、路上など屋外が規制されていない点、全面的に禁煙とすべき、自動車運転中（窓をあけて吸う）、実際には健康増進法で規制されている点という意見が多かった。

性別では、「小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点」は男性が78.1%、女性が71.1%と男性の方が7.0ポイント高くなっている。

性・年代別では、「小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点」との回答が最も高いのは男性では、50歳代85.4%、最も低いのは20歳代69.2%となっている。「小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点」との回答が最も高いのは女性では、70歳以上82.4%、最も低いのは50歳代62.5%となっている。「学校、病院、官公庁で、例外的に屋外に喫煙場所の設置が認められている点」との回答は、男性では30歳代57.5%、70歳以上51.7%、女性では20歳代52.4%と高くなっている。

地域別では、「小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点」との回答が最も高いのは中部77.7%、最も低いのは東部67.0%となっている。

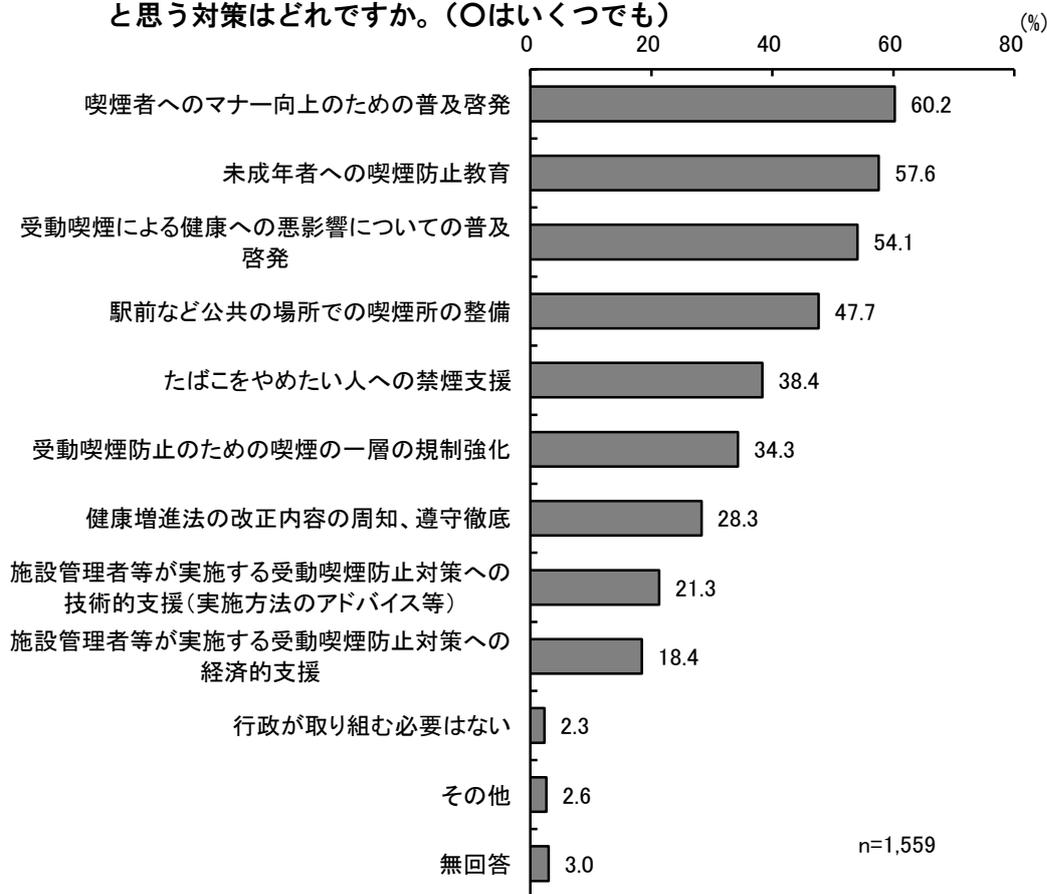
喫煙者・非喫煙者別では、「小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点」との回答は、喫煙者が56.7%、非喫煙者が75.0%となっている。

受動喫煙に関する県民意識調査

		回答者数	小規模飲食店は、条件付で喫煙可となっている点	学校、病院、官公庁で、外的に屋外に喫煙場の設置が認められている点	加熱たばこは、喫煙室で飲食可となっている点	その他	無回答
全体		665	74.1	48.9	41.7	16.8	0.8
性別	男性	288	78.1	49.0	43.4	18.1	0.7
	女性	374	71.1	48.4	40.6	15.8	0.8
性・年代別	男性20歳代	26	69.2	46.2	23.1	15.4	0.0
	男性30歳代	40	72.5	57.5	40.0	27.5	0.0
	男性40歳代	57	75.4	47.4	50.9	12.3	1.8
	男性50歳代	48	85.4	45.8	50.0	16.7	0.0
	男性60歳代	56	75.0	44.6	33.9	19.6	0.0
	男性70歳以上	60	85.0	51.7	50.0	18.3	1.7
	女性20歳代	42	64.3	52.4	45.2	21.4	0.0
	女性30歳代	62	71.0	46.8	43.5	16.1	1.6
	女性40歳代	79	74.7	49.4	40.5	16.5	0.0
	女性50歳代	72	62.5	44.4	37.5	16.7	0.0
	女性60歳代	68	72.1	48.5	35.3	17.6	2.9
	女性70歳以上	51	82.4	51.0	45.1	5.9	0.0
地域別	伊豆	29	69.0	37.9	55.2	0.0	0.0
	東部	179	67.0	50.3	44.1	20.1	0.0
	中部	242	77.7	49.2	41.3	15.3	0.8
	西部	214	76.6	49.1	38.3	18.2	1.4
喫煙者・非喫煙者別	喫煙者	30	56.7	46.7	56.7	10.0	0.0
	非喫煙者	635	75.0	49.0	40.9	17.2	0.8

3-3 受動喫煙防止対策を進めるために行政が取り組むことが望ましい対策

【問 11】あなたは、受動喫煙防止対策を効果的に進めるために、行政が取り組むことが望ましいと思う対策はどれですか。（〇はいくつでも）



受動喫煙防止対策を進めるために行政が取り組むことが望ましい対策について、全体の上位5項目は「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」60.2%、「未成年者への喫煙防止教育」57.6%、「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」54.1%、「駅前など公共の場所での喫煙所の整備」47.7%、「たばこをやめたい人への禁煙支援」38.4%の順となっている。その他の回答として、たばこを売らない、たばこの値上げ、たばこの販売方法の見直し等（パッケージ写真、自販機撤廃）などがあった。

性別では、男性は「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」が58.0%、女性は「未成年者への喫煙防止教育」が63.3%と最も高くなっている。

性・年代別では、「未成年者への喫煙防止教育」は、女性では60歳代77.6%、70歳以上69.6%、30歳代63.4%と他の性・年代より高く、「駅前など公共の場所での喫煙所の整備」は、女性では20歳代64.6%、30歳代59.5%、男性20歳代53.9%と高くなっている。

地域別では、「たばこをやめたい人への禁煙支援」が伊豆45.5%と他の地域より高くなっている。

喫煙者・非喫煙者別では、喫煙者は「駅前など公共の場所での喫煙所の整備」が61.5%、非喫煙者は「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」が62.0%と最も高くなっている。

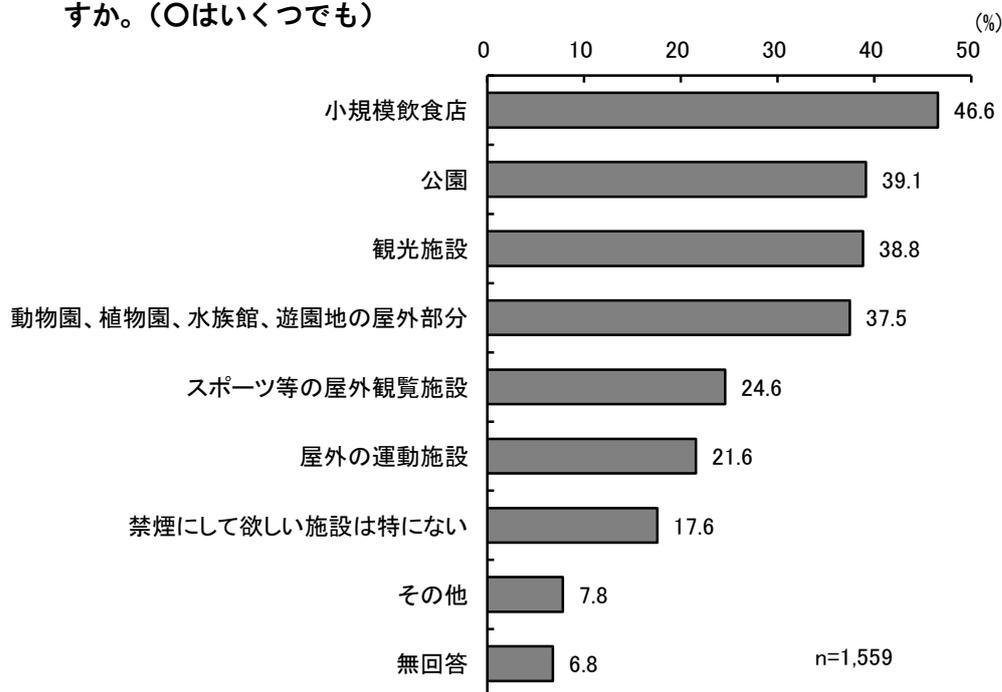
受動喫煙に関する県民意識調査

(%)

		回答者数	喫煙者へのマナー向上のための普及啓発	未成年者への喫煙防止教育	受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発	駅前など公共の場所での喫煙所の整備	たばこをやめたい人への禁煙支援	受動喫煙防止のための喫煙の規制強化	健康増進法の改正内容の周知、遵守徹底	施設管理者等が実施する受動喫煙防止対策への技術的支援（実方法のアドバイス等）	施設管理者等が実施する受動喫煙防止対策への経済的支援	行政が取り組む必要はない	その他	無回答
全体		1,559	60.2	57.6	54.1	47.7	38.4	34.3	28.3	21.3	18.4	2.3	2.6	3.0
性別	男性	703	58.0	50.8	48.4	44.4	33.3	35.4	27.7	18.3	16.6	3.4	4.0	2.7
	女性	849	62.5	63.3	58.8	50.5	42.8	33.3	28.6	23.7	19.9	1.4	1.5	3.1
性・年代別	男性20歳代	76	55.3	59.2	44.7	53.9	42.1	42.1	28.9	19.7	18.4	1.3	5.3	0.0
	男性30歳代	94	61.7	50.0	41.5	46.8	44.7	27.7	23.4	25.5	18.1	2.1	3.2	3.2
	男性40歳代	127	63.0	45.7	42.5	44.1	38.6	39.4	28.3	22.0	19.7	2.4	6.3	0.0
	男性50歳代	106	64.2	42.5	51.9	40.6	26.4	32.1	31.1	17.9	23.6	2.8	3.8	0.9
	男性60歳代	131	66.5	48.9	51.1	45.8	26.7	25.2	28.2	16.0	10.7	4.6	3.1	2.3
	男性70歳以上	167	60.9	57.5	53.9	40.1	28.1	44.3	26.9	12.6	12.6	5.4	3.0	7.2
	女性20歳代	96	59.4	47.9	50.0	64.6	49.0	33.3	34.4	29.2	34.4	1.0	1.0	1.0
	女性30歳代	131	62.6	63.4	51.1	59.5	55.0	32.8	21.4	26.7	20.6	0.8	1.5	0.0
	女性40歳代	177	62.7	57.1	55.4	45.2	40.7	29.9	27.1	23.2	22.6	2.3	1.1	2.3
	女性50歳代	145	64.1	59.3	66.9	52.4	33.8	35.9	33.1	20.0	18.6	1.4	0.7	2.1
	女性60歳代	152	67.8	77.6	62.5	43.4	38.2	32.2	28.3	26.3	11.8	0.7	0.0	2.0
	女性70歳以上	148	67.4	69.6	63.5	45.3	43.9	36.5	29.1	18.9	16.2	2.0	4.7	10.1
地域別	伊豆	77	58.4	54.5	51.9	55.8	45.5	24.7	24.7	22.1	19.5	0.0	1.3	2.6
	東部	422	63.3	55.0	56.2	50.0	37.4	35.5	27.7	20.1	16.1	2.8	2.4	2.1
	中部	516	57.2	57.4	62.7	47.1	37.8	34.3	27.7	22.3	19.2	2.3	2.9	3.7
	西部	541	61.2	60.6	54.2	45.5	38.8	34.8	29.9	21.3	19.4	2.2	2.8	2.8
喫煙者・非喫煙者別	喫煙者	187	50.3	51.3	31.0	61.5	44.9	7.5	15.0	16.6	19.3	5.9	3.7	2.7
	非喫煙者	1,364	62.0	58.7	57.6	46.0	37.6	38.2	30.3	22.1	18.4	1.8	2.5	2.6

3-4 喫煙が規制される施設以外で禁煙にして欲しい施設

【問 12】健康増進法の改正により喫煙が規制される施設以外で、禁煙にして欲しい施設はありますか。（〇はいくつでも）



喫煙が規制される施設以外で禁煙にして欲しい施設について、全体の上位5項目は「小規模飲食店」46.6%、「公園」39.1%、「観光施設」38.8%、「動物園、植物園、水族館、遊園地の屋外部分」37.5%、「スポーツ等の屋外観覧施設」24.6%の順となっている。その他の意見として、路上、コンビニ、スーパー等の出入り口付近等、子どもが集まる場所、実際には健康増進法で規制されている点などがあつた。

性別では、「小規模飲食店」が男女共に第1位であり、男性43.7%、女性49.2%と女性の方が5.5ポイント高くなっている。

性・年代別では、「小規模飲食店」は、女性では60歳代52.6%、40歳代52.5%が他の性・年代より高くなっている。「公園」は女性の30歳代55.0%、20歳代54.2%が他の性・年代より高くなっている。「禁煙にして欲しい施設は特にない」は男性の20歳代が39.5%と他の性・年代より高くなっている。

地域別では、「動物園、植物園、水族館、遊園地の屋外部分」が伊豆41.6%と他の地域より高くなっている。

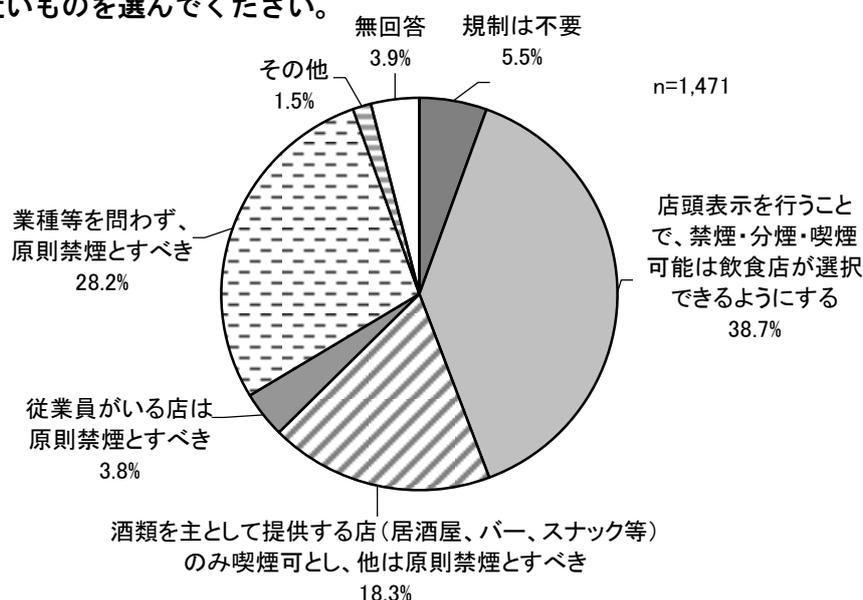
喫煙者・非喫煙者別では、喫煙者の第1位は「禁煙にして欲しい施設は特にない」が54.5%、非喫煙者の第1位は「小規模飲食店」が51.5%となっている。

受動喫煙に関する県民意識調査

		回答者数	小規模飲食店	公園	観光施設	動物園、植物園、水族館、遊園地の屋外部分	スポーツ等の屋外観覧施設	屋外の運動施設	禁煙にして欲しい施設は特にない	その他	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,559	46.6	39.1	38.8	37.5	24.6	21.6	17.6	7.8	6.8
性別	男性	703	43.7	37.4	35.6	32.4	24.9	23.0	22.2	8.0	7.1
	女性	849	49.2	40.6	41.5	41.7	24.4	20.4	13.9	7.5	6.4
性・年代別	男性20歳代	76	38.2	30.3	31.6	26.3	17.1	21.1	39.5	2.6	2.6
	男性30歳代	94	30.9	40.4	41.5	39.4	20.2	20.2	21.3	8.5	7.4
	男性40歳代	127	45.7	38.6	38.6	33.1	23.6	26.0	26.0	14.2	3.9
	男性50歳代	106	47.2	36.8	34.9	31.1	25.5	25.5	26.4	5.7	1.9
	男性60歳代	131	45.0	31.3	27.5	32.1	21.4	21.4	19.1	11.5	6.9
	男性70歳以上	167	49.1	43.7	38.9	32.3	34.1	23.4	11.4	4.2	15.0
	女性20歳代	96	50.0	54.2	39.6	46.9	19.8	22.9	14.6	10.4	1.0
	女性30歳代	131	42.0	55.0	43.5	48.9	20.6	20.6	15.3	5.3	3.1
	女性40歳代	177	52.5	31.1	39.5	37.9	17.5	14.7	15.8	9.0	5.1
	女性50歳代	145	50.3	35.9	43.4	37.2	31.7	18.6	15.9	11.0	4.8
	女性60歳代	152	52.6	43.4	41.4	46.7	26.3	22.4	10.5	6.6	7.2
女性70歳以上	148	46.6	32.4	41.2	35.8	29.7	25.0	11.5	3.4	14.9	
地域別	伊豆	77	36.4	41.6	31.2	41.6	13.0	15.6	23.4	3.9	5.2
	東部	422	46.9	39.3	37.0	34.8	23.7	21.6	17.8	10.2	6.9
	中部	516	47.1	43.8	38.6	40.3	26.0	23.4	18.0	7.2	6.4
	西部	541	47.3	34.2	41.8	36.2	25.7	20.5	16.3	7.0	7.2
喫煙者・非喫煙者別	喫煙者	187	11.8	15.5	12.3	13.9	7.5	7.0	54.5	5.3	9.6
	非喫煙者	1,364	51.5	42.5	42.4	40.8	27.0	23.6	12.6	8.1	6.1

3-5 小規模飲食店に対する喫煙の規制について

【問 13】小規模飲食店に対する喫煙の規制について、あなたはどのように思いますか。考えが最も近いものを選んでください。



※2 つ以上回答をした 88 件は無効回答とし、母数より除き集計をしている。

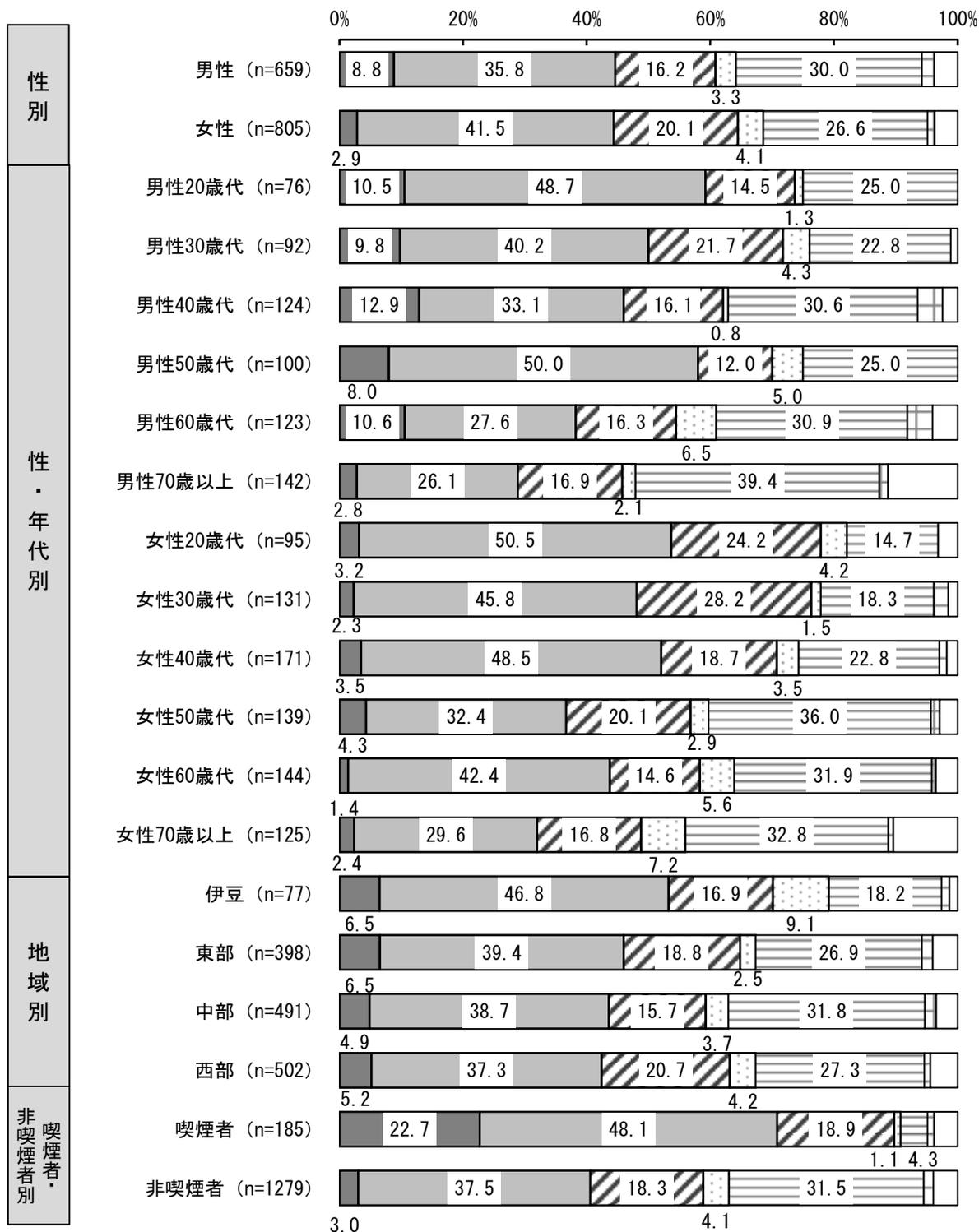
小規模飲食店に対する喫煙の規制について、全体では「店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択できるようにする」38.7%、「業種等を問わず、原則禁煙とすべき」28.2%、「酒類を主として提供する店(居酒屋、バー、スナック等)のみ喫煙可とし、他は原則禁煙とすべき」18.3%、「規制は不要」5.5%、「従業員がいる店は原則禁煙とすべき」3.8%の順となっている。

性別では、「店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択できるようにする」は男性が 35.8%、女性が 41.5%と女性の方が 5.7 ポイント高くなっている。「業種等を問わず、原則禁煙とすべき」は男性が 30.0%、女性が 26.6%と男性の方が 3.4 ポイント高くなっている。

性・年代別では、「店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択できるようにする」が最も高いのは男性では、50 歳代 50.0%、最も低いのは 70 歳以上 26.1%となっている。「店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択できるようにする」が最も高いのは女性では、20 歳代 50.5%、最も低いのは 70 歳以上 29.6%となっている。「業種等を問わず、原則禁煙とすべき」が最も高いのは男性では、70 歳以上 39.4%、最も低いのは 30 歳代 22.8%となっている。「業種等を問わず、原則禁煙とすべき」が最も高いのは女性では、50 歳代 36.0%、最も低いのは 20 歳代 14.7%となっている。

地域別では、「店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択できるようにする」が最も高いのは伊豆 46.8%、最も低いのは西部 37.3%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択できるようにする」は、喫煙者が 48.1%、非喫煙者が 37.5%となっている。「業種等を問わず、原則禁煙とすべき」は、喫煙者が 4.3%、非喫煙者が 31.5%となっている。

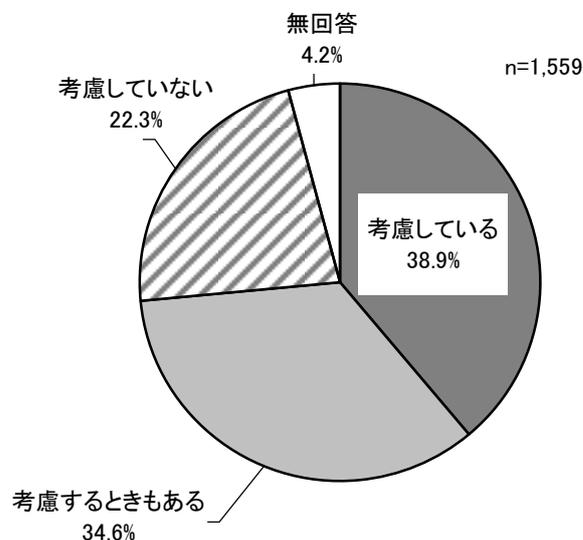


- 規制は不要
- 店頭表示を行うことで、禁煙・分煙・喫煙可能な飲食店が選択できるようにする
- 酒類を主として提供する店（居酒屋、バー、スナック等）のみ喫煙可とし、他は原則禁煙とすべき
- 従業員がいる店は原則禁煙とすべき
- 業種等を問わず、原則禁煙とすべき
- その他（その他の数値は表記なし）
- 無回答（無回答の数値は表記なし）

4 受動喫煙に対する行動

4-1 飲食店を選ぶ際の喫煙の可否

【問 14】あなたは、飲食店を選ぶ際、喫煙の可否を考慮していますか。



飲食店を選ぶ際の喫煙の可否について、全体では「考慮している」38.9%、「考慮するときもある」34.6%、「考慮していない」22.3%の順となっている。「考慮している」「考慮するときもある」を合わせた考慮する（ときもある）は73.5%となっている。

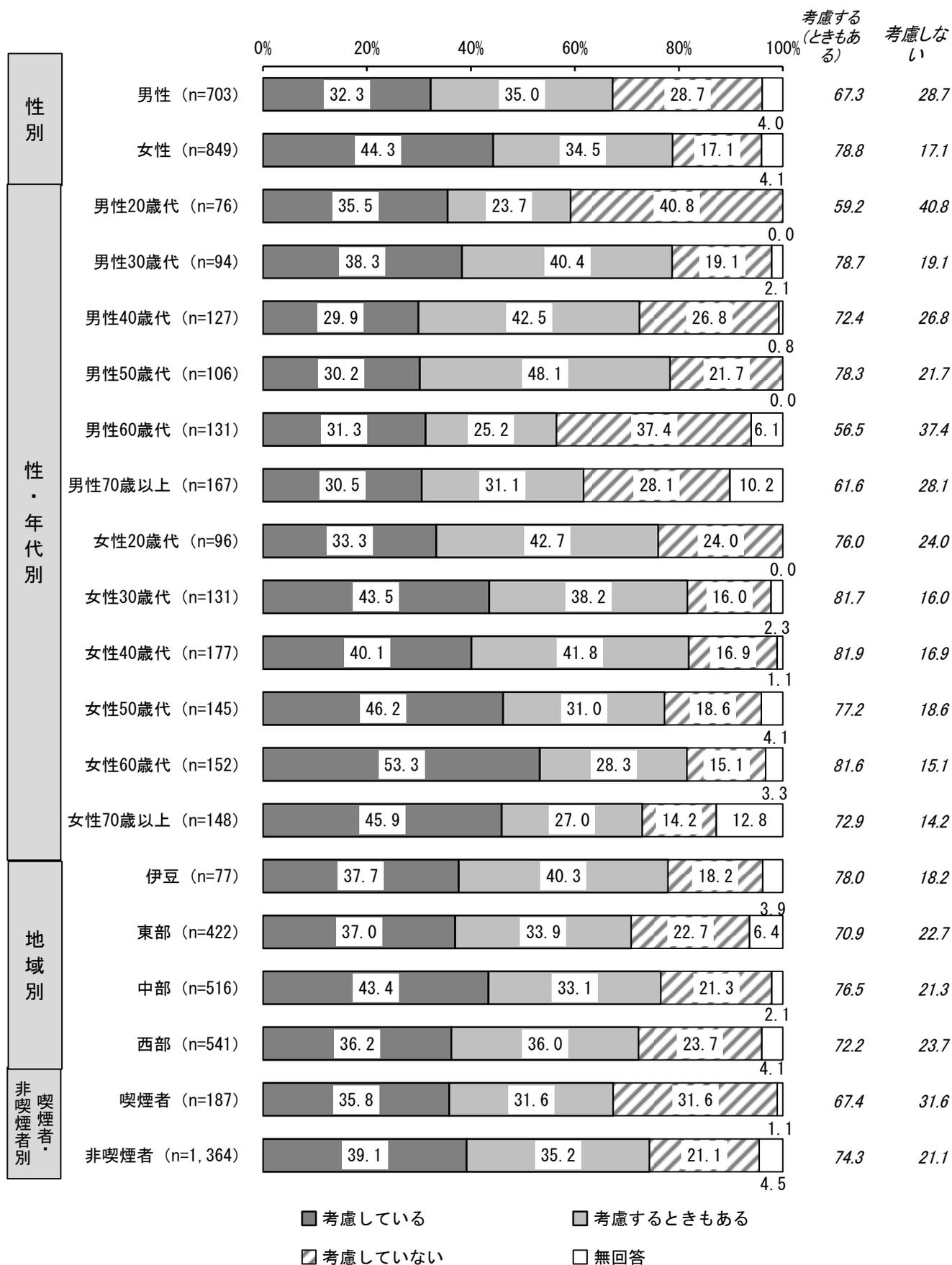
性別では、「考慮している」「考慮するときもある」を合わせた考慮する（ときもある）は男性が67.3%、女性が78.8%と女性の方が11.5ポイント高くなっている。

性・年代別では、考慮する（ときもある）との回答が最も高いのは男性では、30歳代78.7%、最も低いのは60歳代56.5%となっている。考慮する（ときもある）との回答が最も高いのは女性では、40歳代81.9%、最も低いのは70歳以上72.9%となっている。

地域別では、考慮する（ときもある）との回答が最も高いのは伊豆78.0%、最も低いのは東部70.9%となっている。

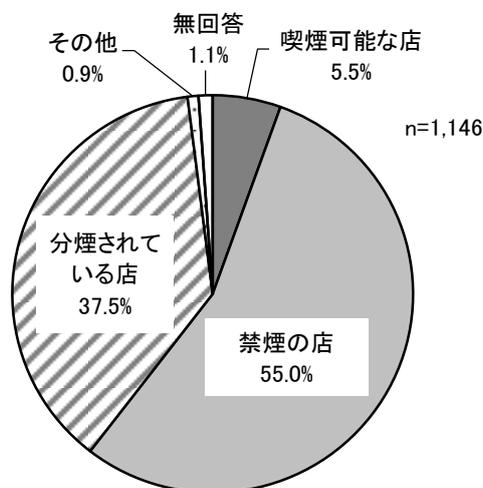
喫煙者・非喫煙者別では、考慮する（ときもある）との回答は、喫煙者が67.4%、非喫煙者が74.3%となっている。

受動喫煙に関する県民意識調査



(問 14 で 1 又は 2 と答えた方のみ回答)

【問 14-2】 どのような店を選びたいですか。最も選びたいもの 1 つを選んでください。



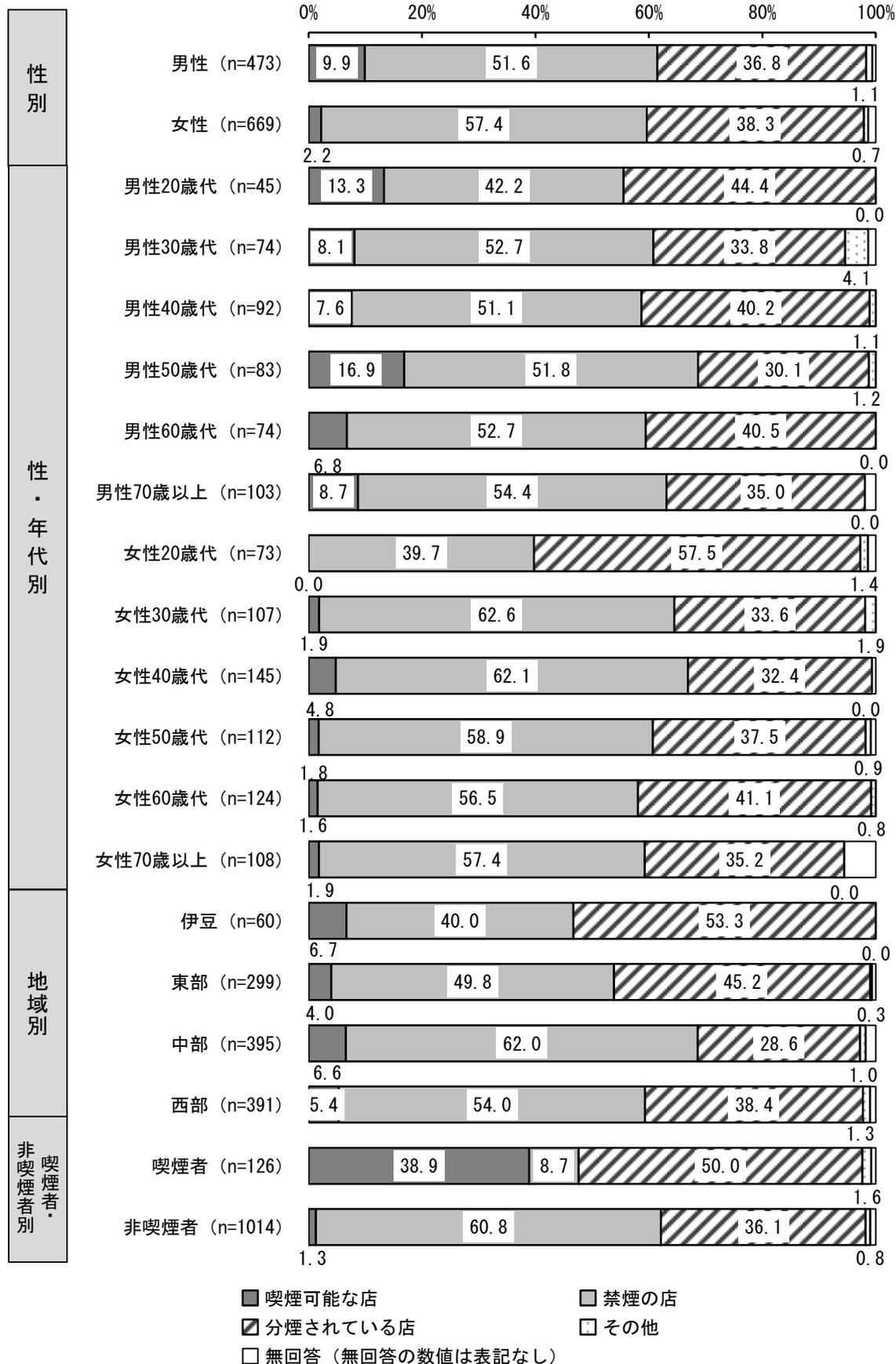
飲食店を選ぶ際の喫煙の可否について、「考慮している」「考慮するときもある」を合わせた考慮する(ときもある)と回答した方に、どのような店を選びたいかたずねたところ、全体では「禁煙の店」55.0%、「分煙されている店」37.5%、「喫煙可能な店」5.5%の順となっている。

性別では、「禁煙の店」は男性が51.6%、女性が57.4%と女性の方が5.8ポイント高くなっている。

性・年代別では、「禁煙の店」が最も高いのは男性では、70歳以上54.4%、最も低いのは20歳代42.2%となっている。「禁煙の店」が最も高いのは女性では、30歳代62.6%、最も低いのは20歳代39.7%となっている。

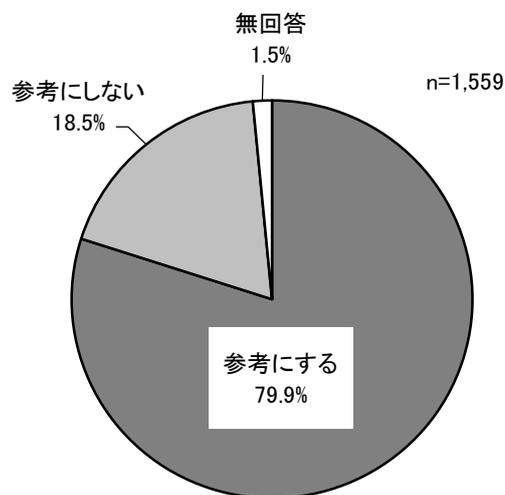
地域別では、「禁煙の店」が最も高いのは中部62.0%、最も低いのは伊豆40.0%となっている。

喫煙者・非喫煙者別では、「禁煙の店」は、喫煙者が8.7%、非喫煙者が60.8%となっている。「分煙されている店」は喫煙者が50.0%、非喫煙者が36.1%となっている。



4-2 飲食店等入口の喫煙可否の表示の参考

【問 15】 あなたは、飲食店等の入口に喫煙の可否（禁煙、分煙、喫煙可等）の表示があれば、利用をする際、入店するかどうかの参考にしますか。



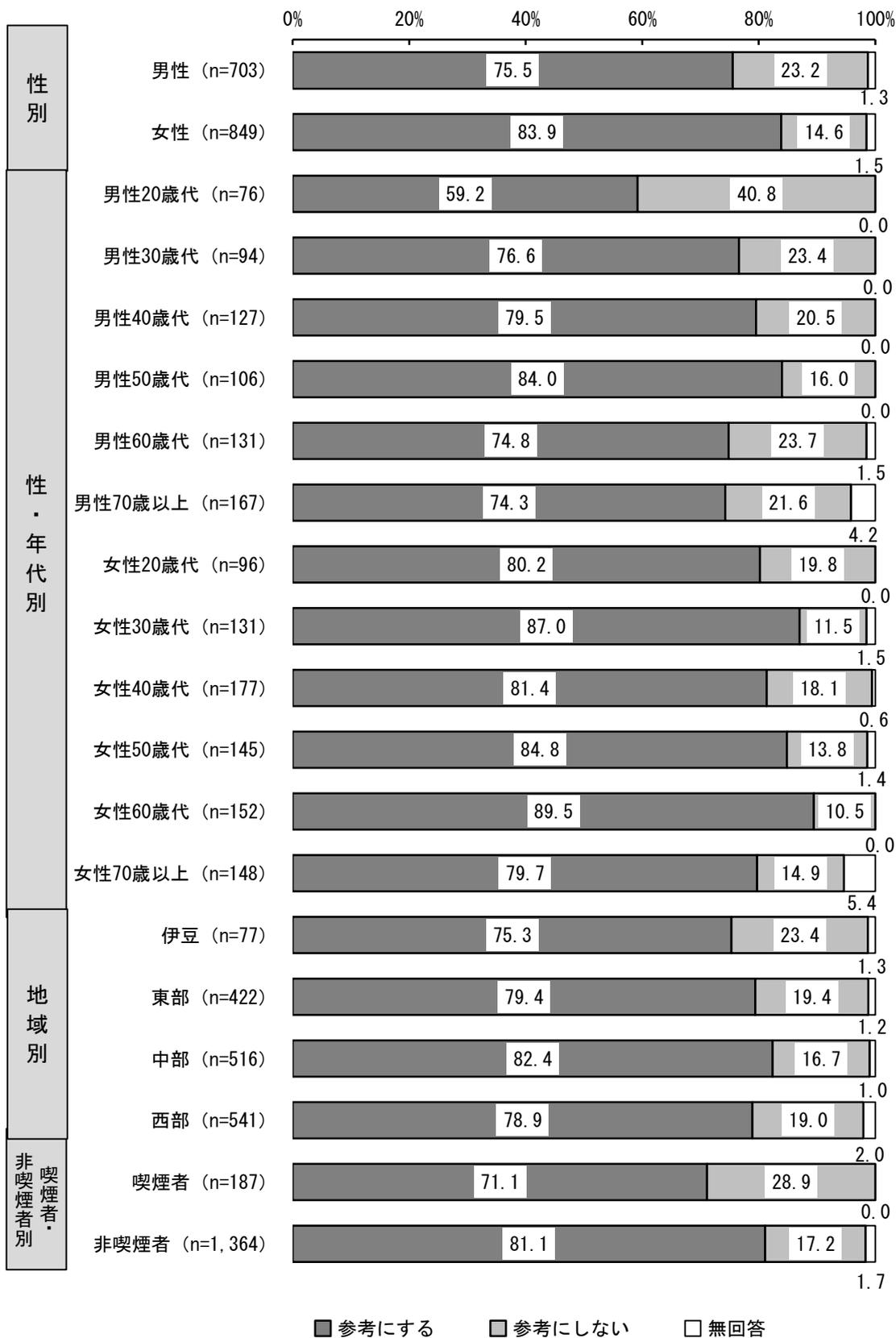
飲食店等入口の喫煙可否の表示の参考について、全体では「参考にする」79.9%、「参考にしない」18.5%となっている。

性別では、「参考にする」は男性が75.5%、女性が83.9%と女性の方が8.4ポイント高くなっている。

性・年代別では、「参考にする」が最も高いのは男性では、50歳代84.0%、最も低いのは20歳代59.2%となっている。「参考にする」が最も高いのは女性では、60歳代89.5%、最も低いのは70歳以上79.7%となっている。

地域別では、「参考にする」が最も高いのは中部82.4%、最も低いのは伊豆75.3%となっている。

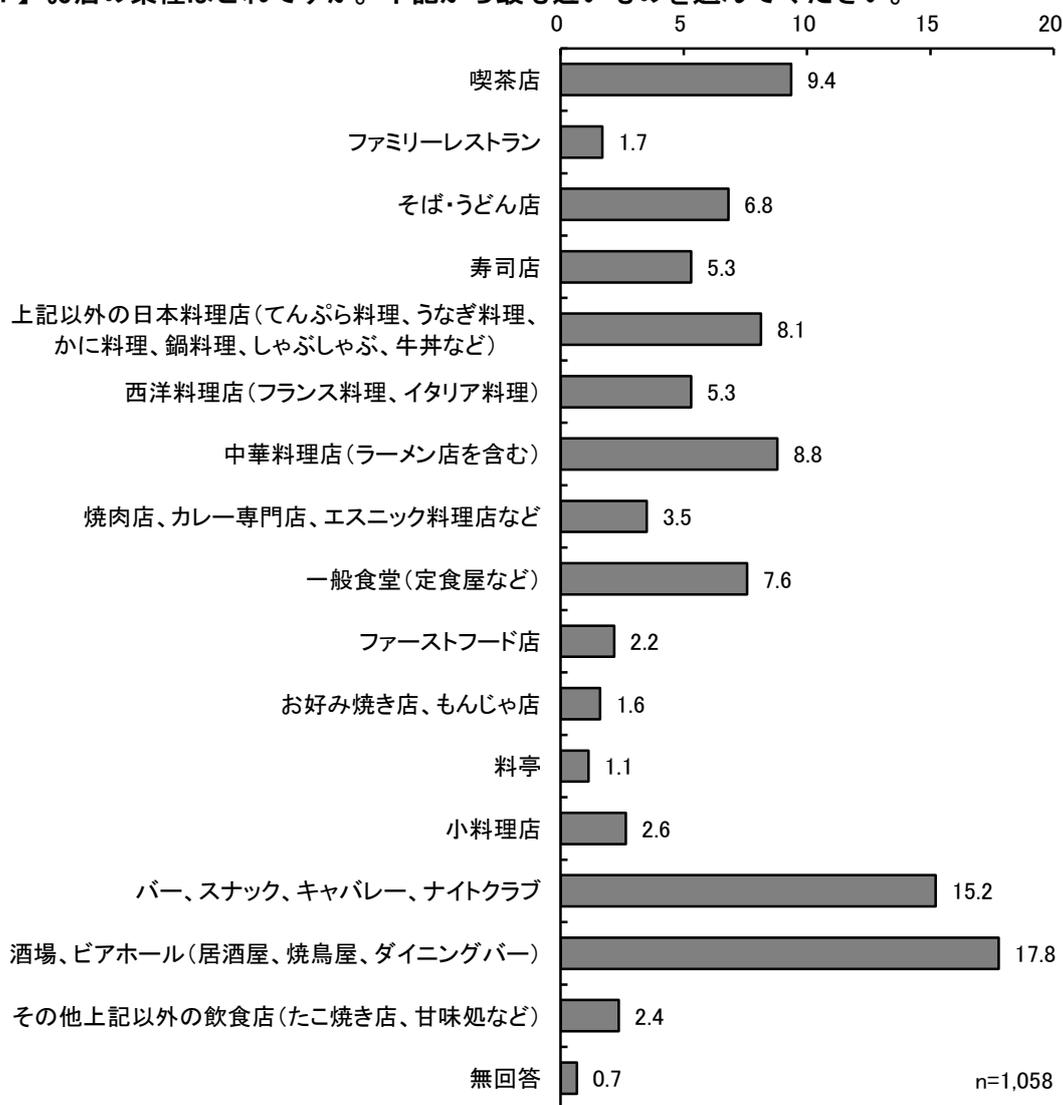
喫煙者・非喫煙者別では、「参考にする」は、喫煙者が71.1%、非喫煙者が81.1%となっている。「参考にしない」は喫煙者が28.9%、非喫煙者が17.2%となっている。



Ⅱ 受動喫煙に関する飲食店実態調査

1 回答施設の属性

【問1】 お店の業種はどれですか。下記から最も近いものを選んでください。 (%)

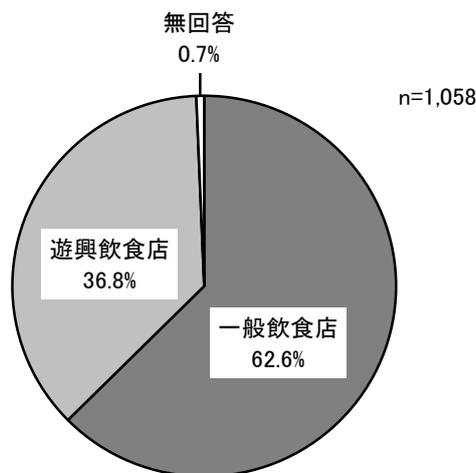


一般飲食店

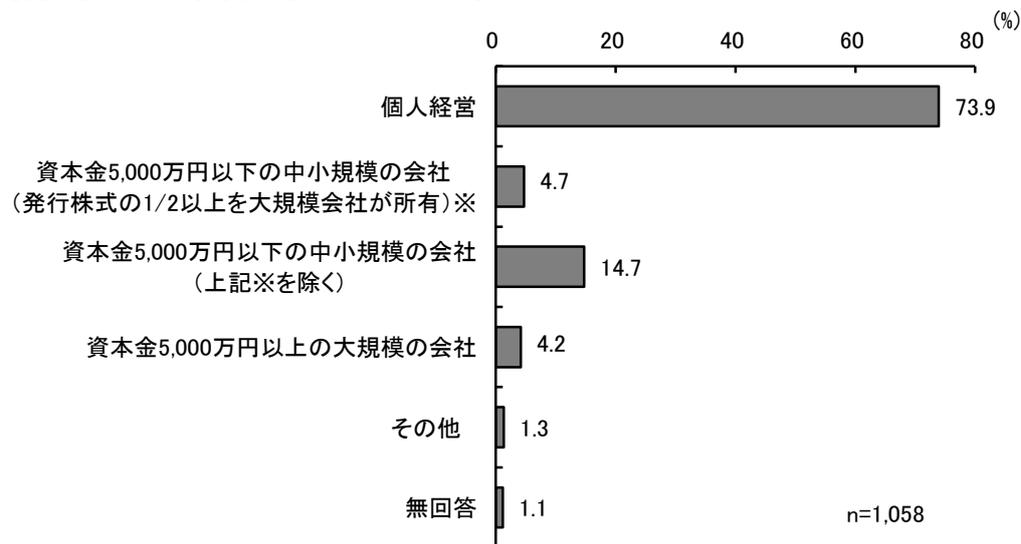
喫茶店、ファミリーレストラン、そば・うどん店、寿司店、上記以外の日本料理店（てんぷら料理、うなぎ料理、かに料理、鍋料理、しゃぶしゃぶ、牛丼など）、西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）、中華料理店（ラーメン店を含む）、焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など、一般食堂（定食屋など）、ファーストフード店、お好み焼き店、もんじゃ店、その他上記以外の飲食店（たこ焼き店、甘味処など）

遊興飲食店

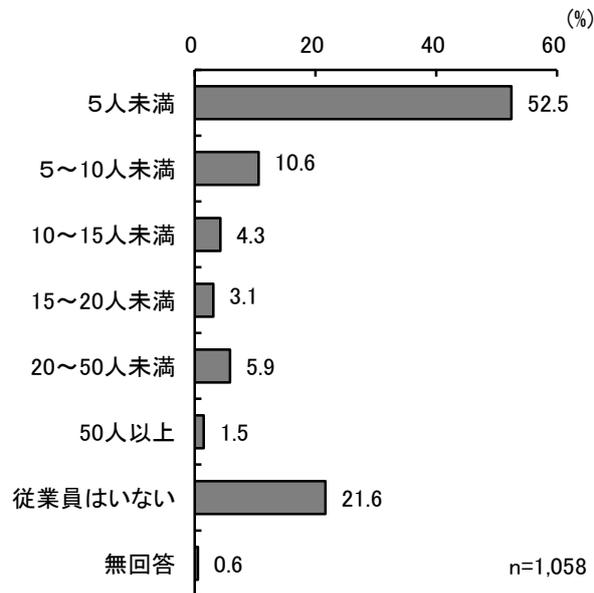
料亭、小料理店、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ、酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）



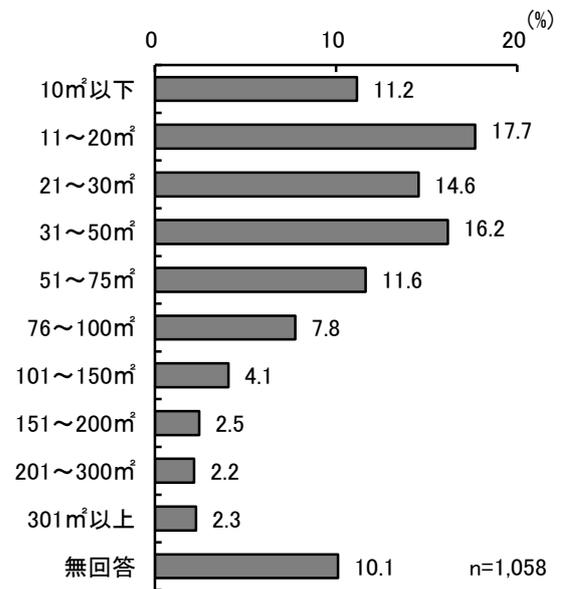
【問2】 お店の経営形態はどれですか。



【問3】お店の従業員（オーナー様を除く）
はどれくらいですか。



【問4】店舗の客席面積は何㎡ですか。



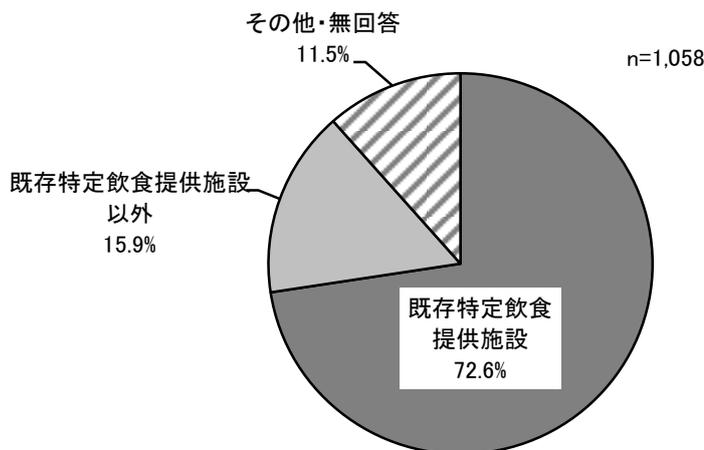
経営形態・客席面積別

既存特定飲食提供施設

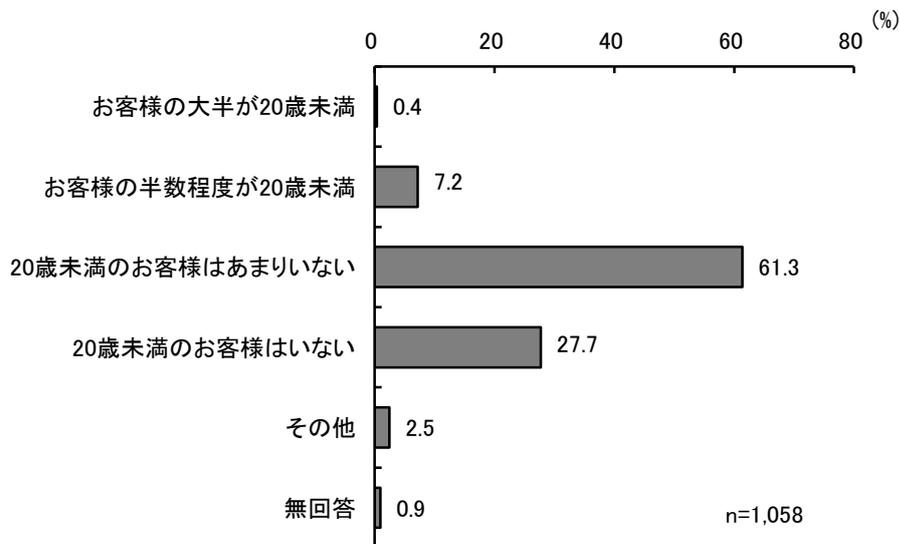
店舗の客席面積が 100 ㎡以下であり、経営形態が①個人経営または③資本金 5,000 万円以下の中小規模の会社（②を除く）

既存特定飲食提供施設以外

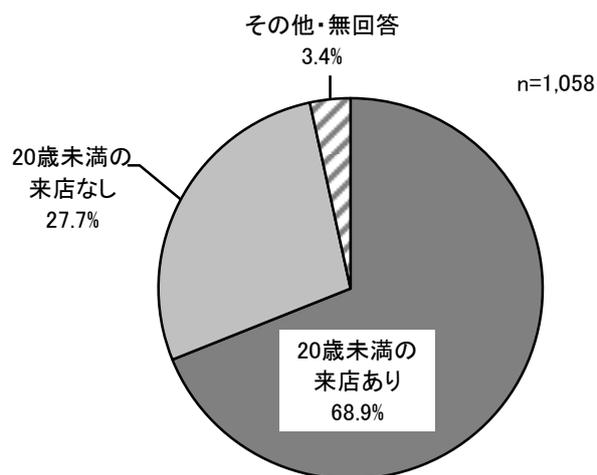
店舗の客席面積が 100 ㎡以下であり、②資本金 5,000 万円以下の中小規模の会社（発行株式の 1/2 以上を大規模会社が所有）または④資本金 5,000 万円以上の大規模の会社、もしくは店舗の客席面積が 100 ㎡以上（ただし無回答は除く）



【問5】20歳未満のお客様の来店状況を教えてください。



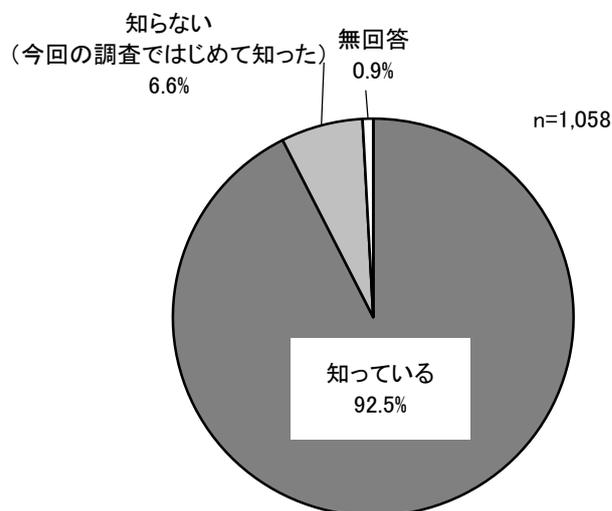
20歳未満の来店状況別



2 受動喫煙に関する知識

2-1 「受動喫煙」という言葉の認知度

【問6】施設の管理者または責任者（以下「あなた」という。）は、「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。



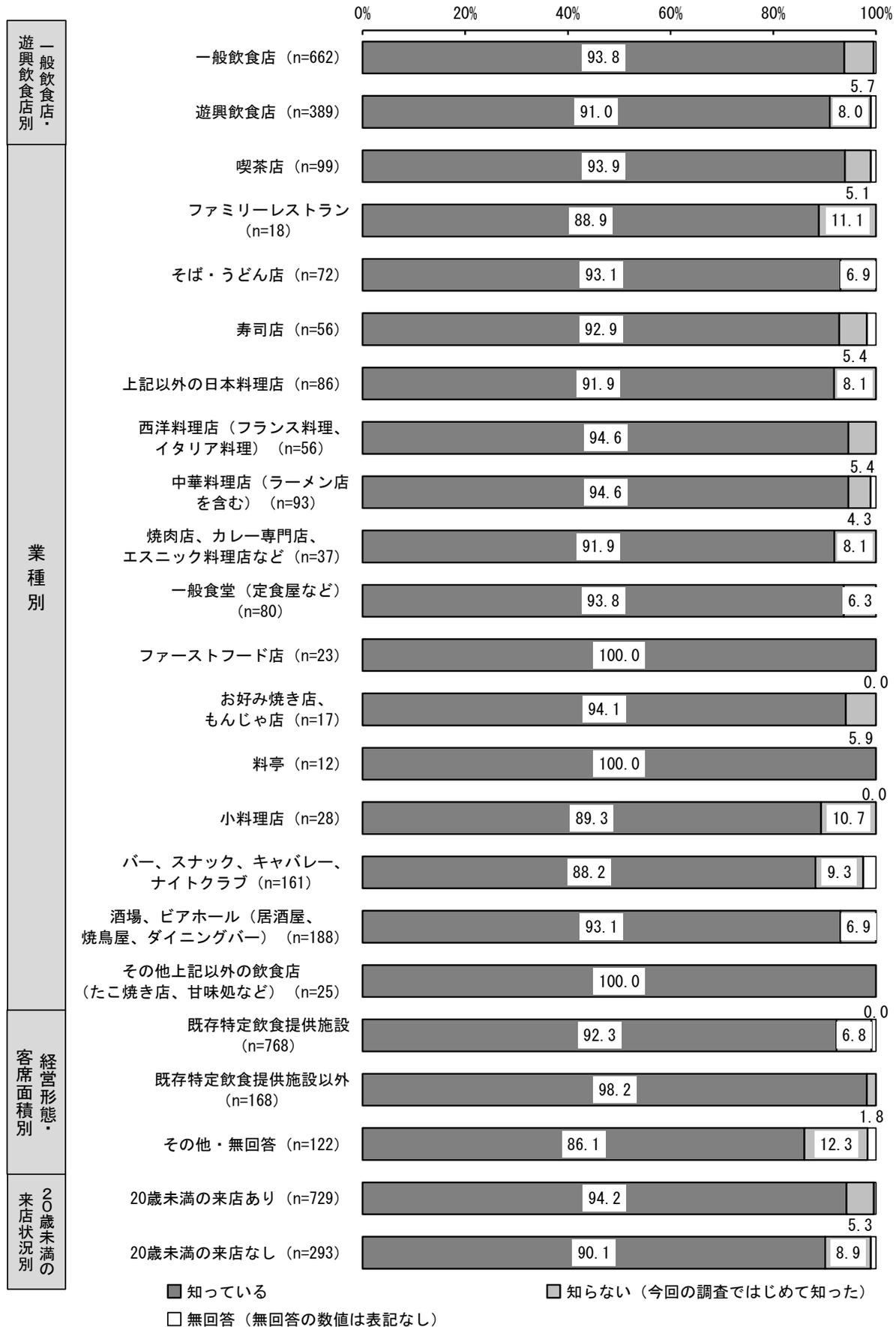
「受動喫煙」という言葉の認知度について、全体では「知っている」92.5%、「知らない（今回の調査ではじめて知った）」6.6%となっている。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「知っている」は一般飲食店が93.8%、遊興飲食店が91.0%と一般飲食店の方が2.8ポイント高くなっている。

業種別では、「知っている」が最も高いのはファーストフード店、料亭、その他上記以外の飲食店（たこ焼き店、甘味処など）100.0%、最も低いのはバー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ88.2%となっている。

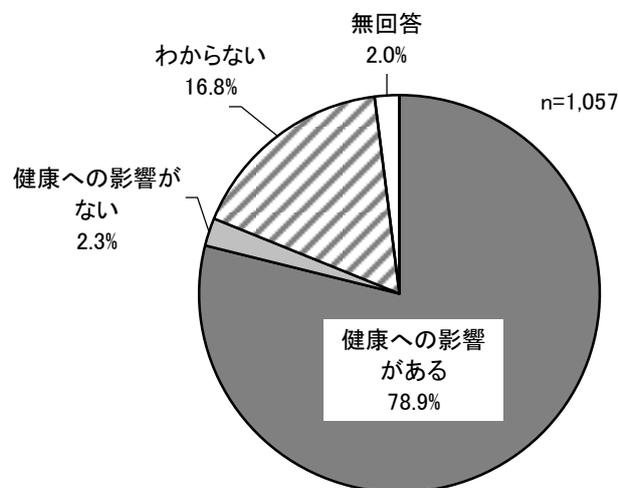
経営形態・客席面積別では、「知っている」は既存特定飲食提供施設92.3%、既存特定飲食提供施設以外98.2%と既存特定飲食提供施設以外の方が5.9ポイント高くなっている。

20歳未満の来店状況別では、「知っている」は20歳未満の来店あり94.2%、20歳未満の来店なし90.1%と20歳未満の来店ありの方が4.1ポイント高くなっている。



2-2 受動喫煙が健康に与える影響

【問7】あなたは、受動喫煙の健康への影響について、どのように思いますか。



※2つ以上回答した1件を無効回答とし、母数より除き集計をしている。

受動喫煙が健康に与える影響について、全体では「健康への影響がある」78.9%、「健康への影響がない」2.3%、「わからない」16.8%となっている。

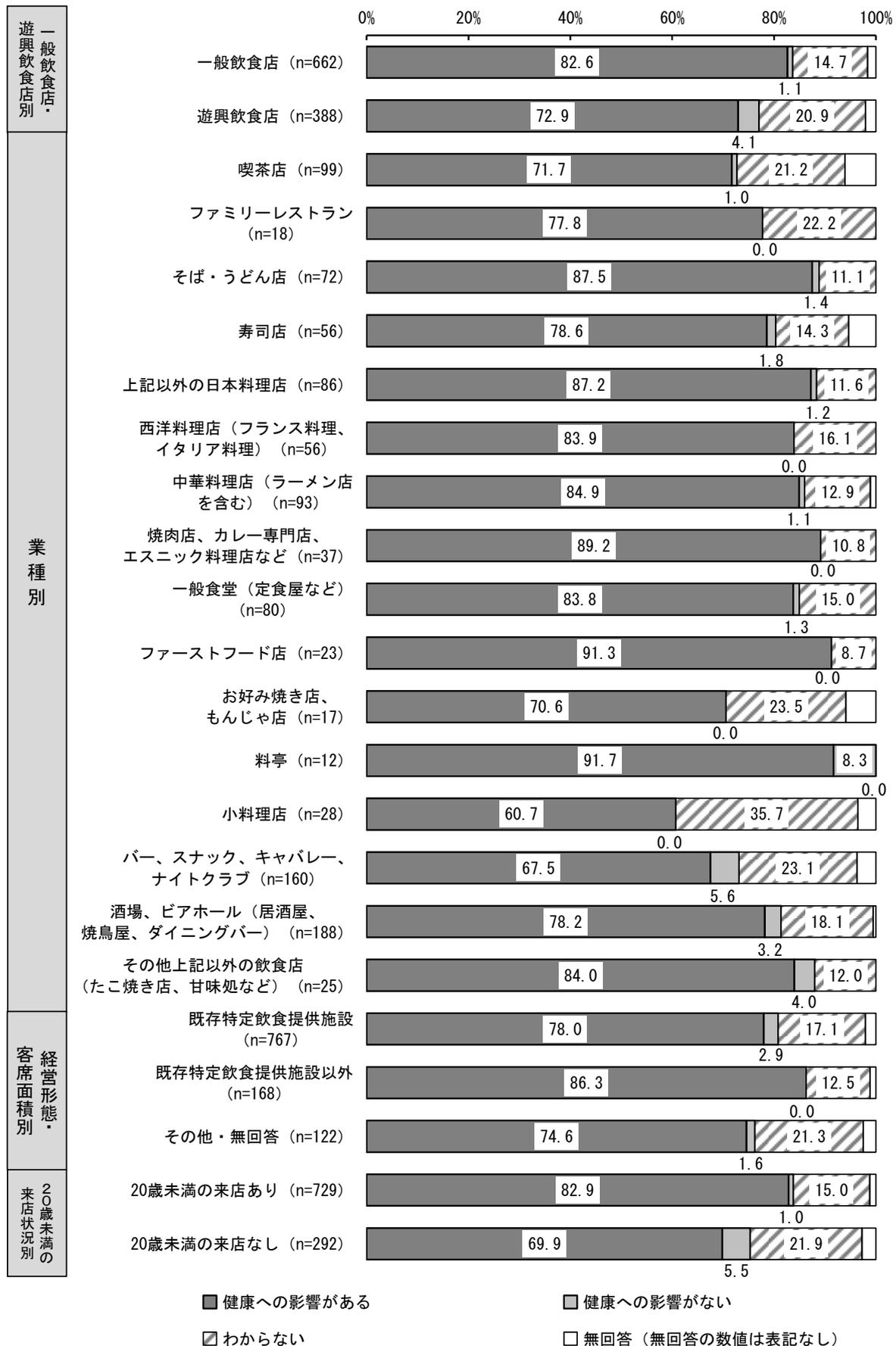
一般飲食店・遊興飲食店別では、「健康への影響がある」は一般飲食店が82.6%、遊興飲食店が72.9%と一般飲食店の方が9.7ポイント高くなっている。

業種別では、「健康への影響がある」が最も高いのは料亭91.7%、最も低いのは小料理店60.7%となっている。

経営形態・客席面積別では、「健康への影響がある」は既存特定飲食提供施設78.0%、既存特定飲食提供施設以外86.3%と既存特定飲食提供施設以外の方が8.3ポイント高くなっている。

20歳未満の来店状況別では、「健康への影響がある」は20歳未満の来店あり82.9%、20歳未満の来店なし69.9%と20歳未満の来店ありの方が13.0ポイント高くなっている。

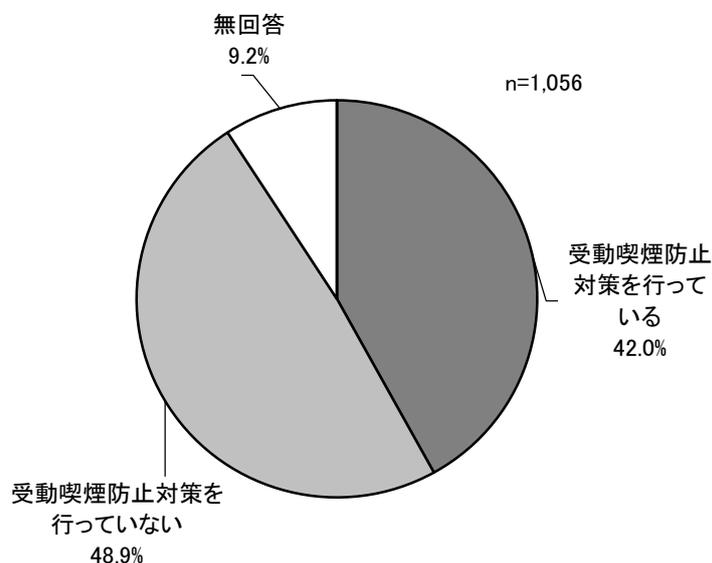
受動喫煙に関する飲食店実態調査



3 現在の受動喫煙防止対策の状況

3-1 受動喫煙防止対策の実施状況

【問8】貴店では、受動喫煙防止対策を行っていますか。



※2つ以上回答した2件を無効回答とし、母数より除き集計をしている。

受動喫煙防止対策の実施状況について、全体では「受動喫煙防止対策を行っている」42.0%、「受動喫煙防止対策を行っていない」48.9%となっている。

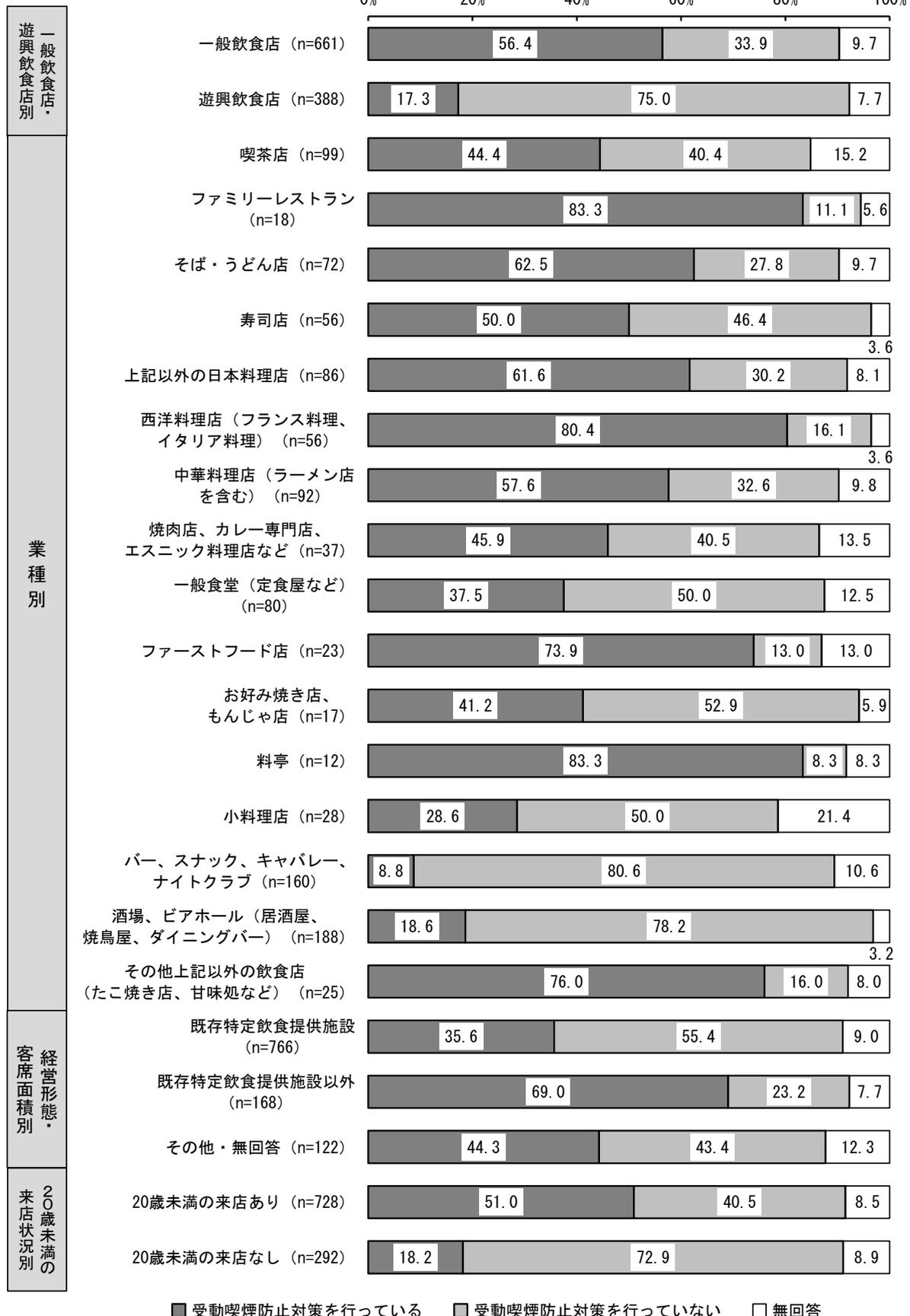
一般飲食店・遊興飲食店別では、「受動喫煙防止対策を行っている」は一般飲食店が56.4%、遊興飲食店が17.3%と一般飲食店の方が39.1ポイント高くなっている。

業種別では、「受動喫煙防止対策を行っている」が最も高いのはファミリーレストラン、料亭83.3%、最も低いのはバー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ8.8%となっている。

経営形態・客席面積別では、「受動喫煙防止対策を行っている」は既存特定飲食提供施設35.6%、既存特定飲食提供施設以外69.0%と既存特定飲食提供施設以外の方が33.4ポイント高くなっている。

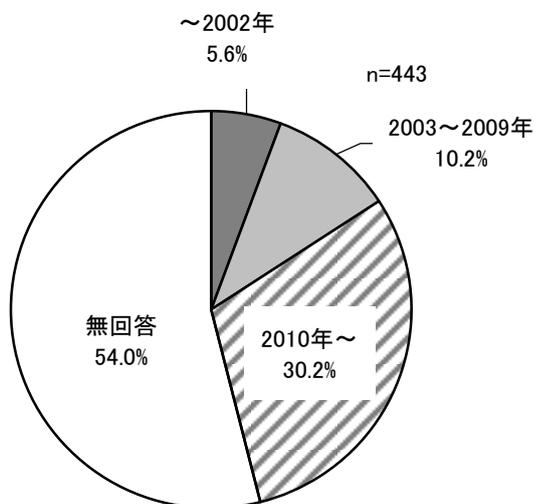
20歳未満の来店状況別では、「受動喫煙防止対策を行っている」は20歳未満の来店あり51.0%、20歳未満の来店なし18.2%と20歳未満の来店ありの方が32.8ポイント高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査



(問8で1と答えた方のみ回答)

【問8-1】貴店の受動喫煙防止対策の開始時期



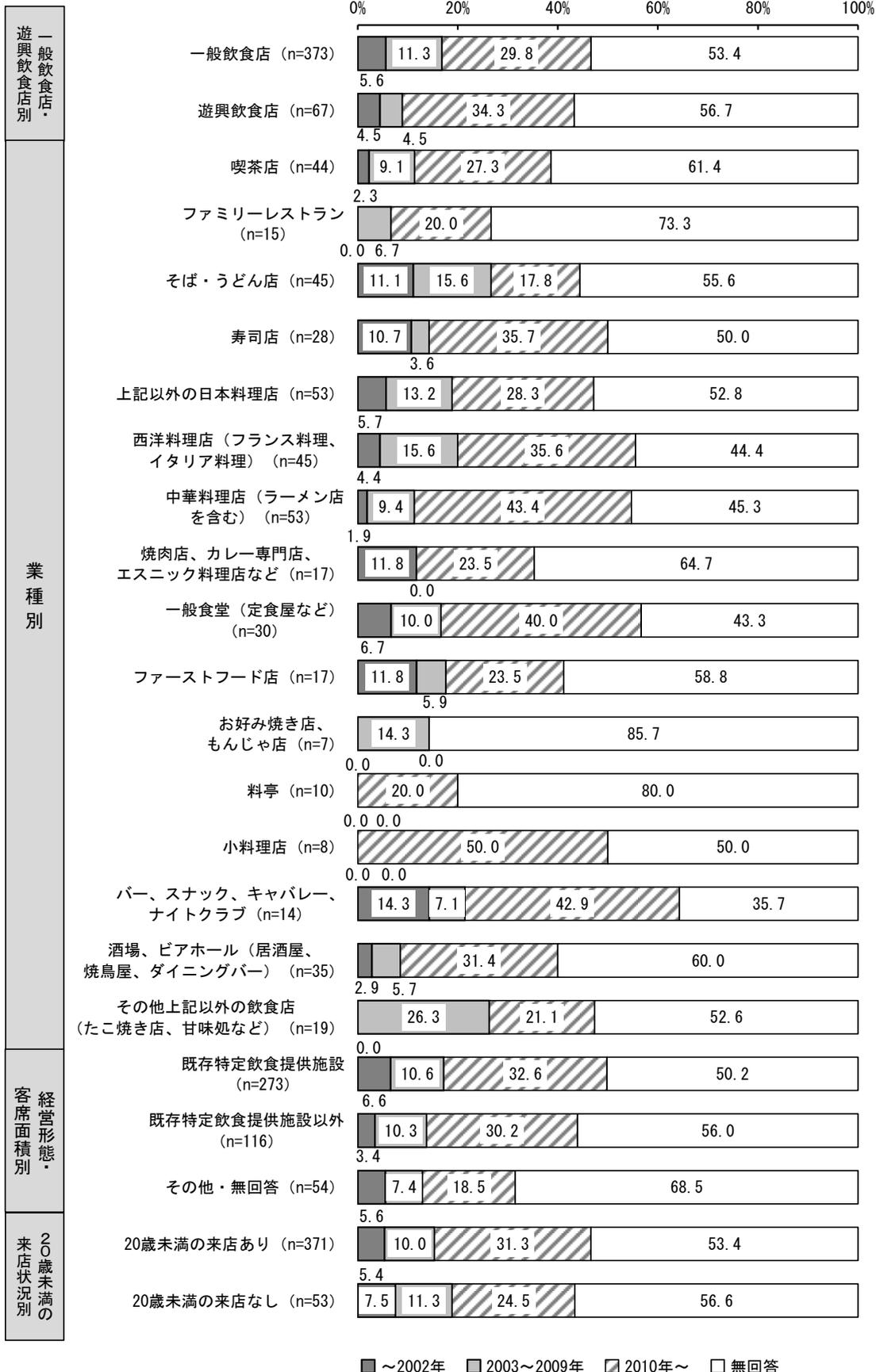
受動喫煙防止対策を行っているとして回答した施設の開始時期について、「2010年～」30.2%、「2003～2009年」10.2%、「～2002年」5.6%の順となっている。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「2010年～」は一般飲食店が29.8%、遊興飲食店が34.3%となっている。

業種別では、ほとんどの業種で「2010年～」が最も高く、小料理店50.0%、中華料理店（ラーメン店を含む）43.4%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ42.9%、一般食堂（定食屋など）40.0%となっている。

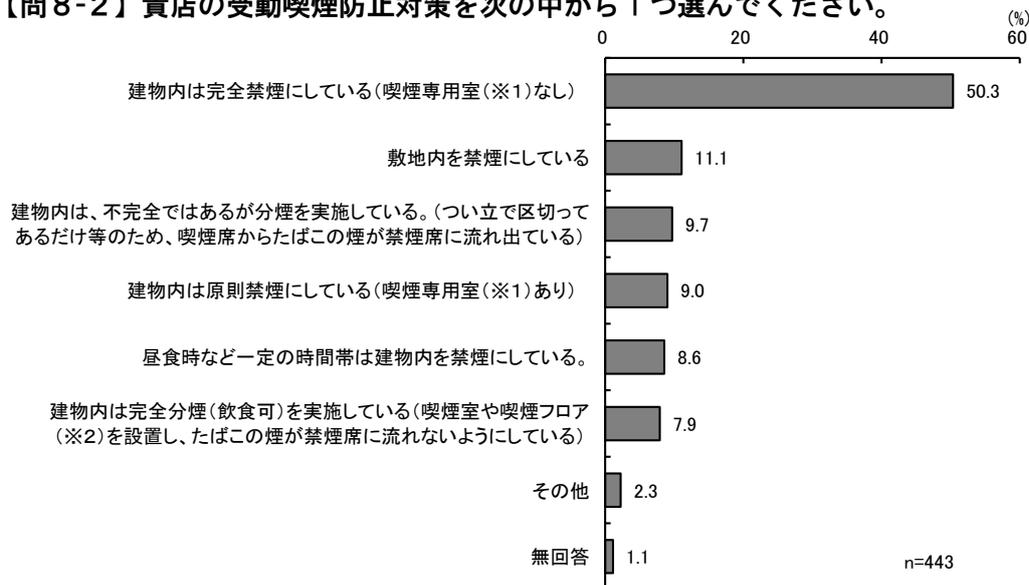
経営形態・客席面積別では、「2010年～」は既存特定飲食提供施設32.6%、既存特定飲食提供施設以外30.2%と既存特定飲食提供施設の方が2.4ポイント高くなっている。

20歳未満の来店状況別では、「2010年～」は20歳未満の来店あり31.3%、20歳未満の来店なし24.5%と20歳未満の来店ありの方が6.8ポイント高くなっている。



(問8で1と答えた方のみ回答)

【問8-2】貴店の受動喫煙防止対策を次の中から1つ選んでください。



※1 喫煙専用室…仕切りなどで区切りたばこの煙の流出防止した、たばこを吸うための場所

※2 喫煙室・喫煙フロア…たばこを吸いながら食事もできる場所

受動喫煙防止対策を行っているという回答した施設の受動喫煙防止対策について、「建物内は完全禁煙にしている(喫煙専用室(※1)なし)」50.3%、「敷地内を禁煙にしている」11.1%、「建物内は、不完全ではあるが分煙を実施している」9.7%、「建物内は原則禁煙にしている(喫煙専用室(※1)あり)」9.0%、「昼食時など一定の時間帯は建物内を禁煙にしている」8.6%、「建物内は完全分煙(飲食可)を実施している」7.9%の順となっている。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「建物内は完全禁煙にしている(喫煙専用室(※1)なし)」は一般飲食店が53.1%、遊興飲食店が34.3%と一般飲食店の方が18.8ポイント高くなっている。「建物内は、不完全ではあるが分煙を実施している」は一般飲食店が7.0%、遊興飲食店が25.4%となっている。

業種別では、「建物内は完全禁煙にしている(喫煙専用室(※1)なし)」は、小料理店75.0%、西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)68.9%と高くなっている。「敷地内を禁煙にしている」はファミリーレストラン26.7%と他の業種より高くなっている。「建物内は、不完全ではあるが分煙を実施している」はバー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ35.7%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「敷地内を禁煙にしている」は既存特定飲食提供施設9.9%、既存特定飲食提供施設以外14.7%と既存特定飲食提供施設以外の方が4.8ポイント高くなっている。

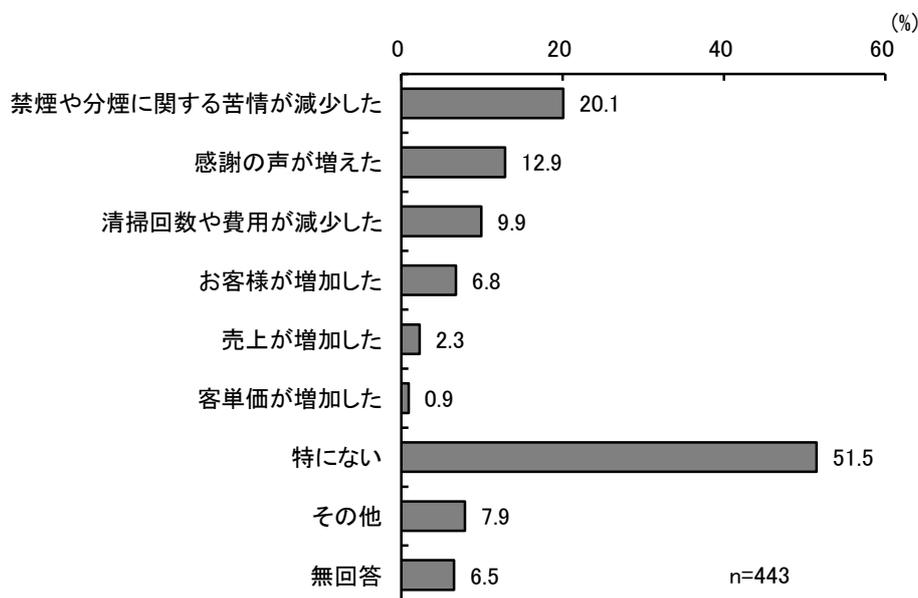
20歳未満の来店状況別では、「建物内は完全禁煙にしている(喫煙専用室(※1)なし)」は20歳未満の来店あり51.5%、20歳未満の来店なし43.4%と20歳未満の来店ありの方が8.1ポイント高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

		回答者数	建物内は完全禁煙にしている（喫煙専用室（※1）なし）	敷地内を禁煙にしている	この煙が禁煙席に流れ出ている（ただし、喫煙席からたばこの煙が禁煙席に流れ出ている）	建物内は、不完全ではあるが区分煙を喫煙している（※1あり）	建物内は原則禁煙にしている（喫煙専用室（※1）あり）	屋敷時など一定の時間帯は建物内を禁煙にしている。	建物内は完全分煙（喫煙専用室（※1）を設け、たばこの煙が禁煙席に流れないようにしている）	その他	無回答
全体		443	50.3	11.1	9.7	9.0	8.6	7.9	2.3	1.1	
遊一 興飲 飲食 店別・	一般飲食店	373	53.1	12.3	7.0	9.9	7.8	7.0	1.6	1.3	
	遊興飲食店	67	34.3	4.5	25.4	4.5	13.4	11.9	6.0	0.0	
業 種 別	喫茶店	44	47.7	18.2	15.9	6.8	4.5	6.8	0.0	0.0	
	ファミリーレストラン	15	33.3	26.7	13.3	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	
	そば・うどん店	45	60.0	15.6	2.2	8.9	4.4	4.4	2.2	2.2	
	寿司店	28	46.4	17.9	3.6	14.3	10.7	7.1	0.0	0.0	
	上記以外の日本料理店	53	50.9	7.5	11.3	7.5	15.1	5.7	1.9	0.0	
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	45	68.9	4.4	0.0	8.9	11.1	2.2	4.4	0.0	
	中華料理店(ラーメン店を含む)	53	58.5	11.3	3.8	7.5	11.3	5.7	0.0	1.9	
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	17	29.4	0.0	17.6	17.6	5.9	17.6	5.9	5.9	
	一般食堂(定食屋など)	30	56.7	10.0	3.3	6.7	3.3	13.3	3.3	3.3	
	ファーストフード店	17	58.8	11.8	0.0	17.6	0.0	5.9	0.0	5.9	
	お好み焼き店、もんじゃ店	7	57.1	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	
	料亭	10	30.0	0.0	30.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	
	小料理店	8	75.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	14	35.7	7.1	35.7	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	35	25.7	5.7	25.7	5.7	22.9	5.7	8.6	0.0	
	その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	19	36.8	26.3	5.3	21.1	0.0	10.5	0.0	0.0	
客 席 面 積 別・	既存特定飲食提供施設	273	52.7	9.9	9.2	8.8	9.9	5.1	2.9	1.5	
	既存特定飲食提供施設以外	116	42.2	14.7	12.1	8.6	6.0	13.8	1.7	0.9	
	その他・無回答	54	55.6	9.3	7.4	11.1	7.4	9.3	0.0	0.0	
20 歳 未 満 の 来 店 状 況 別	20歳未満の来店あり	371	51.5	11.1	8.1	9.7	9.2	7.0	2.2	1.3	
	20歳未満の来店なし	53	43.4	7.5	22.6	5.7	3.8	15.1	1.9	0.0	

(問8で1と答えた方のみ回答)

【問8-3】貴店では、対策実施によるメリットはありましたか。(〇はいくつでも)



受動喫煙防止対策を行っているとは回答した施設の対策実施によるメリットについて、「禁煙や分煙に関する苦情が減少した」20.1%、「感謝の声が増えた」12.9%、「清掃回数や費用が減少した」9.9%、「お客様が増加した」6.8%、「売上が増加した」2.3%、「客単価が増加した」0.9%の順となっている。「特にない」51.5%となっている。その他として、開店時から（かなり昔から）のため不明という回答が多かった。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「禁煙や分煙に関する苦情が減少した」は一般飲食店が21.2%、遊興飲食店が14.9%と一般飲食店の方が6.3ポイント高くなっている。「感謝の声が増えた」は一般飲食店が11.3%、遊興飲食店が20.9%と遊興飲食店の方が9.6ポイント高くなっている。

業種別では、「禁煙や分煙に関する苦情が減少した」は、ファミリーレストラン46.7%、お好み焼き店、もんじゃ店28.6%と高くなっている。「お客様が増加した」は酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）17.1%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「感謝の声が増えた」は既存特定飲食提供施設13.9%、既存特定飲食提供施設以外10.3%と既存特定飲食提供施設の方が3.6ポイント高くなっている。

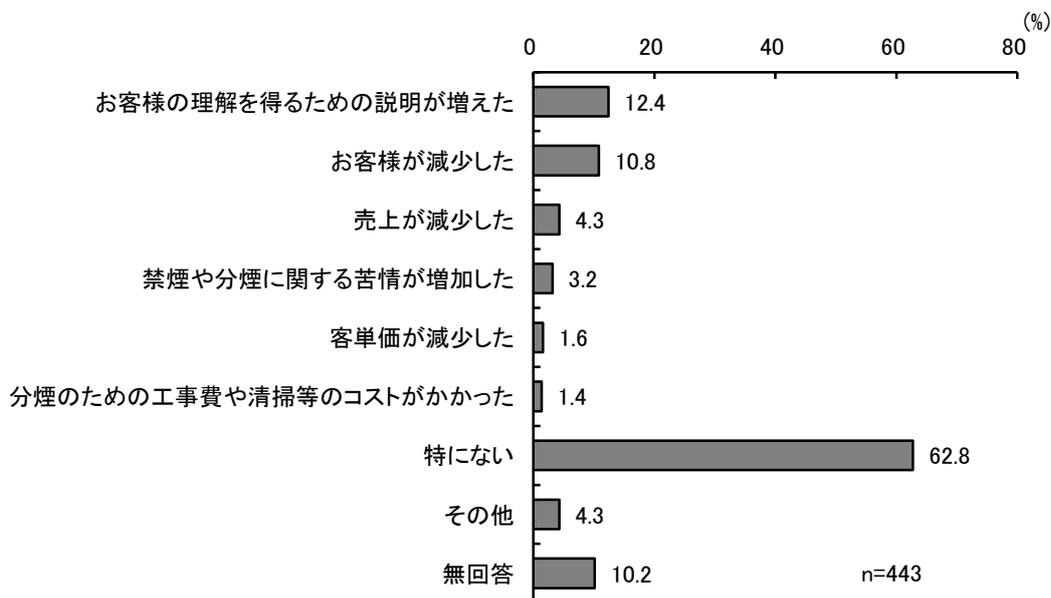
20歳未満の来店状況別では、「禁煙や分煙に関する苦情が減少した」は20歳未満の来店あり20.8%、20歳未満の来店なし11.3%と20歳未満の来店ありの方が9.5ポイント高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

		回答者数	禁煙や分煙に関する苦情が減少した	感謝の声が増えた	清掃回数や費用が減少した	お客様が増加した	売上が増加した	客単価が増加した	特にない	その他	無回答
全体		443	20.1	12.9	9.9	6.8	2.3	0.9	51.5	7.9	6.5
遊一般飲食店別・	一般飲食店	373	21.2	11.3	9.7	6.2	2.1	0.5	51.5	7.2	7.0
	遊興飲食店	67	14.9	20.9	11.9	10.4	3.0	3.0	50.7	11.9	4.5
業種別	喫茶店	44	25.0	9.1	4.5	4.5	2.3	2.3	52.3	15.9	6.8
	ファミリーレストラン	15	46.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	46.7	0.0	0.0
	そば・うどん店	45	15.6	8.9	11.1	6.7	0.0	0.0	53.3	8.9	11.1
	寿司店	28	25.0	17.9	3.6	3.6	0.0	0.0	57.1	0.0	3.6
	上記以外の日本料理店	53	24.5	11.3	11.3	1.9	1.9	0.0	54.7	7.5	3.8
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	45	20.0	13.3	8.9	11.1	4.4	0.0	60.0	4.4	0.0
	中華料理店(ラーメン店を含む)	53	24.5	15.1	13.2	1.9	0.0	0.0	43.4	11.3	3.8
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	17	23.5	17.6	11.8	11.8	11.8	0.0	35.3	0.0	17.6
	一般食堂(定食屋など)	30	13.3	3.3	6.7	10.0	0.0	3.3	53.3	3.3	13.3
	ファーストフード店	17	0.0	5.9	23.5	11.8	11.8	0.0	41.2	5.9	11.8
	お好み焼き店、もんじゃ店	7	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	14.3
	料亭	10	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0
	小料理店	8	25.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	14	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0	7.1	50.0	14.3	7.1
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	35	14.3	25.7	8.6	17.1	5.7	2.9	48.6	11.4	5.7
その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	19	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	0.0	57.9	5.3	15.8	
客経営形態・	既存特定飲食提供施設	273	19.8	13.9	8.8	7.3	2.6	1.5	50.9	8.1	7.3
	既存特定飲食提供施設以外	116	22.4	10.3	16.4	4.3	2.6	0.0	50.0	7.8	4.3
	その他・無回答	54	16.7	13.0	1.9	9.3	0.0	0.0	57.4	7.4	7.4
来店状況別の	20歳未満の来店あり	371	20.8	10.8	10.5	7.0	2.2	0.3	52.0	8.1	6.5
	20歳未満の来店なし	53	11.3	24.5	7.5	7.5	3.8	5.7	50.9	9.4	7.5

(問8で1と答えた方のみ回答)

【問8-4】貴店では、対策実施によるデメリットはありましたか。(〇はいくつでも)



受動喫煙防止対策を行っていると回答した施設の対策実施によるデメリットについて、「お客様の理解を得るための説明が増えた」12.4%、「お客様が減少した」10.8%、「売上が減少した」4.3%、「禁煙や分煙に関する苦情が増加した」3.2%、「客単価が減少した」1.6%、「分煙のための工事費や清掃等のコストがかかった」1.4%の順となっている。「特にない」は62.8%となっている。その他として、開店時から（かなり昔から）のため不明という回答が多かった。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「お客様の理解を得るための説明が増えた」は一般飲食店が11.5%、遊興飲食店が17.9%と遊興飲食店の方が6.4ポイント高くなっている。「お客様が減少した」は一般飲食店が9.9%、遊興飲食店が16.4%と遊興飲食店の方が6.5ポイント高くなっている。

業種別では、「お客様が減少した」は、ファミリーレストラン26.7%、小料理店25.0%、酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）22.9%と高くなっている。「特にない」は西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）77.8%、一般食堂（定食屋など）70.0%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「特にない」は既存特定飲食提供施設61.9%、既存特定飲食提供施設以外62.9%となっている。

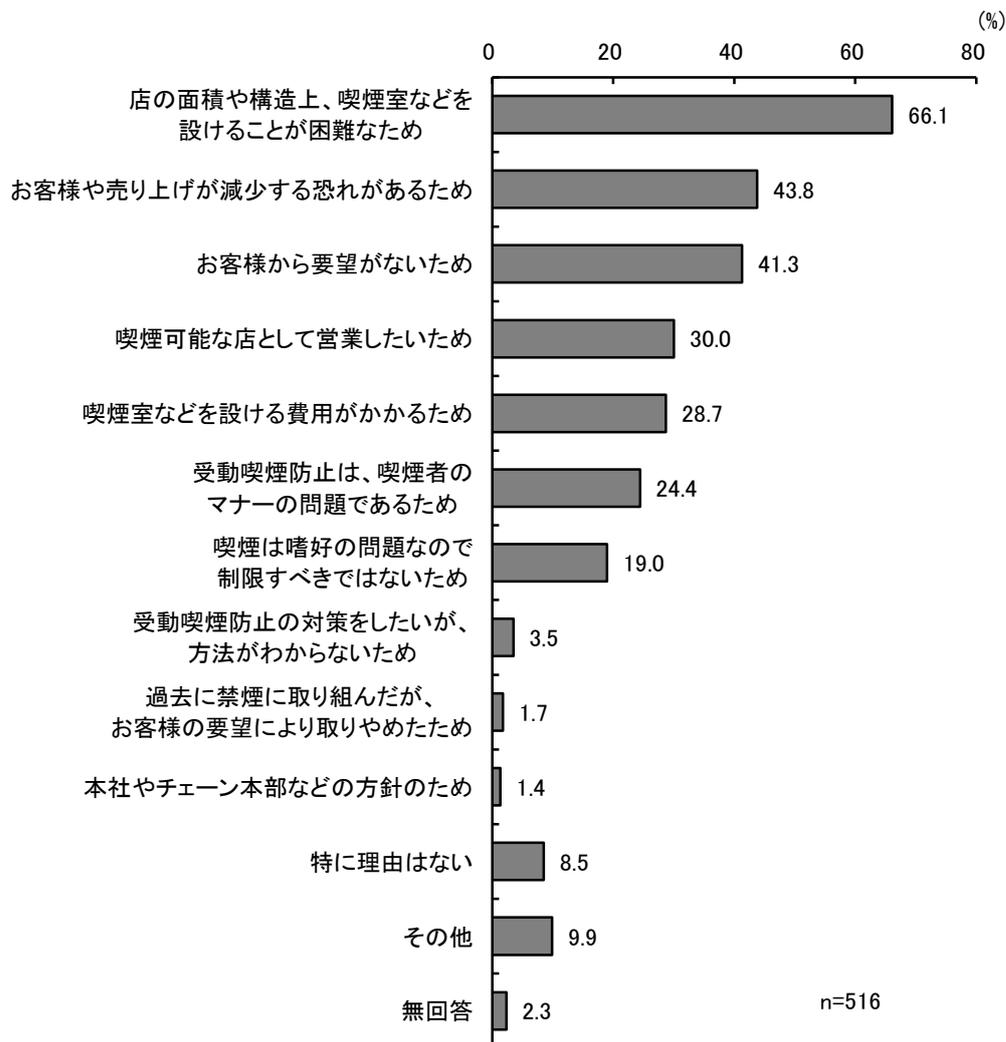
20歳未満の来店状況別では、「お客様が減少した」は20歳未満の来店あり10.2%、20歳未満の来店なし15.1%と20歳未満の来店なしの方が4.9ポイント高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

		(%)									
		回答者数	お客様の理解を得るための説明が増えた	お客様が減少した	売上が減少した	禁煙や分煙に関する苦情が増加した	客単価が減少した	分煙のための工事費や清掃等のコストがかかった	特にない	その他	無回答
全体		443	12.4	10.8	4.3	3.2	1.6	1.4	62.8	4.3	10.2
遊一般飲食店別・	一般飲食店	373	11.5	9.9	3.2	2.7	1.3	1.6	63.5	4.0	10.7
	遊興飲食店	67	17.9	16.4	10.4	6.0	3.0	0.0	58.2	6.0	6.0
業種別	喫茶店	44	11.4	11.4	6.8	4.5	0.0	2.3	56.8	6.8	11.4
	ファミリーレストラン	15	13.3	26.7	13.3	13.3	6.7	6.7	40.0	0.0	13.3
	そば・うどん店	45	4.4	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	62.2	4.4	22.2
	寿司店	28	14.3	17.9	3.6	0.0	0.0	0.0	64.3	3.6	7.1
	上記以外の日本料理店	53	20.8	9.4	5.7	3.8	1.9	1.9	62.3	5.7	3.8
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	45	4.4	4.4	0.0	2.2	4.4	4.4	77.8	4.4	4.4
	中華料理店(ラーメン店を含む)	53	13.2	13.2	0.0	3.8	1.9	0.0	66.0	3.8	3.8
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	17	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	58.8	0.0	11.8
	一般食堂(定食屋など)	30	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0	16.7
	ファーストフード店	17	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	58.8	0.0	17.6
	お好み焼き店、もんじゃ店	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	14.3
	料亭	10	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	60.0	10.0	0.0
	小料理店	8	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	14	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	57.1	14.3	21.4
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	35	22.9	22.9	14.3	8.6	2.9	0.0	57.1	2.9	2.9
その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	19	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	63.2	5.3	21.1	
客経営形態・	既存特定飲食提供施設	273	11.4	11.0	3.3	2.2	1.1	0.4	61.9	5.5	11.0
	既存特定飲食提供施設以外	116	16.4	10.3	6.0	4.3	1.7	4.3	62.9	2.6	6.9
	その他・無回答	54	9.3	11.1	5.6	5.6	3.7	0.0	66.7	1.9	13.0
来店状況別の	20歳未満の来店あり	371	12.4	10.2	4.0	3.0	1.3	1.6	63.1	4.6	10.0
	20歳未満の来店なし	53	11.3	15.1	7.5	5.7	3.8	0.0	62.3	3.8	9.4

(問8で2と答えた方のみ回答)

【問8-5】貴店が対策を実施していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



受動喫煙防止対策を行っていないと回答した施設の対策を実施していない理由について、「店の面積や構造上、喫煙室などを設けることが困難なため」66.1%、「お客様や売り上げが減少する恐れがあるため」43.8%、「お客様から要望がないため」41.3%、「喫煙可能な店として営業したいため」30.0%、「喫煙室などを設ける費用がかかるため」28.7%の順となっている。「特に理由はない」は8.5%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

(%)

	回答者数	店の面積や構造上、喫煙が困難なため	喫煙を希望するお客様が少なく、売上げが上がるため	お客様から要望がないため	喫煙可能な店として営業したいため	喫煙室などを設ける費用がかかるため	受動喫煙防止は、喫煙者のマナーの問題であるため
全体	516	66.1	43.8	41.3	30.0	28.7	24.4
遊興飲食店別							
一般飲食店	224	64.3	40.2	29.5	23.7	27.2	25.9
遊興飲食店	291	67.4	46.7	50.5	35.1	29.9	23.0
業種別							
喫茶店	40	72.5	30.0	30.0	35.0	20.0	27.5
ファミリーレストラン	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば・うどん店	20	60.0	45.0	35.0	15.0	30.0	40.0
寿司店	26	53.8	30.8	26.9	19.2	19.2	30.8
上記以外の日本料理店	26	61.5	34.6	46.2	23.1	26.9	34.6
西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	9	55.6	0.0	22.2	44.4	11.1	22.2
中華料理店(ラーメン店を含む)	30	63.3	53.3	26.7	20.0	26.7	20.0
焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	15	60.0	53.3	26.7	26.7	40.0	6.7
一般食堂(定食屋など)	40	67.5	52.5	25.0	22.5	37.5	22.5
ファーストフード店	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
お好み焼き店、もんじゃ店	9	88.9	55.6	33.3	22.2	44.4	44.4
料亭	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小料理店	14	92.9	50.0	71.4	50.0	50.0	28.6
バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	129	58.1	49.6	55.0	32.6	21.7	21.7
酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	147	72.8	44.2	44.9	36.1	35.4	23.8
その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
経営形態別							
既存特定飲食提供施設	424	68.6	45.0	42.7	31.1	28.1	23.6
既存特定飲食提供施設以外	39	56.4	41.0	41.0	28.2	41.0	20.5
その他・無回答	53	52.8	35.8	30.2	22.6	24.5	34.0
来店状況別							
20歳未満の来店あり	295	70.2	43.4	35.3	25.1	32.9	25.4
20歳未満の来店なし	213	61.5	44.6	50.7	37.1	23.9	23.0

一般飲食店・遊興飲食店別では、「喫煙は嗜好の問題なので制限すべきではないため」は一般飲食店が9.8%、遊興飲食店が26.1%と遊興飲食店の方が16.3ポイント高くなっている。

業種別では、「喫煙可能な店として営業したいため」は、小料理店50.0%、西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)44.4%、酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)36.1%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ32.6%と他の業種より高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

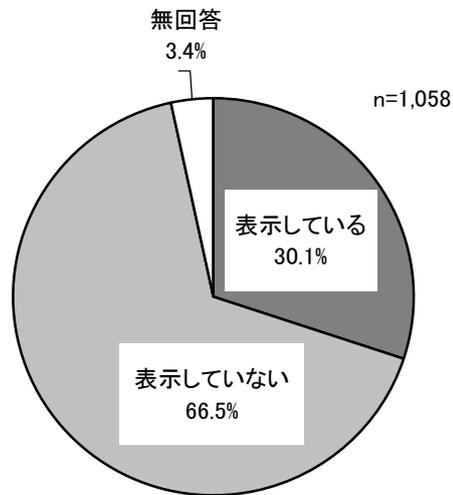
		(%)						
		な の 喫 煙 は 嗜 好 の 問 題 は な い た め に 限 す べ き で は な い	受 動 喫 煙 防 止 の 方 法 が 策 を か し た い が た め に	過 去 に 禁 煙 に お 客 様 の 要 望 に お よ び 取 り や め た た め	本 社 の 方 針 の た め に	特 に 理 由 は な い	そ の 他	無 回 答
全体		19.0	3.5	1.7	1.4	8.5	9.9	2.3
遊 興 飲 食 店 別	一般飲食店	9.8	3.6	1.8	0.4	10.3	13.4	4.0
	遊興飲食店	26.1	3.4	1.4	2.1	7.2	7.2	1.0
業 種 別	喫茶店	10.0	0.0	0.0	0.0	12.5	7.5	0.0
	ファミリーレストラン	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	そば・うどん店	10.0	20.0	5.0	0.0	10.0	20.0	5.0
	寿司店	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	3.8
	上記以外の日本料理店	7.7	3.8	0.0	3.8	7.7	15.4	7.7
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0
	中華料理店(ラーメン店を含む)	10.0	3.3	6.7	0.0	6.7	13.3	3.3
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	20.0	13.3
	一般食堂(定食屋など)	5.0	5.0	0.0	0.0	12.5	7.5	5.0
	ファーストフード店	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	お好み焼き店、もんじゃ店	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0
	料亭	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	小料理店	42.9	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	34.1	2.3	0.0	0.0	10.1	10.9	1.6
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	17.7	4.1	2.0	4.1	5.4	4.1	0.7
その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	
客 席 面 積 別	既存特定飲食提供施設	18.9	3.8	1.2	0.7	8.0	9.4	2.1
	既存特定飲食提供施設以外	15.4	2.6	7.7	5.1	12.8	10.3	2.6
	その他・無回答	22.6	1.9	1.9	3.8	9.4	13.2	3.8
来 店 状 況 別	20歳未満の来店あり	13.9	4.7	2.4	2.4	6.8	11.9	2.4
	20歳未満の来店なし	26.8	1.9	0.5	0.0	10.8	7.5	1.9

経営形態・客席面積別では、「店の面積や構造上、喫煙室などを設けることが困難なため」は既存特定飲食提供施設 68.6%、既存特定飲食提供施設以外 56.4%と既存特定飲食提供施設の方が12.2ポイント高くなっている。

20歳未満の来店状況別では、「喫煙可能な店として営業したいため」は20歳未満の来店あり25.1%、20歳未満の来店なし37.1%と20歳未満の来店なしの方が12.0ポイント高くなっている。

3-2 喫煙の可否の表示状況

【問9】貴店では、喫煙の可否（禁煙、分煙、喫煙可等）を表示していますか。



喫煙の可否の表示状況について、「表示している」30.1%、「表示していない」66.5%となっている。

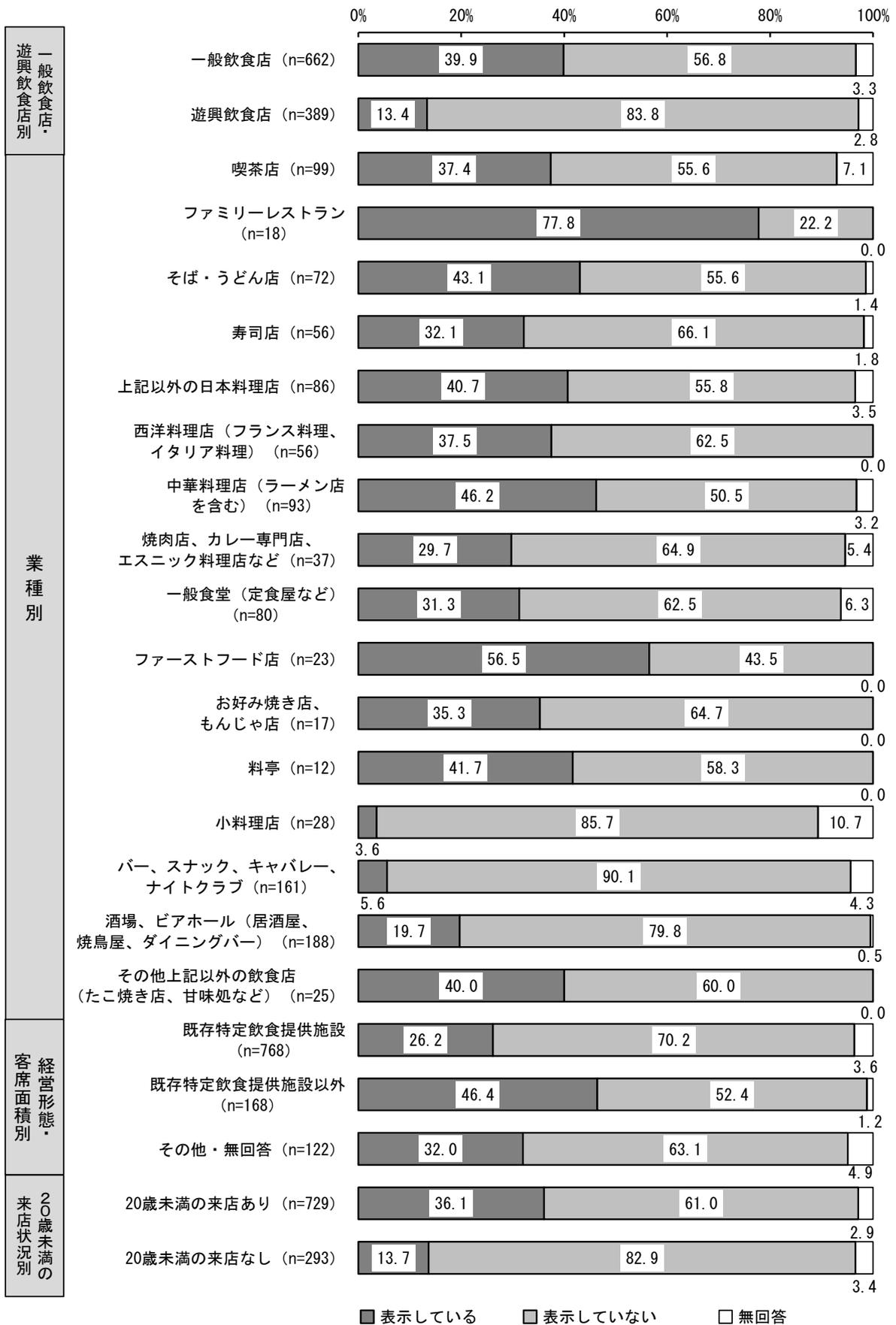
一般飲食店・遊興飲食店別では、「表示している」は一般飲食店が39.9%、遊興飲食店が13.4%と一般飲食店の方が26.5ポイント高くなっている。

業種別では、「表示している」は、ファミリーレストラン77.8%、ファーストフード店56.5%、中華料理店（ラーメン店を含む）46.2%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「表示している」は既存特定飲食提供施設26.2%、既存特定飲食提供施設以外46.4%と既存特定飲食提供施設以外の方が20.2ポイント高くなっている。

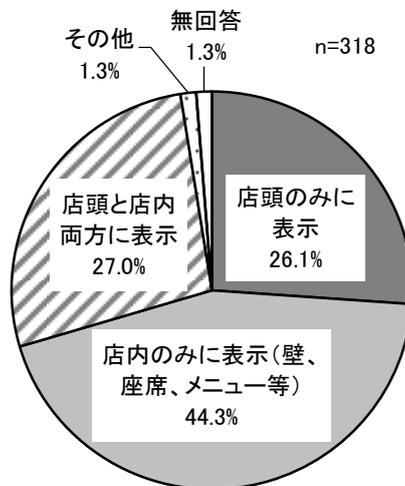
20歳未満の来店状況別では、「表示している」は20歳未満の来店あり36.1%、20歳未満の来店なし13.7%と20歳未満の来店ありの方が22.4ポイント高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査



(問9で1と答えた方のみ回答)

【問9-2】表示している場所はどこですか。



喫煙の可否の表示状況について表示していると回答した施設の表示している場所について、「店内のみに表示(壁、座席、メニュー等)」44.3%、「店頭と店内両方に表示」27.0%「店頭のみに表示」26.1%の順となっている。

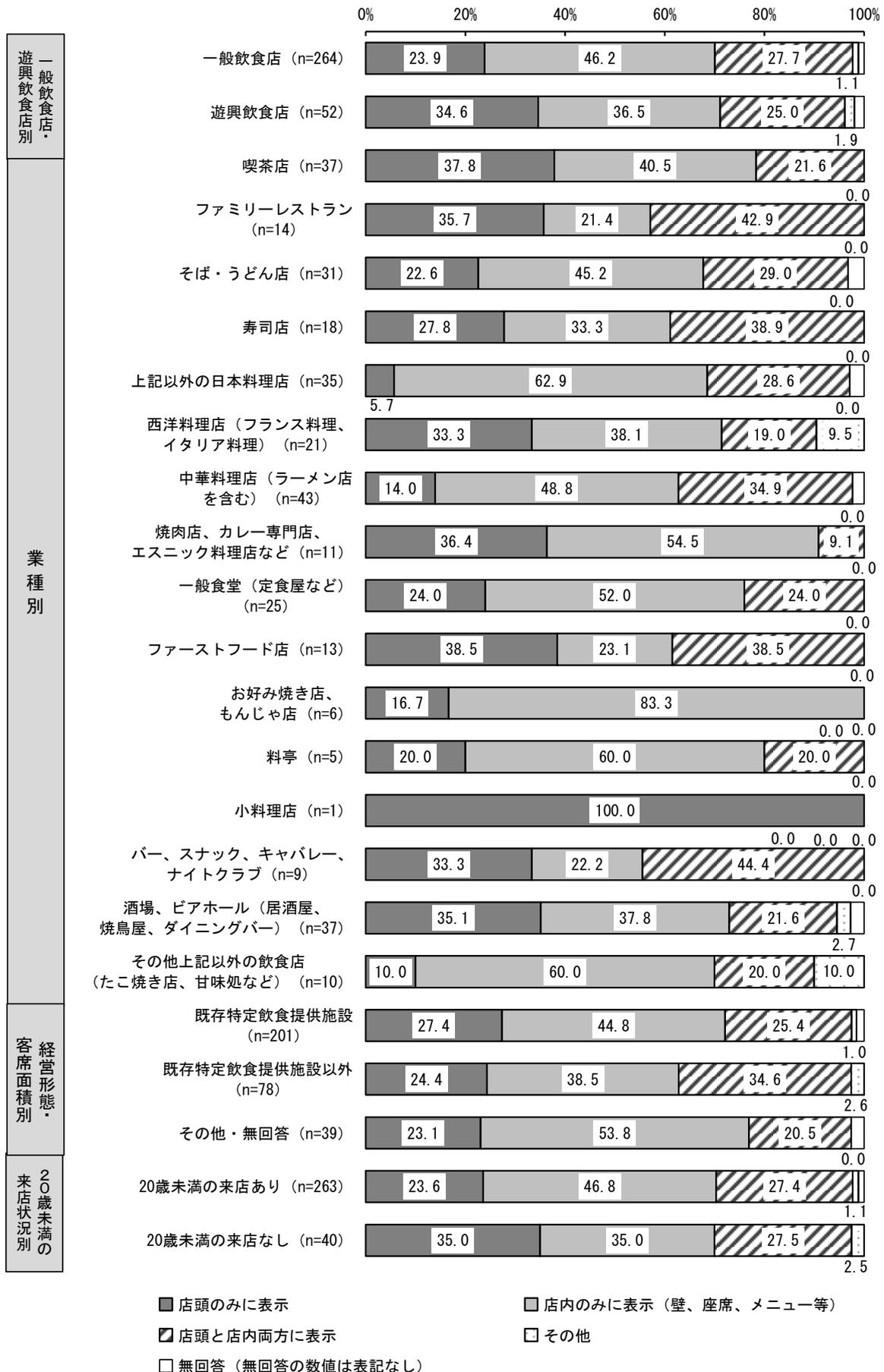
一般飲食店・遊興飲食店別では、「店頭と店内両方に表示」は一般飲食店が27.7%、遊興飲食店が25.0%と一般飲食店の方が2.7ポイント高くなっている。「店頭のみに表示」は一般飲食店が23.9%、遊興飲食店が34.6%と遊興飲食店の方が10.7ポイント高くなっている。

業種別では、「店頭と店内両方に表示」は、ファミリーレストラン42.9%、寿司店38.9%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ44.4%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「店頭と店内両方に表示」は既存特定飲食提供施設25.4%、既存特定飲食提供施設以外34.6%と既存特定飲食提供施設以外の方が9.2ポイント高くなっている。

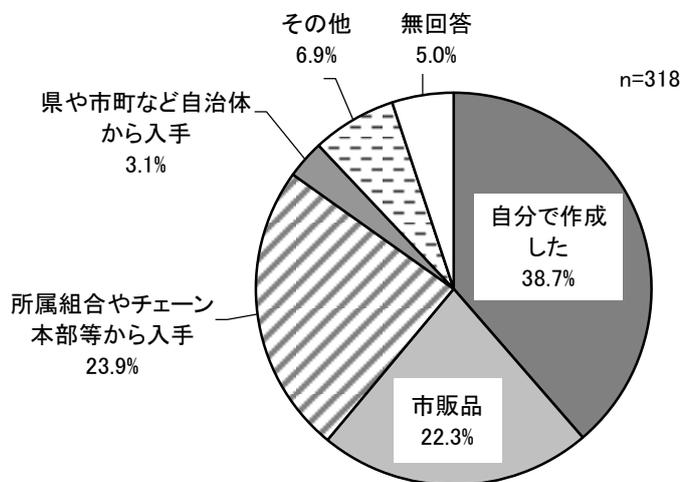
20歳未満の来店状況別では、「店頭のみに表示」は20歳未満の来店あり23.6%、20歳未満の来店なし35.0%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査



(問9で1と答えた方のみ回答)

【問9-3】表示物(ステッカー等)はどこで入手しましたか。



喫煙の可否の表示状況について表示していると回答した施設の表示物(ステッカー等)の入手先について、「自分で作成した」38.7%、「所属組合やチェーン本部等から入手」23.9%、「市販品」22.3%、「県や市町など自治体から入手」3.1%の順となっている。

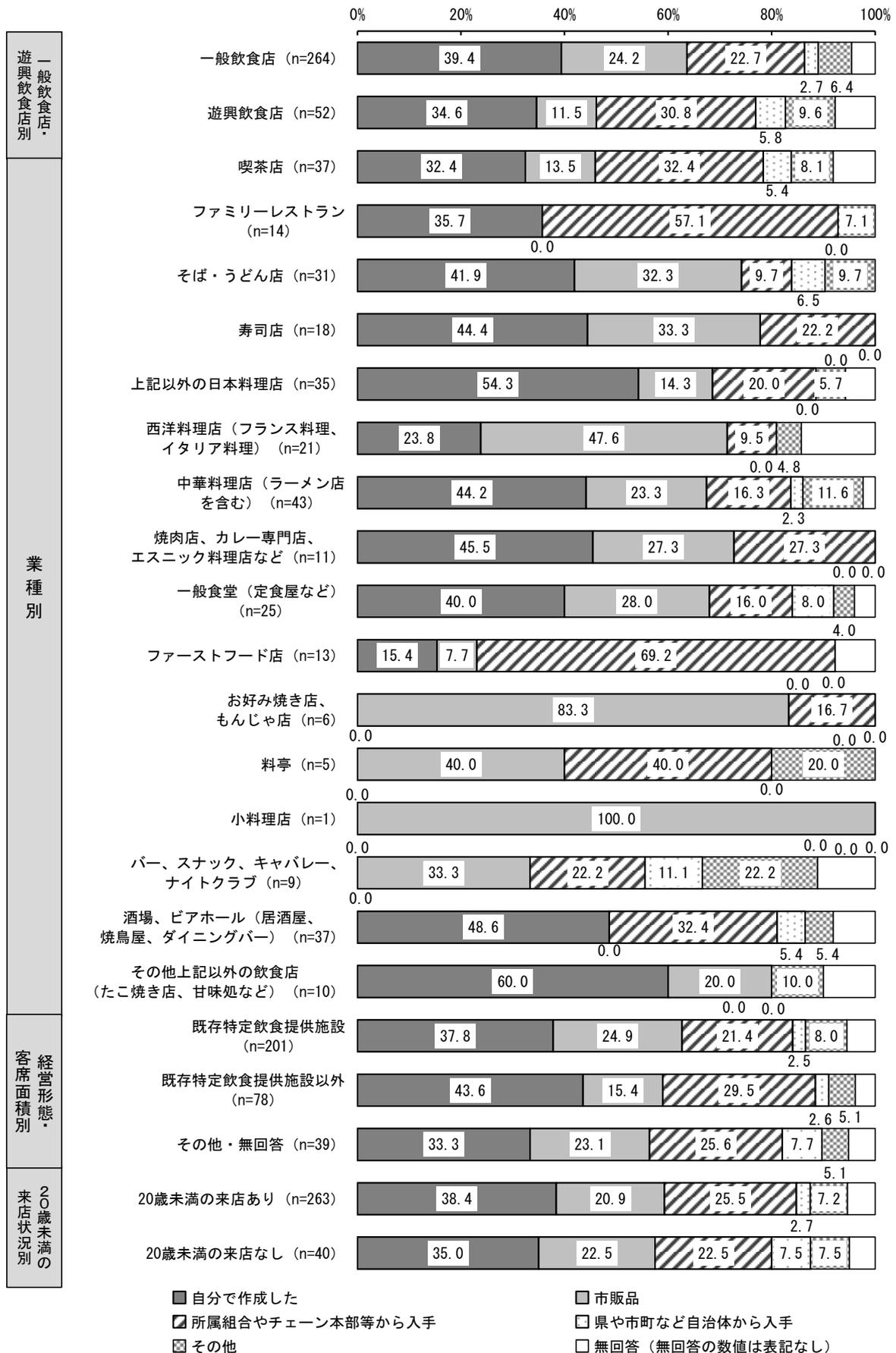
一般飲食店・遊興飲食店別では、「自分で作成した」は一般飲食店が39.4%、遊興飲食店が34.6%と一般飲食店の方が4.8ポイント高くなっている。「所属組合やチェーン本部等から入手」は一般飲食店が22.7%、遊興飲食店が30.8%と遊興飲食店の方が8.1ポイント高くなっている。

業種別では、「県や市町など自治体から入手」は、一般食堂(定食屋など)8.0%、そば・うどん店6.5%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ11.0%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「所属組合やチェーン本部等から入手」は既存特定飲食提供施設21.4%、既存特定飲食提供施設以外29.5%と既存特定飲食提供施設以外の方が8.1ポイント高くなっている。

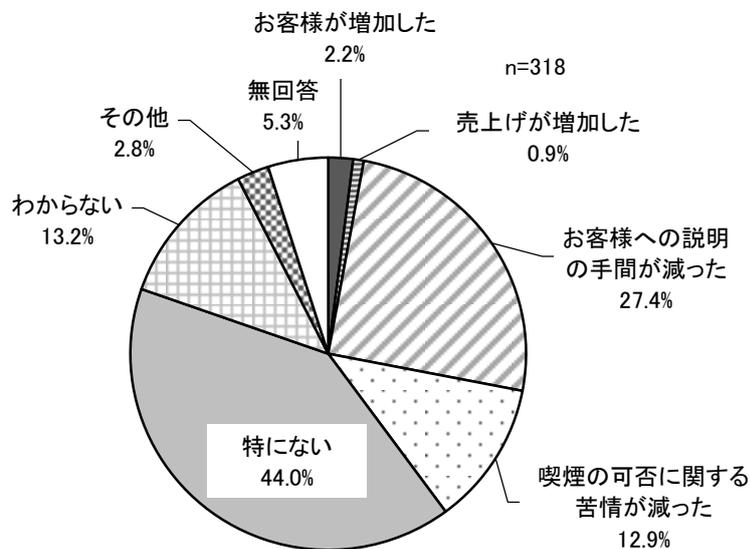
20歳未満の来店状況別では、「県や市町など自治体から入手」は20歳未満の来店あり2.7%、20歳未満の来店なし7.5%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査



(問9で1と答えた方のみ回答)

【問9-4】表示によりどのようなメリットがありましたか。



喫煙の可否の表示状況について表示していると回答した施設の表示によるメリットについて、「お客様への説明の手間が減った」27.4%、「喫煙の可否に関する苦情が減った」12.9%、「お客様が増加した」2.2%、「売上げが増加した」0.9%の順となっている。「特にない」は44.0%となっている。

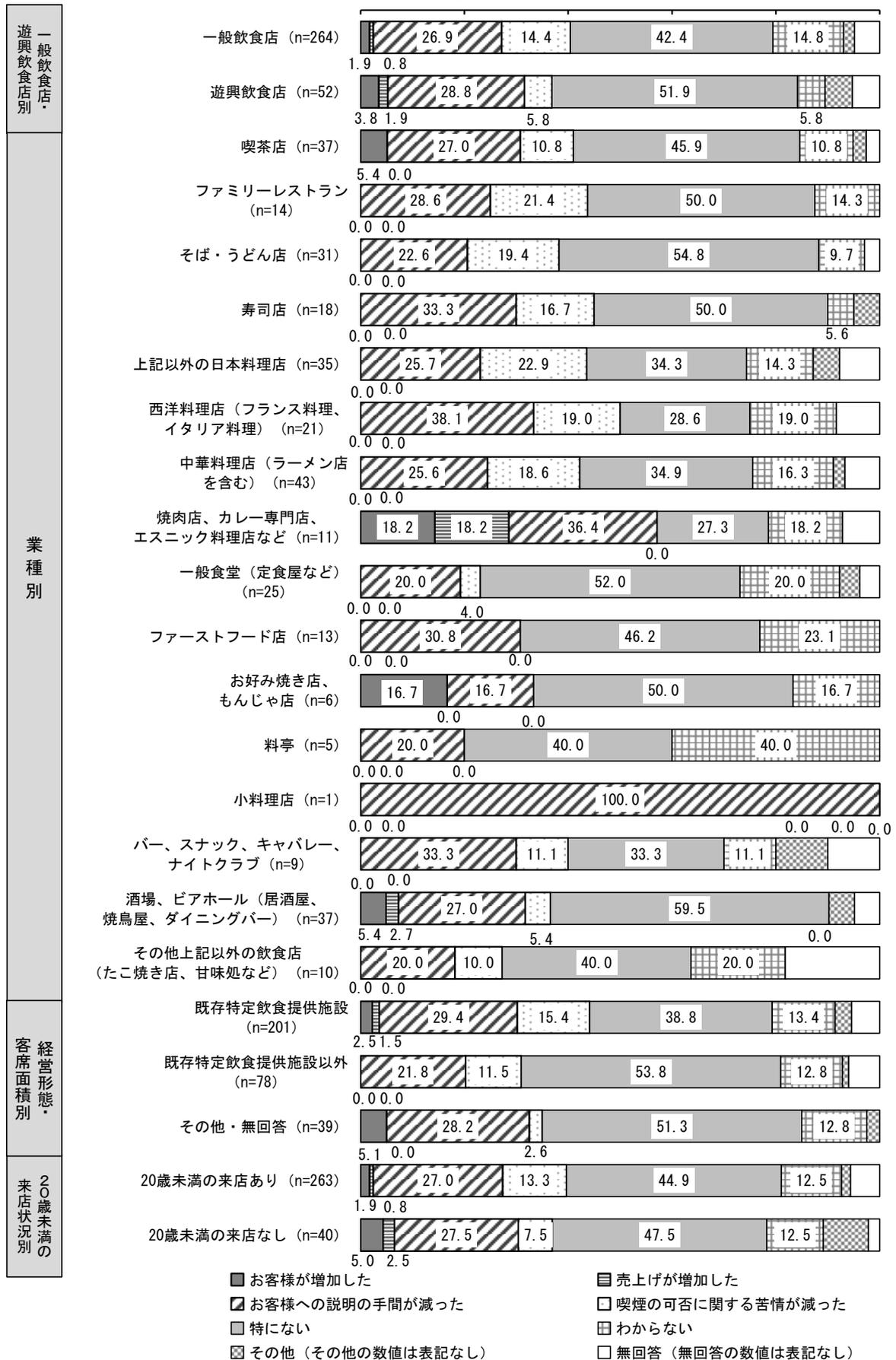
一般飲食店・遊興飲食店別では、「喫煙の可否に関する苦情が減った」は一般飲食店が14.4%、遊興飲食店が5.8%と一般飲食店の方が8.6ポイント高くなっている。「お客様が増加した」は一般飲食店が1.9%、遊興飲食店が3.8%と遊興飲食店の方が1.9ポイント高くなっている。

業種別では、「お客様への説明の手間が減った」は、西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)38.1%、焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など36.4%、小料理店100.0%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ33.3%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「お客様への説明の手間が減った」は既存特定飲食提供施設29.4%、既存特定飲食提供施設以外21.8%と既存特定飲食提供施設の方が7.6ポイント高くなっている。

20歳未満の来店状況別では、「喫煙の可否に関する苦情が減った」は20歳未満の来店あり13.3%、20歳未満の来店なし7.5%となっている。

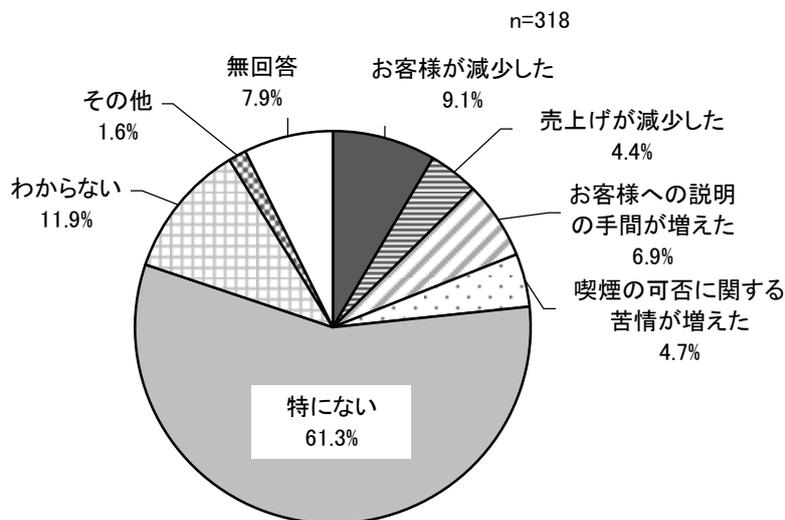
受動喫煙に関する飲食店実態調査



- お客様が増加した
- 売上げが増加した
- ▣ お客様への説明の手間が減った
- 喫煙の可否に関する苦情が減った
- ▢ 特にない
- 田 わからない
- ☒ その他 (その他の数値は表記なし)
- 無回答 (無回答の数値は表記なし)

(問9で1と答えた方のみ回答)

【問9-5】表示によりどのようなデメリットがありましたか。



喫煙の可否の表示状況について表示していると回答した施設の表示によるデメリットについて、「お客様が減少した」9.1%、「お客様への説明の手間が増えた」6.9%、「喫煙の可否に関する苦情が増えた」4.7%、「売上げが減少した」4.4%の順となっている。「特にない」は61.3%となっている。

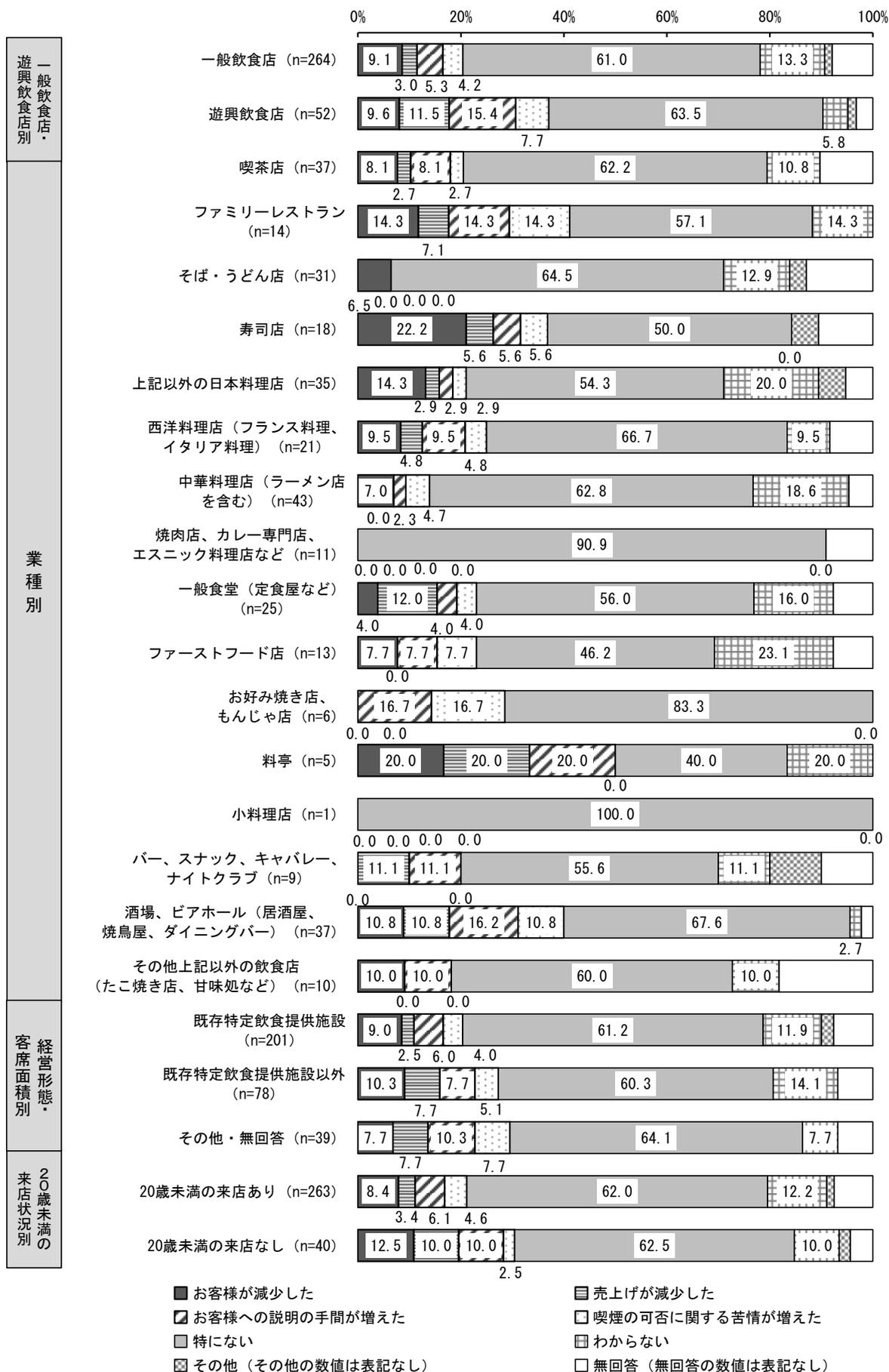
一般飲食店・遊興飲食店別では、「お客様が減少した」は一般飲食店が9.1%、遊興飲食店が9.6%となっている。「お客様への説明の手間が増えた」は一般飲食店が5.3%、遊興飲食店が15.4%と遊興飲食店の方が10.1ポイント高くなっている。

業種別では、「特にない」がいずれの業種でも最も高くなっている。「お客様が減少した」は、ファミリーレストラン14.3%、寿司店22.2%、上記以外の日本料理店14.3%、料亭20.0%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「特にない」は既存特定飲食提供施設61.2%、既存特定飲食提供施設以外60.3%となっている。

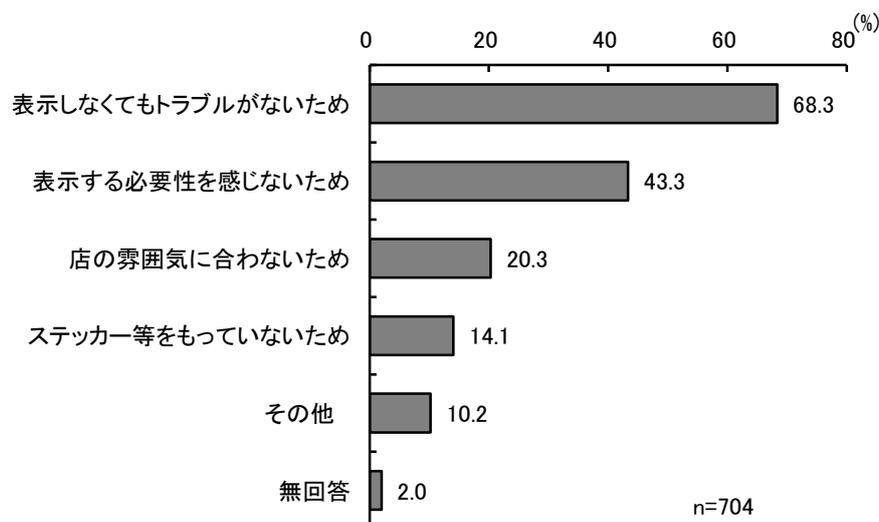
20歳未満の来店状況別では、「お客様が減少した」は20歳未満の来店あり8.4%、20歳未満の来店なし12.5%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査



(問9で2と答えた方のみ回答)

【問9-6】表示していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



喫煙の可否の表示状況について表示していないと回答した施設の表示していない理由について、「表示しなくてもトラブルがないため」68.3%、「表示する必要性を感じないため」43.3%、「店の雰囲気に合わないため」20.3%、「ステッカー等をもっていないため」14.1%の順となっている。その他として、口頭で説明しているためという回答が多かった。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「店の雰囲気に合わないため」は一般飲食店が13.0%、遊興飲食店が28.5%と遊興飲食店の方が15.5ポイント高くなっている。「ステッカー等をもっていないため」は一般飲食店が13.0%、遊興飲食店が15.3%となっている。

業種別では、「店の雰囲気に合わないため」は、西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)28.6%、料亭71.4%、小料理店45.8%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ27.6%、酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)24.7%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「表示しなくてもトラブルがないため」は既存特定飲食提供施設68.6%、既存特定飲食提供施設以外68.2%となっている。

20歳未満の来店状況別では、「表示する必要性を感じないため」は20歳未満の来店あり40.0%、20歳未満の来店なし51.4%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

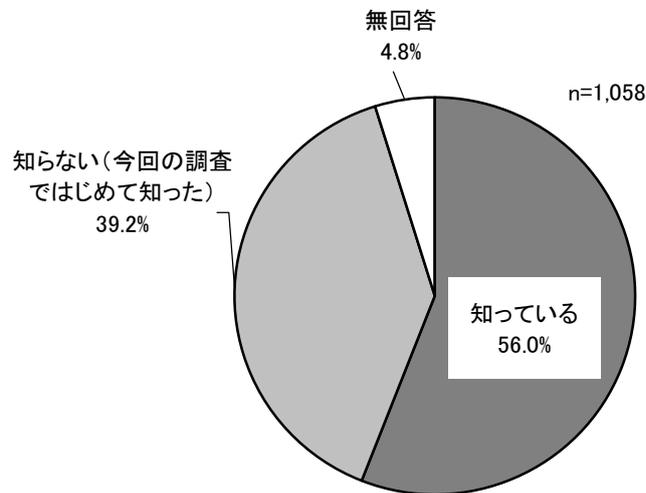
(%)

	回答者数	が表示しなくても トラブル	表示する必要を感じな いため	店の雰囲気 に合わないた め	ステッカー等 をもってい ないため	その他	無回答	
全体	704	68.3	43.3	20.3	14.1	10.2	2.0	
遊一 興飲 飲飲 食食 店店 別・ 別・	一般飲食店	67.8	40.2	13.0	13.0	13.6	2.4	
	遊興飲食店	326	68.7	47.2	28.5	15.3	6.4	1.5
業 種 別	喫茶店	55	74.5	45.5	10.9	18.2	18.2	3.6
	ファミリーレストラン	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	そば・うどん店	40	65.0	40.0	10.0	22.5	15.0	2.5
	寿司店	37	78.4	48.6	8.1	5.4	10.8	2.7
	上記以外の日本料理店	48	79.2	33.3	20.8	0.0	8.3	2.1
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	35	71.4	42.9	28.6	11.4	11.4	0.0
	中華料理店(ラーメン店を含む)	47	61.7	46.8	12.8	19.1	12.8	2.1
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	24	33.3	37.5	16.7	25.0	20.8	4.2
	一般食堂(定食屋など)	50	68.0	28.0	8.0	6.0	18.0	2.0
	ファーストフード店	10	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0
	お好み焼き店、もんじゃ店	11	90.9	45.5	9.1	9.1	0.0	0.0
	料亭	7	71.4	14.3	71.4	0.0	42.9	0.0
	小料理店	24	75.0	50.0	45.8	25.0	4.2	0.0
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	145	69.0	48.3	27.6	13.8	5.5	2.8
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	150	67.3	47.3	24.7	16.0	6.0	0.7
その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	15	66.7	40.0	6.7	13.3	13.3	0.0	
客 席 面 積 別・ 態 別・	既存特定飲食提供施設	539	68.6	43.0	20.8	15.2	11.7	1.5
	既存特定飲食提供施設以外	88	68.2	48.9	19.3	9.1	8.0	2.3
	その他・無回答	77	66.2	39.0	18.2	11.7	2.6	5.2
来 店 状 況 別 の	20歳未満の来店あり	445	68.3	40.0	16.6	14.2	12.8	2.2
	20歳未満の来店なし	243	68.7	51.4	27.6	13.2	5.8	1.2

4 健康増進法に関する考え方

4-1 健康増進法の改正内容の認知度

【問 10】受動喫煙防止対策を強化するため、平成 30 年 7 月に健康増進法の改正が可決されましたが、あなたは、その内容等についてご存知ですか。



健康増進法の改正内容の認知度について、「知っている」56.0%、「知らない（今回の調査ではじめて知った）」39.2%となっている。

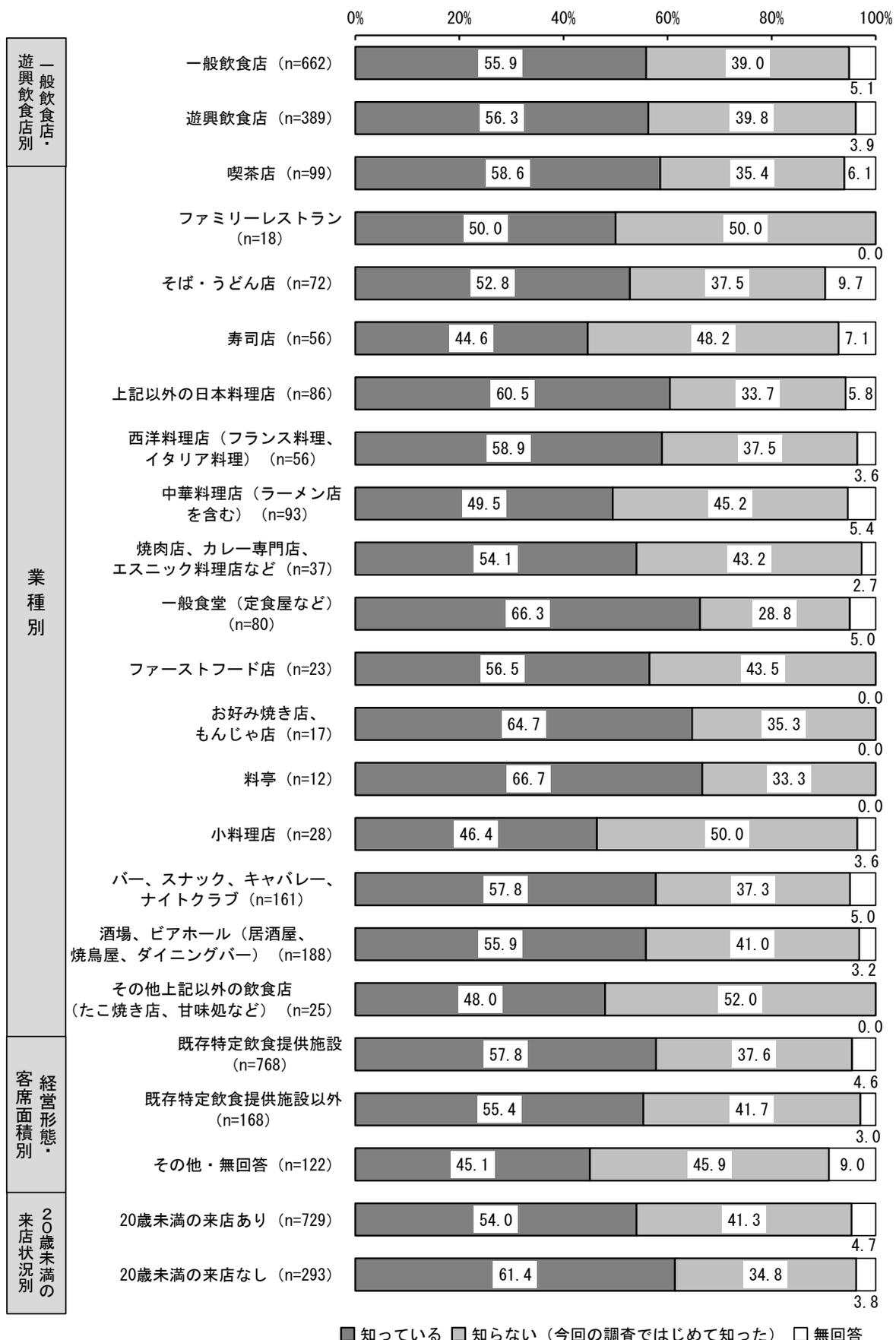
一般飲食店・遊興飲食店別では、「知っている」は一般飲食店が55.9%、遊興飲食店が56.3%となっている。「知らない（今回の調査ではじめて知った）」は一般飲食店が39.0%、遊興飲食店が39.8%となっている。

業種別では、「知らない（今回の調査ではじめて知った）」は、ファミリーレストラン 50.0%、寿司店 48.2%、小料理店 50.0%、その他上記以外の飲食店（たこ焼き店、甘味処など）52.0%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「知っている」は既存特定飲食提供施設 57.8%、既存特定飲食提供施設以外 55.4%となっている。

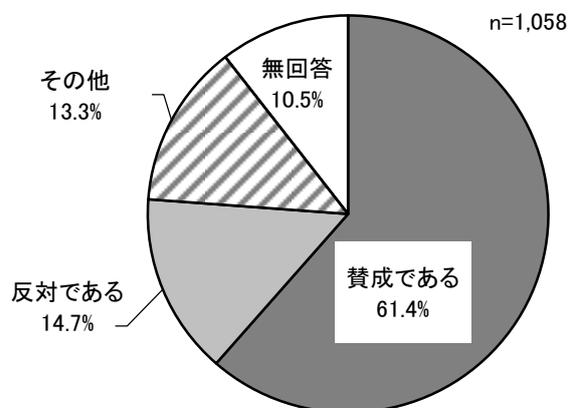
20歳未満の来店状況別では、「知っている」は20歳未満の来店あり 54.0%、20歳未満の来店なし 61.4%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査



4-2 健康増進法の改正内容について感じる事

【問 11】健康増進法の改正内容について、どのように感じていますか。



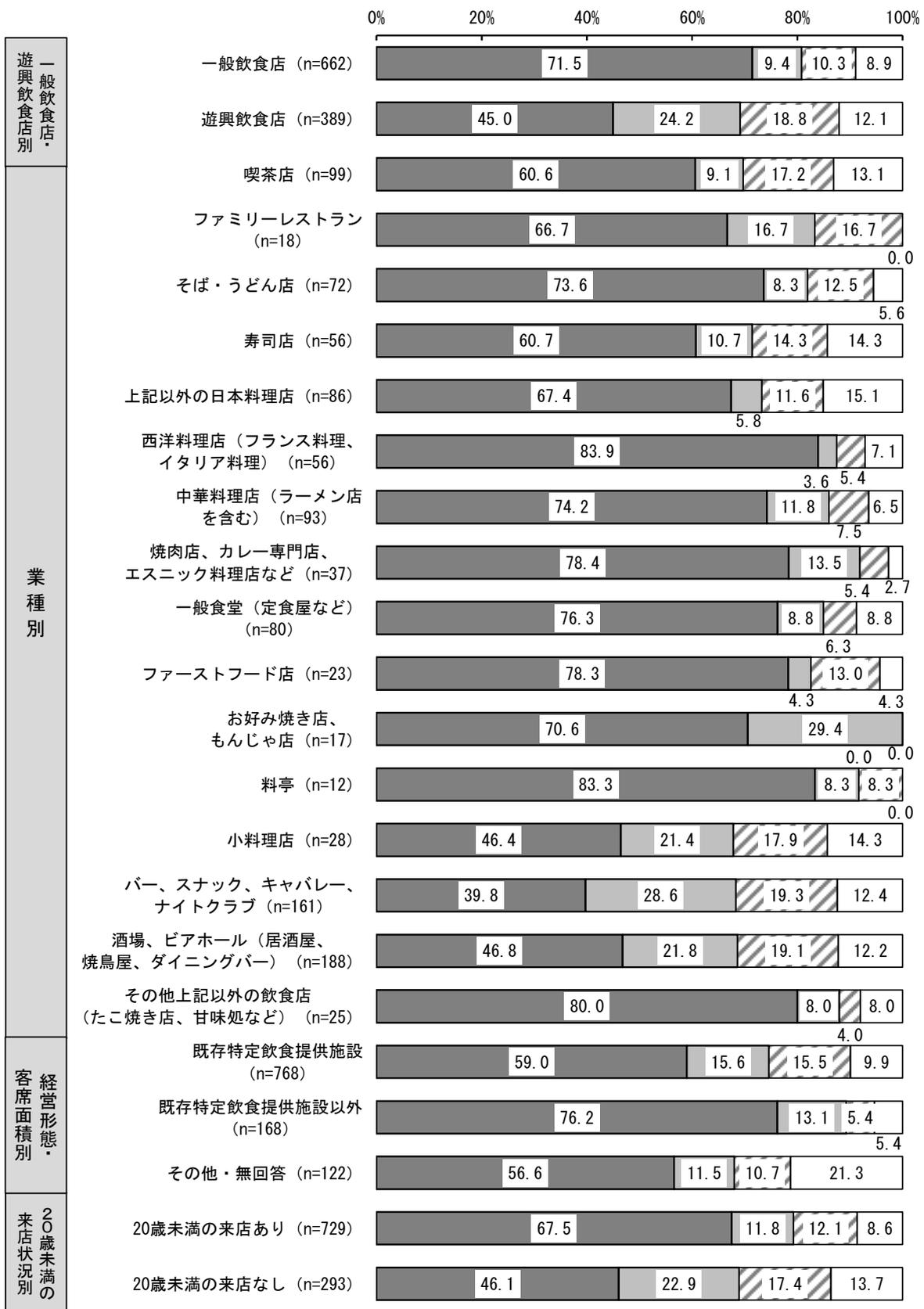
健康増進法の改正内容について感じる事について、「賛成である」61.4%、「反対である」14.7%となっている。その他として、どちらとも言えない、わからないという回答が多かった。

一般飲食店・遊興飲食店別では、「賛成である」は一般飲食店が71.5%、遊興飲食店が45.0%と一般飲食店の方が26.5ポイント高くなっている。

業種別では、いずれの業種でも「賛成である」は「反対である」より高くなっている。「反対である」は、お好み焼き店、もんじゃ店29.4%、小料理店21.4%、バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ28.6%、酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）21.8%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「賛成である」は既存特定飲食提供施設59.0%、既存特定飲食提供施設以外76.2%と既存特定飲食提供施設以外の方が16.8ポイント高くなっている。

20歳未満の来店状況別では、「賛成である」は20歳未満の来店あり67.5%、20歳未満の来店なし46.1%となっている。

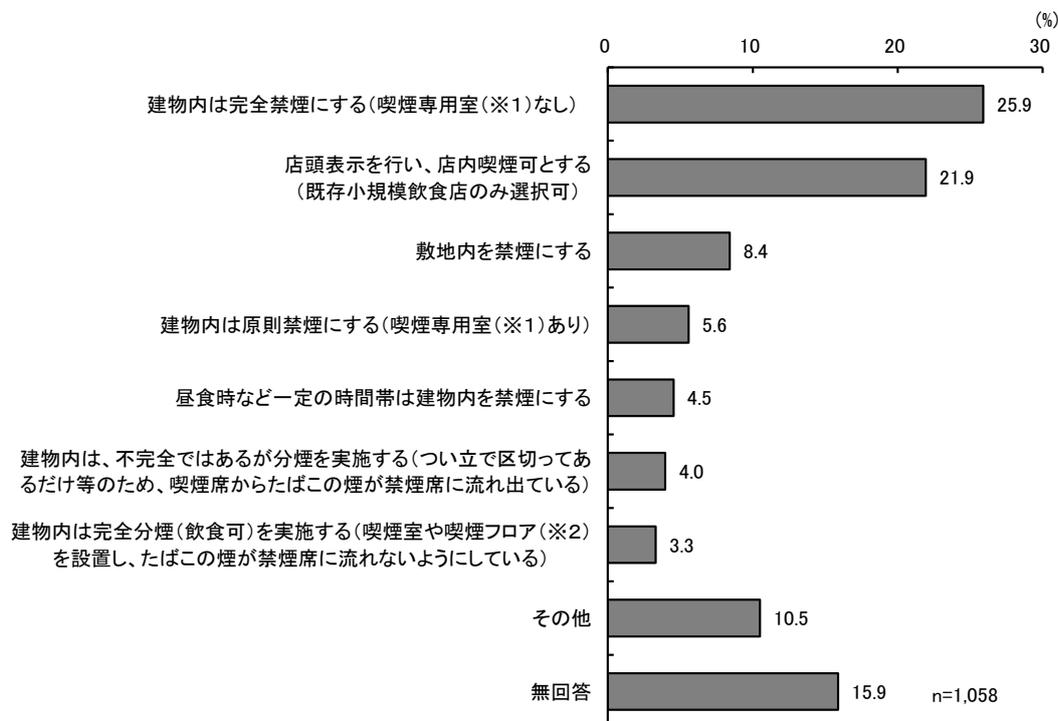


■ 賛成である □ 反対である ▨ その他 □ 無回答

5 今後の受動喫煙防止対策について

5-1 法施行（2020年4月）後の受動喫煙防止対策の予定

【問12】貴店の法施行（2020年4月）後の受動喫煙防止対策の予定について教えてください。



※1 喫煙専用室…仕切りなどで区切りたばこの煙の流出防止した、たばこを吸うための場所

※2 喫煙室・喫煙フロア…加熱式たばこを吸いながら食事もできる場所（通常のたばこは不可）

法施行（2020年4月）後の受動喫煙防止対策の予定について、全体の上位5項目は「建物内は完全禁煙にする（喫煙専用室（※1）なし）」25.9%、「店頭表示を行い、店内喫煙可とする（既存小規模飲食店のみ選択可）」21.9%、「敷地内を禁煙にする」8.4%、「建物内は原則禁煙にする（喫煙専用室（※1）あり）」5.6%、「昼食時など一定の時間帯は建物内を禁煙にする」4.5%の順となっている。その他として、検討中（2つ以上の選択肢も含む）、未定という回答が多かった。

一般飲食店・遊興飲食店別では、一般飲食店で最も高いのは「建物内は完全禁煙にする（喫煙専用室（※1）なし）」35.3%であり、遊興飲食店で最も高いのは「店頭表示を行い、店内喫煙可とする（既存小規模飲食店のみ選択可）」39.6%となっている。

業種別では、「建物内は完全禁煙にする（喫煙専用室（※1）なし）」は、西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）46.4%、ファーストフード店47.8%と他の業種より高くなっている。

経営形態・客席面積別では、「建物内は完全禁煙にする（喫煙専用室（※1）なし）」は既存特定飲食提供施設25.8%、既存特定飲食提供施設以外29.2%と既存特定飲食提供施設以外の方が3.4ポイント高くなっている。

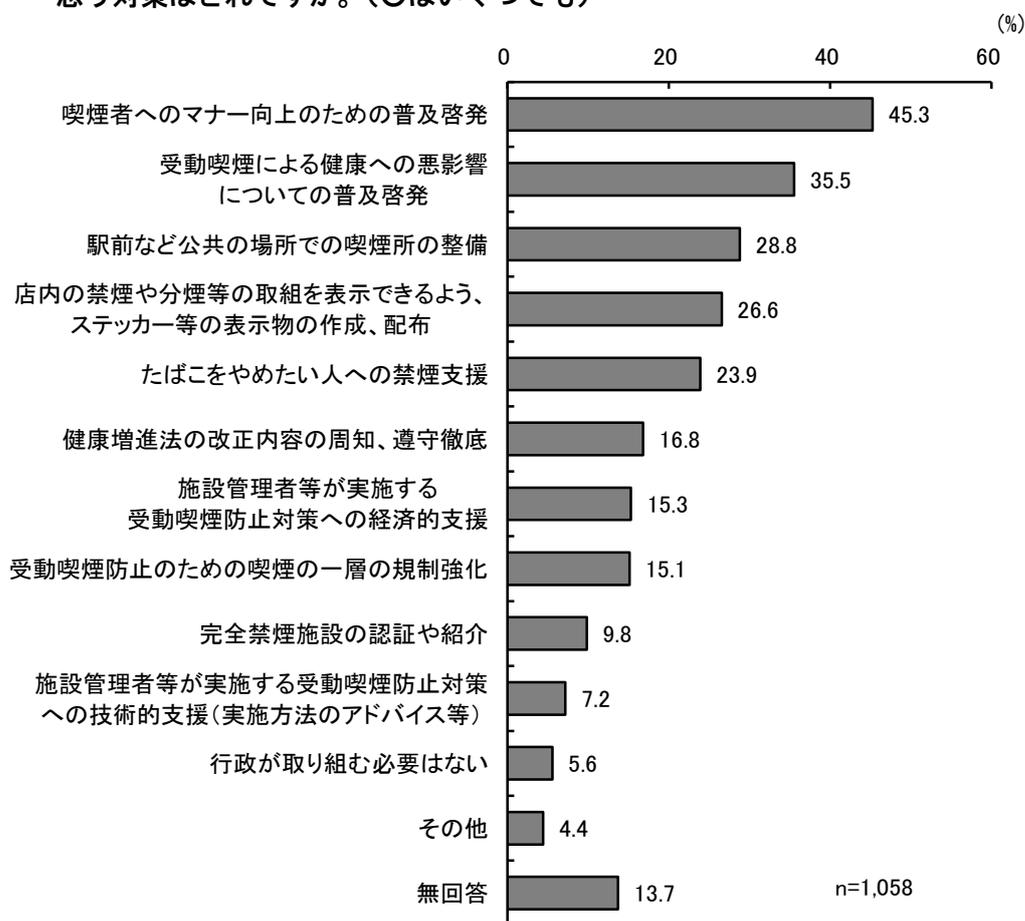
20歳未満の来店状況別では、「建物内は完全禁煙にする（喫煙専用室（※1）なし）」は20歳未満の来店あり32.2%、20歳未満の来店なし9.9%となっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

		回答者数	建物内は完全禁煙にする（喫煙専用室（※1）なし）	店頭表示を行い、店内喫煙可と選択可（既存小規模飲食店のみ）	敷地内を禁煙にする	建物内は原則禁煙にする（喫煙専用室（※1）あり）	屋食時など一定の時間帯は建物内を禁煙にする	が禁煙席に流れ出ている（喫煙専用室は、不完全ではあるが分煙を等しいようにしている）	建物内は完全分煙（飲食可）を実施する（喫煙専用室（※2）を設け、この煙が禁煙席に流れ出ている）	その他	無回答
全体		1,058	25.9	21.9	8.4	5.6	4.5	4.0	3.3	10.5	15.9
遊興飲食店別	一般飲食店	662	35.3	11.8	11.0	6.8	5.7	3.2	3.6	8.2	14.4
	遊興飲食店	389	10.3	39.6	3.9	3.6	2.3	5.4	2.8	14.4	17.7
業種別	喫茶店	99	32.3	24.2	6.1	4.0	4.0	3.0	3.0	10.1	13.1
	ファミリーレストラン	18	33.3	5.6	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	22.2
	そば・うどん店	72	38.9	5.6	20.8	6.9	2.8	0.0	0.0	9.7	15.3
	寿司店	56	30.4	17.9	7.1	12.5	1.8	5.4	3.6	5.4	16.1
	上記以外の日本料理店	86	38.4	7.0	8.1	10.5	7.0	7.0	2.3	4.7	15.1
	西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）	56	46.4	5.4	12.5	5.4	8.9	0.0	1.8	5.4	14.3
	中華料理店（ラーメン店を含む）	93	37.6	10.8	12.9	5.4	8.6	1.1	4.3	9.7	9.7
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	37	24.3	16.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	10.8
	一般食堂（定食屋など）	80	30.0	12.5	5.0	6.3	11.3	2.5	5.0	8.8	18.8
	ファーストフード店	23	47.8	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	26.1
	お好み焼き店、もんじゃ店	17	23.5	17.6	5.9	5.9	0.0	11.8	5.9	17.6	11.8
	料亭	12	25.0	0.0	0.0	25.0	16.7	16.7	8.3	0.0	8.3
	小料理店	28	17.9	32.1	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	10.7	17.9
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	161	6.8	44.7	5.0	1.9	0.0	2.5	1.9	13.7	23.6
	酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）	188	11.2	38.8	3.2	3.2	3.2	7.4	3.2	16.5	13.3
	その他上記以外の飲食店（たこ焼き店、甘味処など）	25	36.0	4.0	24.0	8.0	0.0	4.0	16.0	4.0	4.0
経営形態別	既存特定飲食提供施設	768	25.8	27.1	7.2	4.4	4.7	3.5	2.6	10.5	14.2
	既存特定飲食提供施設以外	168	29.2	6.0	14.3	10.1	4.2	6.5	6.5	8.3	14.9
	その他・無回答	122	22.1	11.5	8.2	6.6	4.1	3.3	3.3	13.1	27.9
来店状況別	20歳未満の来店あり	729	32.2	14.5	9.1	6.3	5.6	3.6	3.6	11.0	14.1
	20歳未満の来店なし	293	9.9	42.0	5.8	3.8	1.7	4.8	2.7	10.2	19.1

5-2 受動喫煙防止対策を進めるために行政が取り組むことが望ましい対策

【問 13】貴店として、受動喫煙防止を効果的に進めるために、行政が取り組むことが望ましいと思う対策はどれですか。（〇はいくつでも）



受動喫煙防止対策を進めるために行政が取り組むことが望ましい対策について、全体の上位5項目は「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」45.3%、「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」35.5%、「駅前など公共の場所での喫煙所の整備」28.8%、「店内の禁煙や分煙等の取組を表示できるよう、ステッカー等の表示物の作成、配布」26.6%、「たばこをやめたい人への禁煙支援」23.9%の順となっている。「行政が取り組む必要はない」は5.6%となっている。その他として、たばこを売らない、たばこの値上げという回答が多かった。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

		回答者数	喫煙者へのマナー向上のための普及啓発	受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発	駅前など公共の場での喫煙所の整備	店内の禁煙や分煙等の取組を表示できるよう、ステッカー等の表示物の作成、配布	禁煙支援のたばこをやめたい人への	健康増進法の改正内容の周知、遵守徹底
全体		1,058	45.3	35.5	28.8	26.6	23.9	16.8
遊一般飲食店別・遊興飲食店別	一般飲食店	662	47.7	39.7	27.8	27.2	25.4	16.6
	遊興飲食店	389	41.1	29.0	31.1	25.7	21.9	17.5
業種別	喫茶店	99	52.5	30.3	29.3	18.2	23.2	8.1
	ファミリーレストラン	18	61.1	27.8	38.9	11.1	38.9	11.1
	そば・うどん店	72	44.4	51.4	23.6	23.6	27.8	22.2
	寿司店	56	41.1	39.3	32.1	21.4	16.1	16.1
	上記以外の日本料理店	86	50.0	39.5	25.6	23.3	23.3	19.8
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	56	48.2	37.5	41.1	25.0	32.1	21.4
	中華料理店(ラーメン店を含む)	93	46.2	47.3	26.9	35.5	22.6	17.2
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	37	51.4	40.5	24.3	54.1	40.5	27.0
	一般食堂(定食屋など)	80	47.5	36.3	20.0	33.8	22.5	12.5
	ファーストフード店	23	43.5	39.1	30.4	13.0	13.0	8.7
	お好み焼き店、もんじゃ店	17	35.3	29.4	41.2	29.4	47.1	17.6
	料亭	12	50.0	8.3	16.7	8.3	8.3	25.0
	小料理店	28	46.4	46.4	28.6	21.4	14.3	25.0
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	161	39.8	24.8	36.0	25.5	23.6	13.0
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	188	41.0	31.4	28.2	27.7	22.3	19.7
その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	25	48.0	48.0	16.0	36.0	24.0	20.0	
客経営形態・客席面積別	既存特定飲食提供施設	768	45.2	35.4	28.8	27.5	22.5	17.1
	既存特定飲食提供施設以外	168	48.2	38.1	31.0	21.4	28.0	16.1
	その他・無回答	122	41.8	32.8	26.2	27.9	27.0	16.4
来店状況別	20歳未満の来店あり	729	47.9	39.0	29.4	27.6	24.7	18.7
	20歳未満の来店なし	293	40.3	27.3	28.7	24.2	22.2	11.3

一般飲食店・遊興飲食店別では、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」は一般飲食店47.7%、遊興飲食店41.1%となっている。

業種別では、ほとんどの業種で「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」が最も高いが、焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店などでは「店内の禁煙や分煙等の取組を表示できるよう、ステッカー等の表示物の作成、配布」が54.1%と最も高くなっている。

受動喫煙に関する飲食店実態調査

		の施 受設 管動 理的 支煙 援者 等 が 実 施 す る 支 援 策 の 実 施 率	受 動 喫 煙 の 一 層 防 止 の 規 制 の た め の 強 化	紹 介 完 全 禁 煙 施 設 の 認 証 や	法 の 受 動 喫 煙 防 止 に 関 する 技 術 的 支 援 等 の 実 施 率 （ ア ド バ イ ス 等 ）	行 政 が 取 り 組 む 必 要 は な い	そ の 他	無 回 答
全体		15.3	15.1	9.8	7.2	5.6	4.4	13.7
遊 興 飲 食 店 別	一般飲食店	13.4	16.8	10.7	6.8	4.2	3.6	11.8
	遊興飲食店	18.3	12.6	8.5	8.0	8.0	5.9	16.2
業 種 別	喫茶店	10.1	13.1	5.1	3.0	3.0	3.0	15.2
	ファミリーレストラン	16.7	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6
	そば・うどん店	5.6	20.8	13.9	8.3	8.3	2.8	11.1
	寿司店	7.1	8.9	7.1	1.8	7.1	3.6	16.1
	上記以外の日本料理店	18.6	23.3	9.3	10.5	1.2	3.5	15.1
	西洋料理店(フランス料理、イタリア料理)	14.3	21.4	12.5	8.9	3.6	8.9	10.7
	中華料理店(ラーメン店を含む)	18.3	15.1	12.9	8.6	4.3	2.2	6.5
	焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など	32.4	32.4	24.3	10.8	2.7	0.0	5.4
	一般食堂(定食屋など)	7.5	10.0	11.3	3.8	5.0	3.8	11.3
	ファーストフード店	4.3	8.7	4.3	0.0	0.0	4.3	17.4
	お好み焼き店、もんじゃ店	23.5	17.6	0.0	17.6	5.9	11.8	5.9
	料亭	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3
	小料理店	17.9	7.1	10.7	3.6	10.7	10.7	10.7
	バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ	14.3	11.8	6.2	6.2	7.5	6.8	19.3
	酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー)	20.7	14.9	9.6	9.6	8.5	4.8	14.9
	その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など)	16.0	20.0	16.0	8.0	8.0	4.0	16.0
客 席 面 積 別	既存特定飲食提供施設	14.5	15.0	7.6	6.6	6.1	5.2	13.4
	既存特定飲食提供施設以外	22.6	14.9	16.7	10.1	3.6	2.4	10.1
	その他・無回答	10.7	16.4	14.8	6.6	4.9	2.5	20.5
来 店 状 況 別	20歳未満の来店あり	15.9	16.0	11.9	8.2	4.5	3.6	11.1
	20歳未満の来店なし	14.0	12.6	4.4	4.1	8.5	6.8	17.1

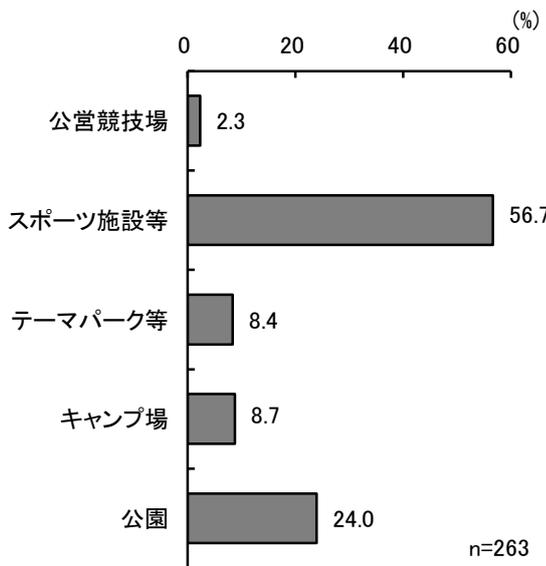
経営形態・客席面積別では、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」は既存特定飲食提供施設 45.2%、既存特定飲食提供施設以外 48.2%となっている。

20歳未満の来店状況別では、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」は20歳未満の来店あり 47.9%、20歳未満の来店なし 40.3%となっている。

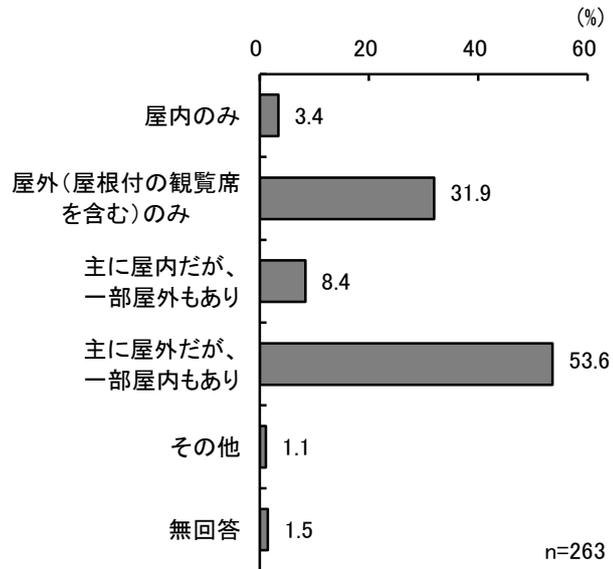
Ⅲ 受動喫煙に関する屋外施設等実態調査

1 回答施設の属性

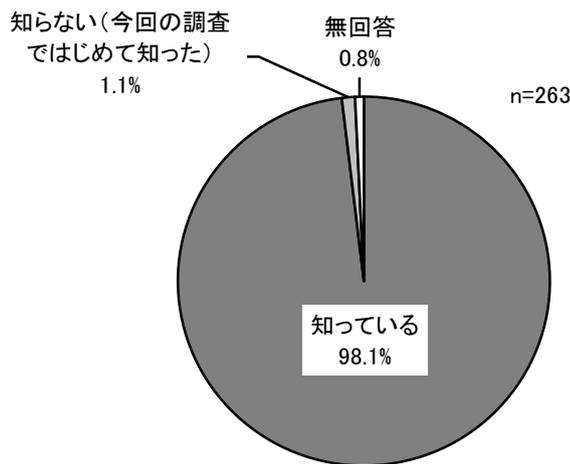
【問1】業種



【問2】貴施設の主な集客エリア（来場者が活動する主な場所）はどこですか。



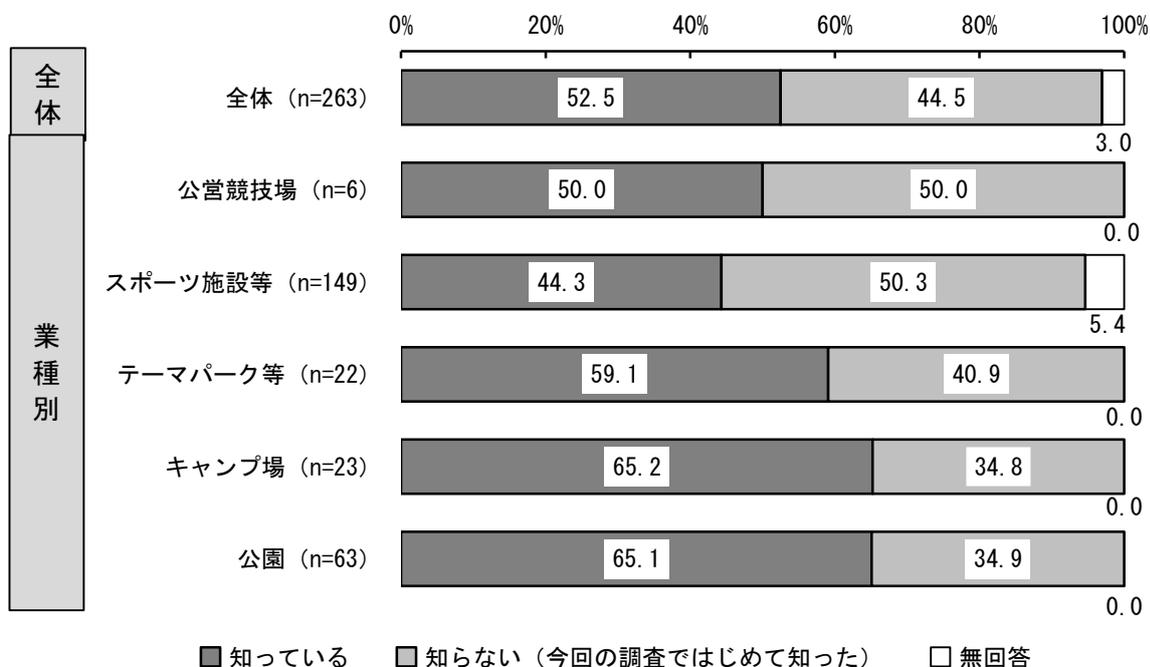
【問3】あなた（施設の管理者又は責任者をいう。以下同様）は「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。



2 健康増進法に関する認知度

2-1 健康増進法の改正内容の認知度

【問4】受動喫煙防止対策を強化するため、平成30年7月に健康増進法が改正されましたが、あなたは、その内容等についてご存知ですか。



健康増進法に関する認知度について、全体では「知っている」52.5%、「知らない (今回の調査ではじめて知った)」44.5%となっている。

業種別では、「知っている」が最も高いのはキャンプ場 65.2%、最も低いのはスポーツ施設等 44.3%となっている。

(問4で1と答えた方のみ回答)

【問4-2】あなたは、法律の改正をどのように知りましたか。(〇はいくつでも可)

		回答者数	マスコミ報道(テレビ・新聞・雑誌等)	行政機関の広報(ホームページを含む)	加入業界団体からの情報提供	医療機関の広報(ホームページを含む)	イベント・キャンペーン	その他	無回答
全体		138	87.0	26.8	4.3	1.4	0.0	0.0	0.7
業種別	公営競技場	3	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	スポーツ施設等	66	90.9	13.6	6.1	3.0	0.0	0.0	1.5
	テーマパーク等	13	84.6	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	キャンプ場	15	100.0	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	公園	41	75.6	46.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

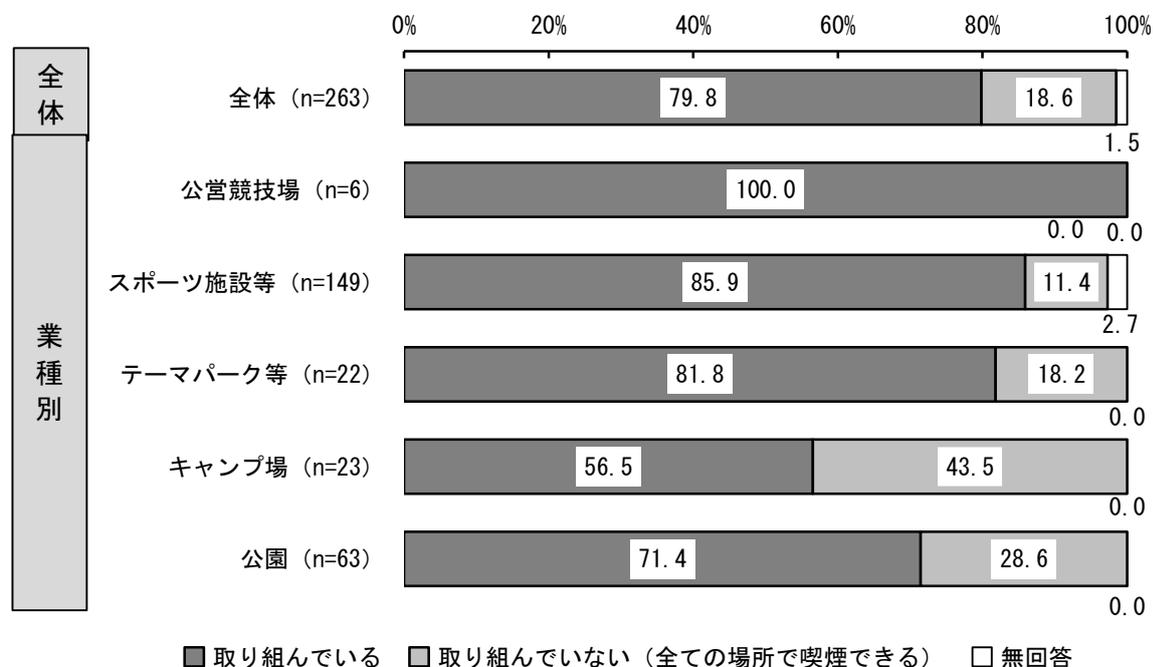
健康増進法に関する認知度について、「知っている」と回答した施設に法律の改正をどのように知ったかとたずねたところ、全体では、「マスコミ報道(テレビ・新聞・雑誌等)」87.0%、「行政機関の広報(ホームページを含む)」26.8%、「加入業界団体からの情報提供」4.3%の順になっている。

業種別では、「マスコミ報道(テレビ・新聞・雑誌等)」が最も高いのは公営競技場、キャンプ場100.0%、最も低いのは公園75.6%となっている。「行政機関の広報(ホームページを含む)」は、公園46.3%と他の業種より高くなっている。

3 現在の受動喫煙防止対策の状況

3-1 受動喫煙防止対策の実施状況

【問5】貴施設は、不特定多数の利用客が利用するスペースについて、禁煙又は喫煙所を設置する等の受動喫煙対策に取り組んでいますか。

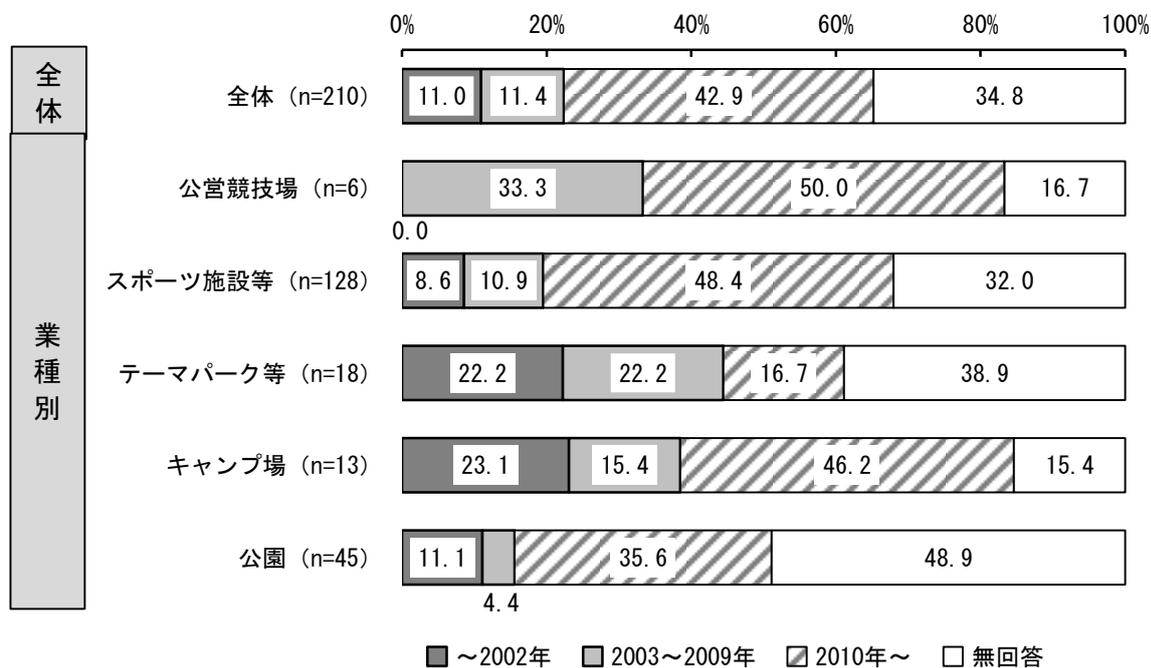


受動喫煙防止対策の実施状況について、全体では「取り組んでいる」79.8%、「取り組んでいない (全ての場所で喫煙できる)」18.6%となっている。

業種別では、「取り組んでいる」が最も高いのは公営競技場 100.0%、最も低いのはキャンプ場 56.5%となっている。

(問5で「1取り組んでいる」を選んだ方のみ回答)

【問5-1】貴施設の受動喫煙防止対策の開始時期



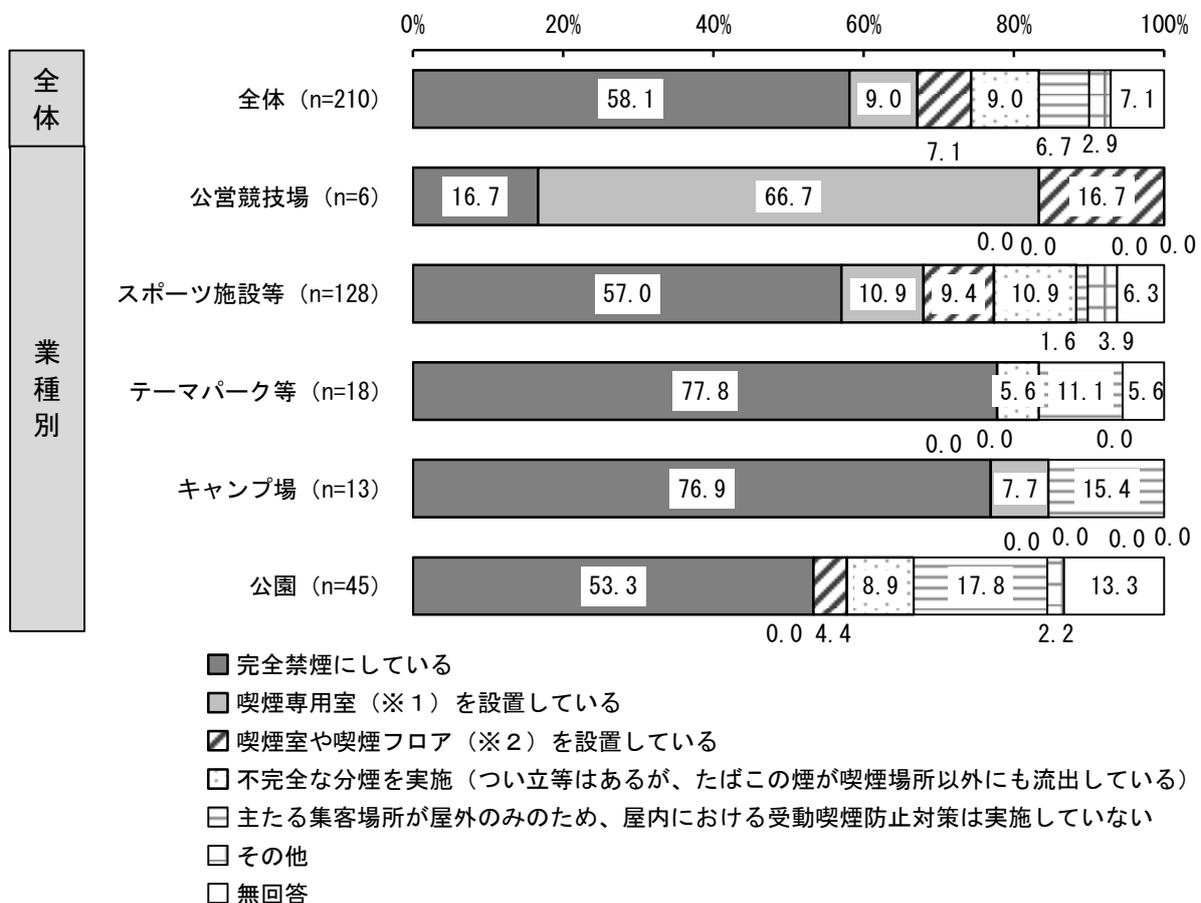
受動喫煙防止対策の実施状況について取り組んでいると回答した施設の開始時期は、全体では「2010年～」42.9%、「2003～2009年」11.4%、「～2002年」11.0%となっている。

業種別では、ほとんどの業種で「2010年～」が最も高いが、テーマパーク等は「2003～2009年」「～2002年」が22.2%と高くなっている。

(問5で「1 取り組んでいる」を選んだ方のみ回答)

【問5-2】現在の貴施設の施設内において、どのような受動喫煙防止対策を講じていますか。

(1) 屋内における受動喫煙防止対策



※1 仕切りなどで区切りたばこの煙の流出を防止した、喫煙するための場所

※2 仕切りなどで区切りたばこの煙の流出を防止した、喫煙しながら食事等もできる場所

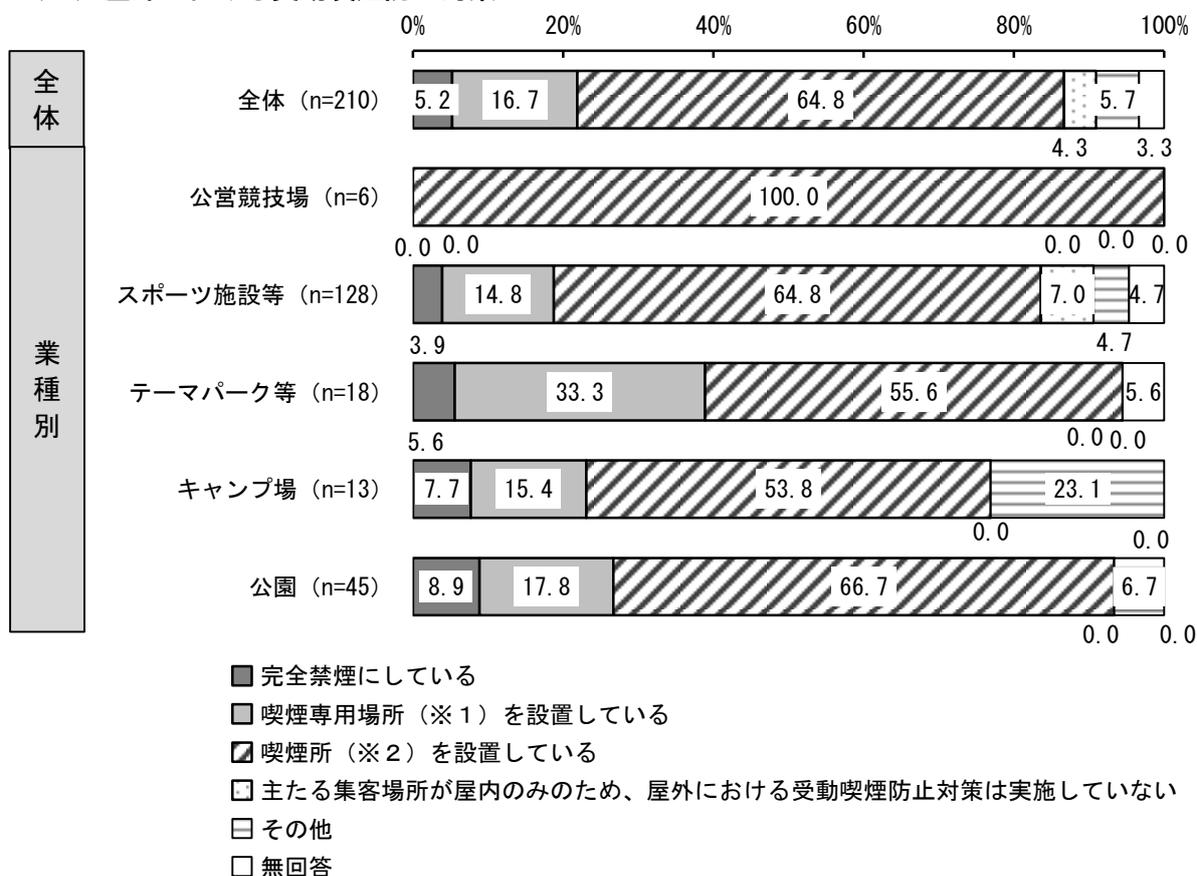
受動喫煙防止対策の実施状況について取り組んでいると回答した施設の屋内で講じている受動喫煙防止対策は、全体では「完全禁煙にしている」58.1%、「喫煙専用室(※1)を設置している」「不完全な分煙を実施(つい立等はあるが、たばこの煙が喫煙場所以外にも流出している)」9.0%、「喫煙室や喫煙フロア(※2)を設置している」7.1%、「主たる集客場所が屋外のみのため、屋内における受動喫煙防止対策は実施していない」6.7%の順となっている。

業種別では、「完全禁煙にしている」が最も高いのはテーマパーク等 77.8%、最も低いのは公営競技場 16.7%となっている。

(問5で1を選んだ方のみ回答)

【問5-2】現在の貴施設の施設内において、どのような受動喫煙防止対策を講じていますか。

(2) 屋外における受動喫煙防止対策



※1 仕切りなどで区切りたばこの煙の流出を防止した、喫煙するための場所

※2 灰皿を設置しているだけ等のため、たばこの煙が拡散している場所

受動喫煙防止対策の実施状況について取り組んでいると回答した施設の屋外で講じている受動喫煙防止対策は、全体では「喫煙所(※2)を設置している」64.8%、「喫煙専用場所(※1)を設置している」16.7%、「完全禁煙にしている」5.2%「主たる集客場所が屋内のみのため、屋外における受動喫煙防止対策は実施していない」4.3%の順となっている。

業種別では、「喫煙所(※2)を設置している」が最も高いのは公営競技場100.0%、最も低いのはキャンプ場53.8%となっている。

(問5で1を選んだ方のみ回答)

【問5-3】貴施設が受動喫煙防止対策に取り組む理由は何ですか。(〇はいくつでも可)

		(%)										
		回答者数	利用客の健康を守るため	良いサービスを提供するため	利用客からの要望があったため	従業員の健康を守るため	世界的な動きであるため	会社、本部等の方針であるため	法令上、義務が課せられるため	従業員からの要望があったため	その他	無回答
全体		210	64.8	37.1	34.3	33.3	25.7	19.0	13.3	10.5	3.8	9.0
業種別	公営競技場	6	66.7	33.3	33.3	83.3	50.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	スポーツ施設等	128	59.4	38.3	38.3	34.4	27.3	15.6	14.1	11.7	2.3	13.3
	テーマパーク等	18	66.7	44.4	27.8	33.3	27.8	38.9	22.2	16.7	11.1	0.0
	キャンプ場	13	76.9	61.5	7.7	53.8	23.1	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7
	公園	45	75.6	24.4	33.3	17.8	17.8	22.2	8.9	2.2	4.4	2.2

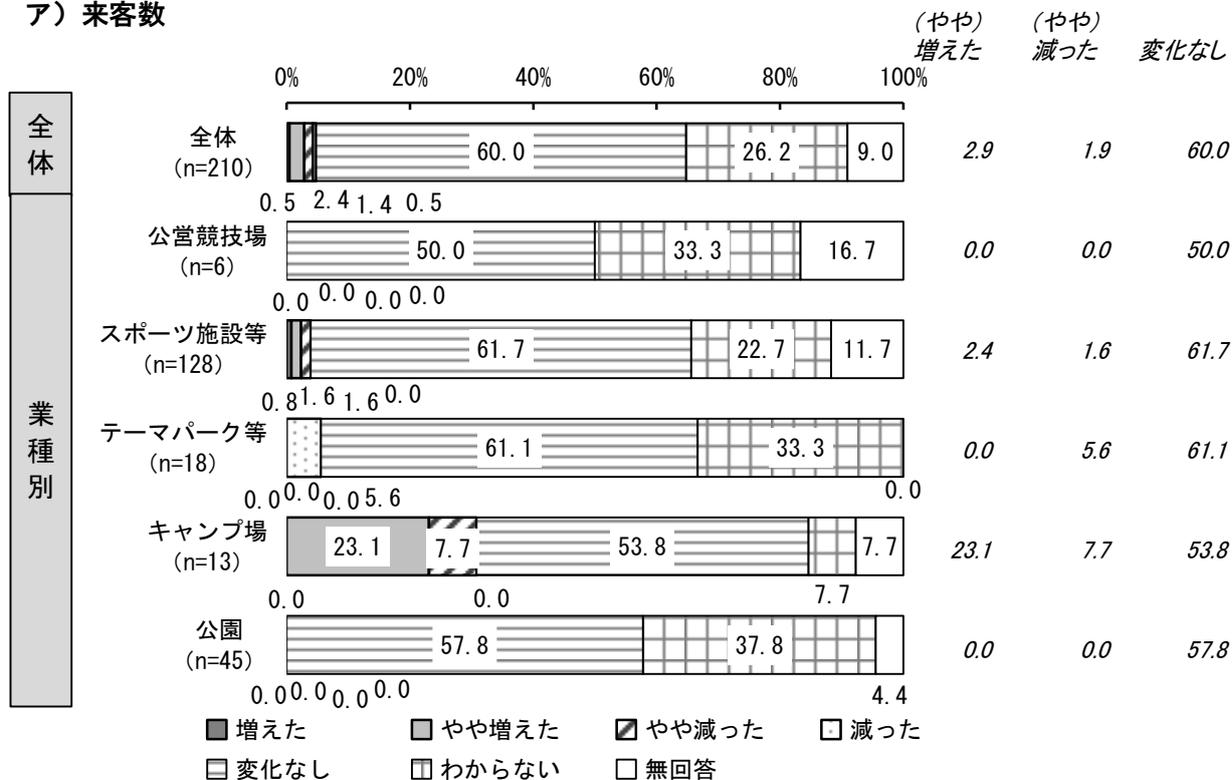
受動喫煙防止対策の実施状況について取り組んでいると回答した施設の受動喫煙防止対策に取り組む理由は、全体の上位5項目は「利用客の健康を守るため」64.8%、「良いサービスを提供するため」37.1%、「利用客からの要望があったため」34.3%「従業員の健康を守るため」33.3%、「世界的な動きであるため」25.7%の順となっている。

業種別では、「利用客の健康を守るため」が最も高いのはキャンプ場 76.9%、最も低いのはスポーツ施設等 59.4%となっている。

(問5で1を選んだ方のみ回答)

【問5-4】貴施設が受動喫煙防止対策に取り組んでからの利用客の利用状況や反応について、どのように感じていますか、次のア～イについて、それぞれ1つずつ選んでください。

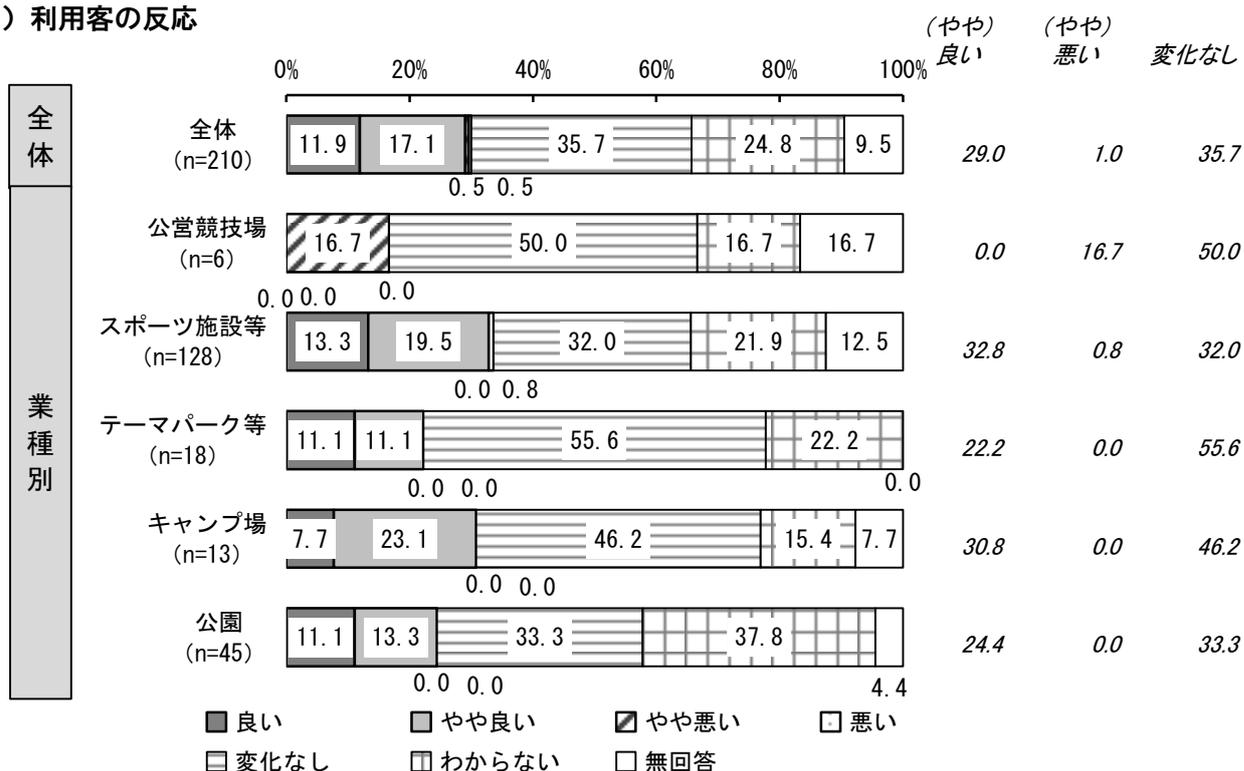
ア) 来客数



受動喫煙防止対策の実施状況について取り組んでいると回答した施設の来客数について、全体では「増えた」0.5%、「やや増えた」2.4%を合わせた(やや)増えたは2.9%となっている。一方、「やや減った」1.4%、「減った」0.5%を合わせた(やや)減ったは1.9%となっている。「変化なし」は60.0%となっている。

業種別では、(やや)増えたが最も高いのはキャンプ場 23.1%、最も低いのは公営競技場、テーマパーク等、公園 0.0%となっている。「変化なし」が最も高いのはスポーツ施設等 61.7%、最も低いのは公営競技場 50.0%となっている。

イ) 利用客の反応

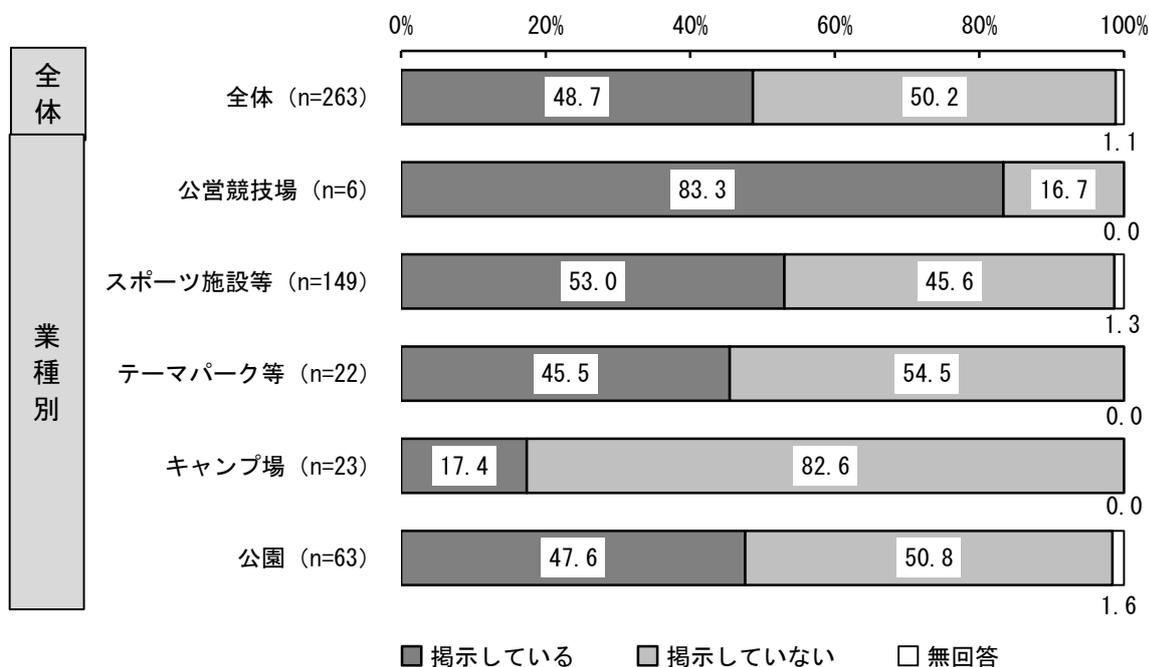


受動喫煙防止対策の実施状況について取り組んでいると回答した施設の利用者の反応について、全体では「良い」11.9%、「やや良い」17.1%を合わせた（やや）良いは29.0%となっている。一方、「やや悪い」0.5%、「悪い」0.5%を合わせた（やや）悪いは1.0%となっている。「変化なし」は35.7%となっている。

業種別では、（やや）良いが最も高いのはスポーツ施設等32.8%、最も低いのは公営競技場0.0%となっている。「変化なし」が最も高いのはテーマパーク等55.6%、最も低いのはスポーツ施設等32.0%となっている。

3-2 喫煙環境の標識の掲示の有無

【問6】貴施設は、来客者が認識しやすい場所に、喫煙環境（禁煙、分煙又は喫煙可）の標識を掲示していますか。



喫煙環境の標識の掲示の有無について、全体では「掲示している」48.7%、「掲示していない」50.2%となっている。

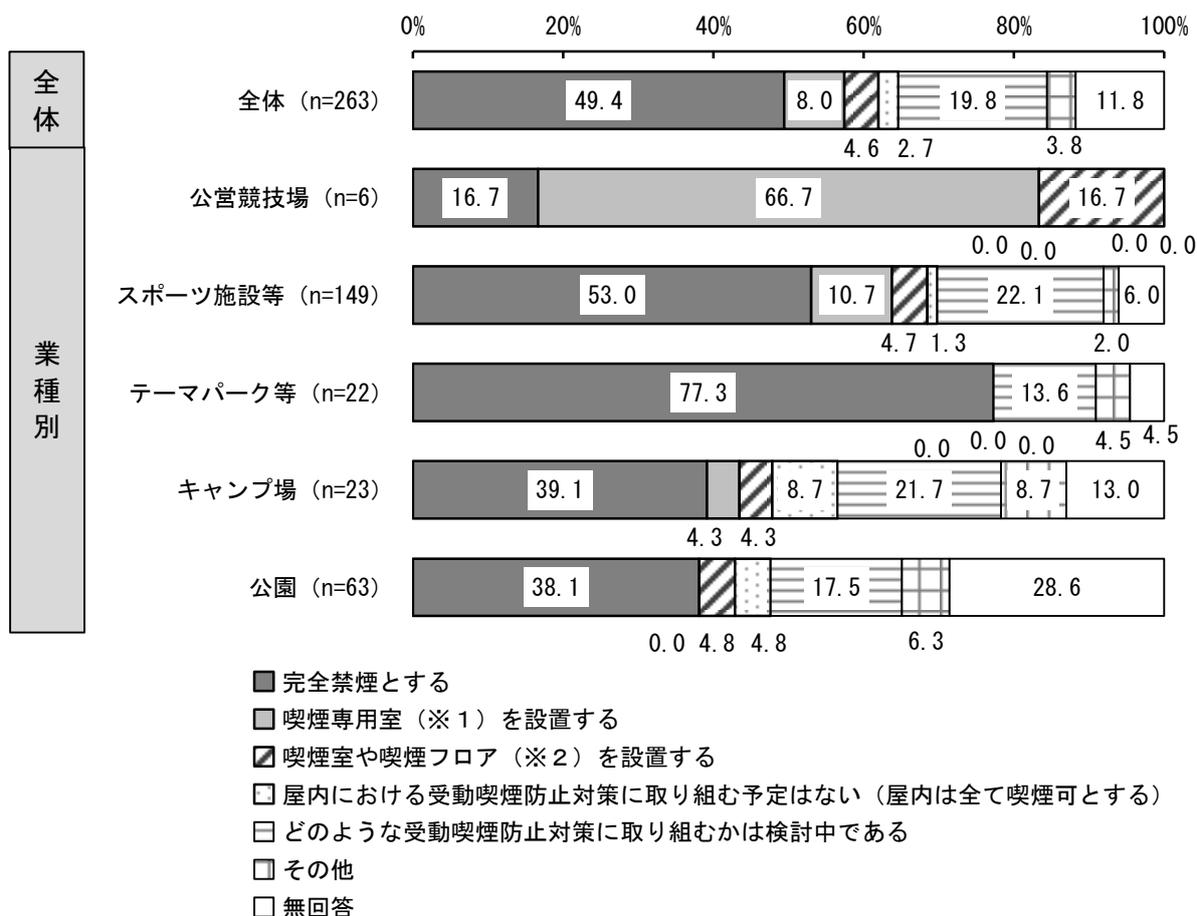
業種別では、「掲示している」が最も高いのは公営競技場等 83.3%、最も低いのはキャンプ場 17.4%となっている。

4 今後の受動喫煙防止対策について

4-1 受動喫煙防止対策の予定

【問7】貴施設は、今後どのような受動喫煙防止対策に取り組む予定ですか。次の中から1つ選んでください。（現在の受動喫煙防止対策を今後も続ける場合も、当てはまる選択肢を選んでください。）

（1）屋内における受動喫煙防止対策



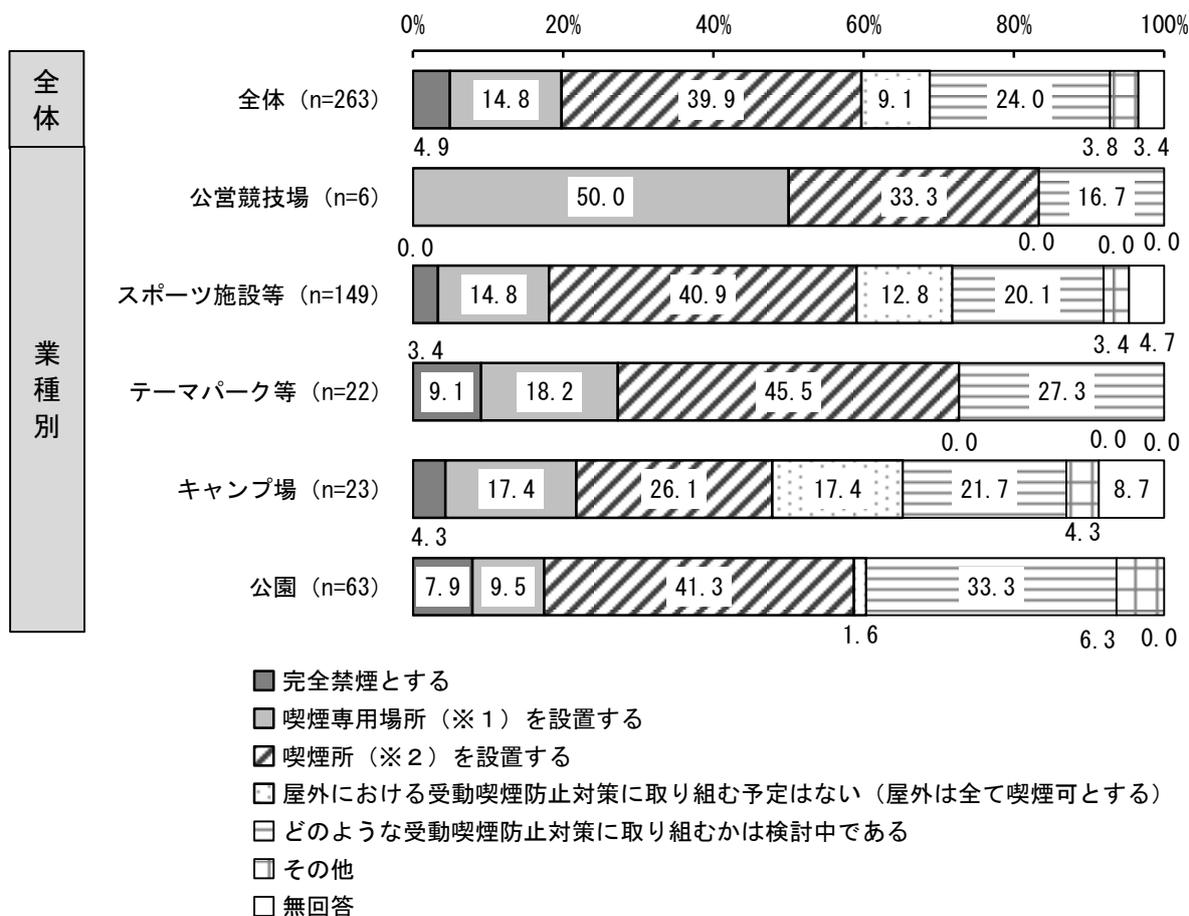
※1 仕切りなどで区切りたばこの煙の流出を防止した、喫煙するための場所

※2 仕切りなどで区切りたばこの煙の流出を防止した、喫煙しながら食事等もできる場所

屋内における受動喫煙防止対策の予定について、全体の上位5項目は「完全禁煙とする」49.4%、「どのような受動喫煙防止対策に取り組むかは検討中である」19.8%、「喫煙専用室 (※1) を設置する」8.0%「喫煙室や喫煙フロア (※2) を設置する」4.6%、「屋内における受動喫煙防止対策に取り組む予定はない (屋内は全て喫煙可とする)」2.7%の順となっている。

業種別では、「完全禁煙とする」が最も高いのはテーマパーク等 77.3%、最も低いのは公営競技場 16.7%となっている。「喫煙専用室 (※1) を設置する」が最も高いのは公営競技場 66.7%、最も低いのはテーマパーク等、公園 0.0%となっている。

(2) 屋外における受動喫煙防止対策（喫煙専用場所・喫煙所の定義は問5-2(2)を参照）



※1 仕切りなどで区切りたばこの煙の流出を防止した、喫煙するためだけの場所

※2 灰皿を設置しているだけ等のため、たばこの煙が拡散している場所

屋外における受動喫煙防止対策の予定について、全体の上位5項目は「喫煙所(※2)を設置する」39.9%、「どのような受動喫煙防止対策に取り組むかは検討中である」24.0%、「喫煙専用場所(※1)を設置する」14.8%、「屋外における受動喫煙防止対策に取り組む予定はない(屋外は全て喫煙可とする)」9.1%、「完全禁煙とする」4.9%の順となっている。

業種別では、「喫煙所(※2)を設置する」が最も高いのはテーマパーク等 45.5%、最も低いのはキャンプ場 26.1%となっている。「喫煙専用場所(※1)を設置する」が最も高いのは公営競技場 50.0%、最も低いのは公園 9.5%となっている。

4-2 受動喫煙防止対策に取り組む上での想定される課題

【問8】貴施設が受動喫煙防止対策に取り組む上で、想定される課題は何ですか。

(〇はいくつでも可)

	回答者数	喫煙所等 や構造	喫煙所や分煙設備を 設置する費用	施設の外 喫煙増加 (例：駐車場)での	利用客との トラブルの増加	利用客や 売上の減少	本部等との 調整	特に課題 はない	その他	無回答
全体	263	37.6	34.2	26.2	18.6	8.0	2.7	24.7	6.1	3.0
業種別	公営競技場	6	50.0	66.7	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
	スポーツ施設等	149	36.2	35.6	21.5	18.1	11.4	0.7	27.5	4.0
	テーマパーク等	22	45.5	27.3	40.9	9.1	0.0	9.1	18.2	4.5
	キャンプ場	23	26.1	26.1	4.3	17.4	8.7	4.3	43.5	13.0
	公園	63	41.3	33.3	42.9	22.2	1.6	4.8	15.9	9.5

受動喫煙防止対策に取り組む上で、想定される課題について、全体の上位5項目は「喫煙所等を設置するスペースや構造」37.6%、「喫煙所や分煙設備を設置する費用」34.2%、「施設の外（例：駐車場）での喫煙増加」26.2%、「利用客とのトラブルの増加」18.6%、「利用客や売上の減少」8.0%の順となっている。

業種別では、「喫煙所等を設置するスペースや構造」が最も高いのは公営競技場 50.0%、最も低いのはキャンプ場 26.1%となっている。「施設の外（例：駐車場）での喫煙増加」がテーマパーク等 40.9%、公園 42.9%と他の業種より高くなっている。

4-3 受動喫煙防止対策について行政への期待

【問9】あなたは、今後の受動喫煙防止対策について、行政にどのようなことを期待しますか。

(〇はいくつでも可)

	回答者数	喫煙者へのマナー向上のための普及啓発	受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発	健康増進法の改正内容の周知、遵守徹底	施設管理者等が実施する受動喫煙防止対策への経済的支援	店内の禁煙や分煙等の取組を表示できるよう、ステッカー等の表示物の作成、配布	たばこをやめたい人への禁煙支援	駅前など公共の場所での喫煙所の整備	施設管理者等が実施する受動喫煙防止対策への技術的支援（実施方法のアドバイス等）	完全禁煙施設の認証や紹介	受動喫煙防止のための喫煙の一層の規制強化	行政が取り組む必要はない	その他	無回答 (%)	
全体	263	73.0	43.0	28.5	27.0	22.1	16.3	15.6	11.4	7.6	5.7	0.8	3.0	3.4	
業種別	公営競技場	6	66.7	33.3	33.3	16.7	33.3	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	
	スポーツ施設等	149	66.4	36.2	23.5	30.2	23.5	14.1	14.8	9.4	6.7	8.1	0.7	4.0	5.4
	テーマパーク等	22	68.2	31.8	22.7	27.3	13.6	9.1	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	4.5
	キャンプ場	23	78.3	65.2	26.1	13.0	13.0	26.1	13.0	4.3	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0
	公園	63	88.9	55.6	42.9	25.4	23.8	17.5	12.7	20.6	11.1	1.6	0.0	0.0	0.0

受動喫煙防止対策について行政への期待について、全体の上位5項目は「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」73.0%、「受動喫煙による健康への悪影響についての普及啓発」43.0%、「健康増進法の改正内容の周知、遵守徹底」28.5%、「施設管理者等が実施する受動喫煙防止対策への経済的支援」27.0%、「店内の禁煙や分煙等の取組を表示できるよう、ステッカー等の表示物の作成、配布」22.1%の順となっている。

業種別では、「喫煙者へのマナー向上のための普及啓発」が最も高いのは公園 88.9%、最も低いのはスポーツ施設等 66.4%となっている。「店内の禁煙や分煙等の取組を表示できるよう、ステッカー等の表示物の作成、配布」が公営競技場 33.3%、スポーツ施設等 23.5%、公園 23.8%と他の業種より高くなっている。

受動喫煙に関する県民意識調査

受動喫煙防止対策についての自由意見

【賛成】

- ・ 室内は基本禁煙、ただし、近くに喫煙可能な場所を設ければそれで良いと思う。屋外も人通りのある場所などはNGとし、喫煙可能な場所を設ける。(男性, 50歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 小・中学校で行われるイベントなどでマナーの悪い喫煙者を見かけるので、マナーの向上に努めてほしい。(女性, 30歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこの販売をしない。(女性, 70歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 子どもがいるのでたばこのある場所には行かない。火が点いていて危ないので、もっと人と離してほしい。駅で衝立の向こうでたばこを吸っていて臭かった。喘息を持っている子もいるので、完全に隔離してほしい。(女性, 30歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 吸いたい人向けに煙の出ないもので個人だけであれば可。父親が肺気腫なので、特に嫌だ。(男性, 60歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙所が通路などに設置されているスーパーが多く、通るだけで受動喫煙となってしまう。どれだけの範囲に悪影響が及ぼされているか、研究に基づき、狭い場所はとにかく禁煙とすべきだ。喫煙者は喫煙場所でのみ喫煙すべきだ。どこでも原則は禁煙。(女性, 40歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ コンビニなど屋外に喫煙場所を設けていても、駐車場の目の前であったり、子どもが近くを通る可能性が高い場所が多い。店舗の裏に喫煙所を設けるなど、なるべく非喫煙者（特に子ども）との接触がない場所としてほしい。(男性, 40歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者のマナー強化をぜひ進めてほしい。そのために、しっかりとした喫煙場所を提供してほしい。路上に吸殻のポイ捨てがなくなりますように。私は5年前から禁煙したが、それまで周囲の人に迷惑をかけたことを申し訳なく感じている。(男性, 70歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ ホテルや旅館等の宿泊施設において、すべての客室を禁煙にすべきだ。客室がたばこ臭い。受動喫煙に近いものがある。(男性, 40歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者にも一定の喫煙できる場所を作る。愛煙者にも優しい街にしてほしい。(男性, 60歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 分煙されていても、店舗内の気流でたばこの煙が回ってくる時がある。特に子ども連れの時がとても気になる。(女性, 30歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 自宅のみにすればどうだろうか。なぜたばこを売り続けているかわからない。このアンケートにかかった費用を福祉などに回してほしい。(女性, 50歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 禁煙ではなく、基本分煙を主として対策を行ってほしい。(男性, 20歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙可能な場所を設置する。抜け道のある法律は問題がある。厳しい罰則を一考すべきだ。(男性, 70歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 幼い時からの喫煙の害についての教育が望ましいと思う。(女性, 60歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 難しい課題とは感じるが、健康上決して良くないことを国民に理解・納得してもらおうことだ。理解してもらおうことは率先垂範しかないので、公に勤務する皆さん（議員含む）が喫煙姿を報道等に見られることなく、その後ペナルティーを設定することだと思う。喫煙して死ぬこ

- とはあっても禁煙して死ぬことはないのだ。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 中学生以下の子どもには、たばこの煙は吸わせたくない。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 大人の喫煙者のマナー向上と遵守徹底が必要だと思う。未成年は教育できても大人は教育できない。規則の強化もやむを得ない。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ パチンコ店など隣に喫煙者がいると嫌だ。女性の方がマナーを知らない。居酒屋でも隣に喫煙者がいると、味もわからなくなる。たばこを禁止にしてほしい。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 対策を厳しくした方が良い。(男性, 70 歳以上, 中部, 喫煙者)
 - ・ 私はたばこがとても苦手なので、防止対策をこれからも考えていただきたいと思う。子どもにも受動喫煙させたくない。飲食店は禁煙のところと決めている。ただ、喫煙者はいろいろな場所で禁煙になることが多く、大変なもの現実としてあると思う。すべての店や施設で禁煙にしまうと、マナーの悪い方が増えてしまうと思うので、喫煙室をもう少し増やしても良いのかもしれない。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者に対し、たばこをやめる意志を強く持たせることを強力に指導する。「禁煙できない人は意志が弱い人」、どう意志力を持たせるか考えてください。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 旅行によく行くのだが、駅ホームでの喫煙ルームからにおいがするのが気になる。設置場所を隅にしたり、扉の位置を工夫したりしてほしい。また、観光地での歩きたばこが目につく。外国人がいる中だと、とても恥ずかしい。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙スペースはいろいろな施設の出入り口付近にあることが多い。これでは受動喫煙が起ってしまう。公共性の高い施設は、屋外も含め全面禁煙にするか、非喫煙者が施設利用上通る可能性が低い箇所は禁煙とすべきだ。(男性, 30 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ 本気でやるのなら、「禁煙県」として全県内禁煙とする条例を作るべきだと思う。この対策は中途半端だと思う。(男性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 健康第一とするために、全面禁煙すべきだ。たばこを製造しない。たばこ自体を全部違法として喫煙を禁止する。たばこ価格を 1 箱 1,000 円にするなど、喫煙者を少なくする。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 分煙の店に入った際、天井まで囲いがなく臭った。施設入口付近での喫煙にがっかりする。灰皿の位置を変えてほしい。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 人の健康のため、医療費増大等のため、究極の選択でたばこ産業をなくす。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙による健康への悪影響について意識するきっかけをもっと持つべきだと思う。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 20 年程前まで喫煙していたので店に入ってくつろぐときなどたばこは欠かせない気持ちもわかるし、いろいろな場所で吸えなくなり肩身の狭い思いもされているとは思いますが、時代は変わったことを理解してもらい、部屋として独立した喫煙室を増やしてもらえたら良い。ただ、服のにおいはかなりわかる。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ ヒステリックに禁煙とするのではなく、喫煙者も理解・遵守できるような方法が望ましい。

- 吸わない人には吸う人の気持ちはわからない。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ テレビで、路上喫煙していても注意によりやめれば罰金を取らないとやっていたが、だからいつまで経っても路上で歩きながら吸っているのだと思う。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 健康にも良いとは思わないので、吸わない方向にもっていくことが良いと思う。周囲では吸わない人が多くなった。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙所の場所を細かく設定してほしい(入店する動線には設定しないでほしい)。お祭りの時など、平気で公園内を歩いて喫煙する人がいるので、取り締まりをしてほしい。喫煙者へのマナー向上の普及啓発として、においでも良くないことを周知し、喫煙後のにおいでも迷惑していることを加えてほしい。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者は他人へ悪影響を及ぼしているという意識を持っていないので、平気で喫煙している。喫煙者の意識と気遣いを高める対策・活動をしてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 家庭で喫煙されている子ども達は慣れてしまい、体に悪いという意識が薄いように思う。幼いころから受動喫煙しているので大変だと思う。大人が子供のことを考えて、なるべく吸わないことを心掛けてほしいが、一度そのような状態になるとやめることも大変なようだ。もっと現実的に悪いことをはっきり発信することが必要だと思う。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 特に子どもに与える影響を考慮してほしい。公園などでの喫煙やたばこのポイ捨ても見受けられる。(男性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ ラーメン屋に行った時、隣の人が吸っていてとても嫌だった。ラーメン屋は皆がいくところなので、絶対にやめてほしい。(男性, 20 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ まだ小規模な工場や会社では経営者の考えで禁煙の考えがないところがあるが、受動喫煙をもっと強く言ってほしい。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 高齢者の喫煙に対する意識が低いように感じる。高齢者への啓発活動を行ってほしい。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ まだ曜日によって外食する家族も多いが、赤ちゃん連れの人がいくら禁煙席に案内されても、分煙が曖昧だと見ていて可哀想だった。赤ちゃんも咳をしていた。自分は吸わないのでやはり敏感になる。やはり健康第一と思えば、分煙がしっかりしている店を選ぶ。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ たばこをやめてから 14 年になるが、今はたばこのにおいも気になる。以前国はたばこ税で増販したのだから、もっと禁煙するための支援を増販した時の気持ちと同じくらいしっかりとする必要がある。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ たばこの販売自体をやめる。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 自動車内での喫煙は構わないが、灰を外へ捨てたり煙が流れ出ているのは歩きたばこと同じ。マナーはしっかり守り、取り締まり・罰金の強化をしてほしい。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ そんなに体に悪いのなら、いっそのこと販売禁止にしたらどうか。走行中の車中より火の点いたたばこをポイ捨てる者もたまに見かける。腹立たしい行為だが、まだこのような者が

- いるのも現状だ。(男性, 70 歳以上, 伊豆, 喫煙者)
- ・ 禁煙対策が進められてきているが、喫煙者の歩きたばこや投げ捨て、ホテル族などマナーの悪さが目立つと思う。若者や高齢者には健康への悪影響を周知させるのは難しいのだろうか。乗車中は吸わないが、タクシー内のたばこ臭に困ることが多々ある。住居の住人に意見できないのも事実だ。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ まだ対策として不十分と思われる。非喫煙者にとっては、風に乗って流れてくるたばこのにおいすら嫌いな人も多い。喫煙者には加害者にもなりうることを周知徹底すべきだ。(男性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 世界的に比較すると、日本の受動喫煙防止は遅れていると感じる。一昔前は喫煙が当たり前だったので、非常に改善されてきていると思う。さらなる受動喫煙防止が拡大していくことを望む。(男性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者は可能な場所を探すので、全面的禁煙が望ましい。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者にたばこの害について十分認識させること、及び他人の迷惑を考えさせることを教育すべきだ。公の場においては灰皿の設置を例外なく全面的にやめるべきだ。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 加熱式たばこは煙が出ないからと言って、実はにおいが気になり、かえって煙の方がにおいは良かった。1つ改善したと思ったら問題点が出てきて、たばこを吸う人だけの問題ではないので、ぜひ対策をお願いしたい。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 自宅や私有車両以外での喫煙を禁止すべきだ。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者に禁煙してもらうのは 100%無理だと思う。喫煙できる場所でのみの喫煙ルールを守ってもらい、禁煙者やもともと吸わない人は、なるべく喫煙場所には近寄らないように自己防衛するしかない。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 法改正により屋内での喫煙は厳しく規制され受動喫煙は減少していくと期待するが、反面屋外での喫煙マナーを啓発しないと、たばこのポイ捨てやそれに起因する火災などが懸念される。以前は歩きたばこやポイ捨てについての啓発 CM を頻繁に目にしたが、最近は目にしないので記入しておく。(男性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 通常たばこは生産禁止が望ましい。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 歩きたばこに関しては、厳しい罰則を設けるのが望ましい。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 路上の喫煙場所から煙が漏れないようにしてほしい。飲食店は原則禁煙にすべきだ。(男性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙場所を設置してあっても部屋になっていないと(特に屋外)、近くを通った時に煙のにおいがする。強い換気設備をつけて外に煙が漏れないようになっていれば喫煙可、くらいにしてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ いろいろな世代別でも良いので、地区センターなど地域の場所を利用してもっと浸透させてもらいたい。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 特に子どもの未来を考えて対策を強化してほしい。誰にも迷惑を掛けていないから良いとか、「たばこ=カッコいい」と思う若者もいる。もちろん大人も。迷惑だし何もかっこよくない。ただ、難しい言葉を使ってもわかりにくく伝わりにくいので、「たばこ=良くない」のイメージ

- ジができやすい対策を取ってほしい。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ そもそもたばこの販売を停止すれば良い。(男性, 60 歳代, 中部, 喫煙者)
 - ・ 喫煙する人は県民税を 5 倍にすれば良い。喫煙者の額に「喫煙」の入れ墨を彫り、さらし者にすれば良い。ポイ捨てする人は、火の点いたたばこを腕に押し付けてやれば良い(道路の苦勞をわからせる)。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 分煙でもにおいは漏れてくるので、入店してから分煙に気付くのがっかりする。先に知りたい。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 諸外国と比べて対策が遅れている。歩行中はどんな場所でも禁煙にする。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 先日同級生と昼食を共にしたが、喫煙場所が特別にあり、部屋が仕切られていたように思う。子ども達にとっては大変良いことだと感じた。(女性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 道で小さい子どもと一緒に歩いている親が、たばこを吸いながら歩いているのをたまに見掛けることがある。どうにかならないものだろうか。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 海外のようにたばこの値段を極端に高くする。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 若年層では、健康被害やたばこの値段が上がっていることなどを理由に、確実に喫煙者は減少しているのを感じている。行政としては先進国の諸外国と同等以上にたばこの価格を上げる働きをすることで、喫煙者自体がほぼいない状態となり、受動喫煙の機会は健康的に問題とならない回数へとなくなっていくと考える。(男性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙は思いやりやマナーの問題ではなく、他人の健康や生命までも脅かしてしまうことを認識すべきであり、たばこを吸わない人から言えば、なぜ健康被害を被らなければならないのかと反論するのは当然のことだ。加えて、分煙とか煙が出ない「加熱式たばこ」は絶対に認めるべきではない。特に加熱式は若者にとっては使い次第では恐ろしい道具になってしまう場合もある。それと、たばこを吸わない人が最も嫌うのはあの煙とにおいである、以前私も吸ってはいたが、今は吸っていない。だから吸う人と吸わない人の気持ちは痛いほどよくわかる。一度たばこの味を覚えてしまうと強い意志がなければ禁煙は難しい。特にたばこは時間が経つとまた吸いたくなり、それは体内に残っているニコチン・タールが吸わせようと体に働きかけるのである。受動喫煙対策として真剣に考えてみたいことは、「たばこ人口」を徹底して減らす取り組みだ。そのためには喫煙をどうしてやめさせるかだが、決め手は人の命を預かる医者から「もし長生きしたかったらたばこはやめなさい」と言われたら、ほとんどの人が禁煙を考えるはずだ。専門知識を持つ医者の言葉なら、インパクトも説得力もあり、効果も大いに期待できる。こうした病院からの徹底した啓発活動を粘り強く全国展開することが課題ではないだろうか。それに伴い、徐々に禁煙に対するハードルを上げながら徹底した意識改革を行っていく。時間は掛かるがそれが長い目で見れば国民健康保険料の軽減にもつながってくるものと確信している。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 無害なたばこを開発できないものか。火を点けないタイプの加熱式も普及すれば良いと思う。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ そもそもたばこは必要な物なのか。体に悪いものは売らないでほしい。こんなことを問題にするのもばかばかしい。自動販売機やスーパーですぐ手に入るのも、常々考えてしまう。(女

- 性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 自分自身や自分に係わる人々を大切に思う意識があれば、自分以外の人に影響を及ぼす場所で喫煙したりしないと思う。本来は個々の意識の問題であり、行政が取り組むことではないと思う。ただ現状では分煙・禁煙を進めて、店頭などに表示を出すのが当面できることかと思う。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ たばこの売価を 1 箱 1,000 円以上にしたら、何割かの喫煙者が減ると思うので、受動喫煙も減っていくと思われる。(男性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ しっかり分煙にして、においが外に漏れないようにしてほしい。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 建物の出入り口近くの喫煙所は、受動喫煙になり良くないと思う。(男性, 20 歳代, 西部, 喫煙者)
 - ・ そもそもたばこというものがなくなれば良いのと思う。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ いまだに路上にたばこのポイ捨てがある。家の近所でも、外でたばこを吸っている人がおり、窓を開けていると家の中においが入って不快な思いをする。たばこが自分より他人のストレスになることを考えるべきだ。どうしても吸いたい人は家の中で吸うべきだ。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ たばこを売らない。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 加熱式たばこは健康への影響が少ないと思っている。加熱式たばこを推進していくような方向で検討してほしい。(男性, 40 歳代, 西部, 喫煙者)
 - ・ 私が住んでいる町内に、店先にたばこの自動販売機が 3 台置いてある。未成年者が自由に購入できる状態を目の当たりにする中、現実的に難しい問題が多々あるとは思う。しかし、対策を講じ実施する必要性はわからない中にも感じている。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ たばこが体に有害とわかっているので、将来的には大麻のように法律で禁止すべきだと思っている。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 分煙にするなら、煙が漏れてこない造りにしてほしい。奥が喫煙室になっていても、自動ドアが開くたびに煙が出てきて臭かったことがある。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 肺がんや呼吸器疾患が増加している現状を訴え、自然現象である花粉症やその他のコントロール不可能な面もあるウィルス・細菌・真菌などの感染アレルギーに比べれば、受動喫煙防止は可能と考える。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 私が働いている飲食店では電子たばこのみ店内 OK としているが、実際に煙は出るものもあるので、まったくたばこを受け入れられない人からすると嫌なのかなと思うことがある。難しい問題だ。完全分煙できるのが一番とは思う。(女性, 20 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 子どもを連れていく場所に関しては禁煙としてほしい。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 周囲に人がいる場合、喫煙者がたばこを吸って良い権利はないと思う。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 歩きたばこ（路上喫煙）は禁止してほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 私も 15 年程前までは 20 本／日の喫煙者だった。喫煙者に対して他人への配慮をと言っても難しいと思う。自身の健康を害しても吸いたいと思っているので。それよりも先々のことを

考え、現在非喫煙者の子ども達に徹底して喫煙のリスクを訴え、最初の1本に手を出さないように伝えていくことが大切だと思う。健康被害よりもお金の問題や喫煙者になることでイライラ・集中力の低下が起こること（現在自由に吸える環境が減っているので）を具体的に現実的な事例で表現していくことが大切だ。私も息子が中学生の頃に1年間のたばこ代を示し、1本目に手を出すと毎年このお金を使っていくことになり、これを今ライターで燃やすことと同じだと教えた。現在高校3年生だが、たばこなんてお金の無駄だと言ってくれている。喫煙スタート者が0人になれば良いと思う。そうすれば受動喫煙も0となると思う。（女性、40歳代、中部、非喫煙者）

- ・ 私はがんと診断された時、2人に1人はがんになるのだからとたばこをやめなかったが、ステージ4の進行性がんと告げられた時はスッとやめた。やめた方が良いと思っていてもイライラしたりすると吸っていたが、あれから2年、一度も喫煙していない。今ではたばこを吸った後の人とすれ違うだけでもおいが気になる。においまでも完全に消すのは難しいだろうが、きちんと分煙できたらありがたい。（女性、60歳代、東部、非喫煙者）
- ・ できることならたばこがない世の中になってほしい。たばこを吸わない人にまで害が及ぶのはやめてほしい。（女性、40歳代、東部、非喫煙者）
- ・ 喫煙者に健康のことを問うなら国で売るな。国がやっていることはおかしくないか。税金がほしいのか。（男性、60歳代、中部、非喫煙者）
- ・ 子どもが利用する公園や施設は完全に禁煙としてほしい。たばこが健康に良くないということを小学校高学年くらいから教えても良いと思う。（女性、60歳代、東部、非喫煙者）
- ・ 店側も分煙をすると大変な部分もあるかもしれないが、やはり小さい子どもがいる親はたばこ臭いと行かないので、子どもも対象としているところは分煙した方が売り上げにも影響するだろう。たばこをやめたくてもつい吸ってしまう人がやめる決心をするような援助をしてほしい。（女性、50歳代、東部、非喫煙者）
- ・ 知人が居酒屋を経営しているが、なかなか商売上全面禁煙は大変なようだ。何か良い方法があればと思う。（女性、70歳以上、東部、非喫煙者）
- ・ 世間では「喫煙は悪」という風潮だが、その税もまた大であり、地方ではあてにしているのも現状だ。世の中を挙げて反対なら、酒同様自動販売機をなくせば良いのだ。または外国のように1箱1,000円以上にすれば、やめたいと思っている人の後押しになると思う。喫煙者のマナーの悪さも目立つ。車からのポイ捨てが多い。（男性、70歳以上、東部、喫煙者）
- ・ たばこが買えないように1箱1万円にする。簡単に買えない値段にすれば喫煙者も減るのではないか。（女性、50歳代、東部、非喫煙者）
- ・ 私の妹が受動喫煙により肺の病にかかり若死にした。活動に感謝します。（女性、70歳以上、西部、非喫煙者）
- ・ ファミリーレストランでは名ばかりの分煙のところが多く、禁煙席にまでたばこのにおいがするところがあり、こうした部分にもきちんと指導をしてほしい。（女性、70歳以上、西部、非喫煙者）
- ・ 日本は喫煙に対して甘すぎる。喫煙者の権利擁護などする必要はない。受動喫煙が生ずるすべての場所で禁煙とすべきだ。（男性、60歳代、中部、非喫煙者）

- ・ たばこをやめろとは言わないが、吸う人は他人に迷惑を掛け不快にさせていることを分かってほしい。プライベートスペースのみにしてほしい。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 未成年者(特に小・中学生)への教育を徹底してほしい。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 禁煙場所ばかり増えるとマナーの悪い喫煙者はどこでも喫煙してしまう。ある程度喫煙できる場所を設置し、分煙の徹底及び喫煙者のマナー向上、特に年配者の意識の改善に努めてほしい。(男性, 20 歳代, 中部, 喫煙者)
- ・ 自分自身が働く会社が事務所内での喫煙があり、行政で各会社へも指導していただけたらと思う。近年煙を感じる場所が少なくなったので、より気になる。行政での指導をする際、換気口も気に掛けてもらえるとうれしい。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙に興味が出てくる年頃に、害についての教育を行う。(女性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙被害の可能性がある場所は禁止してほしい。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ たばこは本人も受動喫煙もとても害があり、たばこがなぜあるのかとも思う。まずは喫煙者の周囲への配慮が必要だ。小規模飲食店を営んでいる人は、完全禁煙とすると客が来ないと言う。そのあたりの対策・援助が必要だ。私は禁煙の店しか行きたくない。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 自分が 10 年前まで喫煙をしていたので、やめた後に感じるたばこの煙を吸った時の不快感は強い。パチンコ屋などでは、わざと人の顔に煙を吹きかけてくる人もいる。原則すべての屋内は禁煙となる世の中が来ることを祈っている。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙防止についてはルールを規定し、人々にルールをわかるように看板や案内で明記することが大切だと思う。また、喫煙者に対してはしっかりした喫煙スペースを設置するようにしてほしい(喫煙者のため)。(男性, 60 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ 屋外にある喫煙所の前を通ると煙を吸いたくないのに吸ってしまうところがある。風の流れを考えて喫煙所を設置してほしい。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙は大迷惑だ。健康を害するので、徹底的に規制してほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 現在妊娠中のため、受動喫煙には敏感になっている。分煙されている職場や店などでもその扉を開けており、煙やにおいが外に出てしまっていて不快な思いをよくする。もっともっと安心して外出できるような分煙社会になればと願っている。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者の健康保険料アップと生命保険料を割高にする。喫煙は本人にとっても良くないし、かつ周囲の人に迷惑を掛けることを PR すべきだ。たばこの値段を上げるだけではなく、周囲の迷惑が掛かっている人のためにも各種金額の負担増を喫煙者にさせるべきだ。受動喫煙防止も必要だが、さらに一歩進めて、健康保険料アップや生命保険料アップ他、受動喫煙者対策費用の負担を喫煙者がする検討もしてほしい。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 小規模飲食店などで小さい子どもがいても喫煙する人が多いように思う。喫煙者のマナー向上のためのキャンペーンなどもお願いしたい。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 自分の気持ちとしては、たばこは一切禁止してほしいくらいだが、喫煙者の権利もあるので分煙してくれれば良い。特に子どもが利用する施設については禁煙を進めてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)

- ・ カラオケなどのような狭い空間も禁煙にしてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 公園などでたばこを吸いながら歩いている人を見掛けることがあるので、禁煙の立て札をしっかりと取り付けるようにしてほしい。(女性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ マナーの守れない人に喫煙を許可しない。場所や時間を守る。ポイ捨てしないのは当たり前。吸殻が街中に多すぎるので、ぜったいやめてほしいし厳しく取り締まってほしい。守れない人は煙のことなど考えられない人だ。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 小規模飲食店やファミリーレストランなどの名で運営している店で分煙すらされていない店が近くにたくさんあり、居酒屋は喫煙場と想像できるものの、そういった場所で表記もされておらず、妊娠中なのでとても不快で困っている。この先も子どものために、表記や分煙対策をお願いしたい。(女性, 20 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
- ・ 飲食店内は全席禁煙、これがスタンダードになると良い。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 広報や CMなどで喫煙する人の意識の向上をもっと進めてほしい。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者側のことも考えた対策をしてほしい。なんでもかんでも禁煙にすれば良いというものではない。(女性, 40 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ 2002 年のエコパのボランティアをしていた時に感じたが、歩きたばこをしている人が手を下げた時に、近くを通ったお子さんの顔にたばこが当たりそうになったことがあった。その時に歩きたばこは危険だとお願いした。来年のラグビーの時もそのようなことがないようにお願いします。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 政府及び県の周知活動不足のように思われる。もっと活動を強化すべきだ。(男性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこ税を上げて、その税収入で受動喫煙防止対策を実施することが望ましい。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 見知らぬ第三者と接する可能性がある場所は禁煙とすべきだ。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 自分は入りたくなくても上司の誘いなどで喫煙スペースへ入らざるを得ないこともあるため、完全に規制してほしい。法律などで規制してもらえれば、嫌な煙を吸わなくても良くなると思う。子どもを連れて行ける場所も増えると思う。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 公共の場所はどこであろうと禁煙にする(ゲーム、パチンコ、デパート等)。喫煙する人は密閉された場所であること。人通りのある所では禁煙にし、ある程度の罰則を設ける。歩行中は禁煙とする。禁煙のマークを作成し、飲食店などの入口に看板を設置する。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 公園など子どもや妊婦が多く利用する場所では喫煙をしないように規制してほしい。環境美化にもつながると思う。歩きたばこやポイ捨てなども危険を感じる(特に車から投げ捨てる人が多い)。(女性, 20 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 夫がヘビースモーカーで、悲しいことに家庭が受動喫煙の被害を一番受けている。税収などたばこに関しては大人の事情もあるかと思うが、健康被害をもっとテレビなどでアピールしてほしいと思う。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)

- ・ 現在かなりのペースで分煙の動きが進んでいるので良いと思う。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 飲食店ではにおいがとても気になるので、可能な限り禁煙にすべきだと思う。(男性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこ料金のアップ、罰金制度の徹底(男性, 70 歳以上, 伊豆, 非喫煙者)
- ・ 国全体で全面禁煙にするべきだ。(男性, 60 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者は他人に迷惑を掛けても自分は健康でどこも悪くないと思っている。喫煙者を集めて講習を開き、健康について自分自身に自覚を持たせることが良いと思う。以前たばこをすすめていた人が最近やめた。健康に気を付ける時期が来たら自然にやめるのかなと思った。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 体に良くないものは売らないようにしてほしい。(女性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 家族に喫煙者がいないため家では受動喫煙の心配はないが、外食の時は必ず禁煙席を選んでいく。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 国内でたばこを販売しなければ良いと思う。(男性, 50 歳代, 中部, 喫煙者)
- ・ バイクや自転車に乗っての喫煙、歩きながらの喫煙、何度危険な目に遭ったかわからない。車のボンネットの上に吸殻を置かれていたこともあった。たばこを吸っている人は人に迷惑を掛けていることをもっと認識してほしい。マナーの悪い人を徹底的に罰してほしい。(男性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 近頃、自分の家の室内で喫煙せず、自分の敷地内の室外(庭やベランダなど)で喫煙する人が増えている。そのため、窓を開けていられない、洗濯物ににおいが付着するなど、近隣住民が多大な被害を被るケースが増えてきている。喫煙者のマナーにすぎるしかないこうした実情も起きているので、難しいが対策を期待する。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者には何ら権利はないのだろうか。各種業界においては分煙の設備をしっかりしてほしい。(男性, 50 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ 自分は喫煙側だが、喫煙場所をきっちりした方が良いと思う。しっかりしていない場所だと、自分のことだけで周囲を見ずに喫煙してしまう人がいる。喫煙側から見ても子ども達がいるととても気になる。(男性, 30 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ たばこそのものを禁止してほしい。隣家の人が外で吸っているたばこの煙が風に乗ってわが家へ入ってくるが、「やめてください」とは言いにくい。隣の人が外に出てきて吸う度に窓を閉めている。たばこを禁止できないなら、価格を上げて買いにくいようにしてほしい。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 全面禁煙にしてほしい。たばこのにおいを嗅ぐと吐き気がする。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙防止法を作りたい。(女性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 県がこのような取り組みをしているのは知らなかった。小さな子どもがいるので、子どもがいるような場所では吸わないでほしいと思う。それでも平気な顔をして吸える大人がまだまだ多い。意識自体が変わっていけば良いと思う。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者にも人権があるので、受動喫煙対策は分煙化をメインに推進してほしい。(男性, 50 歳

代, 中部, 喫煙者)

- ・ たばこ自体が迷惑極まりない。喫煙所以外での喫煙は禁止へ。コンビニ前の灰皿は撤去。店の入口で吸っていると入りたくない。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 禁煙の店も喫煙の店も利用するが、同伴者が禁煙希望の場合や体調によっては煙を吸うと気分が悪くなることがあるので、チェーン・個人店ともに統一されたマークの提示があり、入店前に選択できると良いと思う。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこを吸っている人のレントゲン写真などを見せて、子ども達に学校で教育してほしい。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 子どもがいるところや施設では徹底的に禁煙してほしい。分煙でも上に隙間のあるところなどが多い。特に飲食店はしっかり分けてほしい。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこは体に害があるとわかっていても喫煙している人が大部分だと思う。ストレス解消など理由は様々だとは思いますが、たばこではなくてそれに代わるものが生まれたら良いと思う。また、喫煙者の精神的弱さや他人に迷惑を掛けている身勝手さの啓発もされればうれしい。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 現在は良くなっているので、今後も進めてください。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 分煙になっている飲食店はあるが、煙にもおいても防げていない。小規模店は除外になっているが、すべて禁煙とすべきだ。吸っている人の意識が低いのも問題だと思う。学校では校外で吸っているけど、においや煙は風に乗ってくるし、吸い殻のポイ捨ても不快だ。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者に対する罰則を強化することにより、受動喫煙を減らしてほしい。罰金を自治体の財源にすれば良い。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 規制だけでは守られない。法によって定めてほしい。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙による健康への悪影響については理解されているようでも、まだまだ認識されていないように感じる。私も元愛煙家としては、愛煙家の気持ちも理解できるが、より受動喫煙に関する知識や周囲へ配慮できるよう啓発が必要だと考える。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ まだまだ歩きながらたばこを吸う人がいるので取り締まってほしい。受動喫煙防止のため、迷惑を掛けている人にしっかりと注意・指導をしてもらいたい。一般人からは注意できない。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 横で喫煙している人のたばこの煙ほど嫌なことはない。歩行中の喫煙は全面的に禁止してほしい。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ たばこを吸うことに肩身の狭い思いをさせる対策を取ってほしい。たばこを吸った直後でも、口臭で周囲を不快にすることをわかってほしい。堂々と勤務中に抜け出て吸いに行くのはおかしいと思う。喫煙席はすごく空いていて禁煙席は混んでいて、やむを得ず喫煙席に座ったが、髪や服ににおいが染みついてしまって閉口した (***)店。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこをもっと高価にして、喫煙数を少なくする。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 学校での教育をする。企業内での教育を推進する。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)

- ・ マナーは守られないことが多くあるので、モラルに任せるばかりではなく罰金なども必要だと思う。喫煙所・プライベートスペース・喫煙可能場所以外では完全禁煙にして、罰金制にすれば良い。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙による健康被害をもっと告知すべきだ。浜松市では市の条例で路上喫煙は禁止されているが、知らない人が多いようだ。長年の喫煙による肺機能の低下による健康被害や受動喫煙による皮膚への色素沈着等、後悔する事柄がこれからの人達に起こらないようにしてほしい。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこをやめた人間なので、受動喫煙に対して厳しく言うつもりはない。しかし、目の前でたばこを吸われると不快なことも事実だ、一部マナーのなっていない喫煙者がいることはあるが、多くの喫煙者は周囲に気を遣って喫煙していると思う。マナーの悪い喫煙者にとっては罰則のないルールは意味がないので、縛りを強くするのではなくたばこを吸いづらくする雰囲気作りが必要だと思う。(男性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙を規制することは良いが、喫煙場所をきちんと確保してほしい。見つからずにそこらへんで吸っている人やポイ捨てが増えている気もする。公園などは吸殻を持ち帰ってもらえる方が子どもの誤飲も防げるかと思う。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ いつも仕事をしている台湾では、10 年前から他者がいるところでは全面禁煙で、他者の前で喫煙すると罰金になる。青少年にも良い影響があり、喫煙者は裏社会関係者など限られた人だけになっている。日本はまだ喫煙がまかり通っている会社や学校が多く、非先進国並みだ。インバウンドでも良くない印象を多くの国の人に与えている。厳しい施策をするべき時期だろう。喫煙＝後進国が文明国人の認識だ。(男性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 子連れで飲食店に行く時、喫煙席しか空いていないと食事を楽しめない。喫煙していたことのある自分なので偉そうに言えないが、禁煙スペースが広くなるとうれしい。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 店の入口に表示する。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 駅の周りなど人が多く集まる歩道や路上も禁煙にしてほしい。屋外にある喫煙所でも、風によって煙が来る場所があるので対策をお願いしたい。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 企業をもっと厳しく取り組むべきだ。喫煙有害のエビデンスをもっと出すこと。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこは良くないと知っている人がほとんどだ。1 箱 2~3,000 円にすれば、喫煙者が減少するかもしれない。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 施設での禁煙が強化されたからなのか、路上喫煙者をよく見かける。自転車に乗りながらの喫煙は灰が飛んでくるなど危険で不快だ。もっと厳しく取り締まってほしい(子どもがいるのでなおさらそう感じる)。飲食店についても全面禁煙を徹底してほしい。日本はたばこの値段の安価さに関しても施設内禁煙に関しても考えが遅れている。厳しさが必要だと思う。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙・受動喫煙を含めて健康に良くないということは理解しているし、防止対策は必要と考える。たばこは嗜好品であればむやみに規制するのはどうかとも思う。行政が深入りすることでもないと思う(公共性のある場所以外)。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)

- ・ 先日、某バスターミナル内で堂々と喫煙している人がいた。ターミナル内には禁煙の表示がされていないため、こちらが注意することができなかった。駅やバスターミナルなど多数の人が出入りする場所には、もっと積極的に禁煙であることの表示をしてほしい。(男性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 私は喫煙者ではないが、家族や友達に喫煙者がいることから、特に飲食店では喫煙できる場所を選んで利用するため、選択肢が限られることがある。だから、全ての店で喫煙可能とし分煙されると利用しやすい。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ できれば酒場も喫煙コーナーを設けて分煙してほしい。(男性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 分煙は施策として継続してほしいが、分煙できない公共空間は、酒場であっても禁煙にしてほしい。(男性, 50 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ 室内に喫煙室ができたお蔭で非喫煙者が受動喫煙にあうことがだいぶ減ったと思う。大型ショッピングモール内でもトイレ付近やフードコート内に喫煙室があり、姿は見えるがにおいはないし煙を吸うこともないので、子ども連れでも安心していられるようになった。しかし、以前勤めていた病院では、敷地外ではあるがすぐ隣にある薬局の屋外喫煙スペースにて医師や看護師が喫煙していた。時には患者さんと一緒のこともあった。二次救急の総合病院だが、多くの人が訪れる駐車場から見えるし、吸わない私は決して良いことだと思わない。やはり吸わない人が受動喫煙にあわないためには喫煙室が必要だと思う。病院勤務の頃は、本人はたばこを吸わないのに飲食店勤務で受動喫煙にあい、肺がんで亡くなった人も見てきた。本当にあってはいけないことだと思う。副流煙には有害物質が多く、人の肺に取り込まれて吐き出された煙の方が人体に悪影響を及ぼすので、理想を言えば、公共施設では全面禁煙で、外でも多くの人を通る自販機近くや駐車場近辺や出入り口に灰皿スタンドは設置してほしい。妊娠中は息を止めて通過していた。吸う人は不便かもしれないが、それでも吸えない場所が増えようとたばこが値上がりしようと吸える場所まで行ってでも吸うのだから、吸わない人が被害にあう場面が減ることを願っている。2020 年のオリンピックでもきれいな日本でありたいものだ。(女性, 20 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙すべてが悪とする傾向に少し異議を持つ。高額な課税、喫煙場所の排除等、喫煙者側の権利はまったく考慮されていない。産業（生産者側）にも影響が大きい。屋内でも分煙がきっちりできれば良いと思う。自分は吸わないのにおいは好きではないし、喫煙後 30 分くらいは閉塞空間にいたくない（特にエレベーターやバスなど）。(男性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ たばこを作らない、売らないことだ。もともとなかったと思えば吸うこともない。たばこというものがあつたから 20 歳になって吸い始めた。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者が「喫煙する権利」とか「肩身が狭い」などと不満を述べている新聞への投書を見ることがあるが、たばこの有害物質を望んでもいないのに吸わされる身にもなってほしい（不満を口にすることではないが）。たくさんたばこを吸っていて肺がんやら呼吸器不全などになって、不平・不満を周囲に振りまいて、そのことでも不快を味わっている。喫煙防止教育などでニコチン中毒になる人を減らしてほしい。喫煙が規制されるのが当然であることを周知してほしい。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 電子たばこにもおいがきついで、防止対策に組み込んでほしい（におい的にも体にストレ

- スがかかるから)。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 夫が喫煙者だ。店は分煙してあれば良い。子ども(小5、小2)の近くでは吸わない。喫煙所を設置してくれてあれば十分だと思う。家族で出掛けにくくなる。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 製造現場での喫煙状況を何とかしてほしい。あちこちに喫煙場所があり、仕事をさぼる人が多い。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙はとても恐ろしいことだと思う。子ども達にも悪影響を及ぼす。できるならそんな健康を害するもの自体がなくなってほしい。麻薬やドラッグとどう違うのだろうか。もしも喫煙者がしっかりとマナーを守る免許に合格し違反しなければ少しは変わるかもしれない。法律的に厳しくいかないとどこでもすり抜けて我が物顔で道路や車の中で自由に喫煙し、その吸殻をポイ捨てる。喫煙者に厳しい世の中と言われるかもしれないが、吸わない者がその煙で命を落とすこともあるということを知ってほしいと強く思う。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 1日も早く全面禁煙にして、たばこの販売をやめてほしい。国民の健康のためと思う。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 特に子ども達も利用するような場所は完全禁煙にすべきだと思う。屋外でもだめだ。分煙と言っても煙が漏れているところもたくさんある。頑張ってください。(女性, 30 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ ゲームセンターでは喫煙が可能となっているが、前倒しの徹底実践を推進してほしい。飲食店についても同様だ。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 世の中からたばこをなくしてほしい。(女性, 30 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ 健康に害がある・ないに関わりなく、たばこのにおいと煙は迷惑に思う。特に飲食店での喫煙は、食事がまずくなるので原則禁止にしてほしいと思っている。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 学校や官公庁は例外を認めず全面禁止とすべきだ。健康に対する影響はもちろんだが、勤務時間内に利用する職員の職務時間も問題にすべきだ(大阪に例あり)。公務員としての資質を問われるべき問題であり、採用時にも条件とする必要がある。(男性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 飲食を伴う店は原則として禁煙もしくは分煙とすべきだ。喫煙している人で自分のテーブルの仲間に掛からないように通路側に向かって煙を出す人がいるが、エチケットのような行為をとっているつもりだろうが、通路を挟んで隣にいる客にとっては非常に迷惑な行為だ。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙することが良くないということをもっといろいろなところで発信していくべきだ。街に禁煙ポスターや看板やのぼりなどがたくさんあったら喫煙者も考えると思う。たばこ自体もっと値段を上げるべきだ。限られた場所以外で吸わないでほしいので、もっと考えてほしい。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 交差点や路上に「条例により喫煙不可」という表示があるが、ほとんど効果がなく喫煙者の目に入っていない。そのような表示をするのであれば、もっと目に付くところにすべきだ。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)

- ・ たばこが苦手なので、少しでも受動喫煙の被害が減るよう是正をお願いしたい。健康増進法の改正がされたことを知らなかったので、これを機に、より具体的で着実な変化が見られることを期待している。飲食店の喫煙に関しては、もっと厳しくても良い気がする。(女性, 30歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者のマナー(本人の気持ち)次第であるため、各種啓発につながる手段をさらに行う必要があると強く感じる。(男性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 周囲がたばこを吸っていたので何となく吸うようになり、美味しいと感じることもなく吸っていたが、いざやめようとした時、口が寂しくなかなかやめられなかった。今でも1回吸ってしまえばまた癖になるのだと思う。周囲に迷惑が掛かるということをアピールするより、まず自分の体がぼろぼろになること、臭いし肌が汚くなる、髪がパサつく、ガラガラ声になり同年代より老けて見えることをアピールする方が禁煙につながると思う。(女性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 分煙とは言っても明確な仕切りがなく、禁煙席との境界辺りでは全く禁煙になっていない飲食店があるので、行政からの指導をお願いしたい。(女性, 40歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 歩きたばこの人が多すぎる。子どもを外で散歩させることも考えてしまう。ベランダで吸う人もいるため、それも考えてほしい。歩きたばこや自転車に乗りながら吸っている人へ、もっと厳しく対応してほしい。吸う際は、他の人へ迷惑を掛けないように考えて吸ってほしい。(女性, 20歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこの値上げをしてもっと禁煙を推進すべきであり、そうすることで受動喫煙が減るのはと思う。(女性, 40歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙可エリア外での喫煙への罰則など。(男性, 60歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 路上喫煙も禁止してほしい。家庭内で喫煙できずに庭で吸って、近所に迷惑を掛けるのもいけないと思う。どうしても吸いたいなら、外へ絶対に漏れない喫煙ルームで吸ってほしい。(女性, 60歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこを禁止していない以上は、禁止場所を増やすのも良いが、喫煙場所を増やしたりわかりやすくした方が良いと思う。場所がない、またはわからない人が多いから、その辺で吸う人が多いのだ。自分は気にならないが、子どもを連れていると気になってしまったり嫌な気持ちになってしまう。自分の心もすっきりしない。(女性, 30歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 歩きたばこは子どもの目の高さくらいで特に危ないため、しっかり取り締まってほしい。マナーをきちんと守れるように取り締まってほしい。(女性, 30歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 分煙はもっと徹底して行くべきだと思う。(男性, 50歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 禁煙を問題にするならたばこを売るな。たばこ1箱の値段を1,000~2,000円にする。(男性, 70歳以上, 東部, 喫煙者)
- ・ たばこを吸わない人を第一に、今後の喫煙・受動喫煙を考えていってほしい。(男性, 20歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 子どもの受動喫煙防止に、特に力を入れていただきたい。(女性, 40歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 子ども(乳幼児を含む)のことを一番に考え、子どもの行きそうな場所の受動喫煙防止対策に取り組んでほしい。(男性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)

- ・ 受動喫煙は主流煙より悪影響があるとは本当に迷惑だ。吸う人をより少なくするしか方法はないと思う。病気でドクターストップがかかった人は、命が掛かったから割と禁煙している。たばこの価格を高額にして、その後は1日も早くたばこの販売を中止する方向にしてほしい。(女性, 70歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 電子たばこが最近増えたが、たばこをなくしてほしい。良いことは何もないし、周りの人に迷惑だ。(女性, 40歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 職場内に喫煙専用室を設置し、職場(工場)の屋外禁煙を徹底指導する。喫煙者間で受動喫煙の苦々しい苦痛を理解させることが必要だ。(男性, 70歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 図書館の北側に喫煙場所があるが意味がない。通った時に煙を吸ってしまうので、もっと離れたところに設置してほしい。(男性, 20歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 主人が3年前に病気(大腸ポリープ)をし、今まで吸っていたたばこをやめた。それ以前は多分、私はだいぶ受動喫煙の被害を受けていたと思うが、それが私の体に影響があることは知らなかった。私自身あまり気にしなかった。だから、受動喫煙の健康への悪影響をもっと詳しく皆さんに伝えてほしい。飲食店やホテルなどを全面禁煙にしてほしいと思う。(女性, 50歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 規模を分ける意味がわからない。すべて禁煙なら、客が大店舗だけに流れることはないと思う。分煙とか言うから、大店舗が分煙室を作れて有利とか、小店舗は作る費用が掛かるから作れないなんてくだらない問題はなくなる。すべて禁煙にすべきだ。(男性, 60歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 酒類を扱っている飲食店から帰宅すると、衣類にたばこのにおいが付き家族が嫌がるので、袋などに入れ翌日洗濯する。家に喫煙者がいないとにおいに敏感になるので、この対策は徹底して行った方が良くと思う。(女性, 50歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 健康増進法の改正については認知していなかったので、このアンケートが良い機会になった。私の職場では休憩室でいまだに喫煙をしている。以前から受動喫煙について上司(喫煙者)には訴えていたが、なかなか動いてくれずにいたので、アンケートP5のコピーを渡して対策をしてもらおうと思う。(女性, 50歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこをやめて33年近く経っている。吸っていた頃は徐々に吸う量も増え、やめる頃は2箱も吸っていたが、そのせいか体調も悪くなっていた。その後は良くなってきて今があると思う。受動喫煙防止対策についてはよろしくお願いします。(男性, 70歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 私はたばこを吸わないので、副流煙には主流煙と比べ多くの有害物質が含まれているという受動喫煙を知ってから、早く防止対策の強化をと思っていた。前職は図書館勤務だったので、喫煙室の清掃は私達がしなくて良かったのだが、10年ほど前観光業の会社へ勤めてから、添乗員達の喫煙場所やお客様の喫煙コーナーの清掃もすることがあり、受動喫煙という言葉が常にあった。たばこを吸う人達が自分のたばこのせいで周りの他人へ与える影響について配慮し、マナー向上していただけたらと切に願う。(女性, 50歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 駅前の喫煙コーナーでは若い男女がかなり目立つ。始めは興味やかっこつけてうまくもなかったのが中毒になるのだろう。小・中学校の時にたばこや薬物などの防止教育をすべきだと思う。(女性, 60歳代, 東部, 非喫煙者)

- ・ 家庭での受動喫煙対策の強化(女性, 20 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 公共施設などの喫煙場所設置も必要だと思うが、喫煙する人の受動喫煙の健康への影響の理解も必要であり、どこで喫煙するかが大事かと思う。特に家庭内での受動喫煙がないよう意識を持ってほしい。(女性, 50 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
- ・ 行政が取り組むことは良いと思う。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 飲食店の分煙は意味がないと思う。エアコンや空気の流れてたばこのにおいは流れてくるから。お酒を出すのがメインの店は子供が行くこともあまりないと思うので、喫煙可でも良いが、吸わない人にとっては不快なものなので、空気清浄機を置くなどしてほしい。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 歩いていると煙を吸い込んでむせる時がある。路上で禁止と書いてあっても守らない人はいる。表示を大きくしたらどうだろうか。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙のまったくない環境を希望する。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこを売らなければ良いと思う。悪いと言いながら売っているという事実がおかしい。吸わない人が健康に害が出たら、すべて喫煙者が責任を取ってほしい。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこは依存症であり、すぐに吸うのをやめるのは難しいと思うが、周りの人(吸っていない人、子ども、赤ちゃん、高齢者)のことをもっともっと考慮してほしいのは、ずっと思い続けていたことだ(完全な禁煙者なので)。ホテルの禁煙部屋でもたばこのにおいが染みついてしまっていたり、道端で吸われている時は迷惑極まりない。自身の害だけで済むことではないことをもっと重く受け止め、住みやすい街にしてほしいと思う。ルールをもっと広め、わかりやすく的確なPRをしていくべきだと思う。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙は嗜好の問題なので、あまりあちこち禁煙にして喫煙者が肩身の狭い思いをするのも気の毒な気はするが、受動喫煙で喫煙しない人の健康が害されるのは理不尽だと思うので、しっかりと分煙していくことが大切かなと思う。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 飲食店では大小にかかわらずすべて禁煙にしてほしい。屋外の喫煙場所は、煙が外に出ないようにしてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 病院の入口などに喫煙所があるところがある。もっと人通りの少ないところにしてほしい。たばこを購入しにくいものにしてほしい。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 近くの家で喫煙する人がおり、受動喫煙となっている(窓を開けて私の家側で喫煙する)。そうした人達が家の中でたばこを吸うようにしてもらいたい。生後間もない子どももいるので非常に困っている。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 他人に迷惑を掛けないためには、場所を決めて禁止するようにしてほしい。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 店(特に飲食店)に入って店員さんに禁煙か喫煙か聞かれるが、分煙になっていても徹底されておらず、禁煙席にもたばこのにおいや煙が漂っていて不快な思いがする。喉がひりひりしたり咳込んだりする。たばこを吸うことでリラックスする人もいるので難しいことだと思うが、健康を考えると吸う人も吸わない人ももっと受動喫煙について知る必要があると思う。正しい理解があれば対策ももっとスムーズに行えると思う。店頭表示をする場合は一目でわ

- かりやすい場所に表示してほしい。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ スーパーの駐輪場が禁煙場所になっているので、そのようなところもやめてほしい。加熱式たばこはどう違うのかよくわからない。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 販売を停止する。喫煙者が悪いようになっているが、根本的に解決できないものは、法的なもの。(男性, 70 歳以上, 西部, 喫煙者)
 - ・ 歩きたばこもやめてほしい。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 飲食店は毎週必ず利用するが、分煙となっている店は喫煙席からなるべく遠い場所にする。自分も家族も吸う人がいないので、たばこにおいては敏感だ。なぜならおいを吸ったらすぐ咳が出るので困惑している。友人にも同じような人がいる。何しろ臭い。本来ならすべての場所(屋内・屋外)で禁煙を希望する。喫煙は限られた場所だけでしてほしい。しかし喫煙した人と会話するにおうのですぐわかるし、自分がそれを吸っていると思うとぞっとする。会話は手短にするようにしている。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 駐車場の喫煙防止(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 全部禁煙にする。(男性, 60 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙は体に悪いとは思っているがやめられないという人が、たばこが大幅な値上がりをしたらやめると言っていた。さらなる値上げは必要だと感じる。吸わない人にとっては不快だ。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 駿府公園でのお花見で喫煙しているグループが何組もいた。昼間だったこともあり、そばには赤ちゃんや子ども達を連れたファミリーもいて、楽しく食事をしていた。そういったスペースは禁煙としてほしいと思った。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ たばこの生産をやめて喫煙者をなくしてほしい。1箱3,000円くらいにすれば喫煙者も減り、生産量も減り、対策になると思う。(男性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 屋外に喫煙場所が設置されている施設などでも煙は流れるし、喫煙している人がいなくてもその場所においてが染みついていることがある。特に公共施設では禁煙が広まるよう願っている。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 余計な費用を掛けなければ良い。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ たばこは製造しなければ良い。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 子どもの頃は周りの大人は皆喫煙者だった記憶がある。当時は受動喫煙の害などももちろん知らず、情報もまったくなかった。そのころを考えると、ここ数年の喫煙に対する社会を挙げた姿勢の変化は驚くほどだ。喫煙者の人が居場所をなくして少し気の毒に感じてしまうこともあるくらいだ。喫煙所の整備などにも今後一層力を入れてあげてほしい。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 防止対策があることを知らなかった。もっと周知することで禁煙の意識が高まるのではないかと思う。禁煙の場所をもっと増やしてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 路上で吸っている人のたばこの灰が目に入ったこともあるし、職場や電車などで近くにいる人において鼻水や頭痛にもなる。非常にづらい。たばこに対してもっと強く取り締まってほしい。衣服や持ち物についたたばこのにおいては凶器にもなる。いくら自宅で喫煙者がいなくても、隣家の住人が庭やベランダで吸っているのは周囲に煙やにおいがいきわたり、窓を開

- けた部屋はヤニ臭くなる。こういったことにも啓発活動をしてほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者がいる以上受動喫煙は避けられないと思う。受動喫煙の影響について、学校や地域で知識を得る場や機会を設け、喫煙の低年齢化の防止も進める必要がある。低年齢からの喫煙はニコチン依存率も高くなることから、受動喫煙と喫煙開始年齢の両方の対策を立てる必要もあるのではないか。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 店などすべてが禁煙でなければ、いくら禁煙席を選んでもにおいが気になる。カラオケボックスなど、そこに入るだけで長時間はいられなかったり、高級ホテルに宿泊したくても禁煙ルームが空いていないと躊躇してしまう。だから禁煙ルームを必ず選択する。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙室の設置場所も気を付けてほしい。静岡空港で気になった。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 飲食店などで分煙されているように見えて、空気の流れなど全く機能しない場合も多い。喫煙後の服や体に残るにおいなどととても不快だ。行政が取り組むというより、健康への悪影響の普及により、民間企業が積極的に技術開発(残るにおいの除去、喫煙室の工夫等)に取り組んでほしい。また、マナー啓発も重要だ。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ とにかくたばこなんて大嫌い。迷惑なので、売のをやめてほしい。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 夫がヘビースモーカーで自宅で喫煙している。外に出て吸ってほしいのだが、いくら言っても聞き入れてもらえない。まずそれを解決できる法律を切望している。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ できれば原則禁煙にしてほしい。健康が一番だ。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 未成年者に対する健康への影響を考慮すれば、公共施設や飲食店など、人の集まる場所での喫煙は法で規制すべきだ。効果がなければ罰則を設けることも考える必要がある。(-, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ たばこを吸う人と吸わない人が一緒に安心して住める社会が理想だが、たばこ税を使い、喫煙所を公共の場に設置するよう工夫できないかと思う。(男性, 70 歳以上, 中部, 喫煙者)
 - ・ 妻がたばこアレルギーで咳込んでしまう。そういう人がいるということを理解してほしい。(男性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 複数人いるところは完全禁煙とすべきだ。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 以前よりは禁煙場所が増えているので良くなっているとは思う。家族の中で喫煙者がいて、気を遣いながら吸っているのも何とも言えないが、二次的被害が大きいと思う。吸ってから何時間くらいまで害があるのか喫煙者に知らせてほしい。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 歩道や交差点に喫煙禁止の路面シールを貼り付けて PR する。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 健康に気を付けている人達はたばこを吸わないのに、気にしていない人達による喫煙によって影響を受けるということは本当に迷惑でしかない。病気になるリスク、場所の整備、選択しなくてはいけない不便さ等、吸わない人にとってはどれも損であるということ考えた上で、喫煙している人達への対応策を考え実行して行ってほしい。こんなことに税金を掛けな

ければいけないのは本当にもったいない。本来ならその分を教育面や障がいを持った方達のために使って、皆が生活しやすい優しい環境を作ってほしい。そのためにも喫煙のために発生する費用を、喫煙者達が負担するような工夫ができないものかと思っている。個人店の場合、完全に分かれた部屋を作るにしてもオーナーが損をしないよう、公共施設でも駐輪場使用料が掛かるように部屋利用料を取ることを原則とする等、それが嫌ならやめる人も増えるのではないか。そして病気につながるものが減れば、医療費削減になるのではないか。(女性, 40歳代, 中部, 非喫煙者)

- ・ 子どもを産んでからのほうが気に掛けるようになった。子どもが出入りするようなところは禁煙としてほしい。(男性, 30歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 全てを禁止と訴えるだけでなく、禁煙へのサポート強化、たばこ商品の減少、たばこに代わる商品の開発、禁煙を促す方法の増加(商品への肺がん表示、受動喫煙による病気リスクの強調)を実行する。ストレス発散方法の促しと、そうした商品の価格をリーズナブルにする(健康者は入場無料、旅行やレジャー施設料金ダウンなど)。(男性, 30歳代, 中部, 喫煙者)
- ・ たばこを吸う人を悪者のように扱うのは良くないが、マナーのない人を見掛けると何らかの規制は必要だと考える。歩道で歩きたばこをする人を規制してほしい。(女性, 50歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 土木作業員の喫煙を特にやめてほしい。風に乗って煙が家の中に入ってきた経験がある。分煙しても風に流され煙を吸ってしまうので、この世からたばこをなくすべきだ。(女性, 20歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 子どもを連れて行くような場所では原則禁煙としてほしい。喫煙可能なエリアがあると必ず守らない人がいるので、すべて禁煙にすれば良いと思う。(男性, 30歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 自分はたばこが嫌いなので煙が来ないようにしてほしいが、たばこを吸いたい人にあまり規制ばかりしていても難しいと思う。たばこも迷惑だが、深酒や騒音など迷惑なことはたくさんある。うまく分煙が進み、本人だけでなく周囲の人も快適に過ごせるようになればと思う。分煙しているつもりでも実際には煙が漏れていたということがないよう、うまく住み分けができるようにしてほしい。(女性, 40歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ まず喫煙者本人が健康を考えて現状の半分に禁煙する。受動喫煙者の健康悪影響のポスターなどを製作する。(女性, 70歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 灰皿などが設置されていると、屋外の観光施設などでは平気でたばこを吸っている人が多い。他の客(特に家族連れや年配の人)が多い施設では、屋外でも灰皿などは撤去し、完全個室の喫煙所にした方が良いと思う。離れていてもたばこのにおいがすると少し嫌な感じがする。(男性, 20歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 分煙ができるように施設への指導があると良い。加熱式たばこの取り扱いに注意してください。(男性, 40歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこの煙は、しばらくは吸っている人の体にまとわりついていると思う。喫煙場所で吸っていたとしてもその人の体についているから、喫煙場に消臭・除菌の機械などを設置でもしないと意味がない気がする。(女性, 50歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 自分はたばこを吸わないのであまり考えたことがないが、突然タバコが吸えない環境にしす

- ぎるのもつらいと思う。マナーさえ守れば良いのではないかと思う。子どもが多く利用する場所は、気になるので禁煙にしてほしい。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこの税金を 500%にして、それを財源にして肺がんなどの研究費・医療費などに充てるという意見もあった。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 勤務中何度もたばこを吸いに行く人の、その時間分の給料を引いてほしい。喫煙場所を設置しても、吸いたての人の近くにいるだけで受動喫煙してしまうから、吐く息が通常に戻るまで別の場所にいてほしい。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ コンビニやスーパーの出入り口が特にひどく感じていて、通ることをためらうことがある。このようにアンケートなどを実施されていることに驚いた。ありがとうございます。ぜひ住み良い地域にしてほしい。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者のマナーが悪い。灰皿の設置場所を考えてほしい。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙自体は嗜好性もあり、現在の日本では禁止されている行為ではないので、たばこを無理にやめさせることは難しい。非喫煙者や 20 歳未満の者からすると、まったく煙のない世界が理想だが、コミュニケーションを取る必要がある場合どうしても喫煙者がいる場所に行かざるを得ない時もある。目の前でたばこを吸われても 100%煙や有害物質を除去できれば良いし、まったく無害でにおいもつかないたばこがあれば良いと考える。不可能とも思えるが、時代が進歩しこのような社会になることを願いたい。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙防止対策の中で例外的に喫煙できる場所はない方が良いと思う。また、街中を歩きながらの喫煙者もまだ多いが、これもやめてほしいと思う。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 私はたばこのにおいが大嫌いだ。昔に比べたら公共施設などは分煙がかなり進み、不快に思うことはほぼなくなっている。しかし、歩きたばこをする人や、夫が自分の部屋で吸って分煙するのは良いが、吸った後にすぐ部屋から出てきて階段や廊下に臭いにおいが漂うのがすごく嫌だ。この世からたばこが消えてほしいと思うくらいたばこが大嫌いだ。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 全面禁煙をお願いします(特に小さい子どもがいるところ)。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者だが、吸えない場所では吸わないので、どこもかしこも禁煙ではなく吸える場所も確保してほしい。(女性, 40 歳代, 中部, 喫煙者)
 - ・ 歩きたばこをしている人が増えた。車の外にポイ捨てする人がいる。それも火が点いたまま非常に危ない。百貨店などでも喫煙室があるにもかかわらず、平気で外で吸い、吸い殻を路上に捨てたまま帰ってしまう客がいた。路上に置いてあった灰皿もなくなり、このような人が今後も増える可能性が高い。良い対策を考えてほしい。(女性, 40 歳代, 東部, 喫煙者)
 - ・ たばこは体に良いことが何もないので、国で販売をやめていくべきだ。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙防止対策については現状で十分と考えている。気になった点としては、〈参考〉の「依然として約 2 割の人が喫煙しています」の記述に悪意を感じる。2 割もの人がまだ喫煙していると受け取れるが、国が販売を許可しているからたばこが存在するので、なくしたければ販売禁止にしたら良いのではないか。たばこより飲酒での事故や喧嘩などの方が多くないはずだ。なぜたばこばかりに厳しくするのか。健康増進課さん、飲酒運転での事故を少しでも

- 減らすために飲酒についても検討をお願いします。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 禁煙というなら、たばこを販売・購入禁止にすれば良い。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 小・中学校で入口に喫煙場所を設けているケースが非常に多い。受動喫煙防止措置もなく、必ず入口は通るため、学校・利用団体はよく考えて喫煙場所を設置してほしい。学校の敷地から 1 歩でれば喫煙しても良いというわけではない。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者のマナーを徹底してもらいたい。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 法律で禁煙にしたらどうか。(男性, 40 歳代, 中部, 喫煙者)
 - ・ 職場での喫煙専用室の定義があいまいな気がする。部屋が別なら良いという感じになっている。もう少し対策をしてほしい。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙がいかに良くないかは立証済みだ。ヘビースモーカーの夫を持つ女性が 50 代前半で亡くなるケースを多く見る。女性のがんとの関係性もあると思う。公共の場でたばこを禁止しても、家の中で吸うのであれば家族の健康も守れない。たばこを違法にするか販売禁止とするくらいしても良いのではないか。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 禁煙したい人はたくさんいると思うし、私もその内の 1 人だ。やめたくても喫煙依存もあり、多くのサポートが必要だと感じる。企業が禁煙サポートをするように指導をするなど、受動喫煙を防止したいのなら、あらゆる方面からたばこをやめたい人へのサポートを強化し、全体の喫煙数を減らしていけば、必然的にその割合は減少すると思う。皆が気持ちよく過ごせる社会になりますように、私も早く禁煙できるよう頑張りたい。(女性, 30 歳代, 西部, 喫煙者)
 - ・ 喫煙している本人は、それについての罪悪感はない。健康への悪影響についての啓発やさらなる増税及び罰金が効果があると思う。また有名タレントを起用したメディアでの啓発も効果大だと思う。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 自宅内に外からたばこの煙が入ってきてむせることもある。子育て世代も近所に多いので、もし可能であれば、禁煙区域があればありがたい。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 健康に対する悪害を周知徹底する。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 高い税金を取っているのだから、しっかり喫煙場所くらい作ってほしい。(男性, 60 歳代, 中部, 喫煙者)
 - ・ 喫煙への害をちらしなどもっと様々な場で啓発し、喫煙者を減らすことが第一と思う。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 規制強化をお願いしたい。病気になる人が多いという統計上の証明があるのに、廃止できないこと自体が問題だ。アレルギーの悪化や業務時間中のさぼりも含め、喫煙自体に問題が多いと思う。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 2 年くらい前にたばこはすっぱりやめたが、たばこを吸いたい人の気持ちはわかる。吸える場所を整備すれば良いと思う。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 害の怖さを具体的に拡散希望。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 小さな子ども達が多いところでは喫煙場所を決めるべきだ。目立つように目印をすることで、たばこを吸う人自身のモラルも上がってくると思う。吸う人のことも考えてあげたら (ボックスの設置など)、受動喫煙の被害も減ってくるのではないかと思う。個人の喫煙の自由を狭くしていくことでモラル違反・ルール違反の人が出てきて、受動喫煙の被害が増えてしまう

- のではないかと思う。分煙も大切ではないか考える。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙が害になるなら、規制ではなくたばこ 1 箱の価格を 1,000 円にするとか完全にドラッグのように違法扱いにするのが近道なのではないか。私自身喫煙者だが、税込欲しさに少しずつたばこの価格を上げたり、一方では受動喫煙を問題視してみたり、何をしたいのか？体に害を及ぼすのなら、国民のために国がたばこを禁止すれば良いのではないか。行政の取り組みも必要だが、税金の無駄遣いにしか取れない。私自身は、真剣に取り組むなら、たばこのない国になっても良いと思う。(女性, 50 歳代, 東部, 喫煙者)
 - ・ 分煙と表示してある店でも、場所が離してあるだけで、結局たばこの煙が流れてきてあまり意味がない店が多いと思う。しっかり壁などで分けてほしい。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)

【反対】

- ・ 喫煙者の場合、医者から薬をもらって薬を飲みながら、たばこを吸っているということを聞きました。そういう人達には、吸うことを法律で禁止してはどうか。ニコチンが入っていないたばこを製造し、吸いたい人だけに許可する。ニコチンが入ったたばこを日本では禁止という徹底した方法を考えなければ、健康維持は難しいと思う。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者にも快適な社会であるべきだ。譲り合いの精神を！(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者が 20%もいるが、喫煙者の意見をよく聞いて対応してほしい。私も毎日 20 本吸っている。(男性, 60 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ 本当は自由で良いのだが、日本のように国の事業として作って売ってというのはおかしい。古い時代から自由にやってきたことで、できれば自由が良い。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこを吸いたい人の気持ちもわかってほしい。(男性, 50 歳代, 東部, 喫煙者)
- ・ たばこを吸う人と一緒に食事をする際、楽しくお気に入りの店で食事をしたいので、受動喫煙防止対策を強化しないでほしい。入れる店が限られてしまう。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙が気になる人は喫煙可の施設に立ち入らない方が良いのではないか。また、非喫煙者が被害にあっているなどというのは、犯人のようで、他に言葉はないものか。(男性, 60 歳代, 東部, 喫煙者)
- ・ たばこを吸わない人の立場で考えすぎだ。吸う人のことも少しは考えてほしい。たばこを吸う人を悪者扱いするなら、たばこを売ることを禁止すれば良い。たばこ税を払って肩身の狭い思いをするのはおかしくないか。吸える場所がないからマナーも悪くなるのかもしれない。(女性, 40 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ あまり目くじらを立てる必要はないと思う。すべてにわたって規制・防止対策…。あげくは税金でアンケートを必要とする。住みにくい世の中だ。行政としての立場は十分にわかる。お疲れ様です。(男性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 私は行政が取り組むべきだとは思わない。受動喫煙を絶対したくない人はその選択ができるように、表示されていれば良いと思う。家族も吸わないが、喫煙者と出張する際は気を遣うこともある(吸うところがあまりになさすぎる)。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)

- ・ 個人の自由にしてほしい。昭和の時代は国が販売していたのではないか。消費税は8%にしてほしい。(男性, 70歳以上, 中部, 喫煙者)
- ・ 税金も納めているので自由だと思う。(男性, 40歳代, 中部, 喫煙者)
- ・ 喫煙防止対策はいらぬと思う。たばこを吸う人は吸わないとイライラしてくるからだ。主人もたばこを吸うが、その時は距離を置く。(女性, 70歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 服についたにおいも嫌なほどであるが、喫煙習慣のある人も否定はしたくない。年を重ねた人がちょっと一服したい時、遠くまで喫煙場所を探したり肩身の狭い思いをするのを見るのはつらい。少し一服してすっきりして仕事の効率が上がったり笑顔でいられるならとも思う。わかりやすい場所に一服できる喫煙所があれば、待つ側もストレスが少ない。路上に灰皿がある方が喫煙者の服の臭いも少ない気がした。設備が整えられない内からの規制は気の毒に思うし、その対策のために税金や価格上乗せになるのも良い気はしない。(女性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)

【その他】

- ・ 以前喫煙していたので、たばこを吸う人の気持ちもわかる。喫煙できる場所を確保していくことも大事だと思う。(女性, 40歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 今は煙の出ないたばこがあるようだが、それはいかなものだろうか。若い女性も平気で歩きながら吸っている。夜などは赤い火が遠くからわかるし、やはりやめられないのかと思う。自分にも害があるし、何年後かには心配だ。今が良ければ良いのだろうか。(男性, 70歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 吸う人にも権利があるのだから、互いに都合の良いようにしてほしい。(男性, 40歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 自民党の議員が国民の健康より自分の保身を最優先にしていることが見事に示されている。先進国として恥ずかしい限りだ。病人を増やして健康保険制度を圧迫する。安倍政権の無責任体質が最悪と思っていたが、参議院の議席増等、自民党議員の保身行動を見れば、持ちつ持たれつの関係がはっきりわかった。(男性, 60歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者のマナーと権利。(男性, 60歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 何度も禁煙にトライしたが失敗した。昨年8月心筋梗塞で完全にやめられた。現在は、隣で吸っている人がいてもまったく気にならない。自覚があればできる。(男性, 70歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ できればたばこのない世の中が理想だ。(男性, 20歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙になるような場所にはなるべく行かないようにする。(女性, 60歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 自分が利用する店は、喫煙と禁煙の場所がわかれているだけで、ガラス張りで隔離されていない(浜松の店はすべて場所がわかれているだけ)。煙は少しの隙間から入るので、なかなか難しいと思う。換気扇も役目を果たさないとテレビで言っていた。(女性, 60歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 30年くらい事務職で受動喫煙にさらされてきた。やめてほしいと言いつつ続けていたがだめだっ

- た。乳がんになり手術をした。親兄弟姉妹にがんの人はおらず、私だけだ。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者に他の人に迷惑だと思ふ意識が欠如していることが問題だ。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 子どものころ大人が皆吸っている中で過ごしたが、肺はきれいみたいだ。今は吸う人のいないところで過ごしているのでのんきである。番茶を飲むのが良いのかもしれない。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 百害あって一利なし。(男性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙の規制がされても、やはり喫煙者のマナーの問題になると思う。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙は大麻草より害があると記憶している。江戸時代よりもっと前にはたばこはなく、それでも十分高度な文化を築いていた。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙規則そのものより、喫煙者のマナー（周囲の人に気を配る）による受動喫煙防止がされる方が望ましいと思う。嫌煙者がどんな思いをしているのかを知ってもらうことで、マナーが良くなることにつながると思う。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 時々くわえたばこでポイ捨てが見受けられ、火災が心配になることがある。(-, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 今 1 番喫煙の悪い店はパチンコ店だ。帰る時、衣類や頭髮にはたばこのにおいが付いてしまい、喉が痛くなる。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 問 8 に記入をしていたら、「そういえば受動喫煙ってないな」と感じた。公共の場所ではほとんどたばこの害は感じない。自営業の立場として言うと、禁煙を自店でうたうのは「客が減るのではないか」「怒られるのではないか」などと考えて、喫煙を許容してしまうことがある。逆にお客様が、他の人がいる時は吸わないという面もある。消防団などの仲間の間では喫煙されることが多く、受動喫煙は仕方がないと思えるしかないと思っている。今は若い人や女性の方がたばこを吸う人が多いと思うがどうだろうか。たばこが税金回収の手段である以上、この問題はなくなるとは諦めている。(男性, 40 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ 家の中で親がたばこを吸っていれば子供は受動喫煙になる。特に車の中で吸われたら最悪だ。車内で平気で喫煙する親は子供のことなど考えていないだろう。いくら国が頑張ってもモラルのない人にはだめだろう。(男性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙は権利ではない。健康の維持に反するとの自覚がない。日本の現状は恥ずかしい。2 年後の東京オリンピック・パラリンピックへ向けての取り組みも進んでいない。特に熱海の現状はひどい、最低だ。駅前商店街（アーケード 2 通り）には灰皿が置かれているが、集客か？ 駅前の喫煙所では場所が狭いので、外へ出て堂々と吸っている人が多い。歩きたばこが多い。行政と店主の無知だ。(男性, 70 歳以上, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ ***の近所のコインランドリーを喫煙場所としている。公共の場所以外でと配慮しているつもりなのか。かえっておかしな状況ができあがっておりみっともない。***からコインランドリーへ行く際、すぐそこに横断歩道があるのに横断歩道を渡らない。1つの目的を果たすため、他のことが無視されている。***のくせに何をやっているのかという感じた。(女

- 性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 電子たばこはオクケーという風潮には触れられていない。健康が心配だから嫌だという心理的な嫌悪感、その人がまき散らすにおいが嫌だという身体的な嫌悪感の 2 通りがあるのではないか。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 会社への配達員がとてまたばこ臭くて、帰った後もずっと大変だ。特に隣の駐車場でたばこを吸ってから入ってくる人は困る。体に染みついたにおいは特に近くにいと困る。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 存在自体全然知らなかった。(女性, 20 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 子どもと公園に行くようになり、たばこの吸い殻がポイ捨てされていることがとても気になる。砂場の中にあつたりもする。子どもが拾って、「これ何?」とか「ごみが捨ててあつたよ」と言ってくる。吸殻も危険ではないのか。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ コンビニの外に喫煙場所があるが、風向きにより全部の煙を吸い込み咳込むことがある。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ ニュースを見ていると、喫煙による事故やトラブルよりも、飲酒による死亡事故・傷害・トラブルなどの方が格段に多いと思われる。受動喫煙より飲酒事故についてもっと考えた方が良いと思う。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ ファミリーレストランなどは禁煙・喫煙と部屋を分けてあるが、壁で仕切られているだけで扉もなく、強力な換気扇で排気しているのだろうが、なんの防止策にもなっていないと思う。コンビニなど店舗の外に喫煙コーナーがあるところが多く、駐車場に行くためにそこを通らざるを得ない。煙が風で流れてくる。健康を害すると承知で喫煙しているのなら、他人への健康被害への心配りもするべきだ。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 唯一認められているもので犯罪でもなく、なぜここまで厳しくなるのだろうか。税金は何に使われているのか。徴収された税金で、吸う人と吸わない人お互いがストレスにならない場所などを作れば問題ないのではないか。吸う人だけが厳しい目で見られるのは、社会にストレスを与えられている気がする。(女性, 40 歳代, 西部, 喫煙者)
 - ・ 道路などにたばこの吸い殻が落ちていたのをたまに見ると、いまだに歩きたばこをする人がいることにがっかりする。小さい子どもが副流煙の影響を受けていないか、また、火の点いたたばこが体に当たっていないか心配になる。喫煙者のマナーが向上することを切に願う。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 今思うと 20 数年前に就職した時は上司の机上の灰皿を片付けることから仕事が始まっていた。今の職場環境は当時から比べれば本当に良くなっている。若手職員の喫煙者も少なく、健康志向なのか経済的要因なのかわからないが、良い傾向だと思う。喫煙者はだんだん肩身の狭い思いをしていると思うが、マナーを守って吸っていただくことには、私は全然問題ない。(女性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 皆健康でいるのが幸せであるので、病気になる可能性のある喫煙はやはりやめた方が良い。(女性, 60 歳代, 伊豆, 非喫煙者)
 - ・ 歩きたばこの後ろを歩いていると、煙で苦しい時がある。マナーの悪い人、特に年配の人はまだまだ駐輪場などで吸っている。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)

- ・ たばこのにおいのする場所からは自然と足が遠のく。(男性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ がんの罹患率について、〇倍と表記する媒体が多く、〇%→〇%という表記することが少ないのは、プラスされる確率が1%にも満たないからではないかと思う。そこまで興味がないため調べて具体的な数字を知ることはしないが、客観的に判断できる数字データの表記をすべきだ。(男性, 30 歳代, 東部, 喫煙者)
- ・ 分煙できていれば良い。その辺のおじさんの吐いた煙は吸いたくない。しかし、喫煙者いじめとも言えるような極端な禁止というか喫煙者ヘイトは見ていて気の毒になる。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 受動喫煙で健康に害が本当にあるのだろうか。その人の持っている体質ではないか。理由は、養父がヘビースモーカーだったが、いつも一緒にの部屋で仕事をしていた養母が、今現在 92 歳で健康であるから。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者を優先してそれ以外の人に不利益を及ぼすことはあってはならない。喫煙の権利はあるが、受動喫煙を起こさない場所でのみとすべきだ。公共の場でなくても、自宅やベランダなども控えるべきだ。家族や近隣のことを考えれば、人間として当たり前のことだと思う。未成年者(特に小さな子ども)や妊婦などがいる環境で吸うのは完全にアウト、罰則ものだ。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 他県から御殿場市に引っ越してきたが、女性の喫煙者の多さにびっくりした。車を運転中、子どもを乗せて車内での喫煙なんてしょっちゅう見る。主人(御殿場の人)の家族は全員たばこを吸う。子どもの前でもだ。受動喫煙の話を何度しても「甥っ子は大丈夫なのに、なぜあなたの子だけに配慮しなくてはいけないの」と言われるのが現実だ。友人は妊娠中たばこをやめられず、早産で順天堂に数カ月入院した。それでもやめられず、今も子どもの前でも吸っている。防止対策なんて口だけで特に効果は感じない。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ たばこの煙が嫌いな人にとって、受動喫煙は絶対に許せない。無防備に歩いていてまともに煙を吸い込み咳込むこともある。喫煙可の店に入ってしまう、夜中に咳込むこともあり、本当に嫌だ。なぜ見知らぬ人のたばこの煙を私が体の中に入れなければならないのかと、非常に腹が立つ。前を走る車の運転手が窓の外に出した手に持ったたばこの煙が後続車の車内にまともに入っていることに気付いてほしい。逃げられない。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 健康被害にそこまで関心はないが、たばこのにおいが嫌いだ。そういう人の割合が多いと思う。(男性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこは百害あって一利なし。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者のみ悪者にする風潮をなくすようにしてほしい。(男性, 40 歳代, 西部, 喫煙者)
- ・ 家庭でたばこ関係なしの生活をしていると、道路でその場面になると息を止めてしまう。禁煙をする努力をしてもなかなかやめられないようだ。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 自分で場所などを判断するべきだ。それをできなければ喫煙しない。知識を持って害があることを認識すべきだ。(男性, 40 歳代, 東部, 喫煙者)
- ・ 私の友人の市議会議員は、自分はたばこを吸わないのに肺がんで亡くなった。随分昔のことだ。その点を考えても、私も子どもにはだめだととめるように話しているが、なかなか思うようにいかない。もう少し世界中でたばこに対する危険を知る必要があると思う。姉と妹も

- たばこを吸ったために肺を悪くした。(-, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ これだけ健康被害が問題になっている中で、防止策をあれこれ考え…そんな中でどうして製造販売が国営なのか。国家収入のためとはいえ、その裏で医療費問題やいろいろ言われているが、いっそたばこを中止にってしまったらどうなるのだろうか。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙所が外にあるところは、だいたい入り口横に灰皿があるため、大人だけでなく子どももすごい煙と臭いの前を通らなくてはならないのが困る。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 過去に家の周りに平気でゴミを燃やしていた人がいて、においもきついので非常に困った。(女性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ におい対策されていれば、別に禁煙とまでは言わなくて良いと思う。(男性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 駅やデパートによく行くが、受動喫煙防止に関する広告や情報を見掛けたことがない。あまり認知されにくい場所にあるのではないか。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ たばこにおいも嫌だ。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者のマナーが悪いのが目に付く。車の窓からたばこや灰を捨てている人をよく見る。たばこをやめさせるのではなく、せめてマナーを守ってほしい。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 私も 17 歳くらいからたばこを吸っていたが、41 歳頃たばこをやめる決心がついた。2 週間ほど苦しんだ。特に飲酒時やパチンコをしている時が一番つらかった。たばこは一種の覚醒剤のようなもので、喫煙防止をいくら言っても、たばこを生産している以上なくなることはないと思う。病気になって医者に言われれば少しはやめると思うが、たばこの箱に書いてあっても吸う人が多いように、害についての認識は甘い。外国では 1 箱 1,000 円くらいする国もあると聞くと、日本も高くしてはどうか。たばこ税をとっている以上無理だと思う。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 分煙となっている飲食店でも、結局はたばこ臭いと感じる店が多い。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ プライベートスペースに自家用車を入れないでほしい。乗り物は原則禁煙とするべきだ。(男性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 病院に受診する際、もう少し負担が減ればと思う。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 娘や孫にまで影響を与え、自分も病気になってもやめられない人達がいるが、よほど意志が強くないとだめなんだとつくづく思う。何も知らない孫がかわいそうだ。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙よりも、ポイ捨てなど喫煙者のマナーの悪さが嫌だ。そのような人達がきちんと喫煙場所で吸ってくれるようになればと思う。(女性, 20 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 車の運転中、窓を開けて煙草の灰を道路に落としたり煙を外に吐いたりすることで受動喫煙につながっていると感じる。もっと車の中でもマナーを意識するようになってほしい。(男性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ お酒を飲むところやパチンコ・ゲームセンターなどの娯楽施設は当たり前のように喫煙者がいて、歩きたばこは当たり前、煙が人の顔にかかろうとお構いなしだ。自分だけにすべて煙

や副流煙がかかるようにしてほしい。たばこのにおいが大嫌いだ。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)

- ・ 喫煙は体に良くないのでやめてほしい。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 家族の中でなかなかやめられない人がいるので困っている。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこの害については諸説ある。行政は風評に流されずに客観的に科学のデータを分析してほしい。私は肺がんとたばこの関係を示すデータには疑問がある。それでもなおたばこが悪であるなら、条例で所持を禁止すべきだと考える。(男性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこの害を言うのであれば、たばこに含まれる有害物質を除去する方法を研究するとか(すでに行っているのかもしれないが)、たばこでストレスを解消しない方法を考え出すとか、様々な取り組みが必要ではないか。現在の社会はあまりにストレスが多いと思う。たばこに依存しなくても良い社会になればと思う。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ 80 代だが、脳梗塞になり突然たばこをやめられた。病気にならないとだめなことなんだと思った。もう少しこの世でお世話になりたい。(男性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
- ・ 条件付きや例外があるため、喫煙者に都合良く解釈されてしまうように感じる。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 今は特に気にしていないが、妊婦になった時や子どもを連れている場合は、煙に対して過敏になるのではないかと感じる。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 自分は元喫煙者なので、無理に規制というのにはあまり気にしていない。(男性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者なんて死ねばいい。社会のごみくずだ。(男性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 副流煙はとても体に害を及ぼすとあるので、非常に怖い。病気にならないよう健康に気を付けて過ごしたい。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこは吸わないため、特になし。(男性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
- ・ たばこのことをああだこうだと言うなら、たばこを売のをやめませんか。(男性, 60 歳代, 中部, 喫煙者)
- ・ 喫煙の自由というのもわからないではないので、自分が受動喫煙しないように選択できるなら全部禁煙にしなくても良いとは思いますが、実際は難しいと思う。マンションのベランダで吸う等は規制できないだろうと思うが、生活に密着しているだけに、そちらの方が問題だと感じる。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 弁当をいつも頼んでいるところの人がとてもたばこ臭くて、持ってきた弁当にもかかっていると感じて嫌だった。車の中で吸い続けているのだろう。食べ物を扱う人達は絶対にたばこをやめてもらいたい。どこへ言えば良いのかと考えている。(女性, 60 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 病院勤務なので、いかにたばこが人体に害が多いかを思い知らされている。私は吸わないのにおいだけでも不快になるが、喫煙者にも自己責任という上で吸う権利があるので、たばこの成分を見直すなどは不可能だろうか。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ あそこはだめ、あそこは良いとか、言っていることが日本だけだと思う。海外ではこんな対応はしないと思う。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 父は 80 本/日の喫煙者で、60 歳で喉頭がんで亡くなった。母はそれを嫌ったので、5 人の子

どもは1人も喫煙習慣をつけることはなかった。家の中が煙でもうもうとしていたが、母は96歳まで生き、私達子どももそのことで健康を害したのではという明確な因果関係も見られないように思う。喫煙が害があることは言うまでもないが、受動喫煙と健康被害の因果関係にははっきりとした科学的データが示されていないようで、むしろ感覚的・情緒的な嫌悪感が先行しているようにも思える。喫煙は嗜好であり、厳格に区別することは、喫煙者に対する偏見を生むことにつながりかねず、分煙で良いのではと考える。(男性, 70歳以上, 中部, 非喫煙者)

- ・ 喫煙者自身が考えてほしい。(男性, 70歳以上, 東部, 非喫煙者)
- ・ 子どもが生まれてから今まで以上に気になるようになった。加熱式たばこも増えているが、本当に害はないのか気になる。(女性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ ファミリーレストランなどは、分煙しているがにおいては十分残っていて、子ども連れや妊婦は利用しにくい。ホテル予約時は禁煙ルームを選ばないと、において楽しめない。(女性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙者のマナー向上。歩きながらのたばこはどうかと思う。決められた場所や吸い殻の処理など、マナーを守ることが大切だと思う。(女性, 40歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 小さい子どもや喫煙のにおいが気になる人(妊婦さんなど)の前で吸わなければ、人としてマナーを守ってくれるならそれで良いのではないか。各自が喫煙者の前に行かなければ、そもそもその空気に触れないで済むのだから。逆に吸いたい人も場所をなくしていくから外で肩身の狭い思いをしているのだから、喫煙場所を増やしてあげてはどうか。受動喫煙を防止したいのなら、この世界から加熱式たばこも紙たばこもすべて廃止すべきだ。(女性, 30歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ トイレの中は密閉された空間なので煙が充満する。鍵をかけて中で吸っていたと思う。過去にイベントの仮設トイレの中でもたばこのにおいが充満していた。結局、人は見ていないところで吸う。理髪店は、待っている時に吸う人がいたので後日出直した。行政が受動喫煙防止に取り組んでもさほど効果はないと思う。非喫煙者がたばこを吸っている人や場所に極力近付かないことが一番の対策になる。(男性, 30歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 私はたまにパチンコへ行くが、たばこを吸う人が周りにいると打つ気にならない。(女性, 60歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ たばこを吸うことも現状日本の法律では権利の一つだが、煙に有害物質が含まれていると行政が禁煙に取り組むのなら、法律を変えたらいかがだろうか。たばこ税のかわり、その補てんは所得税?消費税?市民税?(男性, 60歳代, 中部, 喫煙者)
- ・ 子どもと主人はやめられないようだ。私は嫌いなので、外で吸ってもらう。家の中は換気扇のところで吸っている。(女性, 60歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 吸わない人の言い分としては、煙がすごく嫌なにおいがして気持ちが悪くなるから吸ってほしくない。その反面吸う人の立場からすると、吸う自由もあるから、すべてを禁煙にするというのは難しいと思う。ただ吸う人のマナーだけの問題であって、吸わない人の気持ちを理解できるかどうかのことだと思う。(女性, 60歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 煙だけでなく吸った後のにおいでも鼻がむずむず喉がイガイガするので不快だ。(女性, 40歳

- 代, 東部, 非喫煙者)
- ・ ***の特殊会社がたばこを生産していることに矛盾を感じる。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 電子たばこに切り替え等 (煙は吸わない人の体内に多量に入る)。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 大人は自分の意思 (病気も承知で) だが、子どもは被るだけだから、親はやめてほしい。歩きたばこは火傷などの危険もある。道路の吸い殻はペットの誤飲の原因ともなる。とにかく害はあっても利はない。(女性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙者は非喫煙者の気持ちを理解できないらしく、自分の吸ったたばこの煙は魚を焼いた時に出る煙と同じだと感じており、お互い様だと思えと言う。自分の家でたばこを吸った時も、換気扇で煙を外へ出すのに、その煙が他人の家に入ってきているのは気にならないのが不思議だ。調理をする人が休憩時間に喫煙するのともうかと思う (味がわかるか、においが付かないか)。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ たばこは人類の敵だ。すべての人がやめるべきだ。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ パチンコ店などは統計にも出てこないが、おかしくないか。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙のない暮らしを望んでいる。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ たばこを吸う女性が増えているので、なるべくやめた方が良くと思う。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ たばこは吸わない方が良い。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 喫煙するしないは個人の好みの問題であろうが、自分自身の健康に多少なりとも悪影響が及ぶようであれば、許されることではないと思う。喫煙のデメリットは自己責任の範囲でやってほしいと思う。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 何年前にテレビ番組「本当はこわい家庭の医学」で、中年女性で食事も健康的なものを食べ、運動もし、仕事をし、普通に睡眠をとっていても問題なかったのに、約 20 年間も喫煙者の家族がいることが原因で肺がんで亡くなってしまったという話を観た。たぶん夫がすぐそばで喫煙していたんだと思った。別の部屋に行くとか注意するとか、何とか解決できるよう話し合うとか、場合によっては離婚も…。禁煙させる専門のスクールへ入れるか通わせるという方法もある。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 経済的支援をするなら、たばこ税から出してほしいと思う (勝手な意見ですみません)。(女性, 20 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ できればたばこがなくなれば良いと思う。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 私は 60 歳でたばこをやめた。火の点いたたばこのポイ捨ては、子どものために良くない。本人の体に良くない。人に迷惑を掛けるたばこはない方が良い。(男性, 70 歳以上, 中部, -)
 - ・ 税収源にもなっている。まるで喫煙者を悪者扱いするのは良くない。例えば、パッケージに大きく「喫煙ありがとうございます。売り上げの一部を防止対策に役立てます。(ご協力ありがとうございます) 重ねて御礼申し上げます」とか書いたらどうか。(女性, 70 歳以上, 東部, 喫煙者)
 - ・ 目の前で吸っている人はもとより、吸って 15 分間はその人の口から有害なものが出ていていると聞いたことがある。確かにすれ違った人からたばこを感じると、息が苦しくなり気持ち悪く

- なる。(女性, 50 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 国・JT が売っているものを一方で規制するというのは矛盾を感じる。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 私の知る限りだが、若い時に気にならなくても年を重ねた後のしわの多さは、喫煙者が女性の場合特に多いように感じる。(女性, 70 歳以上, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 「百害あって一利なし」と言えども生産する側が存在し、それも当然喫煙者がいる限り地球上からなくなることはない気がする。何か代替品はないものか。自慢げにたばこを吸っていた大人の男性がいても、「窓の外で吸って」とか「新築の家の中ではやめて」と言えない時代を過ごしてきたので、今は分煙等と言えただけ良いのかなと思ったりもする。(女性, 70 歳以上, 西部, 非喫煙者)
 - ・ たばこを販売している以上は喫煙できる場所を確保することは当然であり、大人として節度を持って喫煙することが大切であり、個々の意識の問題ではないだろうか。本当に発病の原因になるのなら、販売そのものを禁止することが必要なのではないか。(女性, 50 歳代, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 歩きたばこなどで家の前の道に吸殻が落ちているとイラッとする。歩きたばこは本当にやめてほしい。(女性, 50 歳代, 西部, 喫煙者)
 - ・ 主人も医者に通院して、たばこをやめることができた。(女性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ 受動喫煙防止対策について知識が深くないが、これは官の活動不足と考える。改正法があるなら周知徹底が当然だ。また近年の喫煙＝悪とする雰囲気には違和感を感じる。喫煙者への配慮がない。(男性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 規制強化よりも、そもそも始めからたばこを吸わないで済む、吸うことを選択しない社会の実現を望む。(女性, 30 歳代, 西部, 非喫煙者)
 - ・ まだ時々路上で吸っている人や歩きたばこ（電子たばこは除く）をしている人がいるのは、同じ喫煙者としてマナーがなっていないと思う。ちょうど子供の目線にたばこが当たりそうでひやひやすることがある。(女性, 20 歳代, 中部, 喫煙者)
 - ・ 自分が喫煙しているので、特になし。(男性, 60 歳代, 東部, 喫煙者)
 - ・ 分煙と表示されていても、エリアが分かれているだけの店舗では意味がないと思う。同じ室内でつながっているのは、子ども連れなのでとても気になる。隣家がわざわざ窓を開けて喫煙するので、受動喫煙が避けられない。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ 20 数年前までは自分も吸っていた。喫煙者には強く言えない。(男性, 70 歳以上, 東部, 非喫煙者)
 - ・ 飲食店でも分煙されているところが増えてきたが、禁煙スペースと喫煙スペースとの境がはっきりしないところが多い。禁煙席でも喫煙席に近いと意味がないくらいでは効果があるのか疑問だ。(女性, 40 歳代, 中部, 非喫煙者)
 - ・ たばこを法律で禁止するわけでないなら、受動喫煙は多少は仕方ないと思う。今まで当たり前で OK だったことを喫煙者に様々な規制を掛けたり、たばこの値段を高くしたりすることで厳しくしているので、吸わない自分からしても気の毒に思うところもある。禁煙場所が増えることはうれしいが、今のように禁煙・喫煙で分別してくれれば良いと思う。ただ、ファミ

レスなどで平日は喫煙スペースを土日だけ禁煙にするのは反対だ。においが残っていてとても不快だ。(男性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)

- ・ 過去に自分が喫煙者だったので、今になって他人への影響を考えさせられる。(男性, 50 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙する側の立場を尊重しながら暮らせる社会であれば良いと思う。(女性, 40 歳代, 西部, 非喫煙者)
- ・ 行政では限界がある。たばこは悪であることを押し増税する。たばこは時代遅れで衰退する文化である。(男性, 40 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙側の意見も平等に聞くべきだと思う。(男性, 50 歳代, 東部, 喫煙者)
- ・ 共同住宅の隣人が部屋で吸えないのでベランダで吸うと、風の流れて煙が我が家の中にまで流れてきてにおうので困っている。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 喫煙が良くないことがわかっているけどどうしても…という人もいるだろう。その方がその体でリラックスできるならと思うと難しい。(女性, 60 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ ここ数年、電子たばこの普及によって加熱式たばこへ移行する人が増えた。確かに通常のたばこより煙が出ないため、周囲への影響は少ないように思えるが、電子たばこ特有の焼け焦げたような何とも鼻につくにおいが耐えられない。また、電子たばこにして本数が減った人もいるだろうが、中には予備を持ち歩いている人もいる。結局たばこはたばこだ。髪や服においがついて不快だし、食事中に吸われるとまずく感じる。手早くできる対策としてはたばこの値上げかもしれないが、値段が上がろうと吸う人は吸う。正直たばこを避けては生きられないのだと諦めている。(女性, 20 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 一番問題だと思うのは、マナーを守らない人が多い点だ。歩きたばこ、バイクで走りながら、お祭り会場など子どもが多くいる場所でなど…。喫煙する場所が少なくなることで、逆に路上で吸う人が増えるのではとも思う。(女性, 30 歳代, 中部, 非喫煙者)
- ・ 対策を立てないとならないマナーの悪さや考えのなさに腹が立つ。(女性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ たばこの販売に疑問を感じる。(男性, 30 歳代, 東部, 非喫煙者)
- ・ 今までの回答をしっかりと読んでいただけたら十分だ。(男性, 60 歳代, 西部, 非喫煙者)

受動喫煙に関する飲食店実態調査

受動喫煙防止対策についての自由意見

【賛成】

- ・ 喫煙者のマナーとして他の人への思いやりを養う力を強めたい。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙を防止するためにも、喫煙ができる場所を整備する必要があると思う。どこもかしこも禁煙にした場合、禁煙区域で喫煙する人が絶対に現れる。禁煙をうたう一方で喫煙者に対する配慮も必要かと感じる。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 健康増進法を皆に知ってもらえるように努力をした方が良い。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 飲食店はすべて禁煙にした方が良くと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ たばこは百害あって一利なし。製造・販売をやめるべきだ。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 小学校では子どもに教えているのだろうか。子どもが座っている車内で親が喫煙している場合、子どもに「パパやめて」と言われれば、吸えなくなるのではと思うが。煙を吸い続けるとこんな怖い病気があると小さい時から教えたら、大人になってから吸う人が減るのではないか。(中華料理店(ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ たばこを売らないでほしい。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店なし)
- ・ 店舗の大小に関係なく、すべて禁煙にしてほしい。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 駅前など公共の場所での喫煙所の整備のように、規制に対する整備が必要だ。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 2020年オリンピック(外国人)のために都内だけにして、たばこは禁止薬物にしてはどうか。(寿司店, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 喫煙者に対して規制強化だけではなく、喫煙所の整備をもっと行っていく。(一般食堂(定食屋など), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 浜松駅前に以前設置があったが今はない。せめて一カ所くらいは整備してほしい。法が20年4月より行った後、どのように変化するか、その様子で店内禁煙も考えるつもりだ。(小料理店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙防止対策店に行政からのステッカー等を配布し、表示店舗の一覧表等を作成する。本店は9月から1ヵ月間の告知後、10月より完全喫煙予定だ。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 空気清浄機設置の個室(喫煙室)以外は自宅であっても禁止。将来的にはたばこを廃止する。たばこが合法である限り受動喫煙は免れないと思う。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)

- ・ 店の判断でなく、法令で定めることを望む。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 完全実施(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), その他・無回答, 20歳未満の来店なし)
- ・ 子どもがいる場所はどこであろうと、子どもから半径5m以内を禁煙にしてほしい。先日海水浴場で隣に陣取った人達がすごくたばこを吸うので、子どもがいるから少し控えてほしいと言ったところ、もめてトラブルになりかけた。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙の影響がだいぶ少なくなった加熱式たばこの普及率が上がれば、喫煙者にとっても急な禁煙という無理をせず参加しやすくなる。現在どんどん値上げされているたばこの中でも別枠を設けて、できれば紙巻と比べてわかりやすい安値で販売されれば、一気に移行が進むのではないだろうか。(中華料理店(ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 健康促進のために、もっと普及啓発を各店舗が意識する必要があるのではないか。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 店を営む者にとって、すぐ使える実用的な情報が不足しているように感じている。法に基づいて取り組みたくても、どうして良いのかどう対応したらお客様に上手に理解していただけるのか手探りのようだ。まだ始まったばかりで行政の皆さんにとっても初めてかもしれないが、小さな店にとっても大きな課題なので、我々がわかりやすい情報をいただけるとありがたいし、取り組みやすくなると思う。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 原則子どもの出入りできる場所は全面禁煙が良いと思う。例外は認めない。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙防止という観点で禁煙スペースを増やしていくのも良いが、喫煙者のための喫煙所の整備も徹底してもらいたい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ たばこの値上げ。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ とても良い方法だと思う。反対の声もあるとは思いますが、頑張ってもらいたい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 中高年の男性に多いのだが、歩きたばこの禁止を徹底してほしい。吸い殻のポイ捨て・歩きたばこに対する罰則を強化し、迷惑行為としてではなく、犯罪行為であるという法整備をしてほしい。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 問11-2で回答したように、店の広さに関係なく、食事も酒も提供する店か酒とつまみのみ提供する店か、店の用途に応じて対応してほしい。食事を目的とする店を禁煙とする法律が是非ともほしい。喫煙されるお客様も、協力しやすくなると思う。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)

- ・ 喫煙場所があっても、現在は喫煙場所付近でたばこを吸う人を見かけることがある（高速道路のサービスエリアなど）。喫煙所が狭いからではないだろうか？喫煙者の目線で喫煙場所を考え、設置してほしい。（喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 煙の出るたばこは販売中止にする。（上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 電子たばこなら良いかと聞かれることもあるが、たばこ形式のものは全て禁止としている。（酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）, 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 小規模店が受動喫煙防止対策に取り組めるような経済支援なくしての法律施行は、絶対にやめるべきだ。だいたいの経済支援は上で止まってしまい、下まで届かないという現状を理解した上で、対策をとってほしい。（お好み焼き店、もんじゃ店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 三次喫煙についても広く知らせる活動をしたい。国は率先して周知させる義務があると思う。（喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ たばこの喫煙・販売を禁止すること。車のシートベルトやバイクのヘルメット着用を、本人の安全のために義務化しているのなら、百害あって一利なしの喫煙は、他人にも迷惑をかけるのだから、さらに強く禁止するべきだ。（そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 多くは一部のバカのせいなのだから、たばこを吸える人を免許制にして、マナーを守れる人以外は吸えなくすれば良い。（西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 健康増進のため喫煙者をなくすこと。たばこそのものの販売を禁止すること。害のあるたばこの流通許可はそのまま、受動喫煙防止対策を調査すること自体が、無意味ではないかと思う。（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ たばこを販売する側は、必ず喫煙所の設置をするべきだ。それは行政だけでなく、民間も同じだと思う。販売することで利益が出るのなら、必要なことだ。（寿司店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ お客様の理解がないと、結果として店側が譲歩することになる。お客様を怒らせては元も子もなくなる。法令の周知徹底をしてほしい。（料亭, 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 喫煙者のために税金を使うのはもったいない。たばこの製造販売を禁止すれば良い。（一般食堂（定食屋など）, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり）
- ・ 店側がどんなに禁煙にしても、トイレで隠れて吸うなどの行為があるので、マナーやモラルを徹底してほしい。加熱式たばこもたばこなので、たばこと同じルールにしてほしい。（寿司店, その他・無回答, 20 歳未満の来店あり）
- ・ たばこの値上げを求める。（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし）

- ・ 喫煙は本人にも周囲の人にも悪いこと、受動喫煙が特に悪いことはわかるので、少しずつ店の経営にも反映していきたい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 私自身はたばこは嫌いで煙も吸いたくないが、店内でくつろぎ、一服されているお客様に、「禁煙です」とはっきり言いにくい。小規模店舗は判断を店主に丸投げされても、お客様にはっきり言えないし、分煙も喫煙ルームも作れない。店内禁煙を、条例や法律に明記してほしい。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 地域格差や店舗の大小にかかわらず、法制化して、全て禁煙とすべきだ。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店なし)
- ・ 個人の店では難しい問題があるが、健康のためには良いと思う。(寿司店, その他・無回答, 20歳未満の来店あり)
- ・ 静岡県の条例で、店内はもちろん、敷地内での喫煙禁止を定めてほしい。(中華料理店(ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 店側からは言いにくく、また言えないため、法律でも条例でも、飲食店は禁煙と定めてほしい。行政が口出しをしなければ、何の進歩もないと思う。世の中からたばこがなくなれば良いと思うほど、禁煙を切望している。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 庭などでの喫煙により、隣家へたばこの煙が流入する。一般家庭や商業地区での禁止や規制は大事だと思う。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ たばこの生産を止める。販売しないようにする。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 飲食店は100%禁煙にした方が良い。ただ、喫煙者もいらっしゃるので、スペースがある場所・店は分煙し、両者とも気持ちよく過ごすことができれば良いと思う。たばこのトラブルは年に何件かあるので、お互いの気持ちが満たされれば一番良いと思う。(寿司店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 国が、これだけたばこは有害だと言っているのであれば、1箱2000円位にするか、販売をやめるべきだと思う。(寿司店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 飲食店(特に酒を提供する店)で喫煙できないことが「当たり前」になるような意識改革を、もっと行ってほしい。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 法整備を徹底し、罰則・罰金刑を強化すべきだ。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ たばこがそれほど悪いものなら、国でたばこを売らなければ良い。そのかわり、地方などはたばこ税が入らなくなり、税金対策がたいへんだと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), その他・無回答, 20歳未満の来店あり)
- ・ 命にかかわることなので、特に若い男女に理解してもらう方法を考えてほしい。私も転移していて、入院生活はたいへんだったが、命拾いした。病院での検査も必要だと思う。お客様

には理解してもらっている。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),その他・無回答,20歳未満の来店なし)

- ・ 最終的にたばこの販売停止を求める。(上記以外の日本料理店,既存特定飲食提供施設,-)
- ・ 店の大小にかかわらず、全ての店で「禁煙」運動を実施することが望ましいと思う。(一般食堂(定食屋など),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 全世界でたばこの禁止。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理),既存特定飲食提供施設,-)
- ・ 法で規制強化を図ってほしい。たばこ自体をなくしてほしい。(上記以外の日本料理店,既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ 喫煙者を減らすことが大切だと思う。まずたばこの値段を1箱2,000円くらいとし、簡単に買えないようにするのが一番だと思う。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理),既存特定飲食提供施設,-)
- ・ 全店舗禁煙にした方が良くと思う。県条例で決めてほしい。(焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ マナーの悪い人はどんなことをしても悪く、徹底は難しい。また、規制とか強化するのも反対にうるさく思う。行政では公共の場所のみの整備に徹したら良いと思う。私は山奥にいたので、規制と言ってもゆるいと思うので、せめて公共の場は整備を徹底的に取り組んでください。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 大いにやるべきだ。(寿司店,既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ たばこを売るな。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 本当に害になることであれば販売元を閉じたら良いと思う。一種の麻薬であるなら、世界中禁止にすべきだと思う。(喫茶店,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 灰皿を店の外やいろいろな場所に置くべきだと思う。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店なし)
- ・ 全国統一した禁煙ステッカーや表示物の作成を希望する。(その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など),既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ どうしても吸いたい客がいるのも事実で、灰皿をお貸しして外で吸ってもらうようにしている。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 路上喫煙禁止地区の指定はおかしい。するなら全地区にすべきだ。しかもすべての人に知られていない。まずそこからやるべきだ。その後、店などの対応にしないと不公平だ。私は非喫煙者だが、国内全地域禁煙地区にした上で、店内など禁煙に取り組めば、喫煙者も納得するのではないだろうか。もっと視点を変えないと、見えていないことがたくさんあるのではないか。(焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 禁煙場所や禁煙のアピールは大切だが、強める分、喫煙者はマナーを守りにくくなると思う

- (締め付けすぎると反発する)。喫煙所やはっきりとした分煙を進めると良いと思う(トイレが近くにないからと言って、路上でする人は多いから)。(その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など),既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ 原則とか条件付き喫煙可とかではなく、規模に関係なく屋内禁煙にすべきであり、1日も早く法案にすべきだ。世界のルールから遅れている。(その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など),既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
 - ・ すべての店で禁煙にすること、それによって禁煙が当たり前になる。車のシートベルトの時も初めは皆大変だったが、今は当たり前になっている。誰の体にも良いことだ。(中華料理店(ラーメン店を含む),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ この法案に賛成した人達でお金を出しあって、すべての店に喫煙ルームを設置し、この法案によって下がった利益の補てんをお願いしたい。(一般食堂(定食屋など),既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
 - ・ 加熱式たばこをどう位置付けるのかを、しっかりとしたデータを公表して決めてほしい。(そば・うどん店,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ 受動喫煙防止対策の経済的支援は必要不可欠と考える。中小企業では特に費用的な面での負担が大きな壁と感じるからだ。(喫茶店,既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
 - ・ 禁煙を理解してもらうため、店内に禁煙ポスターを貼る。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ 官公庁の敷地内は例外なく全面禁煙とする。飲食する場所は例外なく全面禁煙とする。県職員は職務時間は全面禁煙、職務時間以外は禁煙するよう努力する。(中華料理店(ラーメン店を含む),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ 受動喫煙防止対策を強化している中、私共の店の近くにあるパーキングで、仕事の休憩時だと思うが、何人かの人が交代で喫煙している(職場から吸いに来る)。たばこの吸い殻はあちらこちらに固まって落ちている。そこを通る利用者は必ずたばこの煙を吸っている。屋根もある建物なので、室内と一緒にではないか。パーキング管理者がステッカーを貼るとか注意書きを貼ってほしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ 学校の校門の脇に隠れて煙草を吸っている先生をよく見かける。店の前が学校だ。あまりにも見た目が悪いので、校内に特別室的な場所を作るべきだと思う。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ 私自身たばこをやめて4年になるが、なかなかお客様に対して「やめてくれ」とは言いにくく、ただ飲食店としては禁煙の方が良いと思う。(寿司店,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
 - ・ お客様には説明するがなかなか難しい。お客様のトラブルも避けたいので、禁煙のステッカーがあるなら購入したい。(小料理店,その他・無回答,20歳未満の来店なし)
 - ・ 愛煙家のためにも、技術的・経済的に国や行政が支援してほしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),その他・無回答,20歳未満の来店あり)
 - ・ 健康増進のために喫煙禁止を強めてほしい。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,

既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)

- ・ 長年受動喫煙していることになるが、店側だけではなくたばこを吸わないお客様にも迷惑を掛けてしまうことになるので、考えていきたい。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙について世の中に知れ渡ってきているので、店舗の禁煙化に踏み切ることがやっとなできるようになった。だから、もっとキャンペーンなどをして、そのような流れを作ってほしい。(喫茶店, その他・無回答, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 歩きたばこやどこでも構わず吸っている人がまだ多い。男女を問わずたばこのマナーが最低の国だ。もっともっと禁煙運動を起こしてほしい。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 静岡県も東京都と同じく規制すべきだ。(お好み焼き店、もんじゃ店, 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ たばこの製造・販売、加熱式たばこも法律で禁止する。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 店舗の規模にかかわらず全面禁止にしてほしい。一番はたばこの販売を全面禁止にしてほしい。そうすれば、喫煙者の年間 10 万円の支出(家計)が消費に回る。このままでは我々のような居酒屋は、禁煙者からは「なぜ禁煙にしないのか」と言われ、喫煙者からは「まさか禁煙になどしないだろうな」と言われる。法律で決めてくれれば大半の喫煙者も納得してくれる。吸えるところと吸えないところがあると、店側はお客様が吸える方へ流れることが心配だ。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ たばこの販売を禁止してほしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), その他・無回答, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 以前ショッピングセンター内のレストランに出店していたが、お客様から店内を禁煙にしてほしいという要望が多数寄せられ全面禁煙としたが、吸わないお客様に気を遣うこともなく従業員の健康も守れて、喫煙に対するストレスがなくなった。喫煙するお客様からの苦情はほとんどなく、多少来店しなくなった人があったくらいだ。身内に喫煙の影響で肺がんで亡くなった者が何人かいる身としては、たばこの販売自体に反対だ。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ やるのは賛成だが、やるならきちんとやってほしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ たばこが好きで喫煙する人が体を悪くするのは自由だ。しかし、喫煙していないのに体に影響が出ることは絶対に許すことはできない。受動喫煙防止対策は大変素晴らしい法案だ。ぜひ末端まで行き届くよう願っている。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ ただいま休業中で、開店は未定だ。当店は約 7~8 年前から禁煙にしていたため、お客様がかなり減った。禁煙で良かったというお客様も少なくなかった。店の規模にかかわらず食事をする店内はすべて禁煙にすべきだ。(-, その他・無回答, -)

- ・ たばこのにおいや灰の飛び散りがなくて、清潔な環境になることは賛成だ。(寿司店, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ たばこ税より保険料の方が高くなるということをもっと行政も言えば良い。(中華料理店(ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ そもそも喫煙習慣を常態化させぬよう一番初めの段階で阻止できないか。興味を持ちやすく誘惑に負けやすい若年層に、「喫煙についてのリスクとデメリット」を、今後重ねて小・中・高校生のうちに話して認識させたら良いのではないか。もうすでに行われているのかもしれないが。喫煙習慣は徐々に魔力に取りつかれやめられなくなる人が多い。(一般食堂(定食屋など), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ たばこの値段をもっと上げれば(例; 1箱 1,000円) たばこを買う人が減ると思う。吸う人が減れば、受動喫煙も自然と少しずつ減ると思う。それが一番良いと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店なし)
- ・ 食堂での喫煙を禁止する、または禁止しやすいタイミングを行政とマスコミで作ってほしい。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 早く禁煙店にしたいが、スタートするタイミングがほしい。全店禁煙を望む。規制対象外は必要ない。決断できない私にとって必要だ。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 賛成だ。中途半端ではなく、飲食店では禁煙、その周りの公共の場所の喫煙所の整備を徹底する。それが良い。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ もう少し目立つステッカーを作ってほしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ たばこはどんな店でも当然平等にやめるべきだ。(小料理店, その他・無回答, -)
- ・ 受動喫煙防止対策は、たばこを売らないことだと思う。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 東京都だけでなく日本国中がすべて全面禁煙となるよう、行政が取り組んでほしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 歩きたばこやポイ捨て禁止の法令を早く整備してほしい。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 飲食店での完全禁煙を行政が決定してくれたら良いのではと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, -)
- ・ グレーゾーンを設けるようなら、いつそのこと国全体で禁煙にしてもらうくらいの方が良い。なぜ今まで良かったものを国の都合で禁止にするのに、リスクを個人店が受けなくてはいけないのか意味がわからない。各社々に喫煙所を設けるくらいの考えも持った上で話なら分かるが、不満ばかりが募る。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 当面は加熱式たばこの普及。たばこ税の段階的な増税。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供

施設以外, 20 歳未満の来店あり)

【反対】

- ・ 費用が掛かるため、現状では無理となる。経営をやめざるを得ない。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 喫煙・禁煙・分煙などの表示だけしっかりすれば店主が決めれば良い。なぜそこまで行政が言うのか。後々面倒を見てくれるならまだしも、喫煙は 20 歳からと法律で決まっているのだから、喫煙してはいけないわけではないのに、周りが喫煙者を制限し過ぎだ。歩きたばこや路上・公共施設等を制限するのは理解できるが、一般の店まで入り込み過ぎだ。店主と利用者が選択すれば問題ない話だと思う。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 小規模飲食店ではなかなか喫煙防止は難しい。(中華料理店 (ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 喫煙者はマナーを守ってたばこを楽しめば良いと思う。(酒場、ビアホール (居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ ばかばかしい対策だ。たばこはヘロインではない。コーヒー店で水を飲むのと同じだ。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ お客様の喫煙の希望が多いため、なかなか実現は難しい。(一般食堂 (定食屋など), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ たばこを吸う人のマナーの問題だと思う。店主が喫煙するので、店内禁煙にするのに時間がかかった。毎日来てくれていたが、来なくなった人もいる。個人の小さな店では、分煙なども資金がなければできないと思う。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 個人の店に対して行政が言うことではない。店自身に任せるべきだ。(寿司店, その他・無回答, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 居酒屋としては難しい。(酒場、ビアホール (居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ くだらない。たばこが嫌なら、お客様が禁煙の店を選択すれば良いこと。行政が本気で取り組むのなら、たばこ税の値上げより、販売を禁止すれば良い。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 喫煙の一層の強化をするのであれば、たばこの生産を中止し、販売も中止するべきだと思う。矛盾を感じる。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 人・物・金が必要となる。国民一人一人が自己責任で行動すべきだ。(中華料理店 (ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ もうこれ以上喫煙者をいじめないで。(酒場、ビアホール (居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 当店は喫煙可と不可に店舗を分けていて、来客の希望でご案内しているが、嗜好品であるた

- ばこを法律で管理することに疑問がある。アメリカの禁酒法の轍を踏まないことを希望する。(その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ まず法律ありきではなく、世論の確立を先にすべきだ。いきなり法律施行では営業者が大変だ。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
 - ・ すべて承知の上、高い税金を払ってくださる方々のマナーにお任せする。私の店にお越しの方は、禁煙の張り紙がなくても聞いてくれるし、自主的に外で楽しんでくださる。住み良い街になることを願いつつ。皆さまご苦労様です。(中華料理店(ラーメン店を含む), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
 - ・ たばこ税が国や地方の発展に役立っていると考えている。愛煙家が飲食に多くのお金を使ってくくださる。がんセンターの愛煙家のドクターもお見えになるが、「たばこを吸うことより、無理にやめたりするストレスの方ががんになりやすいよ」とおっしゃっていた。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
 - ・ 受動喫煙について大きく報道されているので、喫煙者自身のマナーに任せるので良いと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
 - ・ 受動喫煙防止対策にかかわらず、生きていく上で人間がマナーとルールをしっかり持っていれば良いのではないかと思う。何事においても今の世の中で機械化が進みすぎ、人との触れ合いが少なくなったため、心のさみしさからくるルール破りがもたらす現状だと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), その他・無回答, 20歳未満の来店なし)
 - ・ 個々が考えることだと思う。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
 - ・ たばこを吸わない人、家族で吸う人がいない人でも肺がんになってしまう人もいる。たばこだけが肺がんの原因だという風潮はおかしい。中国からの汚染された空気の方がたばこより問題ではないか。アルコールとたばこは嗜好品であり、規制するのは息苦しい世の中になるのではないか。(料亭, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
 - ・ マナーを守れば問題ないことだと思う。たばこはどこでも買うことができるため、スナックなどで禁煙を実施することは難しいと思うし、する必要はないと思う。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
 - ・ 法律で決めなくても店ごとに任せればよい。後はお客様が決めることだ。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
 - ・ 地域性や地域柄でそれぞれ考えや好みも違うのに、まとめて法律で縛るのは反対だ。行政が取り締まることに反対だ。(小料理店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
 - ・ 喫煙者が悪者になっている現状が悲しい。売っているのだから自由に吸わせてほしいと思っている人も多い。今回のアンケートも吸わない人の意見が重視されているように感じる。吸う人は犯罪者かと問いたくなる。喫煙ができる店は必要だと思う。そのような店が少なくなったからポイ捨てが増えているのだと思う。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
 - ・ 法律によって決定すべきではない。(そば・うどん店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)

店あり)

- ・ 喫煙・禁煙は店側が決めることで、行政で決めることではない。禁煙が望ましいのなら、行政で売らなければ良いと思う。(中華料理店(ラーメン店を含む),その他・無回答,20歳未満の来店あり)
- ・ アルコールを提供する飲食店、特に子どもが来ないような店には適用すべきではない。すでに全面禁煙の店があるので、すべての店に強要するのはおかしい。客には選択権がある。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店なし)
- ・ 店外に灰皿を置いたところ、通行人が喫煙し灰皿をいっぱいにされた。また、下水溝に吸殻を捨てていく通行人がたくさんいる。あまり喫煙場所がないのに規制ばかりしても、隠れてこそこそ喫煙されて火災が発生しても困る。(小料理店,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店なし)
- ・ 店内に分煙の設置できない施設は、お客の減少などが考えられる。(喫茶店,既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ 吸わない人はそのような場に行かなければ良いだけだ。自分も吸わないが、気にしたことがない。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店なし)
- ・ 飲食業は禁煙にすると、ますます営業が悪くなると思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)

【その他】

- ・ 税収が減っても他の税金を上げないでください。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 今のところ、私共の店のある浜松市民は受動喫煙防止についてヒステリックな反応をしている方はないように見受けられ、豊かで静かな市民生活ができ幸せだ。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ 時間が掛かることなので、少しずつ共存していくしか無理な気がする。(一般食堂(定食屋など),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 喫煙者の喫煙者による喫煙者のための飲食店。いじめると地下に潜り悪いことをするようになると思われる。きちんと喫煙スペースと灰皿があればそこで喫煙すると思う。コンビニ前は分別ごみ入れが設置されており放置物は見えない。スーパーは、ごみ箱がないので放置物が見られる。(その他上記以外の飲食店(たこ焼き店、甘味処など),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 各種ステッカー類は当然無料で配布すべきだ。TV等公共的に今回の受動喫煙防止法案を説明普及を望む。この法律がいかにか一方的な法案かということが皆さんわかっていない。国民の自由を一方から強制的に奪う法である。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店なし)
- ・ 行政が取り組むこと、もっともっとやらなければいけないことがあるのではないかと。(酒場、

- ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
- ・ 私自身チェーンスモーカーである。（西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）、既存特定飲食提供施設、-）
 - ・ 常識豊かな人が楽しく人生を満喫してほしい。一服を美しく健康な毎日にしてほしい。（そば・うどん店、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
 - ・ 吸う人も吸わない人も場所が大切だ。体の不自由な人も健康な人も生活できるのと同じだ。（酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
 - ・ 受動喫煙とは関係ないが、このようなアンケートの時、ボールペンの1本でも同封されると回収率が上がるのではないか。沼津市のアンケートではそのようなことをしていた。（焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
 - ・ 私はたばこを吸わないが、たばこは国が使用を許可しているものだ。たばこを嗜む人にはマナーが大切だが、肩身の狭い思いをしている人を見るのも切ない。（酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）、その他・無回答、20歳未満の来店あり）
 - ・ 喫煙室を設けるのに、助成金の制度などはあるのだろうか？（酒場、ビアホール（居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
 - ・ 自分がたばこを吸わないので、よくわからないことがある。（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ、その他・無回答、20歳未満の来店あり）
 - ・ 今年4月より、店内完全禁煙にした。（ファーストフード店、その他・無回答、20歳未満の来店あり）
 - ・ 煙が出ないものも出ているが、そちらも同等な扱いで良いのだろうか？（西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
 - ・ たばことアイコスの違いを、もっと知りたい。（ファミリーレストラン、既存特定飲食提供施設以外、20歳未満の来店あり）
 - ・ たばこを吸わない人の中でも、passive smokingを気にする人とそうでない人がいるので、気にする人に対する配慮があれば良いと思う。（西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
 - ・ 高すぎるたばこを買っているのだから、マナーを守って楽しんだら良いと思う。どうしてもと言うのなら、政府は販売しなければ良い。（一般食堂（定食屋など）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
 - ・ 健康被害の正確なデータや被害実態をきちんと報告すれば、喫煙者は自然にいなくなる。実際の影響が不正確なため、信用されていない。元々は専売公社（国）が販売していたという過去は消せない。たばこが原因で亡くなったと証明された場合、国は補償をどうするのだろうか？（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ、既存特定飲食提供施設以外、20歳未満の来店なし）
 - ・ 加熱式たばこに対する線引きを、早くしてほしい。（西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）、その他・無回答、20歳未満の来店あり）

- ・ 電子たばこは害があるのか？（一般食堂（定食屋など）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
- ・ 逆に教えてほしい！（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
- ・ 健康増進法の改正について、小規模飲食店で例外（条件付き）が設定された程度は知っている。（喫茶店、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
- ・ 対策することにより、店舗が行政から何か優遇される対策がほしい。良いことをしているのに、良いことも悪いことも何もない。（西洋料理店（フランス料理、イタリア料理）、既存特定飲食提供施設以外、20歳未満の来店あり）
- ・ 出血した際の止血剤になるので、登山家はたばこを持って行く。反対に、血の流れが悪くなるという説がある。日本は民主主義だから、多い方の意見を採用するしかないのだろうか？国でたばこを販売しないようにするのが一番コストがかからないが、ストレスのためにアクシデントが起こるかもしれない。（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
- ・ ふじのくに健康長寿づくりへ、しっかりと取り組み、より良い社会の実現に向かおう。（上記以外の日本料理店、既存特定飲食提供施設以外、20歳未満の来店あり）
- ・ マナーの悪い人達がいるから、このような条例ができたのだろう。TPO をきちんと守っていれば、喫煙者も肩身の狭い思いをしなくて済む。でも、たくさんの税金を払っていることも忘れないでほしい。（バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
- ・ テーブルごとの区割りで換気扇が付いているので、受動喫煙はグループ内の問題であり、グループ内でそれぞれが決められている。（焼肉店、カレー専門店、エスニック料理店など、既存特定飲食提供施設以外、20歳未満の来店あり）
- ・ たばこの害ばかり取り上げられるが、酒を飲んだ人間（すべてではないが）の態度・行動が、他人にどれだけ不快感を与えているのかもっと考えてもらいたい。（中華料理店（ラーメン店を含む）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
- ・ たばこに代わるたばこを作ってほしい。（寿司店、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
- ・ 制度や規則で押さえつけても吸いたい人の気持ちは変えられない。喫煙者の気持ちが動かなければ行動は変わらない。（その他上記以外の飲食店（たこ焼き店、甘味処など）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店なし）
- ・ 昼は禁煙、夜はOKだ。売り上げ減少。今年6月7日に1日禁煙のテストをした。お客様の苦情で、夜は元のスタイルになった。（中華料理店（ラーメン店を含む）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）
- ・ 浜松駅の喫煙コーナーがなくなってから、そこら中でたばこを吸う人が増えた。（上記以外の日本料理店、既存特定飲食提供施設以外、20歳未満の来店あり）
- ・ 喫煙マナーが悪すぎる。（中華料理店（ラーメン店を含む）、既存特定飲食提供施設、20歳未満の来店あり）

- ・ もともと禁煙なので、あまり関心がない。(寿司店, 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 国会議員の禁煙を望む。(上記以外の日本料理店, 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 国がなぜ許可しているのか。手軽な税収のためか。健康とはどのようなことか。(一般食堂(定食屋など), 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙で不愉快に思うなら、その人達も行動を考えるべきだ。何より今からたばこを吸うことへの周囲への配慮とマナーを考えるべきだ。例えば、たばこで病気になった人の治療費を保険対応なしとして、受動喫煙が原因の場合は保険対応するなど。ちなみに私はたばこに反対だ。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, その他・無回答, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 日本のたばこは国が作ったのではなかったですか？(喫茶店, 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ もっとよく情報を入れておきたい。今一つ実感がないため、どうしたら良いかわからない。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 店外に喫煙所があり助かっているが、やはりお酒とセットのようなどころもあり、なかなか断りにくい現状だ。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店なし)
- ・ 行政が喫煙者に支援や整備を行うことはもったいないと考える。それより、喫煙者及び非喫煙者への健康支援や整備を行った方が、全県民のためになるのではないか。例えば、全県民を対象に運動習慣を身につけるための支援や整備、健康的な食事支援や整備などだ。健康に意識を向けながら喫煙することは矛盾しているので、全県民が健康に対し意識が上がれば、喫煙者も本当に喫煙の悪を知り減少し、周囲も喫煙に対し厳しい評価をすることができると思う。具体的には、各都道府県には必ず知識を高めるための図書館や県営の美術館などがあるが、健康状態を高める施設(ジムやフィットネス施設)があまりないと感じる。もちろん公園などは施設として整備されているが、公園を使って健康状態を高める知識を知らないし、フィットネスエリアなどもあまり存在していない。喫煙ばかり意識しすぎるのではなく、美容や健康意識を高めることで全体的な県民の意識も高くなるのではないかと感じる。私も以前は喫煙者だったが、このように考えを変えることによって知的にも体力的にも健康的にも上昇し、嫌煙するようになった。(西洋料理店(フランス料理、イタリア料理), 既存特定飲食提供施設以外, 20 歳未満の来店あり)
- ・ 客と経営者が直接対応できるような小規模な店は、かなり改善されていくと思うが、チェーン店や酒を出す店は誰が注意するのか。店側ばかりに責任を負わせすぎではないか。近所に高校があり、物置の裏で喫煙しているが、フェンス横は道路のため、煙がにおってくる。店は客が注意してくる場合もあるが、高校などは誰がチェックし注意するのか。学校の状況把握の実施の方が大事なのではないか。実態は近所の住人の方がよく知っている。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20 歳未満の来店あり)

- ・ たばこ税を値上げするのなら、その税金を整備に充てるのは当然だ。すでに店を整備した会社や個人経営者には、工事書類提出等で何%か返金、今後整備する会社や個人経営者には上記書類で申請した場合補助が出る等する。駅前など公共の場所での喫煙所については、静岡県は東京都に比べてまったく整備が遅れているから路上喫煙が減らないのだ。マナーや禁煙したい人というのは支援したところで当人のモラルや心持の問題だから無意味だ。税金を取るだけ取って何もしないのは詐欺と一緒だ。「喫煙者は減らしたいが税収が減るのは嫌。だから値上げ。でも会合で決めるだけで金は行政は出さないよ」っておかしくないか？このアンケートがしっかり集計されるとも思わないが…。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 資金もなければ分煙にすることもできない。行政は私達の生活状況や売り上げ増減のことなどまったく把握しないままだろう。工事をするのにあたって助成金などあるのだろうか。政治家や行政の勝手のようにしか思えない。たばこの税金なのだから、国でも考えてもらいたいものだ。みな生活に苦しんでいる。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, その他・無回答, 20歳未満の来店あり)
- ・ お客様にルールに従ってもらおう。店を選んでもらう。(一般食堂(定食屋など), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 喫煙者は自分は何があってもやめないと主張する。しかし絶対に煙がだめという人が来ると、外で喫煙してくれる。小さい店なので喫煙室を作れない。(喫茶店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 店が小さいため店外での喫煙も考えるが、酒も入っているし車も人も通るので、これはこれで迷惑だと思う。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店あり)
- ・ 他にやることがあるだろう。海外のことと比較するのなら、何もかも真似をすれば良い。一事柄を出しては「イギリスでは…」と言うならイギリスに行けば良い。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店なし)
- ・ 平成生まれの人と昭和を生き抜いてきた人とは受け止め方が異なるから、お客様は昭和世代にしようと思えば、喫煙は自動的に認めないと商売にならない。(小料理店, 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 頑張ってください。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 体に悪いとわかっているたばこを販売する国もおかしい。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー), 既存特定飲食提供施設, 20歳未満の来店なし)
- ・ 受動喫煙はもちろん人体に害があるが、個人的には排ガスの現状の方がよほど深刻と感じる。ディーゼル車などの排ガス規制を先に行うべきではないかと思う。(ファミリーレストラン, 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 受動喫煙防止対策をやる前に、国や県でやる他の対策はいろいろあると思う。(一般食堂(定食屋など), 既存特定飲食提供施設以外, 20歳未満の来店あり)
- ・ 食堂に灰皿を置いていないので、禁煙だということを受け入れていただき、皆さん外で吸っ

て来ていただいている。(中華料理店(ラーメン店を含む),既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)

- ・ 当店は100㎡以下であるが、灰皿などお客様に求められた時のみ出すことにしている。常連でも店内では遠慮する人も少しずつ増えているようだ。(喫茶店,既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)
- ・ お客様の多くが電子たばこだが、受動喫煙との関係を知りたい。(上記以外の日本料理店,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 見方によってはたばこを吸っている人が悪者にされてしまうが、犯罪者みたいな扱いを受けるのであれば、なぜたばこをコンビニやドラッグストアで堂々と販売しているのだろうか。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 結局、自民党と同じで市民の健康より選挙対策なのか。川勝知事には期待していたのに残念だ。すべての店舗を禁煙にするからこそ平等性が保たれ、お客様の増減が店側の喫煙の理由にならないと思う。100㎡以下は喫煙可の明確な根拠は何なのか。このアンケートをかなりのお金を使って作ったからには、結果をテレビなどで公表して、川勝知事の意見を県民に示してほしい。(バー、スナック、キャバレー、ナイトクラブ,既存特定飲食提供施設,20歳未満の来店あり)
- ・ 今までお客様があまり吸わないので何とも思っていなかったが、時には1~2人「吸ってもいいですか」と言う人があるので、少し考えてみる。(そば・うどん店,その他・無回答,20歳未満の来店あり)
- ・ 店の造りや時間帯により分煙が難しい。既存の店舗に喫煙室を作るのも難しい。薄利の飲食店が設備投資するのも難しいし、スペースも作りにくい。ただ、お客様からの要望は確かに増えている。(酒場、ビアホール(居酒屋、焼鳥屋、ダイニングバー),既存特定飲食提供施設以外,20歳未満の来店あり)

